

第6回

教育用コンピュータ等に関するアンケート調査

報 告 書

平成20年3月



社団法人 **日本教育工学振興会**

URL : <http://www.japet.or.jp/>

は じ め に

社団法人日本教育工学振興会会長 坂元 昂

I T新改革戦略が、平成18年1月に発表されて以来2年を経た。5年後の目標値を、概ね100%とした、超高速インターネット接続率、校内LAN接続率、教員の校務用コンピュータ整備率、および、コンピュータ1台あたりの児童生徒数3.6人の達成は、今日の厳しい財政状況の中で、かなり困難と予想される状況となっている。校内LAN接続率など、前のe-Japan戦略の達成にもいたっていない事項もある。教育の情報化関連予算として、嘗て2、150億円あった地方交付税交付金は、1、500億円に減額されてはいるものの、地方自治体に配当されているにもかかわらず、未だに積算基準通りの実行がなされていない。その上教育情報化研究促進に係る経費は激減している。

本調査は、このような背景下の各地方における教育の情報化に係わる諸条件整備の実態を明らかにし、具体的な対応策を立てる資料とすべく実施された。平成8年開始以来、定期的実施されている調査の一貫であり、今回はその第6回目に当たる。毎回教育現場での生の実態が掘り起こされ、教育行政、教育推進のための貴重な参考資料となっている。

具体的には、全国400の教育委員会（回収率54.5%）、3、000の小中学校（回収率30.0%）に、ハガキ依頼、Web回答方式で、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、保守・サポートに関する実態についてアンケート調査を行った。

その結果、光ケーブル接続、カラープリンタ設置、セキュリティ対策などは、曲がりなりにも充実してきているが、コンピュータ教室における1人1台の整備は、4割余りが未整備、普通教室へのコンピュータ整備は、90%弱が21年度以降の整備、教員個人の持ち込みPCの校内LANへの接続が4割くらい、カラープリンタの複数整備不足などの実情が示された。ソフトウェア、コンテンツについては、購入予算減の中で、総体的に増加しているネットワーク配信型ソフトウェア・コンテンツについて、活用条件整備不十分という回答が教育委員会の66.5%を占めた。保守契約については、9割近くが希望しているが、実態は60%程にとどまっているし、教育情報化コーディネートについての配置希望は80%あるのに、実態は30%弱にとどまっている等の状況が明らかにされた。

世界各国が、教育におけるICTの普及活用を国策として、重点的に取り組み、成果を上げている中で、日本の現状は、まさに危機的な状況にあるといえる。英米、EUをはじめ、東欧、南米、アジア、アフリカ、中東等の多くの国のIT先進校では、ほとんど変わらないほどの優れたICTの教育活用が見られる。ただ国による、層の厚さ、活用の多様性などについての格差は大きい。日本の学校では、先進校が多く、しかも多様な優れた活用がなされているが、まだ、北米、北欧、英、NZ、シンガポール、韓国等に比して条件整備への行政的な支援が不足し、その結果、エコノミスト情報局によるe-レディネス世界ランク18位に相当する程度の教育の情報化の実態であると思われる。

解決すべき課題は多い。教育界、地域社会、行政の協力こそが必要である。

最後に、お忙しい中をご協力下さった教育委員会、学校、調査委員、ご支援賜った会員の皆さまに厚くお礼申し上げる。

も く じ

・ アンケート調査実施と報告について.....	5
・ 報告書の概要と課題.....	6

<教育委員会編>

●基本項目.....	9
1. ハードウェア.....	10
2. ソフトウェア.....	20
3. ネットワーク.....	29
4. 保守・サポート.....	42

<学 校 編>

●基本項目.....	50
1. ハードウェア.....	51
2. ソフトウェア.....	75
3. ネットワーク.....	93
4. 保守・サポート.....	111

アンケート調査実施と報告について

○第6回教育用コンピュータ等に関するアンケート調査の目的

平成18年1月よりスタートした国家戦略である「IT新改革戦略」（IT戦略本部決定）が策定されてから早2年が経った。この戦略において、次世代を担う子どもたちが早い段階からICTに触れ、活用することを通じて学力向上が図られるように、教育の情報化を推進することが重要施策として掲げられている。

教育の情報化は、コンピュータやネットワークの整備といったハード面でのICT環境整備のほか、教員のICT活用指導力や教員の指導を技術的に支援する体制といったソフト面の環境整備を総合的に進める必要があり、学校教育情報化推進総合プランにより、文部科学省を中心に、教育の情報化の一層の推進に向けて様々な取組みが進められてきた。

しかし、平成19年3月末日時点における、文部科学省「教育の情報化に関する実態調査結果」（【 】内平成23年3月目標値）によれば、超高速インターネット接続率35.0%【概ね100%】、校内LAN接続率56.2%【概ね100%】、コンピュータ1台あたりの児童生徒数7.3人／台【3.6人／台】、教員の校務用コンピュータ整備率43.0%【100%（教員1人1台）】となっており、目標の達成はかなり困難な見通しとなっている。

また個々の整備状況を地域別にみても、ICT環境の整備は地方交付税により措置されており、一般財源のため地方自治体によって取組みに差があるため、その進捗状況は自治体ごとに地域格差を生じさせている。

当振興会では、平成8年に第1回「教育用コンピュータ等に関するアンケート調査」を開始して以来、定期的に実施し今回で6回目を数えた。このような状況の下、全国市町村教育委員会、全国公立小・中学校のご協力をいただき、コンピュータおよび関連設備の整備状況などの実態を把握するため、大規模なアンケート調査を実施した。

1. 調査の内容

主な調査項目・・・①ハードウェア、②ソフトウェア、③ネットワーク、④保守・サポートの項目について、教育委員会および小・中学校を対象として調査を実施した。

2. 調査の対象と方法

市区町村教育委員会400カ所、小学校2,000校、中学校1,000校の計3,000校へ「アンケート協力依頼」のハガキを郵送し、あらかじめJAPETサーバに用意したアンケートWebページへ回答するWeb回答方式を採用した。

3. 調査年月日

- ①調査期間 平成19年11月11日～12月7日
- ②調査の時点 平成19年10月末日現在

○集計と報告書

1. 回答状況（回答数/アンケート依頼数・回答率）

- ①教育委員会・・・218/400カ所・54.5%
- ②学校・・・・・・900/3,000校・30.0%

2. 報 告

回答締切り後、JAPET「ICT教育利用研究開発委員会・調査部会」にて分析、コメントを付し平成19年度中に「調査報告書」を作成。総会で報告を行い、文部科学省など関連機関に配布するとともにJAPETホームページに要旨を掲載する。

—報告書の概要および特徴と課題—

第6回教育用コンピュータ等に関するアンケート調査結果を、教育委員会および学校に分類し「報告書」として作成した。

その編集にあたり、プロジェクトチームで特に【特徴】と【課題】と思われる部分を以下にまとめた。詳細については、9ページ以降をご覧ください。

○ コンピュータ教室の整備状況について

【特徴】文部科学省が推進してきたコンピュータ教室の整備計画は、平成17年度末までに小・中学校一人1台を目標に進められてきたが、政令指定都市を除く市町村レベルでは、その整備計画が大幅に遅れていることが明確になってきた。

教育委員会の未整備との回答は・・・42.7%

小学校の未整備との回答は・・・49.3%

中学校の未整備との回答は・・・29.2%

小・中学校を合計し未整備との回答は・・・41.7%(教育委員会の回答とほぼ合致している)

【課題】国が推進してきたe-Japan戦略が平成17年度に終了したが、ICT環境整備のための地方交付税措置は継続している。しかしながらその進捗ははかばかしくない。

各自治体での計画・推進することになり、予算措置が難しくなることを前回の調査で指摘および懸念されていたことであるが、まさにその実態が明らかとなってきた。

今後の整備計画についても、21年度以降と回答している教育委員会と小・中学校で90%以上を占めており、文部科学省が政策の中で、計画の遅れと地域間格差をどのように解消するのかが大きな課題である。

○ 普通教室へのコンピュータ整備、教員一人1台の整備について

【特徴】普通教室へのコンピュータ整備は前回調査と比較して微増、政令指定都市を除くと整備計画が遅れていることが明確で、整備計画も21年度以降と回答している教育委員会が87.5%もあり、整備計画の不透明な部分が明らかであった。

【課題】普通教室（未整備%）および教員一人1台の整備計画の遅れにより、教員個人のコンピュータの持ち込みが依然として解消されず、児童・生徒の個人情報の入ったコンピュータ紛失・盗難等による事故がなくなる。また、教員個人のコンピュータの43.4%が校内LANへ接続されている問題も解消されていない。

○ 周辺機器について

【特徴】カラープリンタは「型が古い」を含める97.7%と普及が進んでいるが、1校当たりの設置数では5台以上の設置が小・中学校計41.8%と前回の45.6%よりダウンしているのがわかる。

また、プロジェクタは小・中学校合わせて前回調査では型の古いものも含めて87.4%が今回調査で94.7%とアップしており、1校当たり2台以上の設置校も69.9%と複数台設置することにより各教科への活用度合いが増加していることがうかがえる。

電子情報ボードは前回調査と横ばいで、普及が進展していないこと、利用方法・利用価値・利用効果がまだ浸透していないことが起因しているものと思われる。

【課題】 プロジェクタは利用効果が見直され、複数台導入する学校が増加傾向にあるが、電子情報ボードは普及活動の見直しを行い、利用方法・価値・効果をPRする必要がある。

○ ソフトウェア・コンテンツについて

【特徴】 ソフトウェア・コンテンツの購入予算は前回調査と比較して少なくなっている。活用状況を見ると配信型およびサーバに収納するLAN型のソフトウェア・コンテンツが増加している。

【課題】 教育委員会ではネットワーク配信型のソフトウェア・コンテンツを、どのようなサービスかわからない・利用したいが環境が整っていない・使えるサービスがない等の回答が66.5%を占めており、業界として見直す必要がある。

○ コンピュータ教室の活用時間について

【特徴】 コンピュータ教室の活用時間は前回調査と比較して大きく変化はない。教科別に見ると小・中学校とも「時々使っている」が全教科に見られる。時々しか使われない理由が何か、コンピュータの整備の遅れ、コンピュータを活用授業できる教師の不足、ソフトウェア・コンテンツがない等が考えられる。

【課題】 せっかく導入されたコンピュータがあまり活用されていないことは残念である。一人1台の整備は最低条件で二人に1台では、授業の進行の遅れにつながる。また、教育情報化に対して、外部からの人材支援や学習用ソフトウェア・コンテンツの拡充整備が望まれている。

○ 校内LANの整備状況について

【特徴】 校内LANの整備状況は前々回・前回と比べてあまり進捗していない。未整備と無回答の合計約20%が何らかの理由で整備が遅れている。

活用状況を見ると「活用していない」「どちらともいえない」は15.6%に留まっており、約85%が有効活用されていることがわかる。

【課題】 必要な整備予算をつけ、IT新改革戦略の方針どおり、早急な整備が望まれる。

○ インターネットの接続方法について

【特徴】 前回調査と比べて、CATV・ADSL・ISDN回線が減少して、光ファイバー接続が増加している。

【課題】 ISDN回線を使用している学校が6.9%残っており、一層の整備推進が望まれる。

また、インターネット接続への制限をしていない学校が小・中学校合わせて15.6%もあることは重要な課題である。

○ セキュリティ対策について

【特徴】 セキュリティ対策は前回調査と比べて92.7%と若干減少している。

【課題】 「特に管理はしていない」「不明・わからない」「無回答」7.3%と前回より増加傾向にあり、運用規定の整備・充実など早急な対策が望まれる。

○ 教育用コンピュータの保守契約について

【特徴】 保守契約の必要性を教育委員会で86.7%、学校で89.0%が望んでいるが、実際の保守契約率は

59.4%であった。

【課題】特にシステムが複雑になる校内LAN・インターネット接続・コンピュータの故障などの致命的となる障害のうち、授業に支障を来すトラブルは28.4%の学校で発生しているのが現状である。保守契約の予算措置と契約の推進が今後の課題である。

○ 教育情報化コーディネータ・外部人材の活用について

【特徴】外部人材の活用について、「受け入れたことがある」学校が29.4%であったが、活用の必要性があるとの回答は78.3%であり、実際の学校現場では、外部人材の採用を求めている。

【課題】教員の負担を補い、ICTの利活用をサポートする存在として、外部人材の積極的な活用がますます望まれている。教育委員会においては、教育情報化コーディネータ等のより一層の認知と活用が強く望まれる。

アンケート調査結果

教育委員会編

●基本項目

この調査は、全国市町村から抽出した 400 の教育委員会にアンケートを依頼し、218 か所から回答をいただいた。

1 教育委員会あたりの管轄学校数は、下表のとおり。

今回の回答の大きな特徴として、小規模な自治体の回答が大勢を占めたことが挙げられる。

① 15 政令指定都市からの回答が皆無であった。

② 「中核市・市」の回答が減少し、「町・村」の比率が増加した。

そのため管轄学校数で見ると、小学校で 100 校、中学校で 40 校を上回る自治体からの回答がなかった。

従って、「行政区別学校数」の平均(カッコ内第 5 回調査)では、小学校 13.2 校(30.6 校)、中学校 6.0 校(14.3 校)となり、前回調査とは大きく異なる傾向を示す結果となった。

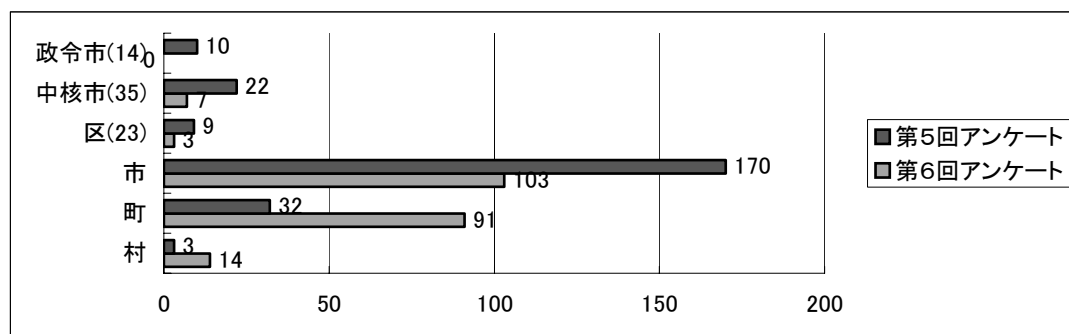
以上の内容から、時系列的な経年変化を読み取るには極めて困難な状況となり、分析段階では前回調査との比較コメントを部分的に避けている。

【管轄学校数】

	以上 以下		中 学 校							計
			1～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40	41～	
小 学 校	1	5	71							71
	6	10	44	10						54
	11	15	17	22						39
	16	20	1	16	2					19
	21	30	1	8	4	1				14
	31	40		1	3	1				5
	41	50				4	5			9
	51	70					5			5
	71	100						2		2
	101～									0
計			134	57	9	6	10	2	0	218

【行政区別学校数】

区分	自治体数	小学校			中学校		
		校数	構成比	平均	校数	構成比	平均
政令市(14)	0	0	0.0%	0.0	0	0.0%	0.0
中核市(35)	7	423	14.7%	60.4	185	14.2%	26.4
区(23)	3	118	4.1%	39.3	59	4.5%	19.7
市	103	1,808	62.9%	17.6	816	62.5%	7.9
町	91	494	17.2%	5.4	229	17.5%	2.5
村	14	33	1.1%	2.4	17	1.3%	1.2
計	218	2,876	100.0%	13.2	1,306	100.0%	6.0

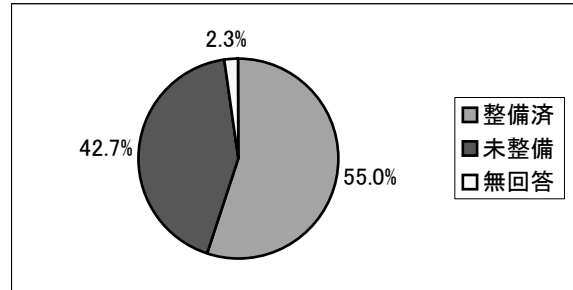


教育委員会 1. ハードウェア

1-1. コンピュータ教室の整備状況について

1-1-1. 文部科学省の整備計画：小・中学校の1台／1人の整備状況についてうかがいます。

	計	
	実数	比率
整備済	120	55.0%
未整備	93	42.7%
無回答	5	2.3%
計	218	100.0%

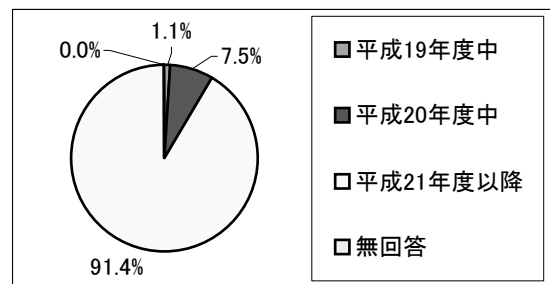


※「未整備」が42.7%と高い数値を示し、前回調査とくらべてほとんど進捗が見られない結果となった。本項目は、教育の情報化における最も基本的事項であり、整備目標に少しでも近づくよう、整備を加速化させるような方策が望まれる。

1-1-2. 1-1-1で「未整備」と回答された方へうかがいます。

平成何年度に整備を完了する見込みですか。

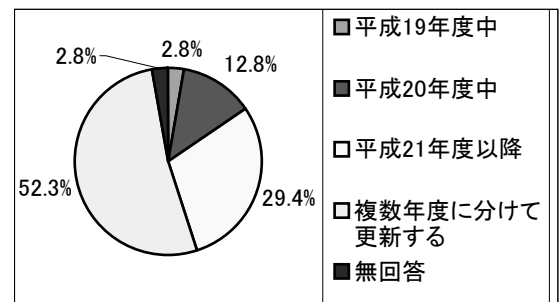
	計	
	実数	比率
平成19年度中	1	1.1%
平成20年度中	7	7.5%
平成21年度以降	85	91.4%
無回答	0	0.0%
計	93	100.0%



※「平成21年度以降」という回答が90%以上であり、未整備の地区のほとんどが、整備完了のめどが立っていないことがうかがえる。前回、前々回の調査でも同様の傾向が見られたことから、依然として整備計画の先送りが継続していると推察され、整備済み地区との格差は縮まっていない。IT新改革戦略で示された目標が目標に終わらないよう、少しずつでも成果を積み重ねていくことが肝要である。

1-1-3. コンピュータの次の更新時期はいつ頃ですか。

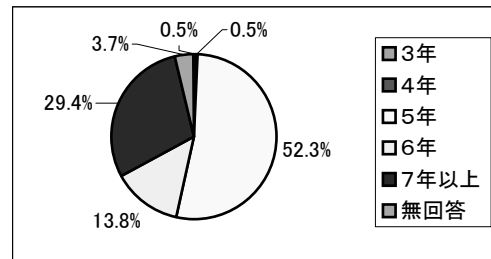
	計	
	実数	比率
平成19年度中	6	2.8%
平成20年度中	28	12.8%
平成21年度以降	64	29.4%
複数年度に分けて更新する	114	52.3%
無回答	6	2.8%
計	218	100.0%



※「複数年度に分けて更新する」地区が半数以上を占め、単年度でまとめて更新を行う予算を確保するのが難しいことがうかがえる。

1-1-4. 現在は何年ごとに更新していますか。

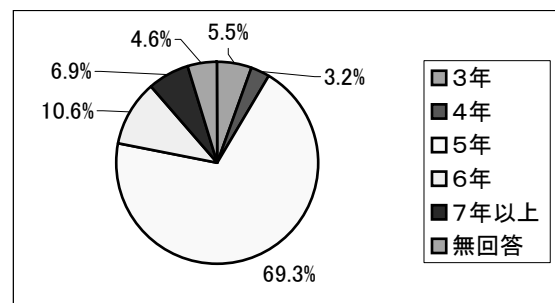
	計	
	実数	比率
3年	1	0.5%
4年	1	0.5%
5年	114	52.3%
6年	30	13.8%
7年以上	64	29.4%
無回答	8	3.7%
計	218	100.0%



※「7年以上」が29.4%と、前回調査の15.0%とくらべ約2倍となり、ますます機材の長期使用化傾向が進んでいることがうかがえる。コンピュータの進歩を考えると、一般社会との格差に懸念を覚える。

1-1-5. 教育用コンピュータの更新は何年ごとが適当であると考えますか。

	計	
	実数	比率
3年	12	5.5%
4年	7	3.2%
5年	151	69.3%
6年	23	10.6%
7年以上	15	6.9%
無回答	10	4.6%
計	218	100.0%

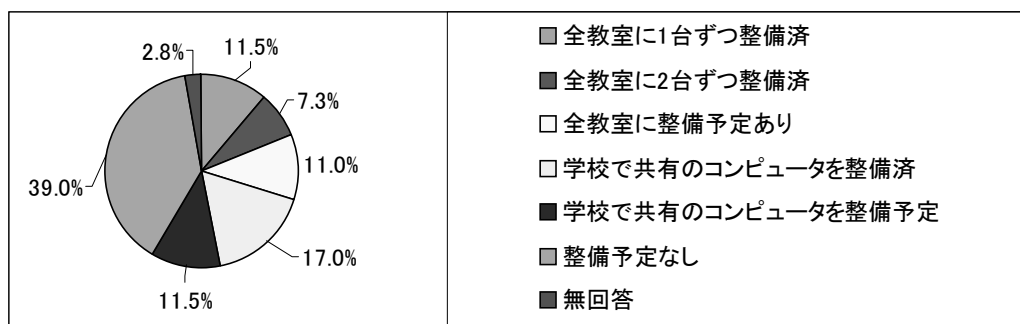


※5年ごとの更新を適当とする意見が69.3%を占めており、教育委員会としても5年程度の更新を希望していることが分かるが、6年以上とする意見が合計で17.5%にのぼり、問題である。

1-2. 普通教室へのコンピュータ整備について

1-2-1. 普通教室における整備状況はどのような状況ですか。

	計	
	実数	比率
全教室に1台ずつ整備済	25	11.5%
全教室に2台ずつ整備済	16	7.3%
全教室に整備予定あり	24	11.0%
学校で共有のコンピュータを整備済	37	17.0%
学校で共有のコンピュータを整備予定	25	11.5%
整備予定なし	85	39.0%
無回答	6	2.8%
計	218	100.0%



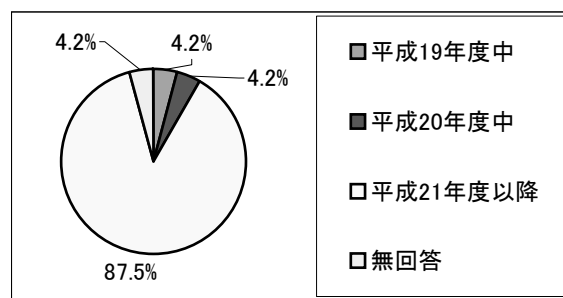
※前回比較で「全教室整備済み」が（17.7%→18.8%）と微増であるのに対し、「整備予定なし」は（29.1%→39.0%）

と大幅に増えた。普通教室への整備は、各教科において情報機器を活用する上でも欠かせない項目である。IT 新改革戦略における目標達成という方針の徹底が望まれる。

1-2-2. 1-2-1で「全教室に整備予定あり」とお答えになった方にうかがいます。

平成何年度に整備を完了する見込みですか。

	計	
	実数	比率
平成 19 年度中	1	4.2%
平成 20 年度中	1	4.2%
平成 21 年度以降	21	87.5%
無回答	1	4.2%
計	24	100.0%



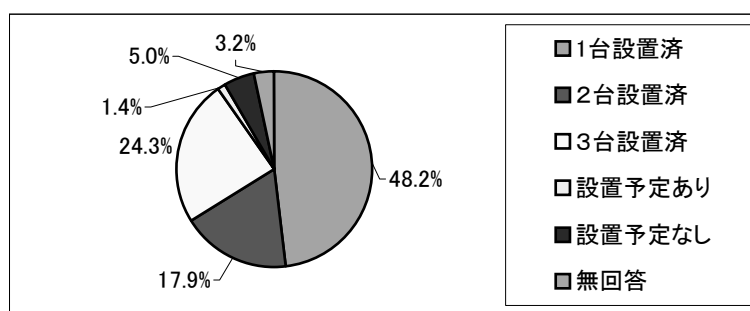
※「平成 21 年以降」が前回調査比 (69.1%→87.5%) と、より高い数値を示した。コンピュータ教室の整備状況とくらべてかなり遅れをとっているにもかかわらず、整備計画の先送り傾向は強くなっている。

1-3. コンピュータ教室への周辺機器・装置について

1-3-1. カラープリンタ

1-3-1-1. カラープリンタの設置状況、台数についてうかがいます。

	計	
	実数	比率
1 台設置済	105	48.2%
2 台設置済	39	17.9%
3 台設置済	53	24.3%
設置予定あり	3	1.4%
設置予定なし	11	5.0%
無回答	7	3.2%
計	218	100.0%

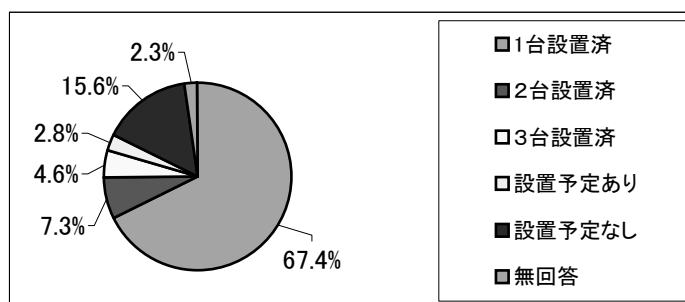


※1 台以上設置済みの地区は合計で 90%を超えており、ほとんどの学校で導入されていることがわかる。学校の規模にもよるが、2 台以上設置済みが 42.2%と、半数近い数値を示していることから分かるように複数台のプリンタの導入が促進されている。

1-3-2. プロジェクタ

1-3-2-1. プロジェクタの設置状況についてうかがいます。

	計	
	実数	比率
1 台設置済	147	67.4%
2 台設置済	16	7.3%
3 台設置済	10	4.6%
設置予定あり	6	2.8%
設置予定なし	34	15.6%
無回答	5	2.3%
計	218	100.0%

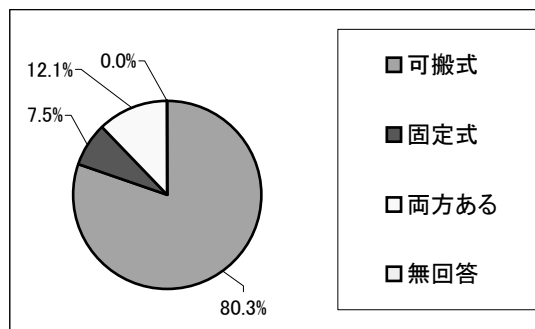


※1 台以上設置済みの地区は合計で 80%近いが、「設置予定なし」も依然として 15.6%を占めている。

1-3-2-2. 1-3-2-1で「設置済」と回答された方にうかがいます。

設置されたプロジェクトは可搬式ですか、固定式（天井吊り下げ式など）ですか。

	計	
	実数	比率
可搬式	139	80.3%
固定式	13	7.5%
両方ある	21	12.1%
無回答	0	0.0%
計	173	100.0%

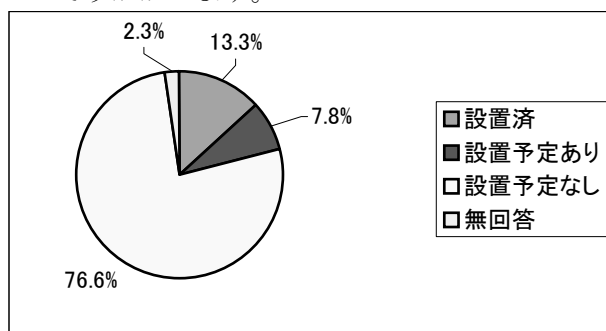


※「可搬式」「両方ある」をあわせると 92.4%にのぼる。自由に持ち運んで使える可搬式の導入が一般的であることがうかがえる。

1-3-3. 電子情報ボード

1-3-3-1. 電子情報ボードの設置状況についてうかがいます。

	計	
	実数	比率
設置済	29	13.3%
設置予定あり	17	7.8%
設置予定なし	167	76.6%
無回答	5	2.3%
計	218	100.0%

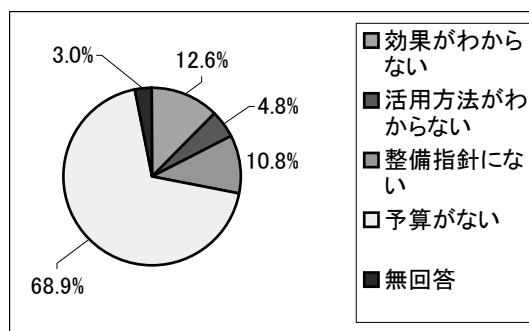


※「設置済」と「設置予定あり」をあわせても 21.1%にとどまっており、前回調査時と状況が変わっていない。コンピュータ映像を提示して画面に『書く』『操作する』授業の効果についての認識がまだまだ低いことがうかがえる。

1-3-3-2. 1-3-3-1で「設置予定なし」と回答された方にうかがいます。

設置予定の無い理由をお聞かせください。

	計	
	実数	比率
効果がわからない	21	12.6%
活用方法がわからない	8	4.8%
整備指針にない	18	10.8%
予算がない	115	68.9%
無回答	5	3.0%
計	167	100.0%

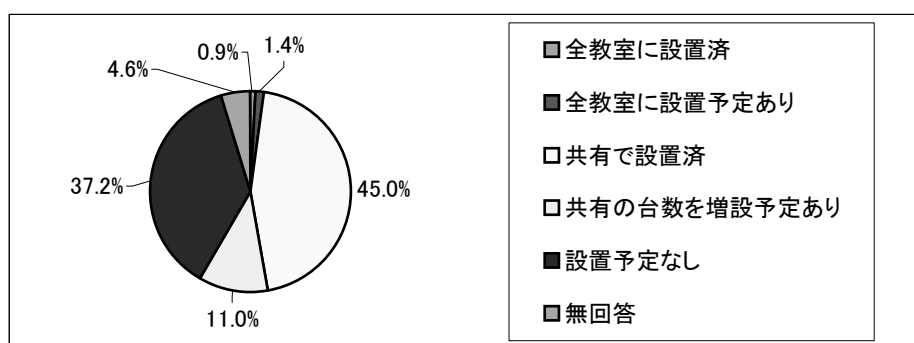


※「予算がない」が約 70%を占めた。効果や活用方法が十分浸透していないため、予算化されていないことが推測される。

1－4．普通教室への周辺機器・装置について

1－4－1．プロジェクタの設置状況についてうかがいます。

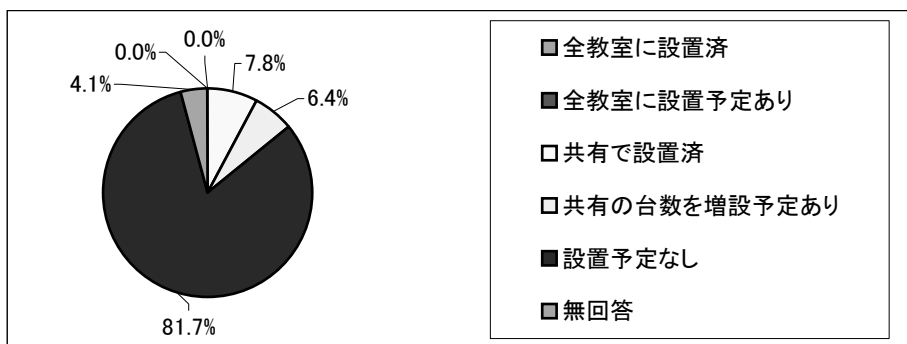
	計	
	実数	比率
全教室に設置済	2	0.9%
全教室に設置予定あり	3	1.4%
共有で設置済	98	45.0%
共有の台数を増設予定あり	24	11.0%
設置予定なし	81	37.2%
無回答	10	4.6%
計	218	100.0%



※普通教室でのプロジェクタ整備は共有による整備も含め増加（39.8%→45.9%）しており、プロジェクタの活用は進んでいると見られる。しかし内容的には、「共有で設置」が大半を占め、教室ごとの設置にはまだほど遠い。また、設置予定がない地区も増加（34.1%→37.2%）しており、地域格差の改善が課題である。

1－4－2．電子情報ボードの設置状況についてうかがいます。

	計	
	実数	比率
全教室に設置済	0	0.0%
全教室に設置予定あり	0	0.0%
共有で設置済	17	7.8%
共有の台数を増設予定あり	14	6.4%
設置予定なし	178	81.7%
無回答	9	4.1%
計	218	100.0%

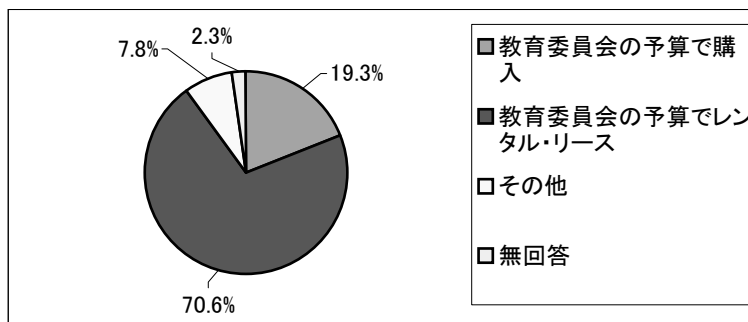


※全教室に設置済み、または設置予定のあるという回答はゼロであった。一方で「設置予定無し」は81.7%にのぼり、1－3－3－1と同様、電子情報ボードの効果の認識が十分浸透していないことがうかがえる。コンピュータ教室での設置がまだ不十分な中で、普通教室までは予算が回らないという状況である。

1-5. コンピュータの購入について

1-5-1. コンピュータの購入方法についてうかがいます。

	計	
	実数	比率
教育委員会の予算で購入	42	19.3%
教育委員会の予算でレンタル・リース	154	70.6%
その他	17	7.8%
無回答	5	2.3%
計	218	100.0%

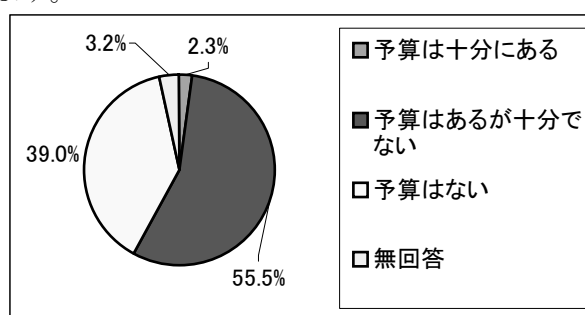


※「教育委員会の予算でレンタル・リース」が70.6%、次いで「教育委員会の予算で購入」が19.3%という結果となった。

1-6. 周辺機器の購入予算について

1-6-1. 周辺機器を購入する予算についてうかがいます。

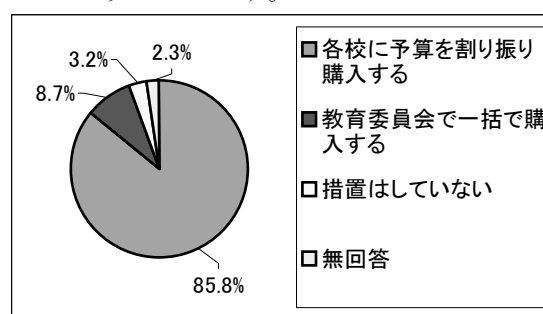
	計	
	実数	比率
予算は十分にある	5	2.3%
予算はあるが十分でない	121	55.5%
予算はない	85	39.0%
無回答	7	3.2%
計	218	100.0%



※「予算は十分にある」と回答した教育委員会は前々回、前回調査比（9.0%→4.1%→2.3%）と回を追うごとに減少しており、「予算はあるが十分でない」「予算はない」地区は同比（87.7%→94.3%→94.5%）で増えている。年々予算不足傾向の拡大が見られ、非常に切実な問題となっている。

1-6-2. プリンタのトナー、インクなどの消耗品の予算についてうかがいます。

	計	
	実数	比率
各校に予算を割り振り購入する	187	85.8%
教育委員会で一括で購入する	19	8.7%
措置はしていない	7	3.2%
無回答	5	2.3%
計	218	100.0%

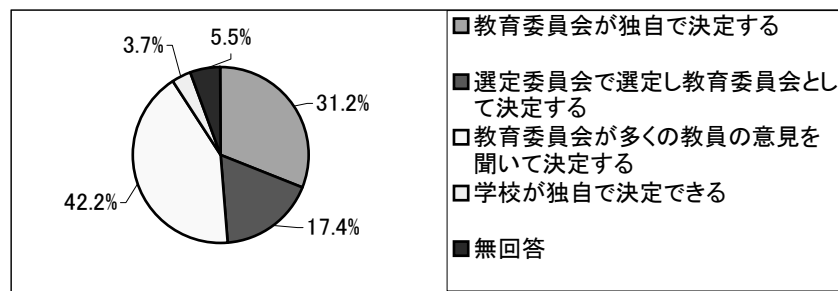


※ほとんどの地区で各校に予算を割り振って購入していることがうかがえる。

1-7. ハードウェアの選択・選定について

1-7-1. ハードウェアの仕様について、どのように選択・選定をしていますか。

	計	
	実数	比率
教育委員会が独自で決定する	68	31.2%
選定委員会で選定し教育委員会として決定する	38	17.4%
教育委員会が多くの教員の意見を聞いて決定する	92	42.2%
学校が独自で決定できる	8	3.7%
無回答	12	5.5%
計	218	100.0%



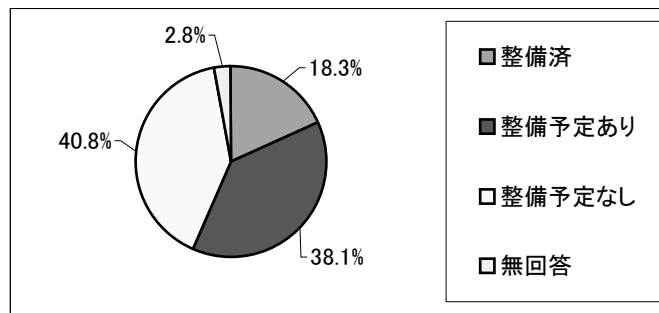
※「教育委員会が独自で決定する」地区は前回とくらべてほとんど変わらないが、「選定委員会で決定する」地区は前々回、前回調査比(37.3%→27.2%→17.4%)と減少し、「多くの教員の意見を聞いて決定する」地区は同比(20.5%→39.4%→42.2%)と増えている。

1-8. 教員用コンピュータの整備状況について

1-8-1. 学校における教員用コンピュータ1台／1人の整備状況についてうかがいます。

(ただし、教員が持ち込んでいるものは含みません)

	計	
	実数	比率
整備済	40	18.3%
整備予定あり	83	38.1%
整備予定なし	89	40.8%
無回答	6	2.8%
計	218	100.0%

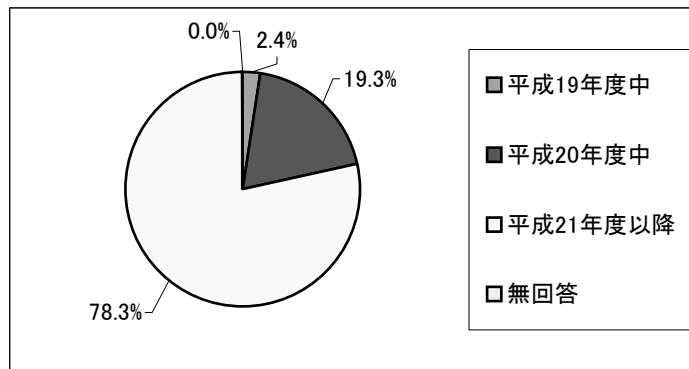


※前回調査比で「整備済」(13.2%→18.3%)、「整備予定あり」(24.0%→38.1%)とそれぞれ増加しており、ある程度の進捗がうかがえる。学校へのコンピュータの持ち込みは、情報の漏えいなど、かなり危険な問題であることを鑑みると、「整備予定なし」の40.8%は非常に高い数値と言わざるを得ない。教育委員会はIT新改革戦略にも盛り込まれたこの整備目標を早期に達成することが望まれる。

1-8-2. 1-8-1で「整備予定あり」と回答された方にうかがいます。

平成何年度に設置を完了する見込みですか。

	計	
	実数	比率
平成19年度中	2	2.4%
平成20年度中	16	19.3%
平成21年度以降	65	78.3%
無回答	0	0.0%
計	83	100.0%

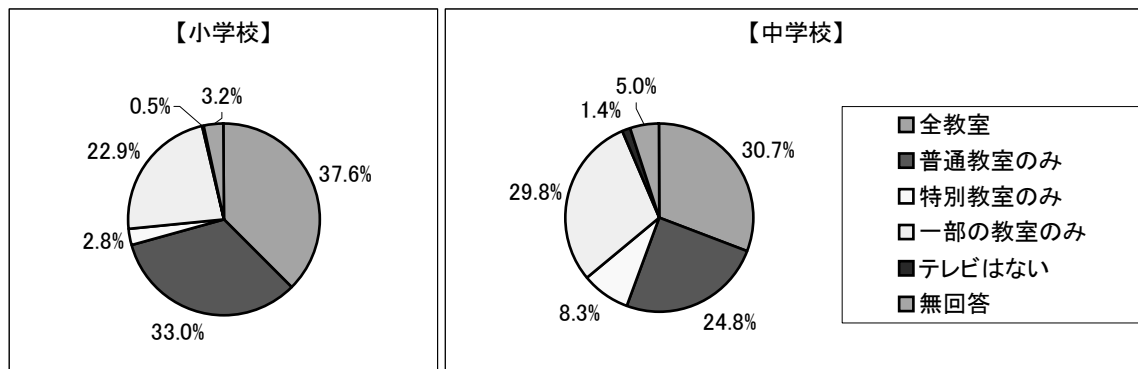


※80%近くの地区が「平成21年度以降」と回答しており、改めて整備の遅れが浮き彫りになった。

1-9. テレビについて

1-9-1. 教室におけるテレビの設置状況をお聞かせください。(小中別に)

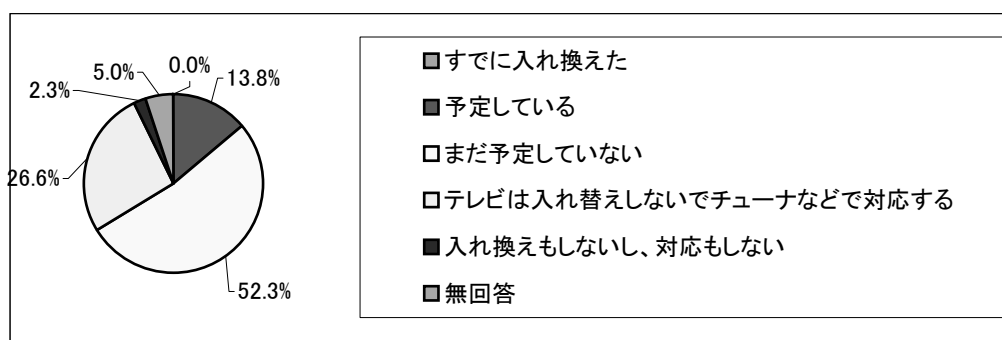
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
全教室	82	37.6%	67	30.7%	149	34.2%
普通教室のみ	72	33.0%	54	24.8%	126	28.9%
特別教室のみ	6	2.8%	18	8.3%	24	5.5%
一部の教室のみ	50	22.9%	65	29.8%	115	26.4%
テレビはない	1	0.5%	3	1.4%	4	0.9%
無回答	7	3.2%	11	5.0%	18	4.1%
計	218	100.0%	218	100.0%	436	100.0%



※全教室もしくは普通教室にテレビが設置されている地区は、小学校で70.6%、中学校で55.5%であった。

1-9-2. 2011年(平成23年)のアナログ放送終了までに、地上デジタルテレビと入れ換える予定はありますか。

	計	
	実数	比率
すでに入れ換えた	0	0.0%
予定している	30	13.8%
まだ予定していない	114	52.3%
テレビは入れ替えしないでチューナなどで対応する	58	26.6%
入れ換えもしないし、対応もしない	5	2.3%
無回答	11	5.0%
計	218	100.0%

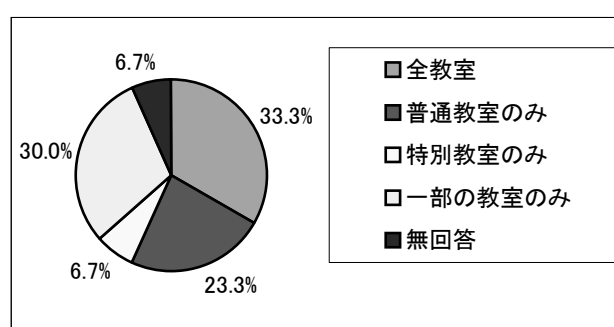


※平成 23 年のアナログ放送終了が間近に迫っているにもかかわらず、半数の地区でまだ入れ換えの予定がない。入れ換え等の計画を早急に作成することが望まれる。

1－9－3. 1－9－2で「すでに入れ換えた」「予定している」と回答された方にうかがいます。

1－9－3－1. 実施規模をおしえてください。

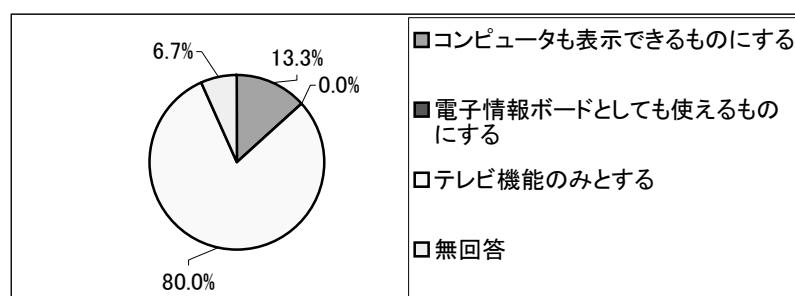
	計	
	実数	比率
全教室	10	33.3%
普通教室のみ	7	23.3%
特別教室のみ	2	6.7%
一部の教室のみ	9	30.0%
N. A.	2	6.7%
計	30	100.0%



※現在のテレビの設置状況（設問 1－9－1 参照）に対応した入れ換え規模となっている。

1－9－3－2. どのような機能がついていますか。

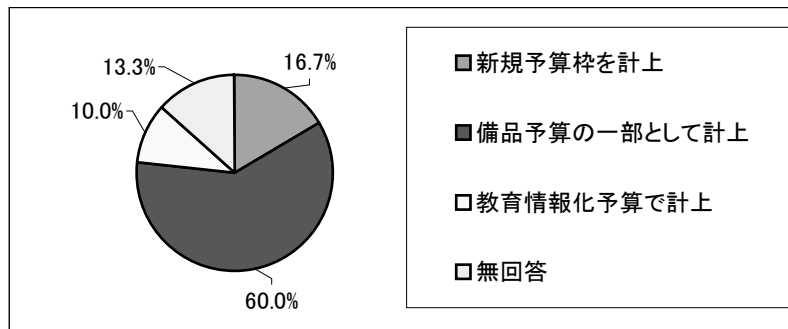
	計	
	実数	比率
コンピュータも表示できるものにする	4	13.3%
電子情報ボードとしても使えるものにする	0	0.0%
テレビ機能のみとする	24	80.0%
無回答	2	6.7%
計	30	100.0%



※「テレビ機能のみとする」が 80%を占めた。デジタル放送対応テレビはコンピュータの表示も容易であることから、合わせての機器活用が望ましいが、製品への十分な認知が進んでないと思われる。教育委員会及び現場において活用方法、効果をよく検討した上で、設置する機種を決定することが望まれる。

1－9－3－3．購入の予算はどのように措置されましたか。（もしくは予定されていますか）

	計	
	実数	比率
新規予算枠を計上	5	16.7%
備品予算の一部として計上	18	60.0%
教育情報化予算で計上	3	10.0%
無回答	4	13.3%
計	30	100.0%

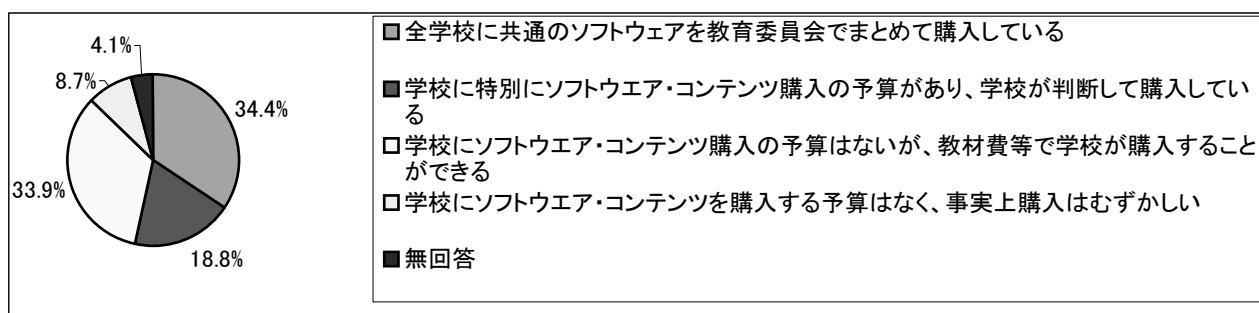


※「備品予算の一部として計上」が60.0%と圧倒的に多いが、その他の選択肢も10%を超えた。予算取りの工夫がうかがえるが、いずれにしても予算がないことが問題であり、新規予算枠として計上されることが望ましい。

教育委員会 2. ソフトウェア

2-1. 貴委員会では学校が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツを主にどのように購入していますか。

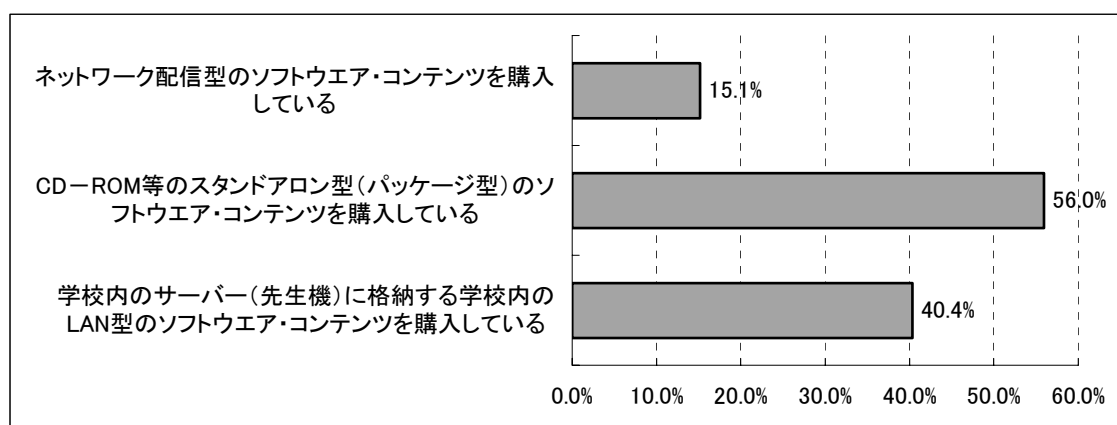
	計	
	実数	比率
全学校に共通のソフトウェアを教育委員会でまとめて購入している	75	34.4%
学校に特別にソフトウェア・コンテンツ購入の予算があり、学校が判断して購入している	41	18.8%
学校にソフトウェア・コンテンツ購入の予算はないが、教材費等で学校が購入することができる	74	33.9%
学校にソフトウェア・コンテンツを購入する予算はなく、事実上購入はむずかしい	19	8.7%
無回答	9	4.1%
計	218	100.0%



※「予算はなく、購入はむずかしい」は（7.7%→8.7%）と前回調査より増加しているが、「教育委員会でまとめて購入」が34.4%に対して、「学校に予算がある」「教材費等で学校が購入する」を合わせると52.7%となり、学校の予算の範囲で導入を考えていると思われる。

2-2. 貴委員会では学校が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツは主としてどのようなものを購入されていますか。（複数回答可）

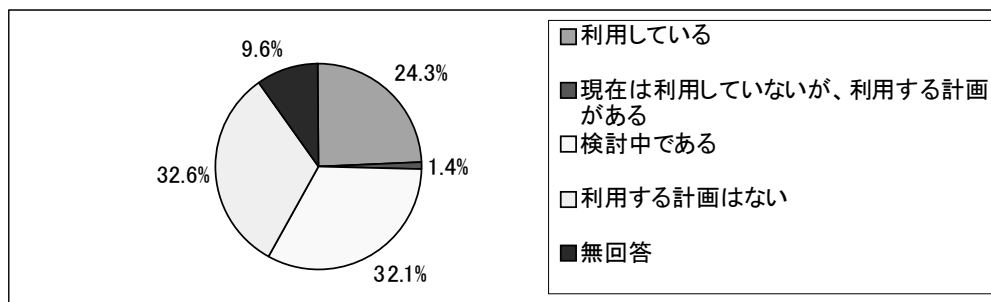
	計		
	実数	構成比	回答比
ネットワーク配信型のソフトウェア・コンテンツを購入している	33	13.6%	15.1%
CD-ROM等のスタンドアロン型（パッケージ型）のソフトウェア・コンテンツを購入している	122	50.2%	56.0%
学校内のサーバー（先生機）に格納する学校内のLAN型のソフトウェア・コンテンツを購入している	88	36.2%	40.4%
計	243	100.0%	111.5%



※「CD-ROM等のスタンドアロン型」の購入が回答比で56.0%と半数を超えており、「ネットワーク配信型」は15.1%に過ぎない。LANの整備率が低いことも大きい原因となっていると思われる。学校におけるハードウェアの状況、ネットワーク環境等を考えると、スタンドアロン型を購入せざるを得ないと思われる。

2-3. ネットワーク配信型のソフトウェア・コンテンツの利用状況についてうかがいます。

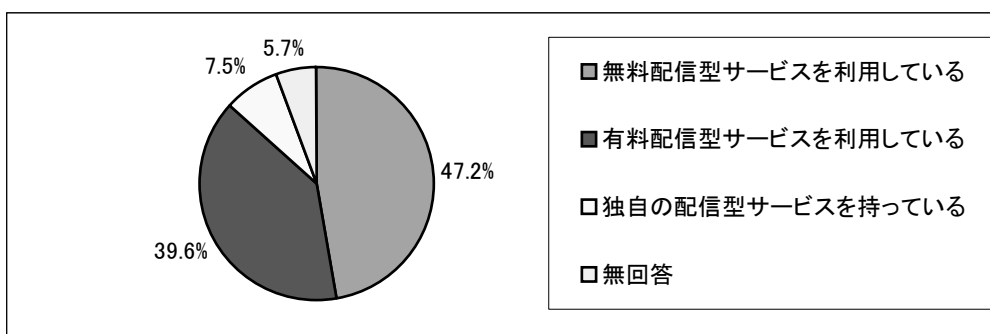
	計	
	実数	比率
利用している	53	24.3%
現在は利用していないが、利用する計画がある	3	1.4%
検討中である	70	32.1%
利用する計画はない	71	32.6%
無回答	21	9.6%
計	218	100.0%



※「利用している」「利用する計画がある」「検討中である」で 57.8% となっており、「ネットワーク配信型のソフトウェア・コンテンツ」を導入しようとする意欲は高い。一方「利用する計画はない」が 32.6% あるが、とりわけ中小規模の教育委員会ではサーバーの管理がネックになっていると思われる。

2-3-1. 利用している委員会にうかがいます。

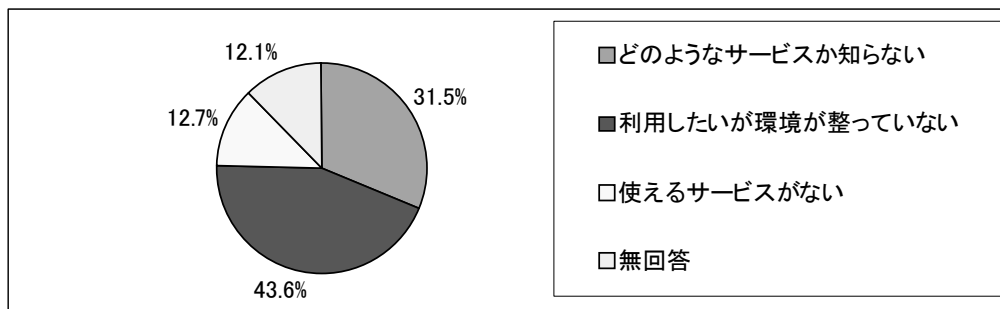
	計	
	実数	比率
無料配信型サービスを利用している	25	47.2%
有料配信型サービスを利用している	21	39.6%
独自の配信型サービスを持っている	4	7.5%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%



※47.2%の委員会が「無料配信型サービス」を利用している。利用するソフトウェア・コンテンツは学校の選択に任せており、学校では購入のための予算は少ないから「無料」に頼らざるを得ないのであろう。

2-3-2. 利用していない委員会にうかがいます。

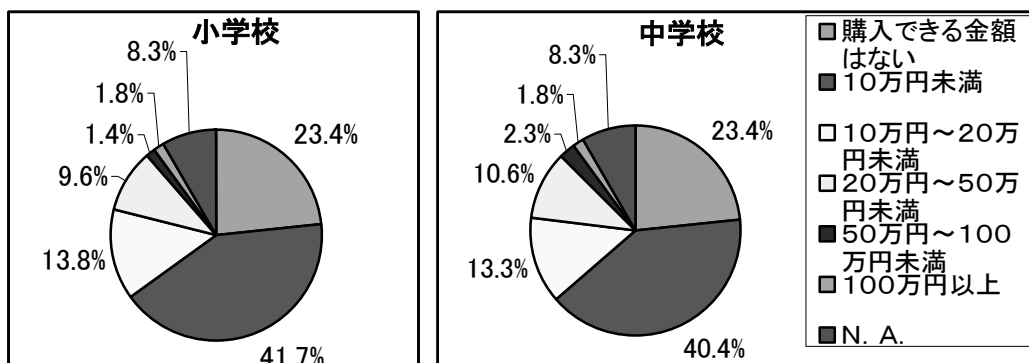
	計	
	実数	比率
どのようなサービスか知らない	52	31.5%
利用したいが環境が整っていない	72	43.6%
使えるサービスがない	21	12.7%
無回答	20	12.1%
計	165	100.0%



※「利用したいが環境が整っていない」が 43.6%を占めており、ハードウェアやネットワーク環境の整備の遅れが響いているようである。一方「どのようなサービスか知らない」と「使えるサービスがない」が合計で 44.2%あるが、ネットワーク配信型のソフトウェア・コンテンツがまだ十分に知られていないことがうかがえる。

2-4. 教育委員会では年間1校あたりどのくらいの学習用ソフトウェア・コンテンツを購入できますか。

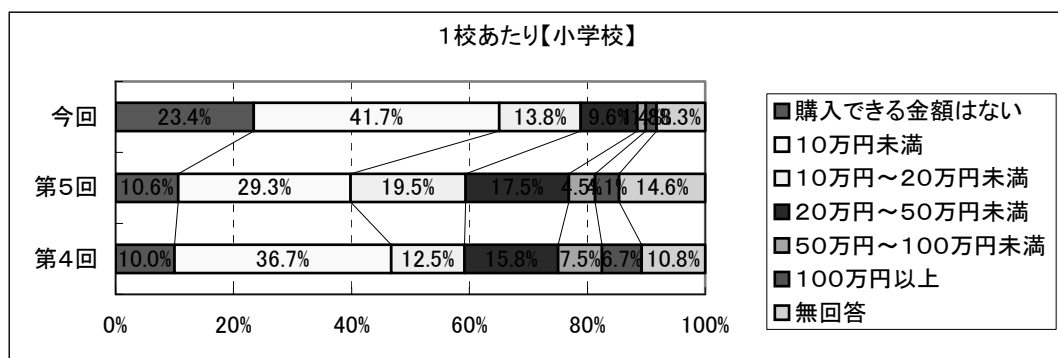
1校あたり	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
購入できる金額はない	51	23.4%	51	23.4%	102	23.4%
10万円未満	91	41.7%	88	40.4%	179	41.1%
10万円～20万円未満	30	13.8%	29	13.3%	59	13.5%
20万円～50万円未満	21	9.6%	23	10.6%	44	10.1%
50万円～100万円未満	3	1.4%	5	2.3%	8	1.8%
100万円以上	4	1.8%	4	1.8%	8	1.8%
N. A.	18	8.3%	18	8.3%	36	8.3%
計	218	100.0%	218	100.0%	436	100.0%



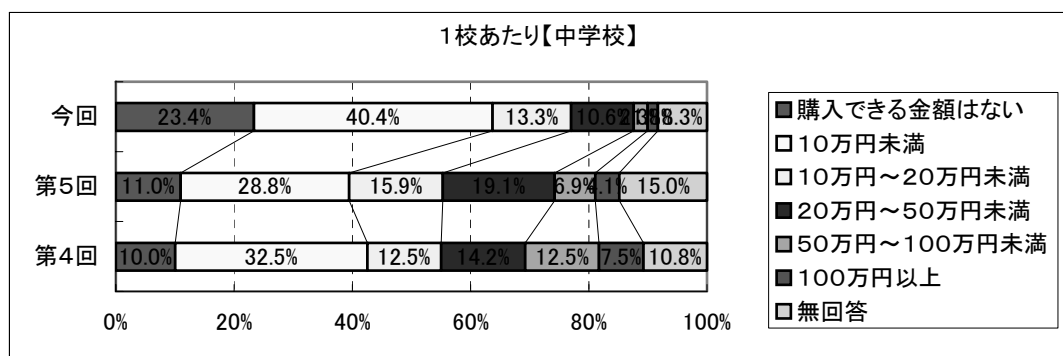
※小・中学校とも同じ傾向にある。購入金額は 20 万円未満の小・中学校が前回調査比で、小学校（59.4%→78.9%）、中学校（57.2%→77.1%）と大幅に上昇している。20 万円未満の予算ではほとんどソフトウェア・コンテンツの購入は難しいが、75%以上の教育委員会がこの状況におかれていることは問題である。とりわけ前回調査と比較して 20 万円未満の委員会が大幅に上昇しているのは（57.2%→78.0%）、ハードウェアやインフラは IT 新改革戦略の数値目標もありどうにか進んでいるが、ソフトウェア・コンテンツは大幅に削減されている状態が示されている。

なお、この項目は過去 2 回の調査でも全く同じ設問を行っている。その変化は下記の通りである
調査年次は、第 4 回調査（平成 15 年）第 5 回調査（平成 17 年）今回調査（平成 19 年）である。

1校あたり（小学校）	第4回	第5回	今回
購入できる金額はない	10.0%	10.6%	23.4%
10万円未満	36.7%	29.3%	41.7%
10万円～20万円未満	12.5%	19.5%	13.8%
20万円～50万円未満	15.8%	17.5%	9.6%
50万円～100万円未満	7.5%	4.5%	1.4%
100万円以上	6.7%	4.1%	1.8%
無回答	10.8%	14.6%	8.3%



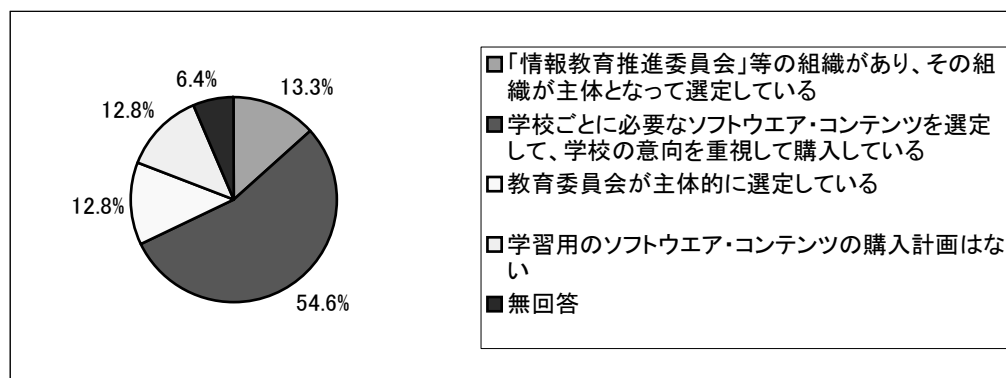
1校あたり（中学校）	第4回	第5回	今回
購入できる金額はない	10.0%	11.0%	23.4%
10万円未満	32.5%	28.8%	40.4%
10万円～20万円未満	12.5%	15.9%	13.3%
20万円～50万円未満	14.2%	19.1%	10.6%
50万円～100万円未満	12.5%	6.9%	2.3%
100万円以上	7.5%	4.1%	1.8%
無回答	10.8%	15.0%	8.3%



※小・中学校とも購入できる金額が減ってきている。ハードウェアの整備に伴って、ソフトウェア・コンテンツの予算を増額していく必要性がある。

２－５． 貴教育委員会が購入する学習用ソフトウェア・コンテンツの選定は主にどのようになっていますか。

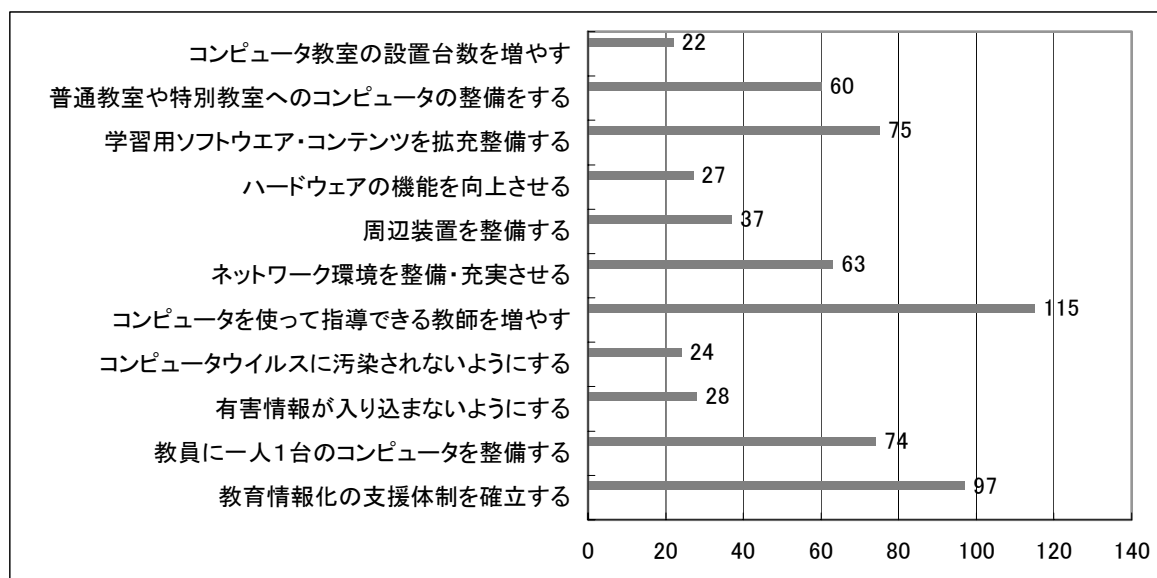
	計	
	実数	比率
「情報教育推進委員会」等の組織があり、その組織が主体となって選定している	29	13.3%
学校ごとに必要なソフトウェア・コンテンツを選定して、学校の意向を重視して購入している	119	54.6%
教育委員会が主体的に選定している	28	12.8%
学習用のソフトウェア・コンテンツの購入計画はない	28	12.8%
無回答	14	6.4%
計	218	100.0%



※「学校ごとに必要なソフトウェア・コンテンツを選定」が 54.6%であり、学校の意向に応じて選定・購入をする傾向が見られる。

２－６． 貴教育委員会でコンピュータ活用をより活性化するために必要なことは何でしょうか。より必要と思われるものを3つまで選択してください。

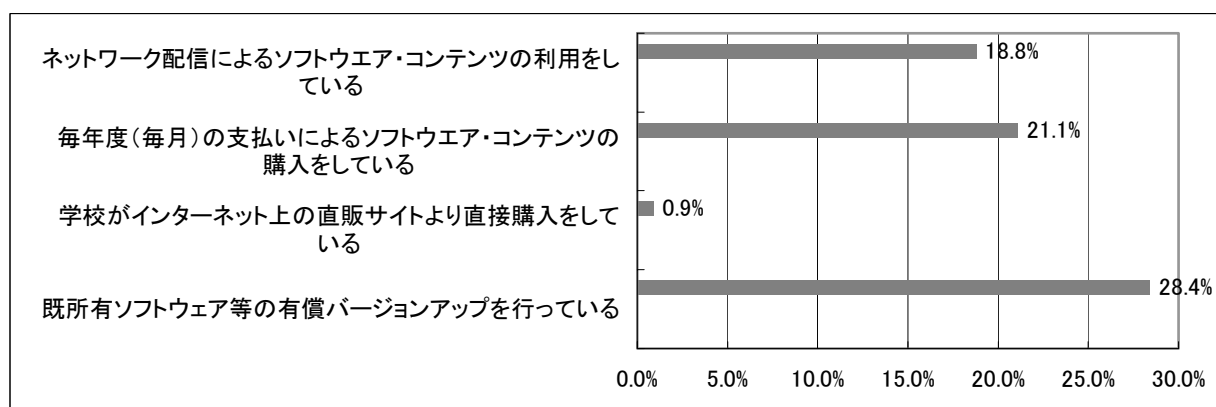
	計		
	実数	構成比	回答比
コンピュータ教室の設置台数を増やす	22	3.5%	10.1%
普通教室や特別教室へのコンピュータの整備をする	60	9.6%	27.5%
学習用ソフトウェア・コンテンツを拡充整備する	75	12.1%	34.4%
ハードウェアの機能を向上させる	27	4.3%	12.4%
周辺装置を整備する	37	5.9%	17.0%
ネットワーク環境を整備・充実させる	63	10.1%	28.9%
コンピュータを使って指導できる教師を増やす	115	18.5%	52.8%
コンピュータウイルスに汚染されないようにする	24	3.9%	11.0%
有害情報が入り込まないようにする	28	4.5%	12.8%
教員に一人1台のコンピュータを整備する	74	11.9%	33.9%
教育情報化の支援体制を確立する	97	15.6%	44.5%
計	622	100.0%	285.3%



※「コンピュータを使って指導できる教師を増やす」「教育情報化の支援体制を確立する」「学習用ソフトウェア・コンテンツを拡充整備する」「教員に一人1台のコンピュータを整備する」が上位となっている。これらの必要性に対してより具体的な施策を行う必要があると思われる。

2-7. 貴教育委員会では次のような購入（利用）を行っていますか。（複数回答可）

	計		
	実数	構成比	回答比
ネットワーク配信によるソフトウェア・コンテンツの利用をしている	41	27.2%	18.8%
毎年度（毎月）の支払いによるソフトウェア・コンテンツの購入をしている	46	30.5%	21.1%
学校がインターネット上の直販サイトより直接購入をしている	2	1.3%	0.9%
既所有ソフトウェア等の有償バージョンアップを行っている	62	41.1%	28.4%
計	151	100.0%	69.3%

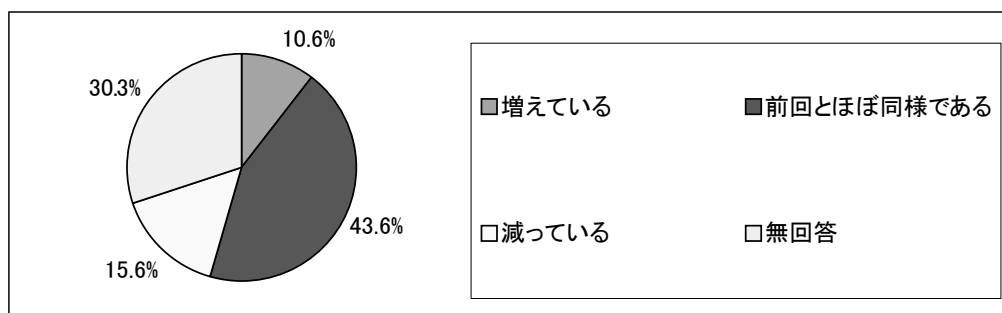


※「ネットワーク配信によるソフトウェア・コンテンツの利用をしている」のは 18.8%であり、「毎年度（毎月）の支払いによるソフトウェア・コンテンツの購入をしている」は 21.1%ある。一方「学校がインターネット上の直販サイトより直接購入をしている」は 0.8%しかない。また、「既所有ソフトウェア等の有償バージョンアップを行っている」は 28.4%となっている。

貴教育委員会が最近（18年度・19年度）コンピュータの新規導入（または入れ替え）を行った学校についてうかがいます。

2－8. コンピュータ導入を行った学校では学習用ソフトウェア・コンテンツの購入費用は前回の導入時と比べて増えていますか、あるいは減っていますか。

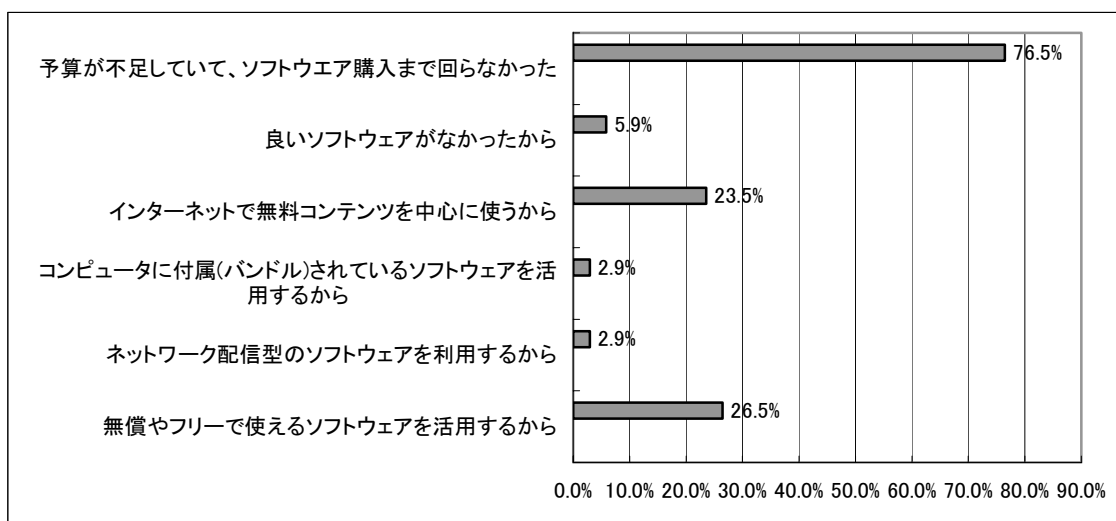
	計	
	実数	比率
増えている	23	10.6%
前回とほぼ同様である	95	43.6%
減っている	34	15.6%
無回答	66	30.3%
計	218	100.0%



※「増えている」が前回調査比で(20.7%→10.6%)とほぼ半減している。

2－9. 前問(2－8.)で減っていると答え頂いた場合、その主な理由は何のようなものですか。
(複数回答可.)

	計		
	実数	構成比	回答比
予算が不足していて、ソフトウェア購入まで回らなかった	26	55.3%	76.5%
良いソフトウェアがなかったから	2	4.3%	5.9%
インターネットで無料コンテンツを中心に使うから	8	17.0%	23.5%
コンピュータに付属(バンドル)されているソフトウェアを活用するから	1	2.1%	2.9%
ネットワーク配信型のソフトウェアを利用するから	1	2.1%	2.9%
無償やフリーで使えるソフトウェアを活用するから	9	19.1%	26.5%
計	47	100.0%	138.2%



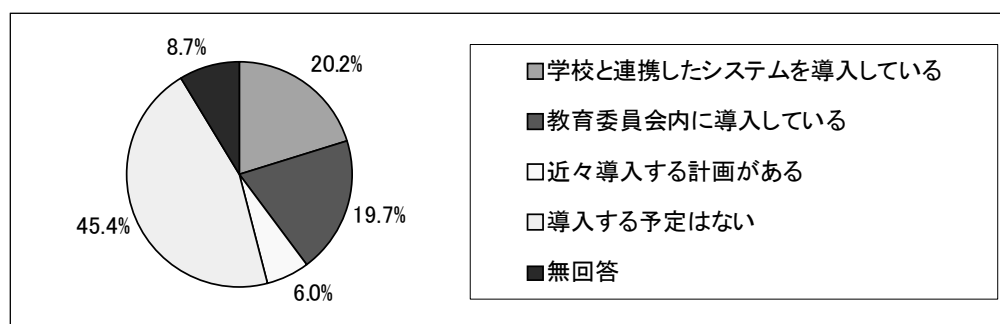
※「予算が不足していて、ソフトウェア購入まで回らなかった」が76.5%となっている。一方「インターネットで

無料コンテンツを中心に使うから」23.5%や「無償やフリーで使えるソフトウェアを活用するから」26.5%の割合が高くなっている。予算がないために無償やフリーのソフトウェア・コンテンツに頼らざるを得ないのが実情であらう。

2－10．教育委員会事務について

2－10－1．教育委員会事務システムの導入状況をうかがいます。

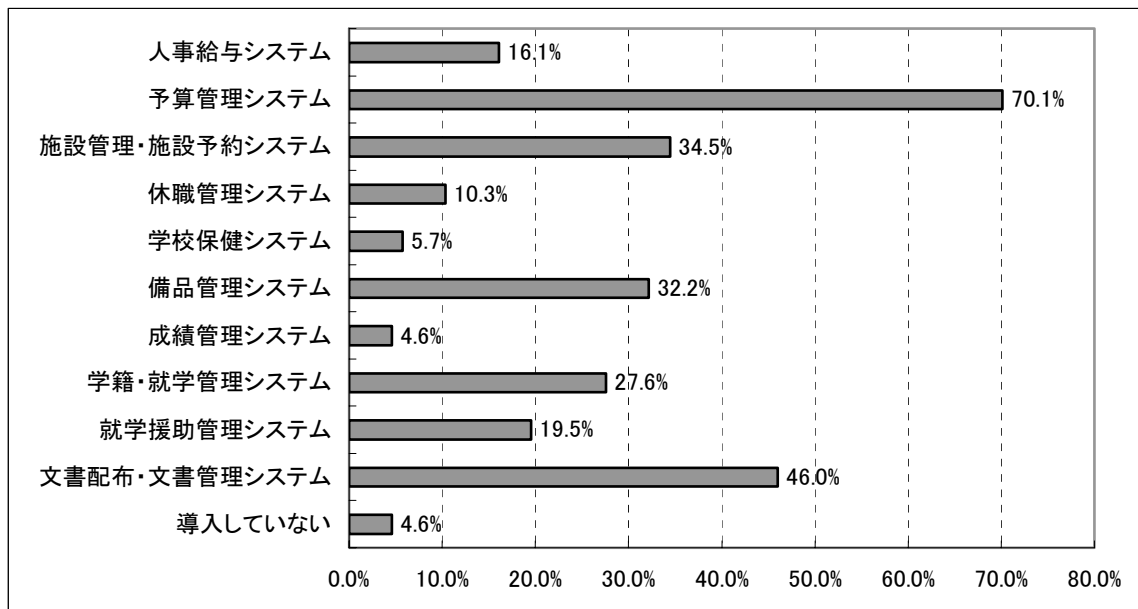
	計	
	実数	比率
学校と連携したシステムを導入している	44	20.2%
教育委員会内に導入している	43	19.7%
近々導入する計画がある	13	6.0%
導入する予定はない	99	45.4%
無回答	19	8.7%
計	218	100.0%



※45.9%が何らかの「教育委員会事務システム」を導入済み・計画中である。一方45.4%は「導入する予定はない」としている。

2－10－2．教育委員会ではどのような事務システムを導入していますか。（複数回答可）

	計		
	実数	構成比	回答比
人事給与システム	14	5.9%	16.1%
予算管理システム	61	25.8%	70.1%
施設管理・施設予約システム	30	12.7%	34.5%
休職管理システム	9	3.8%	10.3%
学校保健システム	5	2.1%	5.7%
備品管理システム	28	11.9%	32.2%
成績管理システム	4	1.7%	4.6%
学籍・就学管理システム	24	10.2%	27.6%
就学援助管理システム	17	7.2%	19.5%
文書配布・文書管理システム	40	16.9%	46.0%
導入していない	4	1.7%	4.6%
計	236	100.0%	271.3%



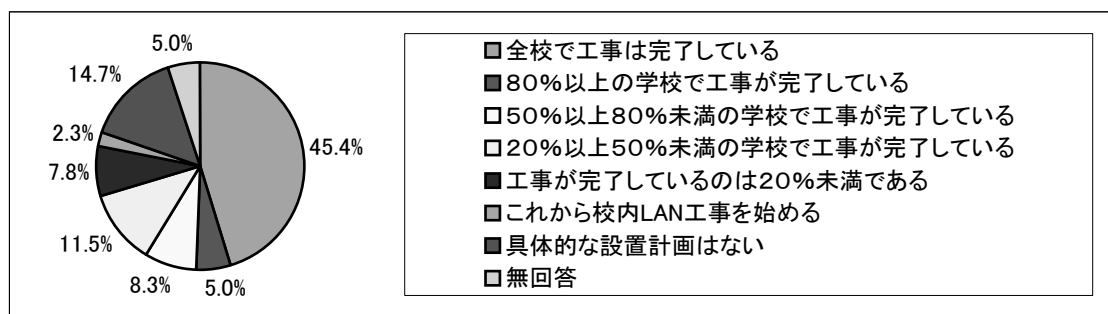
※「予算管理システム」が 70.1%を占めている。一方「成績管理システム」や「学校保健システム」を導入しているところは少数である。

教育委員会 3. ネットワーク

3-1. 校内ネットワーク（校内LAN）の整備について

3-1-1. 校内ネットワーク（校内LAN）の整備状況についてうかがいます。

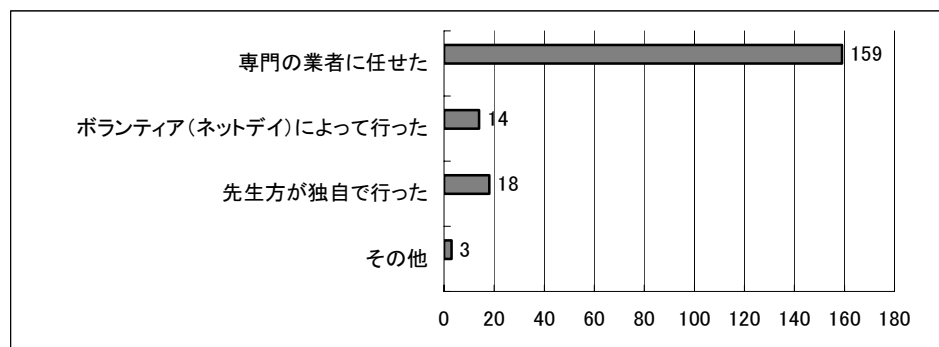
	計	
	実数	比率
全校で工事は完了している	99	45.4%
80%以上の学校で工事が完了している	11	5.0%
50%以上80%未満の学校で工事が完了している	18	8.3%
20%以上50%未満の学校で工事が完了している	25	11.5%
工事が完了しているのは20%未満である	17	7.8%
これから校内LAN工事を始める	5	2.3%
具体的な設置計画はない	32	14.7%
無回答	11	5.0%
計	218	100.0%



※「80%以上の学校で工事が完了している」が50.4%で、文部科学省の2005年目標には及ばない現状である。また、20%未満を含め今後も工事の予定がない教育委員会が24.8%もある現状は目標達成にまだまだ厳しい実態と言える。

3-1-2. 校内LANの工事はどのように行いましたか。（複数回答可）

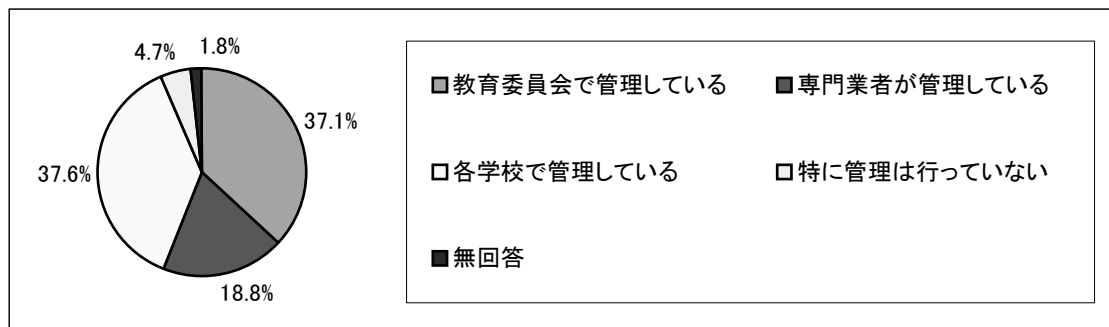
	計		
	実数	構成比	回答比
専門の業者に任せた	159	82.0%	93.5%
ボランティア（ネットデイ）によって行った	14	7.2%	8.2%
先生方が独自で行った	18	9.3%	10.6%
その他	3	1.5%	1.8%
計	194	100.0%	114.1%



※ネットデイが一部の自治体で注目されているが、実際にネットデイを活用しているのは8.2%と少ない。セキュリティ対策や今後、校内LANが教育委員会や自治体のネットワークに接続される可能性を考えると、専門の業者に委託するのが望ましい。

3-1-3. IPアドレスの管理はどのようにされていますか。

	計	
	実数	比率
教育委員会で管理している	63	37.1%
専門業者が管理している	32	18.8%
各学校で管理している	64	37.6%
特に管理は行っていない	8	4.7%
無回答	3	1.8%
計	170	100.0%

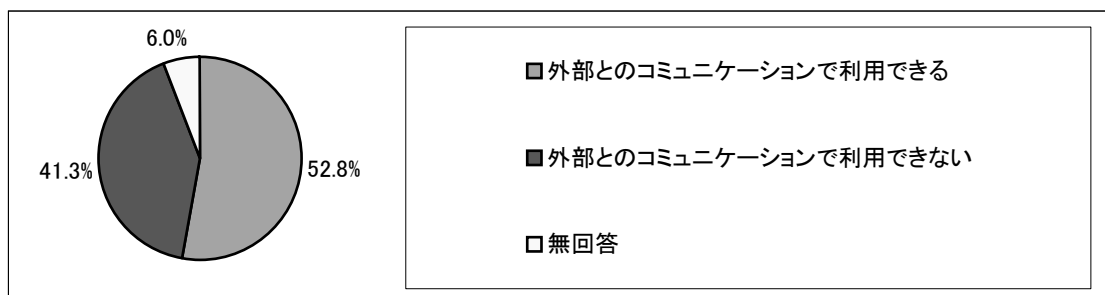


※「教育委員会で管理している」が37.1%と低い現状である。更に37.6%が各学校で管理されており、現場の教員の負担がかなり大きいと考えられる。

3-2. 校内ネットワークの外部とのコミュニケーションでの利用について

3-2-1. 校内ネットワークを外部とのコミュニケーションで利用できる仕組みになっていますか。

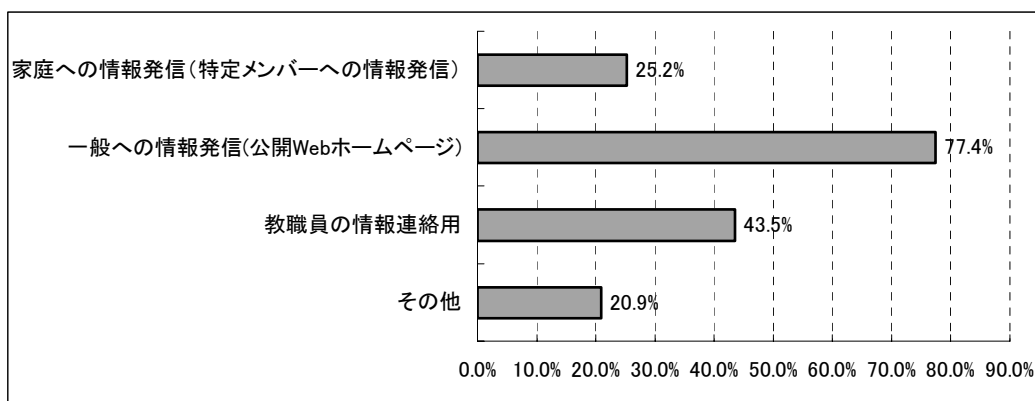
	計	
	実数	比率
外部とのコミュニケーションで利用できる	115	52.8%
外部とのコミュニケーションで利用できない	90	41.3%
無回答	13	6.0%
計	218	100.0%



※半数以上の教育委員会で外部との双方向コミュニケーションにネットワークが利用されている。しかし、まだ41.3%が外部とのコミュニケーションに利用できず、より一層の校内LANの有効活用が望まれる。

3-2-2. 外部とのコミュニケーションは、どのような目的で利用していますか。(複数回答可)

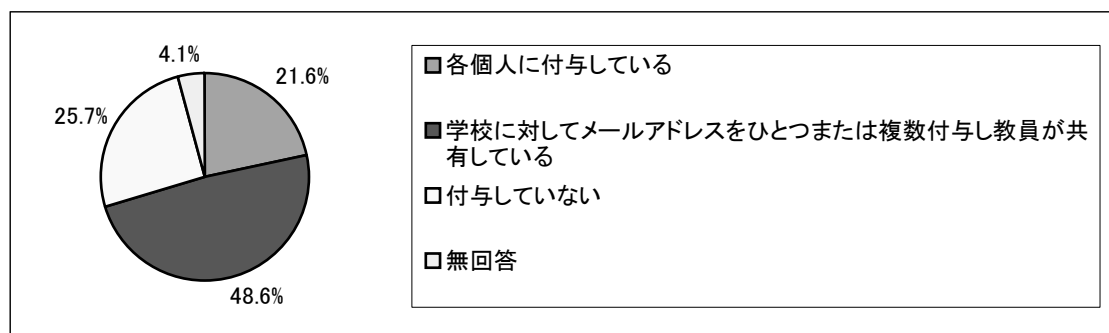
	計		
	実数	構成比	回答比
家庭への情報発信(特定メンバーへの情報発信)	29	15.1%	25.2%
一般への情報発信(公開Webホームページ)	89	46.4%	77.4%
教職員の情報連絡用	50	26.0%	43.5%
その他	24	12.5%	20.9%
	192	100.0%	167.0%



※43.5%が教職員の連絡に活用されており、校務の効率化の手段として校内LANの活用目的が広がっている。また、家庭とのコミュニケーション手段として25.2%が利用しており、需要が高まっていることが考えられる。

3-2-3. 教育委員会としてメールアドレスを教員に付与していますか。

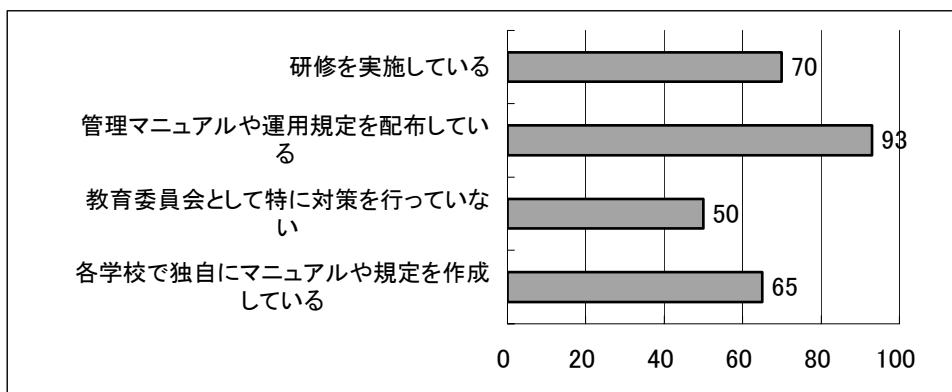
	計	
	実数	比率
各個人に付与している	47	21.6%
学校に対してメールアドレスをひとつまたは複数付与し教員が共有している	106	48.6%
付与していない	56	25.7%
無回答	9	4.1%
計	218	100.0%



※「各個人に付与している」は21.6%にすぎず、ネットワーク活用に関しては一般企業・組織からは大きく遅れている実態がある。これは教員一人1台のコンピュータ設置環境が遅れていることに原因があると考えられ、一層の普及促進が望まれる。

3-2-4. メールアドレスの管理や電子メールに関する情報モラル教育を実施したり、指針を学校に配布したりしていますか。(複数回答可)

	計		
	実数	構成比	回答比
研修を実施している	70	25.2%	32.1%
管理マニュアルや運用規定を配布している	93	33.5%	42.7%
教育委員会として特に対策を行っていない	50	18.0%	22.9%
各学校で独自にマニュアルや規定を作成している	65	23.4%	29.8%
計	278	100.0%	127.5%

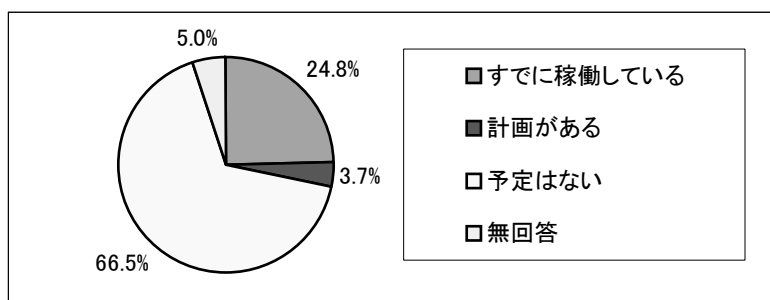


※「研修を実施している」が32.1%にすぎず、「特に対策を行っていない」も22.9%もあり、関心が低くなってきていると思われる。全国で情報漏えい事件等が多発していることから、積極的な対策が望まれる。

3-3. 地域ネットワークセンターについて

3-3-1. 地域ネットワークセンターは設置されていますか。

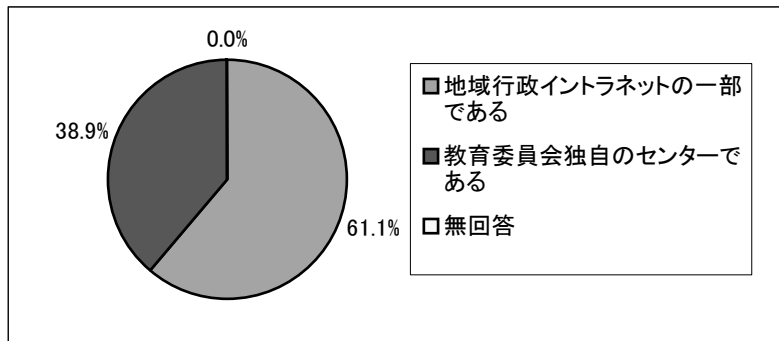
	計	
	実数	比率
すでに稼働している	54	24.8%
計画がある	8	3.7%
予定はない	145	66.5%
無回答	11	5.0%
計	218	100.0%



※地域ネットワークセンターによるネットワークの集約は、28.5%の自治体で実施もしくは実施予定となっており低い結果となった。これは前回調査が大きな自治体の比率が高かったためと考えられる（「すでに稼働している」42.7%→24.8%）。予定のない教育委員会では学校が直接インターネットに接続していると考えられ、ネットワーク管理面での教職員の負担が心配である。

3-3-2. 地域ネットワークセンターの位置づけについてうかがいます。

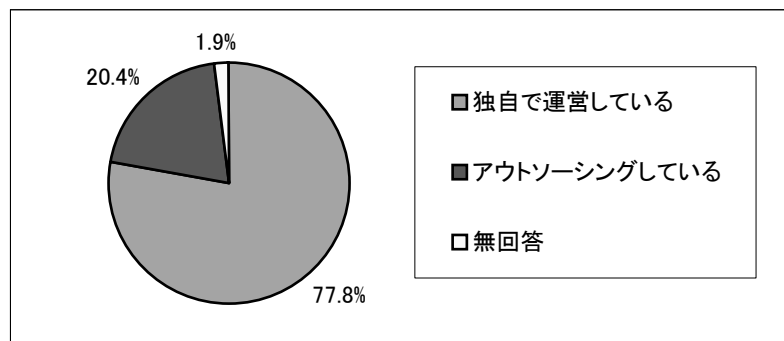
	計	
	実数	比率
地域行政イントラネットの一部である	33	61.1%
教育委員会独自のセンターである	21	38.9%
無回答	0	0.0%
計	54	100.0%



※61.1%が「地域行政イントラネットの一部である」としてネットワークを構築している。今回の回答では比較的小規模な自治体が多かったため、小規模自治体では教育ネットワークが地域行政イントラネットの一部に組み込まれている現状が浮き彫りとなった。

3-3-3. 地域ネットワークセンターの運営に関してうかがいます。

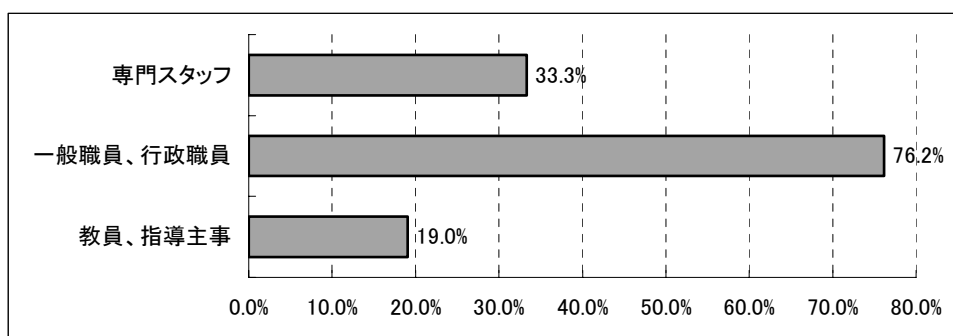
	計	
	実数	比率
独自で運営している	42	77.8%
アウトソーシングしている	11	20.4%
無回答	1	1.9%
計	54	100.0%



※地域ネットワークセンターの 77.8%が独自に運営しており、自治体ネットワーク管理と一緒に考えている。また、アウトソーシングが 20.4%で、今後セキュリティ面でより高度な管理が必要となってきた時の専門家の配置が課題であると考えられる。

3-3-4. 地域ネットワークセンターの運営要員はどのような方ですか。（複数回答可）

	計		
	実数	構成比	回答比
教員、指導主事	14	25.9%	33.3%
一般職員、行政職員	32	59.3%	76.2%
専門スタッフ	8	14.8%	19.0%
計	54	100.0%	128.6%

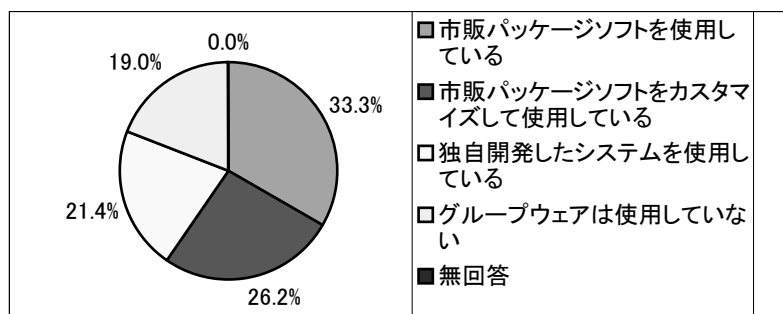


※「一般職員・行政職員」が76.2%、「教員、指導主事」も33.3%となっている。現場職員の作業負担に頼っている実態があると考えられる。今後より高度な技術やセキュリティが必要になることを考えると、専門スタッフや外部委託等の対策が必要である。

3-3-5. 地域ネットワークセンター内で使用しているグループウェアについて

3-3-5-1. どのようなグループウェアを使用されていますか。

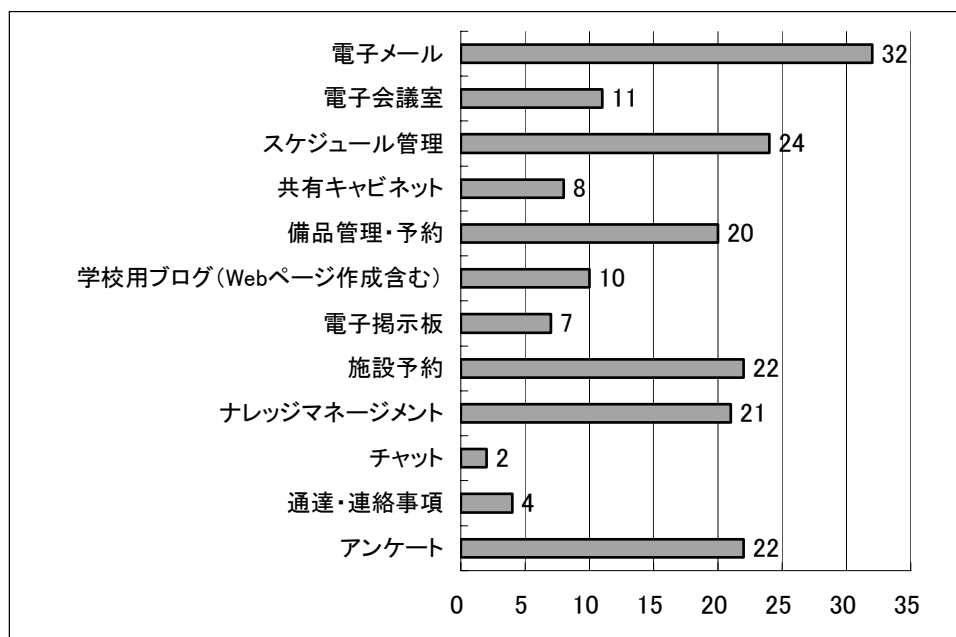
	計	
	実数	比率
市販パッケージソフトを使用している	14	33.3%
市販パッケージソフトをカスタマイズして使用している	11	26.2%
独自開発したシステムを使用している	9	21.4%
グループウェアは使用していない	8	19.0%
無回答	0	0.0%
計	42	100.0%



※グループウェアが80.9%で活用されており、コミュニケーションツールの運用が積極的に図られていると考えられる。

3-3-5-2. グループウェアの機能について以下の項目から該当するものをお選びください。(複数回答可)

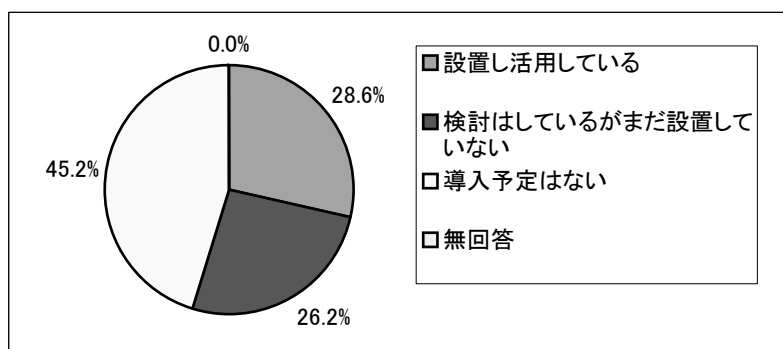
	計		
	実数	構成比	回答比
電子メール	32	17.5%	76.2%
電子会議室	11	6.0%	26.2%
スケジュール管理	24	13.1%	57.1%
共有キャビネット	8	4.4%	19.0%
備品管理・予約	20	10.9%	47.6%
学校用ブログ (Web ページ作成含む)	10	5.5%	23.8%
電子掲示板	7	3.8%	16.7%
施設予約	22	12.0%	52.4%
ナレッジマネジメント	21	11.5%	50.0%
チャット	2	1.1%	4.8%
通達・連絡事項	4	2.2%	9.5%
アンケート	22	12.0%	52.4%
計	183	100.0%	435.7%



※電子メールの導入が進んでいるが、教員一人1台の環境がまだまだ遅れているため、通達・連絡事項の活用が遅れていると考えられる。

3-3-6. 地域ネットワークセンター内で使用する教育情報データベースに関してうかがいます。

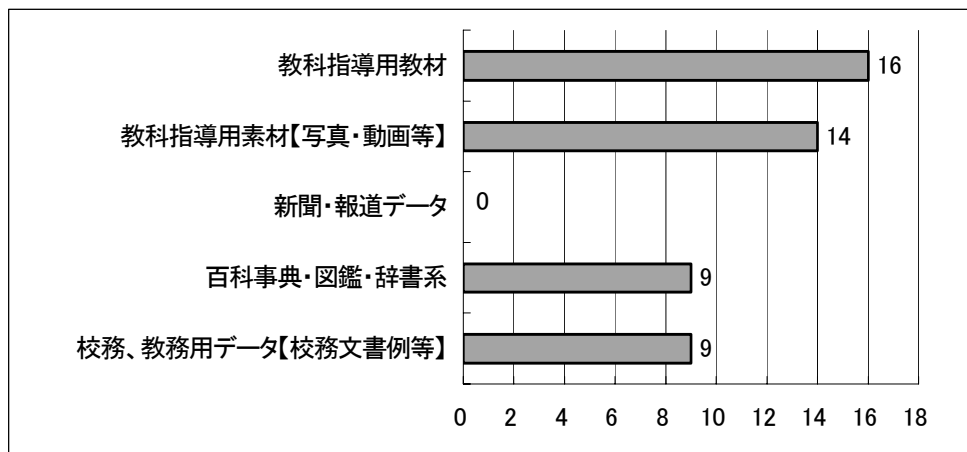
	計	
	実数	比率
設置し活用している	12	28.6%
検討はしているがまだ設置していない	11	26.2%
導入予定はない	19	45.2%
無回答	0	0.0%
計	42	100.0%



※教育情報データベースを「設置し活用している」(23.2%→28.6%)、「検討はしているがまだ設置していない」(15.4%→26.2%)と前回に比べて増えている。今後校内LANが普及し、プロジェクタや電子情報ボードの整備が進み、普通教室でのコンピュータ活用が活発化すると、教育情報データベースの必要性が増すと予想される。

3-3-7. 導入コンテンツ及び導入希望教育ソフトウェアを次からお選びください。(複数回答可)

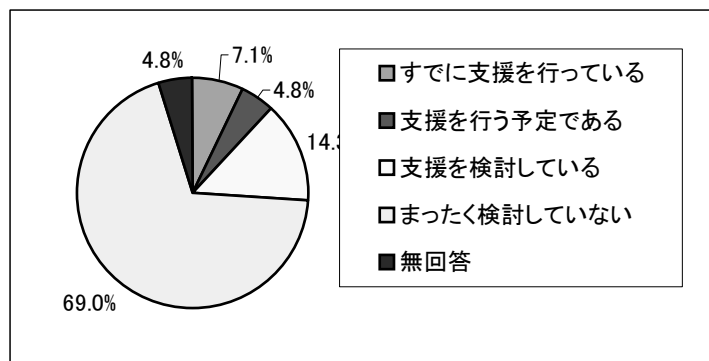
	計		
	実数	構成比	回答比
教科指導用教材	16	33.3%	38.1%
教科指導用素材【写真・動画等】	14	29.2%	33.3%
新聞・報道データ	0	0.0%	0.0%
百科事典・図鑑・辞書系	9	18.8%	21.4%
校務、教務用データ【校務文書例等】	9	18.8%	21.4%
計	48	100.0%	114.3%



※「教科指導用教材・素材」が71.4%で最も多い。「校務、教務用データ」は21.4%に留まっている。前回調査では「新聞・報道データ」は8.1%であったが、今回は0%となった。

3-3-8. 地域ネットワークを活用して行う、不登校児童・生徒や、院内学級、長期欠席児童・生徒への教育支援についてうかがいます。

	計	
	実数	構成比
すでに支援を行っている	3	7.1%
支援を行う予定である	2	4.8%
支援を検討している	6	14.3%
まったく検討していない	29	69.0%
無回答	2	4.8%
計	42	100.0%

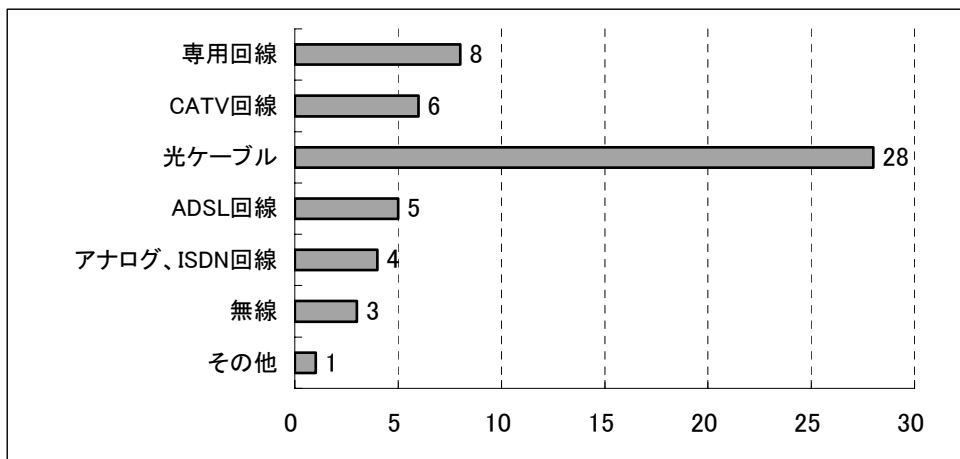


※「まったく検討していない」が69.0%と、地域ネットワークを活用した教育支援は低く、従来の人的な教育支援に留まっていると考えられる。

3-4. 学校と地域ネットワークセンターとの接続状況について

3-4-1. どのような回線で接続されていますか。(複数回答可)

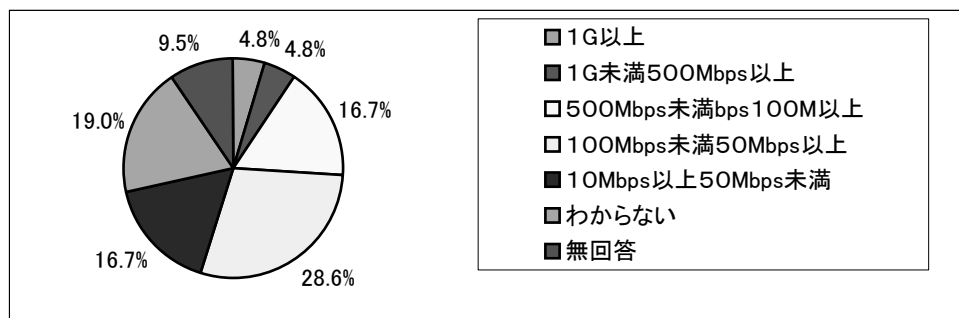
	計		
	実数	構成比	回答比
専用回線	8	14.5%	19.0%
CATV 回線	6	10.9%	14.3%
光ケーブル	28	50.9%	66.7%
ADSL 回線	5	9.1%	11.9%
アナログ、ISDN 回線	4	7.3%	9.5%
無線	3	5.5%	7.1%
その他	1	1.8%	2.4%
計	55	100.0%	131.0%



※「光ケーブル」が 66.7%、「専用回線」19.0%、「CATV回線」14.3%、「ADSL回線」11.9%と続いており、ブロードバンド化が進んでいると考えられる。

3-4-2. 回線速度についてうかがいます。

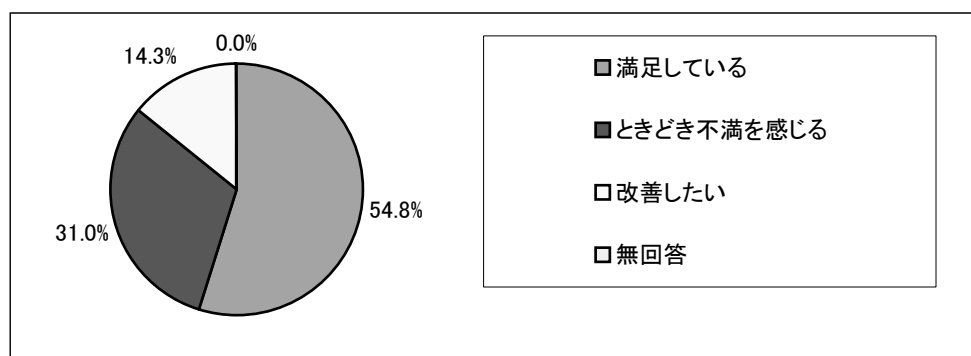
(42)	計	
	実数	比率
1G以上	2	4.8%
1G未満500Mbps以上	2	4.8%
500Mbps未満bps100M以上	7	16.7%
100Mbps未満50Mbps以上	12	28.6%
10Mbps以上50Mbps未満	7	16.7%
わからない	8	19.0%
無回答	4	9.5%
計	42	100.0%



※ブロードバンド化が進んできているものの、高速インターネット接続 100%の目標には至っていないのが現状である。教育委員会レベルで「わからない」という回答が 19.0%なのは問題である。

3-4-3. 現在使用されている回線速度に満足しているかがいます。

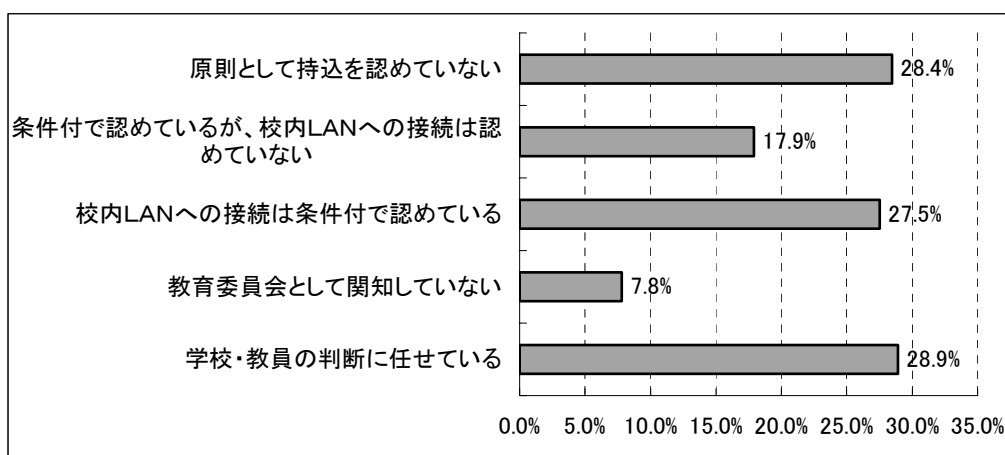
	計	
	実数	比率
満足している	23	54.8%
ときどき不満を感じる	13	31.0%
改善したい	6	14.3%
無回答	0	0.0%
計	42	100.0%



※54.8%が現在の回線速度に満足しているが、今後接続するパソコン台数が増えてくると不満や改善が必要なケースが増えてくると予想される。

3-5. ICTを活用した授業や学校事務・校務システムを行うにあたって教員個人所有のコンピュータの学校への持ち込み使用についてうかがいます。(複数回答可)

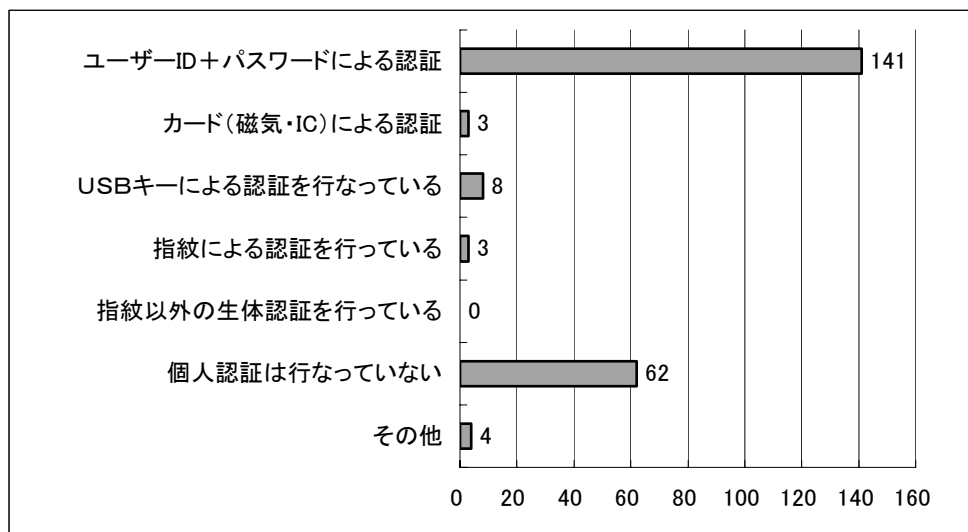
	計		
	実数	構成比	回答比
原則として持込を認めていない	62	25.7%	28.4%
条件付で認めているが、校内LANへの接続は認めていない	39	16.2%	17.9%
校内LANへの接続は条件付で認めている	60	24.9%	27.5%
教育委員会として関知していない	17	7.1%	7.8%
学校・教員の判断に任せている	63	26.1%	28.9%
計	241	100.0%	110.6%



※「校内LANへの接続は条件付で認めている」「学校・教員の判断に任せている」を合わせて56.4%が持ち込みを認めるまたは学校に任せており、早急なセキュリティポリシーの確立と教員一人1台の整備が必要である。

3-6. 学校に導入しているコンピュータにログインする場合の個人認証に関してうかがいます。(複数回答可)

	計		
	実数	構成比	回答比
ユーザーID+パスワードによる認証	141	63.8%	64.7%
カード(磁気・IC)による認証	3	1.4%	1.4%
USBキーによる認証を行なっている	8	3.6%	3.7%
指紋による認証を行っている	3	1.4%	1.4%
指紋以外の生体認証を行っている	0	0.0%	0.0%
個人認証は行なっていない	62	28.1%	28.4%
その他	4	1.8%	1.8%
計	221	100.0%	101.4%

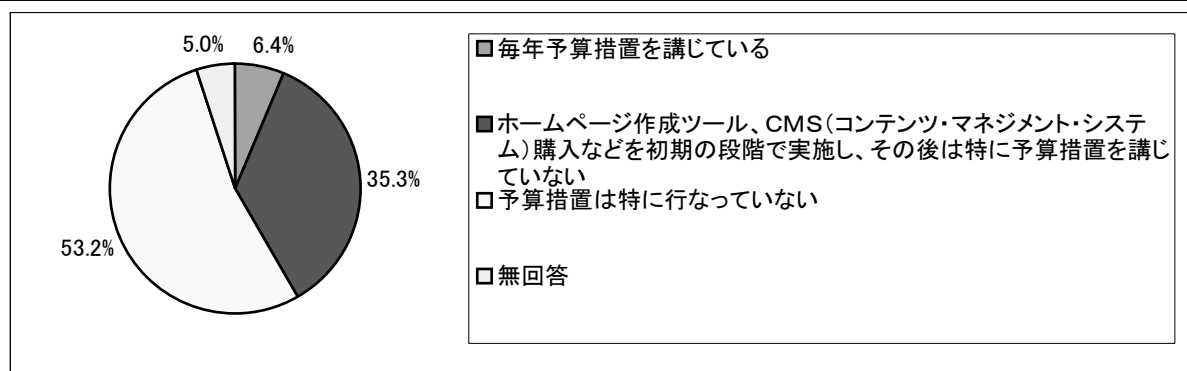


※28.4%が個人認証を行っておらず、個人情報保護の重要性から早急の対策が必要である。また、USBキーによる認証が出てきていることも注目されるがまだまだ少ない状況である。

3-7. 学校ホームページの運用について

3-7-1. 学校のホームページ作成、運用に関して、教育委員会として予算措置を講じていますか。

	計	
	実数	比率
毎年予算措置を講じている	14	6.4%
ホームページ作成ツール、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)購入などを初期の段階で実施し、その後は特に予算措置を講じていない	77	35.3%
予算措置は特に行なっていない	116	53.2%
無回答	11	5.0%
計	218	100.0%

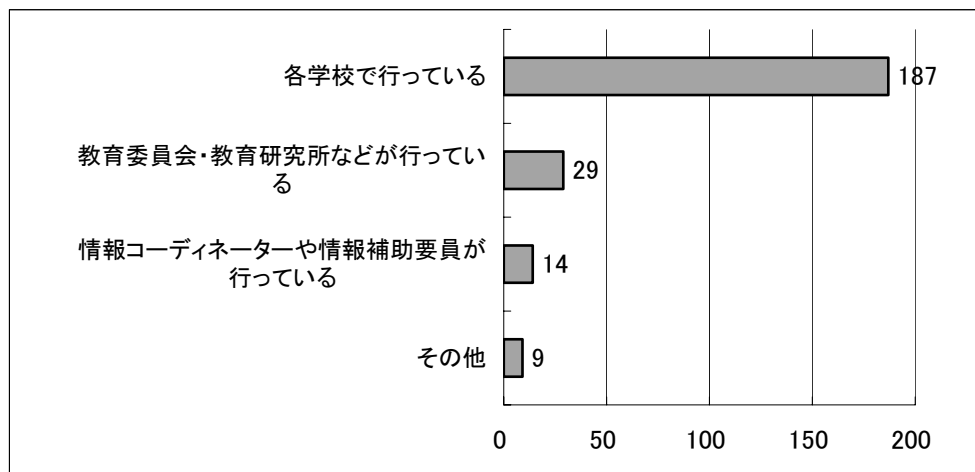


※学校ホームページによる情報発信の活用が期待されている中「毎年予算措置を講じている」は 6.4%にすぎない。

88.5%がホームページ運用のための予算措置がされておらず厳しい実態と言える。

3-7-2. 日常の運営・維持管理はどなたが行っているかがいます。(複数回答可)

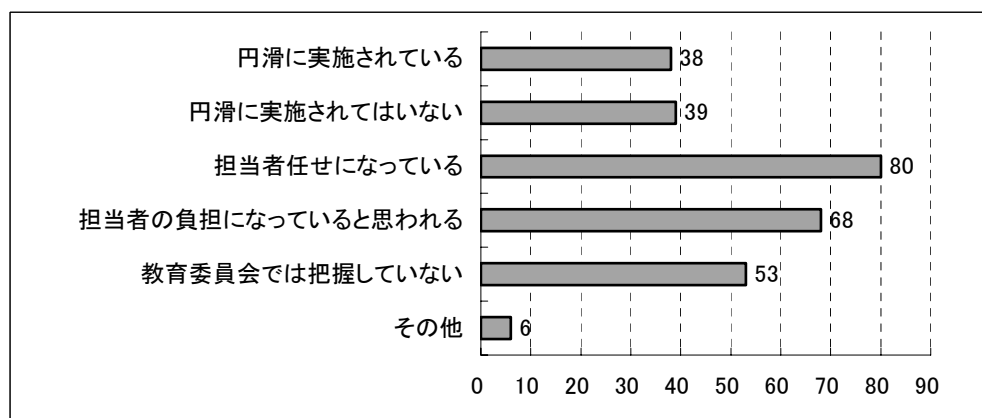
	計		
	実数	構成比	回答比
各学校で行っている	187	78.2%	85.8%
教育委員会・教育研究所などが行っている	29	12.1%	13.3%
情報コーディネーターや情報補助要員が行っている	14	5.9%	6.4%
その他	9	3.8%	4.1%
計	239	100.0%	109.6%



※85.8%が各学校に任されている。教育委員会を含めた組織的な運営・維持管理の仕組み作りが必要である。

3-7-3. 学校ホームページの更新作業についてうかがいます。(複数回答可)

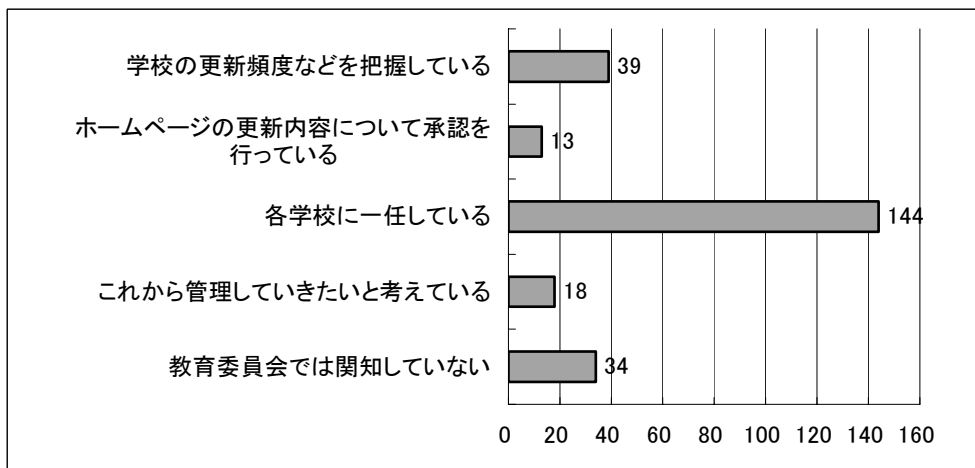
	計		
	実数	構成比	回答比
円滑に実施されている	38	13.4%	17.4%
円滑に実施されてはいない	39	13.7%	17.9%
担当者任せになっている	80	28.2%	36.7%
担当者の負担になっていると思われる	68	23.9%	31.2%
教育委員会では把握していない	53	18.7%	24.3%
その他	6	2.1%	2.8%
計	284	100.0%	130.3%



※学校ホームページの更新作業が各学校に任せられ、また担当者任せになっており、教員の負担がかなり大きくなっていると考えられる。CMS等の導入による更新の負担感が軽減できる仕組みが望まれる。

3-7-4. 学校ホームページの管理についてうかがいます。(複数回答可)

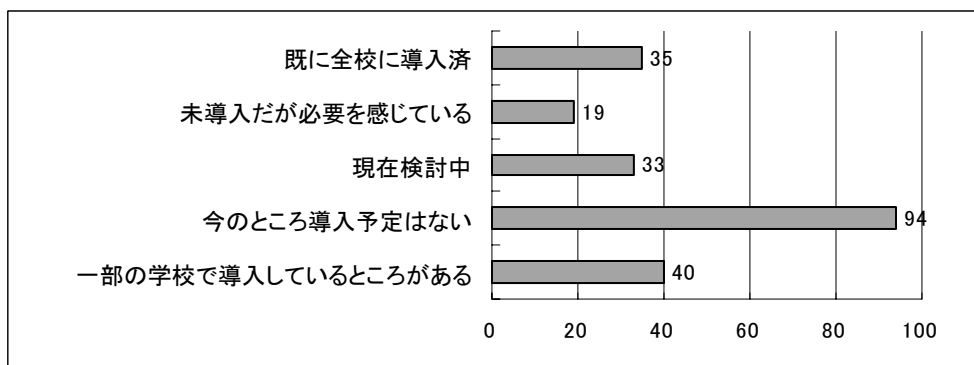
	計		
	実数	構成比	回答比
学校の更新頻度などを把握している	39	15.7%	17.9%
ホームページの更新内容について承認を行っている	13	5.2%	6.0%
各学校に一任している	144	58.1%	66.1%
これから管理していきたいと考えている	18	7.3%	8.3%
教育委員会では関知していない	34	13.7%	15.6%
計	248	100.0%	113.8%



※「学校の更新頻度などを把握している」17.9%、「ホームページの更新内容について承認を行っている」6.0%となっており、「各学校に一任している」が66.1%にのぼっている。教育委員会等を含めた組織的管理運営が必要である。

3-8. 緊急連絡メールシステムについてうかがいます。(複数回答可)

	計		
	実数	構成比	回答比
既に全校に導入済	35	15.8%	16.1%
未導入だが必要を感じている	19	8.6%	8.7%
現在検討中	33	14.9%	15.1%
今のところ導入予定はない	94	42.5%	43.1%
一部の学校で導入しているところがある	40	18.1%	18.3%
計	221	100.0%	101.4%



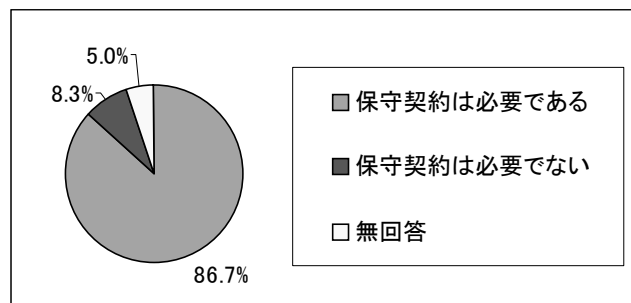
※「今のところ導入予定はない」が43.1%あり、安全・安心が叫ばれる中、早期対策（予算措置含む）が望まれる。

教育委員会 4. 保守・サポート

4-1. 教育用コンピュータの保守契約について

4-1-1. 教育用コンピュータの保守契約の必要性についてうかがいます。

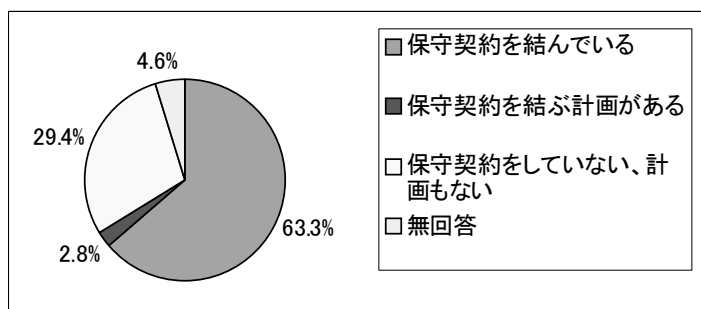
	計	
	実数	比率
保守契約は必要である	189	86.7%
保守契約は必要でない	18	8.3%
無回答	11	5.0%
計	218	100.0%



※「保守契約は必要である」が86.7%と高い比率を示した。前回でも86.6%を示しており、依然として必要性が高いことが示されている。また、これと同様の質問を小・中学校へ行ったところ小学校89.1%、中学校88.9%であり、教育委員会・教育現場共通の意見として大多数が保守契約を必要と感じている。

4-1-2. 教育用コンピュータの保守契約をしていますか。

	計	
	実数	比率
保守契約を結んでいる	138	63.3%
保守契約を結ぶ計画がある	6	2.8%
保守契約をしていない、計画もない	64	29.4%
無回答	10	4.6%
計	218	100.0%



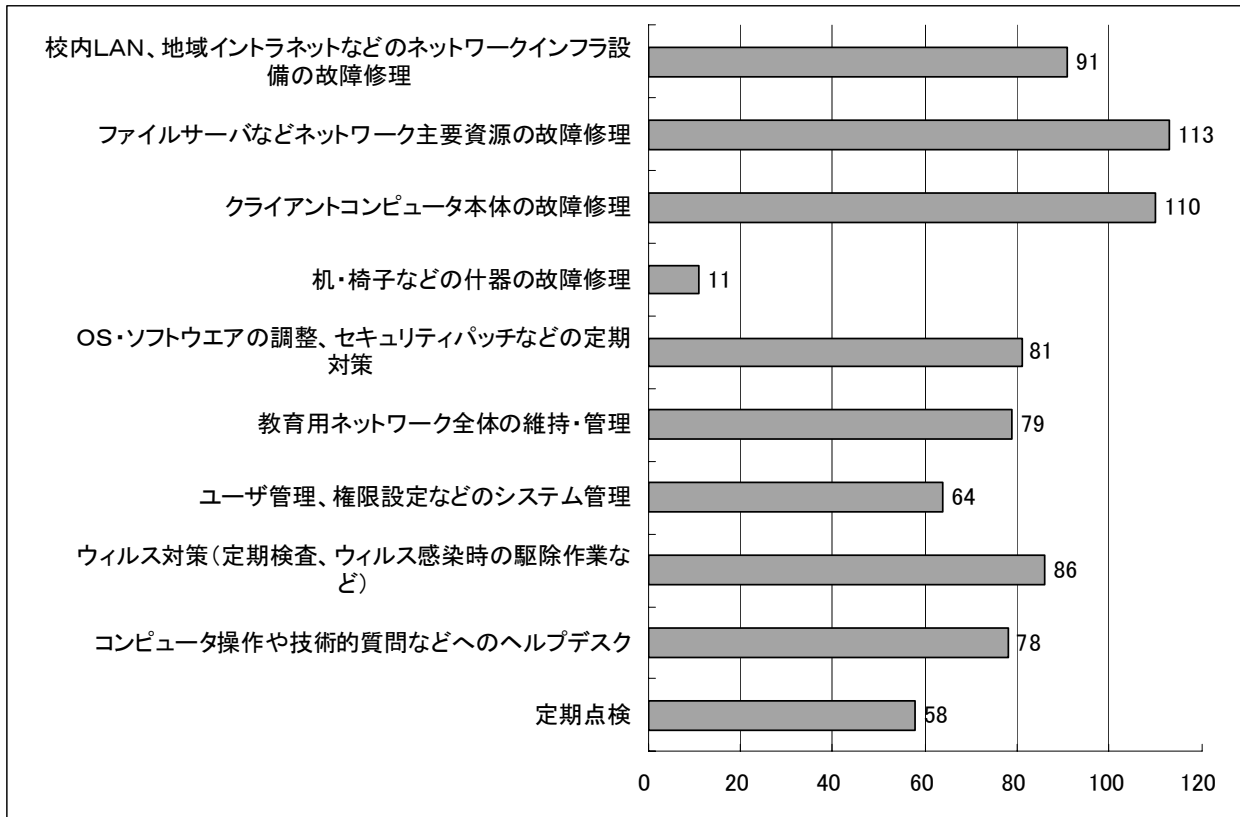
※「保守契約を結んでいる」が63.3%と高い比率を示しているが、前回は70.3%を示していることから、減少傾向がみられる。前問で「保守契約が必要である」と多くが感じているが(86.7%)、必要性を感じていながらも契約ができていない教育委員会が多くあることがわかる。

4-1-3. 4-1-2で「保守契約を結んでいる」と回答した方にうかがいます。

保守契約にどのような項目が含まれていますか。(複数回答可)

(138)	計		
	実数	構成比	回答比
校内LAN、地域イントラネットなどのネットワークインフラ設備の故障修理	91	11.8%	65.9%
ファイルサーバなどネットワーク主要資源の故障修理	113	14.7%	81.9%
クライアントコンピュータ本体の故障修理	110	14.3%	79.7%
机・椅子などの仕器の故障修理	11	1.4%	8.0%
OS・ソフトウェアの調整、セキュリティパッチなどの定期対策	81	10.5%	58.7%
教育用ネットワーク全体の維持・管理	79	10.2%	57.2%

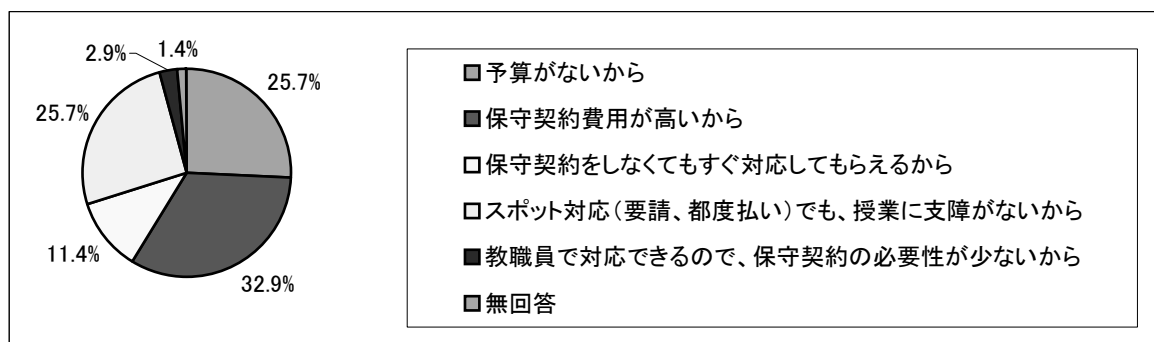
ユーザ管理、権限設定などのシステム管理	64	8.3%	46.4%
ウィルス対策（定期検査、ウィルス感染時の駆除作業など）	86	11.2%	62.3%
コンピュータ操作や技術的質問などへのヘルプデスク	78	10.1%	56.5%
定期点検	58	7.5%	42.0%
計	771	100.0%	558.7%



※前回調査比で「ウィルス対策」(61.8%→62.3%)と「コンピュータ操作や技術的質問などへのヘルプデスク」(55.3%→56.5%)は微増しているが、そのほかの項目については減少傾向がみられる。

4-1-4. 4-1-2で「保守契約を結んでいる」以外を回答した方にうかがいます。

	計	
	実数	比率
予算がないから	18	25.7%
保守契約費用が高いから	23	32.9%
保守契約をしなくてもすぐ対応してもらえるから	8	11.4%
スポット対応（要請、都度払い）でも、授業に支障がないから	18	25.7%
教職員で対応できるので、保守契約の必要性が少ないから	2	2.9%
無回答	1	1.4%
計	70	100.0%

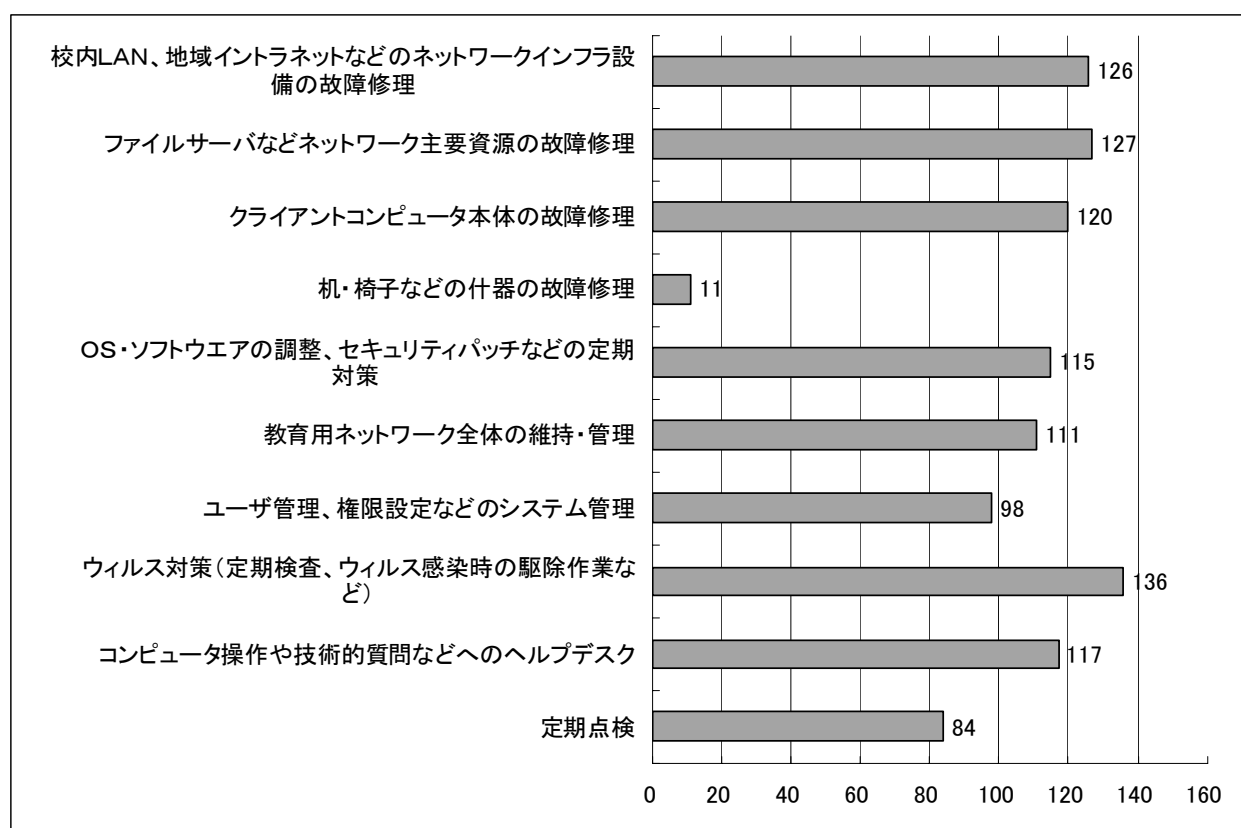


※「予算がないから」「保守契約費用が高いから」が合わせて 58.6%である。4-1-1で保守契約の必要性は認め

ながらも予算的に厳しい状況を反映している。「スポット対応（要請、都度払い）でも、授業に支障がないから」が前回と比べて大きく増加している（15.7%→25.7%）。

4-1-5. システムが複雑化する傾向の中、必要と感じる契約項目はなんですか。（複数回答可）

	計		
	実数	構成比	回答比
校内LAN、地域イントラネットなどのネットワークインフラ設備の故障修理	126	12.1%	57.8%
ファイルサーバなどネットワーク主要資源の故障修理	127	12.2%	58.3%
クライアントコンピュータ本体の故障修理	120	11.5%	55.0%
机・椅子などの什器の故障修理	11	1.1%	5.0%
OS・ソフトウェアの調整、セキュリティパッチなどの定期対策	115	11.0%	52.8%
教育用ネットワーク全体の維持・管理	111	10.6%	50.9%
ユーザ管理、権限設定などのシステム管理	98	9.4%	45.0%
ウィルス対策（定期検査、ウィルス感染時の駆除作業など）	136	13.0%	62.4%
コンピュータ操作や技術的質問などへのヘルプデスク	117	11.2%	53.7%
定期点検	84	8.0%	38.5%
計	1,045	100.0%	479.4%



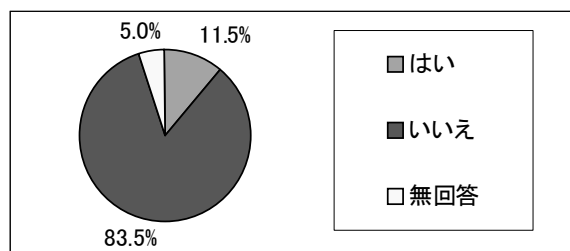
※前回に比べ「OS・ソフトウェアの調整、セキュリティパッチなどの定期対策」（50.0%→52.8%）と「ウィルス対策」（61.8%→62.4%）に増加傾向がみられるが、そのほかのほとんどの項目で減少傾向がみられる。

とりわけ「教育用ネットワーク全体の維持・管理」が大きく下がっているのが特徴的である（70.7%→50.9%）。

4-2. 教育情報化に対する、教育委員会での外部人材の活用について

4-2-1. 教育委員会に、教育情報化を支援する外部専門家を採用したことがありますか。

	計	
	実数	比率
はい	25	11.5%
いいえ	182	83.5%
無回答	11	5.0%
計	218	100.0%

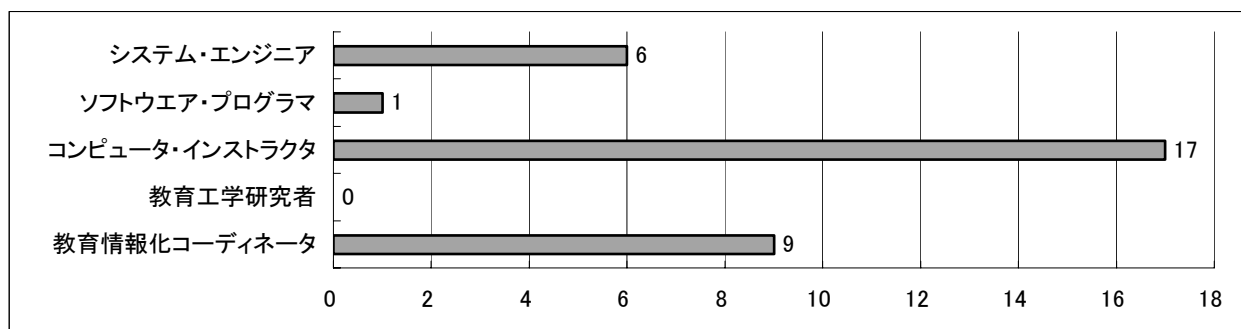


※「いいえ」が83.5%とほとんどが外部人材の活用をしていないことが分かる。

4-2-1で「はい」と回答した方にうかがいます。

4-2-2. どのような能力を持った人材でしょうか。(複数回答可)

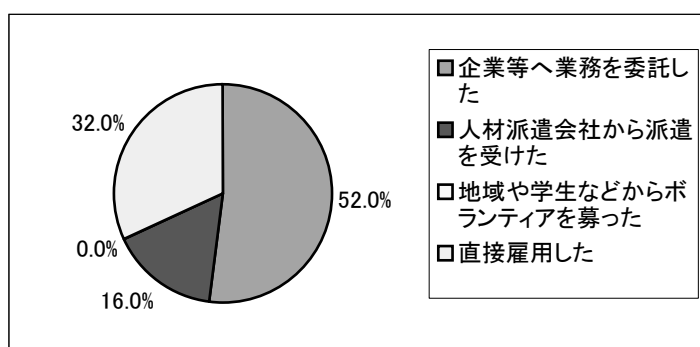
	計		
	実数	構成比	回答比
システム・エンジニア	6	18.2%	24.0%
ソフトウェア・プログラマ	1	3.0%	4.0%
コンピュータ・インストラクタ	17	51.5%	68.0%
教育工学研究者	0	0.0%	0.0%
教育情報化コーディネータ	9	27.3%	36.0%
計	33	100.0%	132.0%



※「コンピュータ・インストラクタ」が68.0%と多い。

4-2-3. 主にどのような方法で人材を確保しましたか。

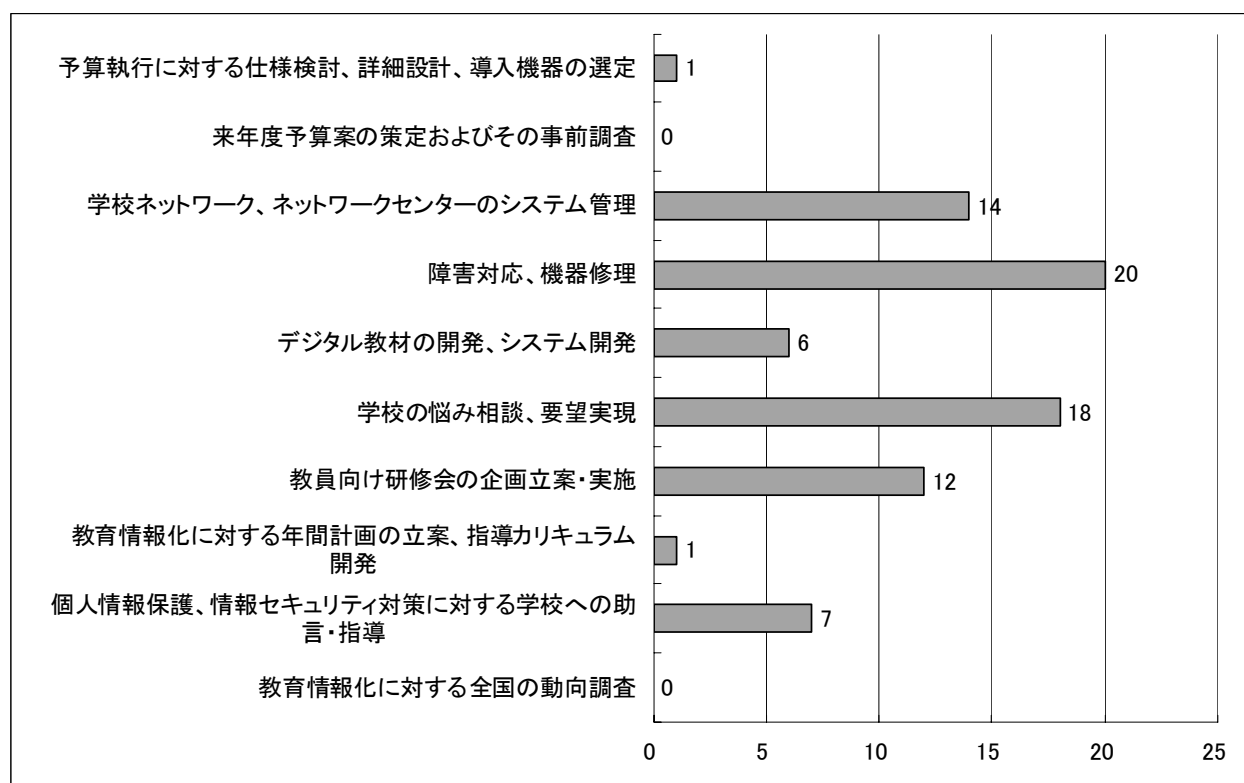
	計	
	実数	比率
企業等へ業務を委託した	13	52.0%
人材派遣会社から派遣を受けた	4	16.0%
地域や学生などからボランティアを募った	0	0.0%
直接雇用した	8	32.0%
計	25	100.0%



※「企業等へ業務を委託した」が 52.0%と半数以上を占めている。ボランティアの採用はないことから、外部人材の活用は有償で行われていることが分かる。

4-2-4. どのような仕事を任せましたか。(複数回答可)

	計		
	実数	構成比	回答比
予算執行に対する仕様検討、詳細設計、導入機器の選定	1	1.3%	4.0%
来年度予算案の策定およびその事前調査	0	0.0%	0.0%
学校ネットワーク、ネットワークセンターのシステム管理	14	17.7%	56.0%
障害対応、機器修理	20	25.3%	80.0%
デジタル教材の開発、システム開発	6	7.6%	24.0%
学校の悩み相談、要望実現	18	22.8%	72.0%
教員向け研修会の企画立案・実施	12	15.2%	48.0%
教育情報化に対する年間計画の立案、指導カリキュラム開発	1	1.3%	4.0%
個人情報保護、情報セキュリティ対策に対する学校への助言・指導	7	8.9%	28.0%
教育情報化に対する全国の動向調査	0	0.0%	0.0%
計	79	100.0%	316.0%

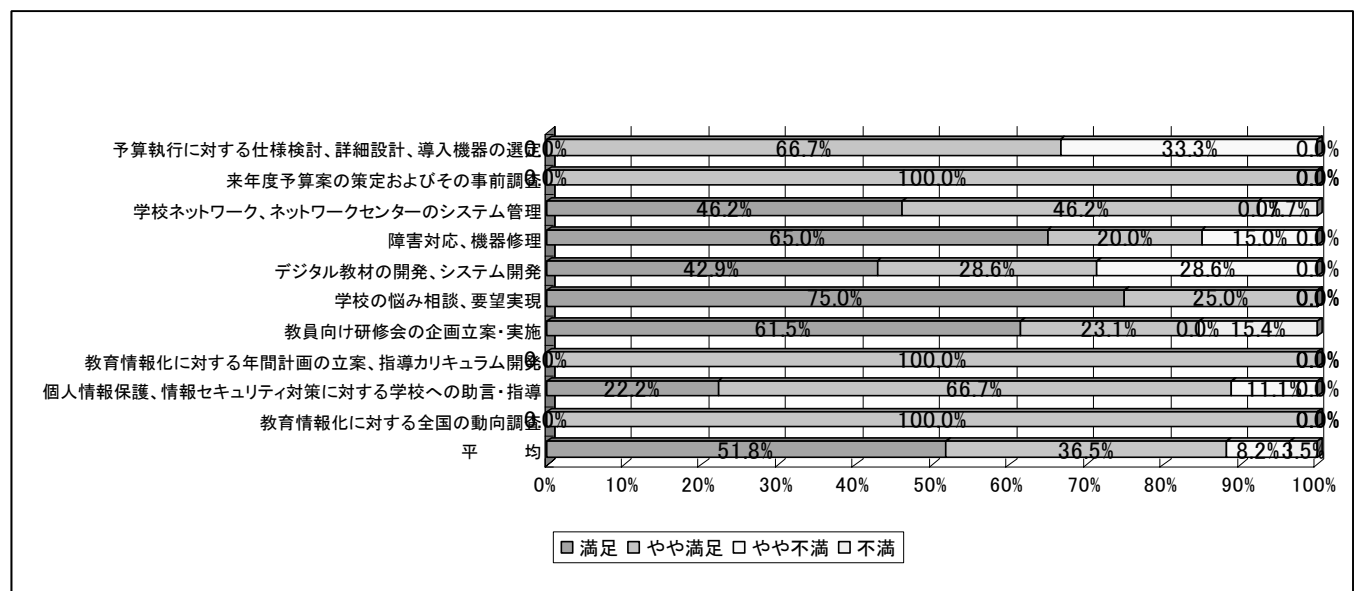


※「障害対応、機器修理」80.0%、「学校の悩み相談、要望実現」72.0%、「学校ネットワーク、ネットワークセンターのシステム管理」56.0%、「教員向け研修会の企画立案・実施」48.0%と多く、幅広い対応を求められているが、機器の選定など予算にかかわるところは任されていない傾向がある。

4-2-5. 作業の満足度はどうですか。

実 数	満足	やや満足	やや不満	不満	中計	していない	N. A.
予算執行に対する仕様検討、詳細設計、導入機器の選定	0	2	1	0	3	16	6
来年度予算案の策定およびその事前調査	0	1	0	0	1	18	6
学校ネットワーク、ネットワークセンターのシステム管理	6	6	0	1	13	9	3
障害対応、機器修理	13	4	3	0	20	4	1
デジタル教材の開発、システム開発	3	2	2	0	7	15	3
学校の悩み相談、要望実現	12	4	0	0	16	6	3
教員向け研修会の企画立案・実施	8	3	0	2	13	10	2
教育情報化に対する年間計画の立案、指導カリキュラム開発	0	2	0	0	2	17	6
個人情報保護、情報セキュリティ対策に対する学校への助言・指導	2	6	1	0	9	12	4
教育情報化に対する全国の動向調査	0	1	0	0	1	18	6
合 計	44	31	7	3	85	125	40

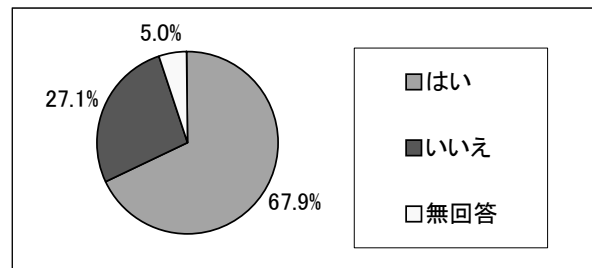
構成比	中計の構成比				全体の構成比		
	満足	やや満足	やや不満	不満	中計	していない	N. A.
予算執行に対する仕様検討、詳細設計、導入機器の選定	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	12.0%	64.0%	24.0%
来年度予算案の策定およびその事前調査	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	4.0%	72.0%	24.0%
学校ネットワーク、ネットワークセンターのシステム管理	46.2%	46.2%	0.0%	7.7%	52.0%	36.0%	12.0%
障害対応、機器修理	65.0%	20.0%	15.0%	0.0%	80.0%	16.0%	4.0%
デジタル教材の開発、システム開発	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	28.0%	60.0%	12.0%
学校の悩み相談、要望実現	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	64.0%	24.0%	12.0%
教員向け研修会の企画立案・実施	61.5%	23.1%	0.0%	15.4%	52.0%	40.0%	8.0%
教育情報化に対する年間計画の立案、指導カリキュラム開発	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	8.0%	68.0%	24.0%
個人情報保護、情報セキュリティ対策に対する学校への助言・指導	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	36.0%	48.0%	16.0%
教育情報化に対する全国の動向調査	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	4.0%	72.0%	24.0%
平 均	51.8%	36.5%	8.2%	3.5%	34.0%	50.0%	16.0%



※すべての項目において「満足」「やや満足」の合計が「やや不満」「不満」の合計を上回っている。特に、前問で外部人材を任せていると回答が多かった項目「学校の悩み相談、要望実現」、「障害対応、機器修理」、「学校ネットワーク、ネットワークセンターのシステム管理」、「教員向け研修会の企画立案・実施」の満足度が非常に高い。現在は学校を直接支援するような業務が主であるが、今後は政策面でも教育情報化コーディネータ等の外部専門家の活用が望まれる。

4-2-6. 教育情報化の推進に対し、外部専門家を必要と感じますか。

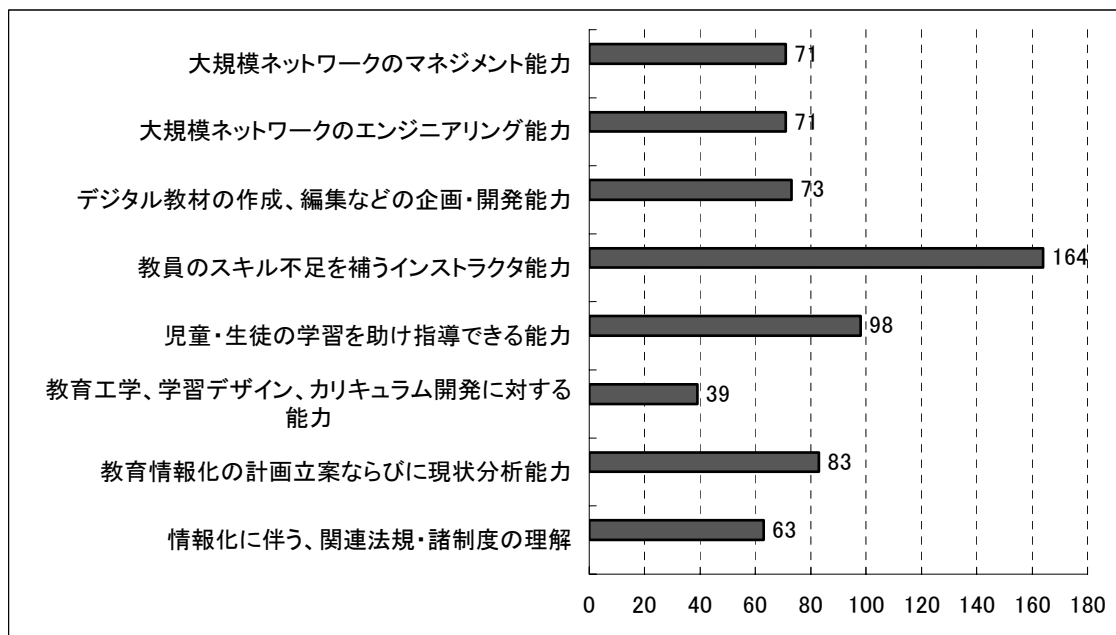
	計	
	実数	比率
はい	148	67.9%
いいえ	59	27.1%
無回答	11	5.0%
計	218	100.0%



※「はい」が67.9%と高く、外部専門家が必要とされていることが分かる。

4-2-7. 教育情報化を推進する外部専門家にどのような能力を期待しますか。(複数回答可)

	計		
	実数	構成比	回答比
大規模ネットワークのマネジメント能力	71	10.7%	32.6%
大規模ネットワークのエンジニアリング能力	71	10.7%	32.6%
デジタル教材の作成、編集などの企画・開発能力	73	11.0%	33.5%
教員のスキル不足を補うインストラクタ能力	164	24.8%	75.2%
児童・生徒の学習を助け指導できる能力	98	14.8%	45.0%
教育工学、学習デザイン、カリキュラム開発に対する能力	39	5.9%	17.9%
教育情報化の計画立案ならびに現状分析能力	83	12.5%	38.1%
情報化に伴う、関連法規・諸制度の理解	63	9.5%	28.9%
計	662	100.0%	303.7%

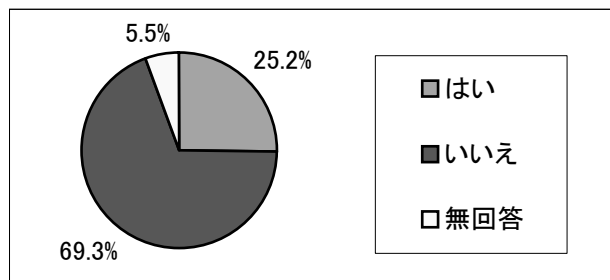


※「教員のスキル不足を補うインストラクタ能力」75.2%、「児童・生徒の学習を助け指導できる能力」45.0%と、この二つの割合が高いことから、授業に直接関係する分野でのサポートを必要としていることが分かる。

4-3. 教育情報化に対する、学校への外部人材の派遣について

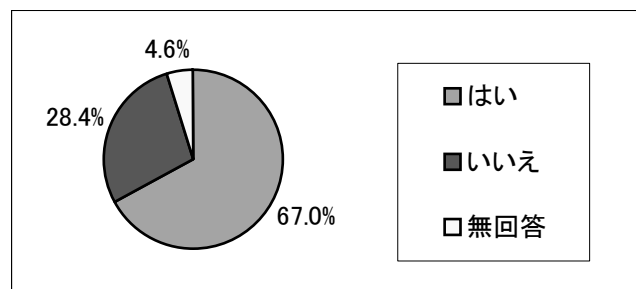
4-3-1. 学校へ教育情報化を支援する外部人材を派遣したことがありますか。

	計	
	実数	比率
はい	55	25.2%
いいえ	151	69.3%
無回答	12	5.5%
計	218	100.0%



4-3-2. 教育情報化の推進に対し、学校への外部人材の派遣を必要と感じますか。

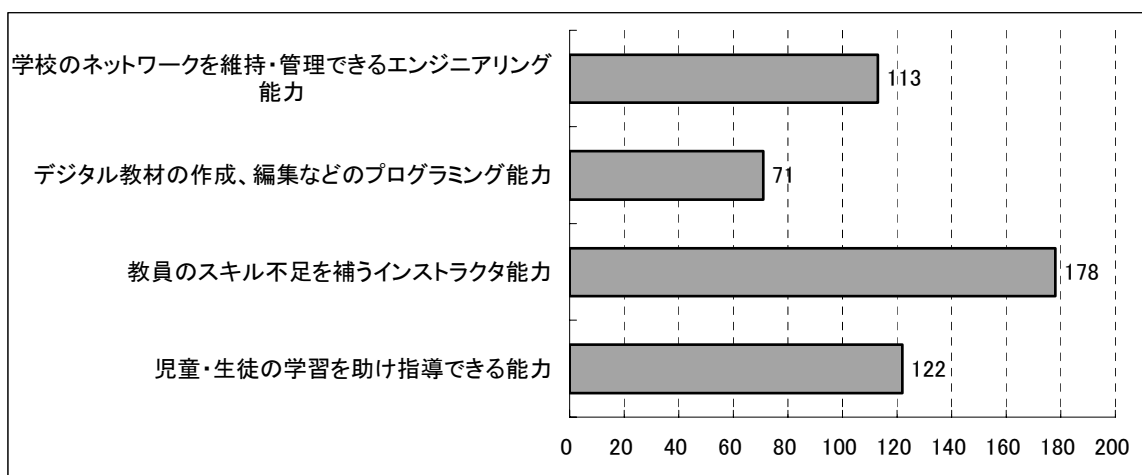
	計	
	実数	比率
はい	146	67.0%
いいえ	62	28.4%
無回答	10	4.6%
計	218	100.0%



※ 67.0%が必要と感じているにもかかわらず、前問(4-3-1)の回答で実際は25.2%しか派遣がされていない。

4-3-3. 教育情報化を支援する外部人材にどのような能力を期待しますか。(複数回答可)

	計		
	実数	構成比	回答比
学校のネットワークを維持・管理できるエンジニアリング能力	113	23.3%	45.9%
デジタル教材の作成、編集などのプログラミング能力	71	14.7%	28.9%
教員のスキル不足を補うインストラクタ能力	178	36.8%	72.4%
児童・生徒の学習を助け指導できる能力	122	25.2%	49.6%
計	484	100.0%	196.7%



※幅広い能力を求められているが、特に「教員のスキル不足を補うインストラクタ能力」72.4%、次いで「児童・生徒の学習を助け指導できる能力」49.6%と期待値が高い。

アンケート調査結果 学 校 編

●基本項目

この調査は、全国の公立小・中学校から無作為抽出した小学校 2,000 校、中学校 1,000 校にアンケートを依頼し、計 900 校から回答をいただいた。

教員数、学級数、児童・生徒数の分布は以下のとおり。

教員数	小学校		中学校		計	
	実数	比率(%)	実数	比率(%)	実数	比率(%)
1～5	12	2.2	4	1.2	16	1.8
6～10	104	18.6	37	10.8	141	15.7
11～15	139	24.9	63	18.4	202	22.4
16～20	85	15.2	62	18.1	147	16.3
21～25	82	14.7	50	14.6	132	14.7
26～30	59	10.6	47	13.7	106	11.8
31～40	61	10.9	60	17.5	121	13.4
41～50	12	2.2	14	4.1	26	2.9
51～70	4	0.7	5	1.5	9	1.0
71～	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	558	100.0	342	100.0	900	100.0

学級数	小学校		中学校		計	
	実数	比率(%)	実数	比率(%)	実数	比率(%)
1～5	69	12.4	88	25.7	157	17.4
6～10	211	37.8	98	28.7	309	34.3
11～15	122	21.9	78	22.8	200	22.2
16～20	81	14.5	56	16.4	137	15.2
21～25	50	9.0	19	5.6	69	7.7
26～30	19	3.4	2	0.6	21	2.3
31～40	6	1.1	1	0.3	7	0.8
41～	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	558	100.0	342	100.0	900	100.0

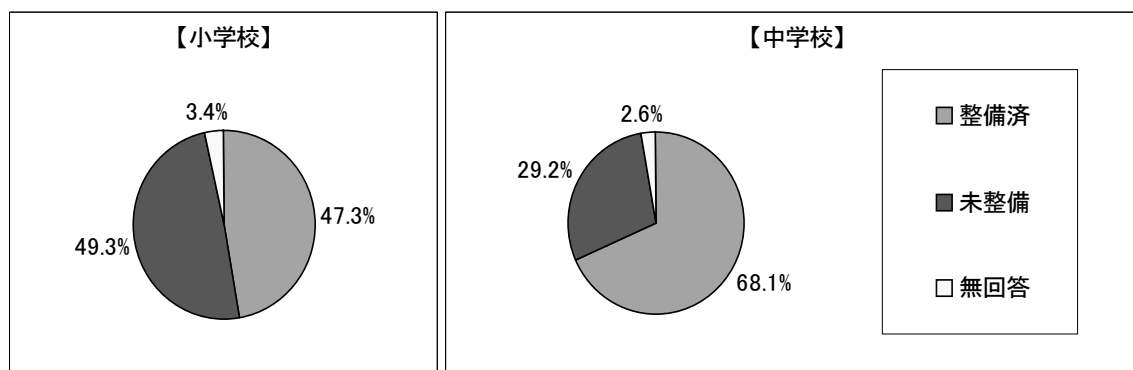
児童・生徒数	小学校		中学校		計	
	実数	比率(%)	実数	比率(%)	実数	比率(%)
1～50	71	12.7	41	12.0	112	12.4
51～100	86	15.4	33	9.6	119	13.2
101～200	92	16.5	45	13.2	137	15.2
201～300	75	13.4	53	15.5	128	14.2
301～400	57	10.2	48	14.0	105	11.7
401～500	54	9.7	50	14.6	104	11.6
501～600	48	8.6	29	8.5	77	8.6
601～700	33	5.9	27	7.9	60	6.7
701～800	27	4.8	8	2.3	35	3.9
801～900	8	1.4	6	1.8	14	1.6
901～1,000	3	0.5	1	0.3	4	0.4
1,001～	4	0.7	1	0.3	5	0.6
計	558	100.0	342	100.0	900	100.0

学校 1. ハードウェア

1. コンピュータ教室の整備について

1-1. 文部科学省の整備計画：小・中学校の1台／1人の整備状況についてうかがいます。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
整備済	264	47.3%	233	68.1%	497	55.2%
未整備	275	49.3%	100	29.2%	375	41.7%
無回答	19	3.4%	9	2.6%	28	3.1%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

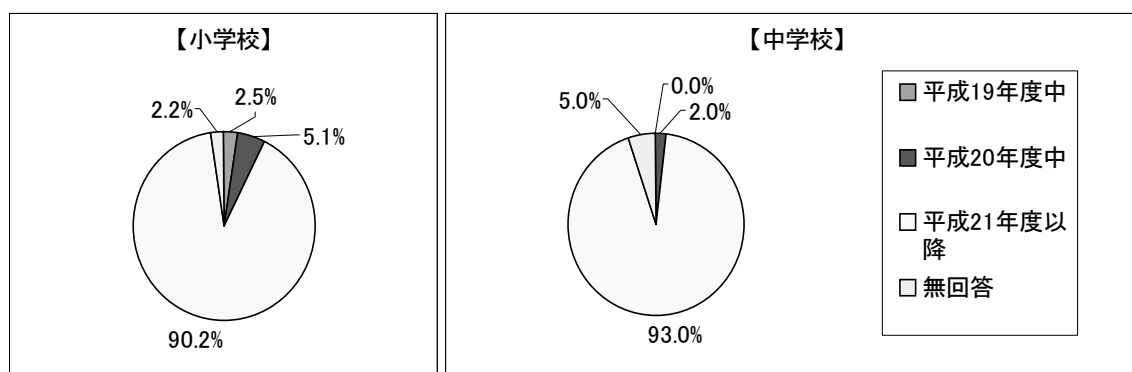


※前回調査比で、小学校(34.2%→47.3%)、中学校(60.9%→68.1%)と進捗が見られる。ただし、1台／1人の整備とする目標年度は過ぎており、約半数の小学校で整備がなされていない状況に、抜本的な解決策が求められる。

1-2. 1-1で「未整備」と回答された方へうかがいます。

平成何年度に整備を完了する見込みですか。

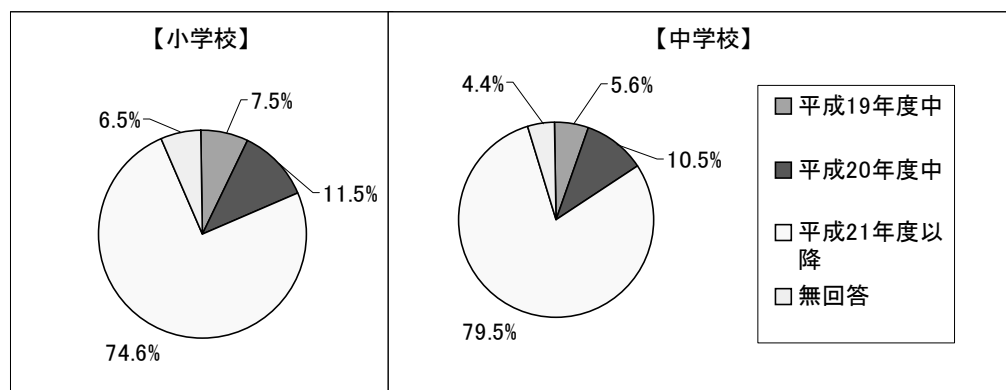
	小学校(275)		中学校(100)		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
平成19年度中	7	2.5%	0	0.0%	7	1.9%
平成20年度中	14	5.1%	2	2.0%	16	4.3%
平成21年度以降	248	90.2%	93	93.0%	341	90.9%
無回答	6	2.2%	5	5.0%	11	2.9%
計	275	100.0%	100	100.0%	375	100.0%



※大半が2年先以降と回答する状況は前回調査と変わらず、整備を先送りする傾向が続いている。「整備済」校との格差は縮まらないままである。

1-3. コンピュータの次の更新時期はいつ頃ですか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
平成 19 年度中	42	7.5%	19	5.6%	61	6.8%
平成 20 年度中	64	11.5%	36	10.5%	100	11.1%
平成 21 年度以降	416	74.6%	272	79.5%	688	76.4%
無回答	36	6.5%	15	4.4%	51	5.7%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

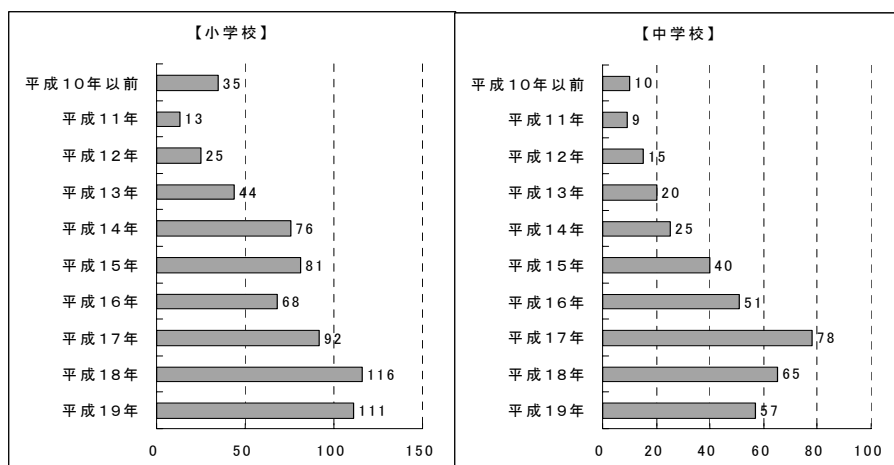


※76.4%の学校が「平成 21 年度以降」に次回の更新をすると回答している。前回調査と同様の傾向であり、定期的な機器の入れ替えを行っているとはいえない状況にある。

1-4. 現在のコンピュータは何年に導入（更新）されましたか。

分割して導入した場合は、複数でお答えください。

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
平成 10 年以前	35	5.3%	6.3%	10	2.7%	2.9%	45	4.4%	5.0%
平成 11 年	13	2.0%	2.3%	9	2.4%	2.6%	22	2.1%	2.4%
平成 12 年	25	3.8%	4.5%	15	4.1%	4.4%	40	3.9%	4.4%
平成 13 年	44	6.7%	7.9%	20	5.4%	5.8%	64	6.2%	7.1%
平成 14 年	76	11.5%	13.6%	25	6.8%	7.3%	101	9.8%	11.2%
平成 15 年	81	12.3%	14.5%	40	10.8%	11.7%	121	11.7%	13.4%
平成 16 年	68	10.3%	12.2%	51	13.8%	14.9%	119	11.5%	13.2%
平成 17 年	92	13.9%	16.5%	78	21.1%	22.8%	170	16.5%	18.9%
平成 18 年	116	17.5%	20.8%	65	17.6%	19.0%	181	17.6%	20.1%
平成 19 年	111	16.8%	19.9%	57	15.4%	16.7%	168	16.3%	18.7%
計	661	100.0%	118.5%	370	100.0%	108.2%	1,031	100.0%	114.6%

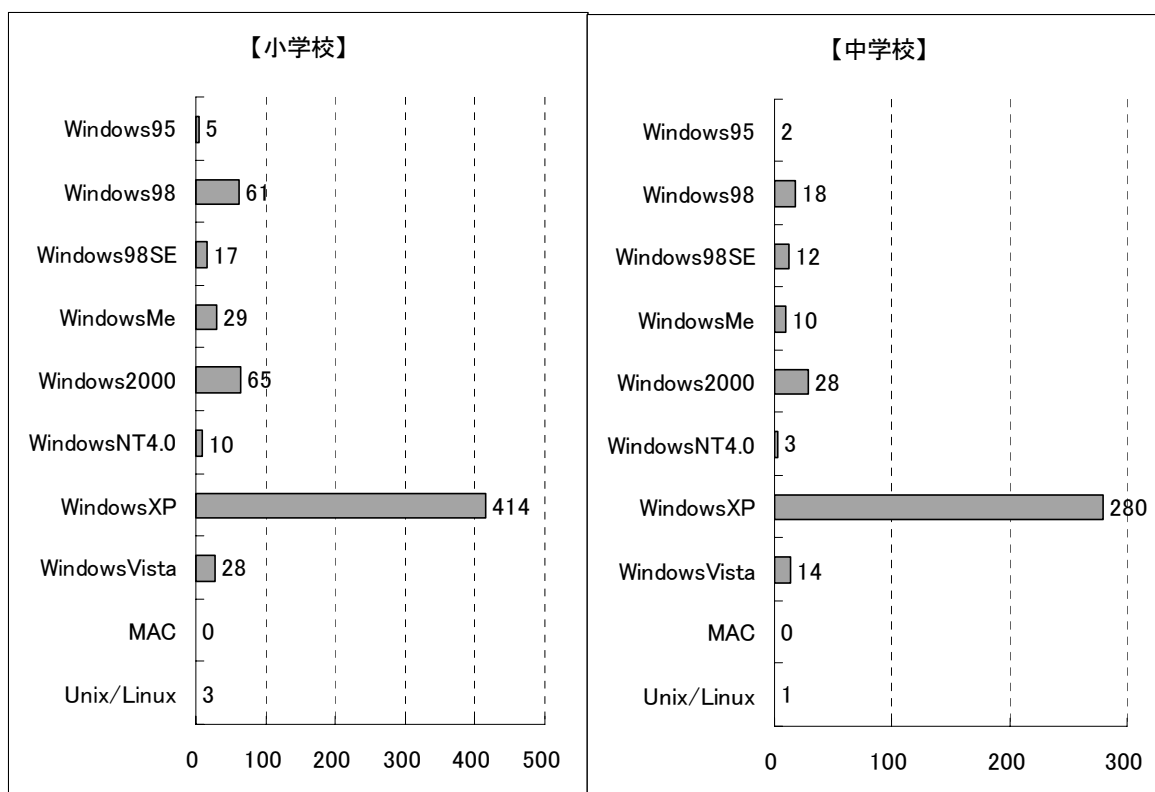


※ 6 年以上を経たコンピュータが小・中学校計の前回調査比で微増(17.5%→18.9%)しており、古いコンピュータが更新されないでいる。コンピュータの使用が長期化している様子がうかがえる。

2. コンピュータ教室の機器環境について

2-1. 現在お使いのコンピュータの OS についてうかがいます。(複数回答可)

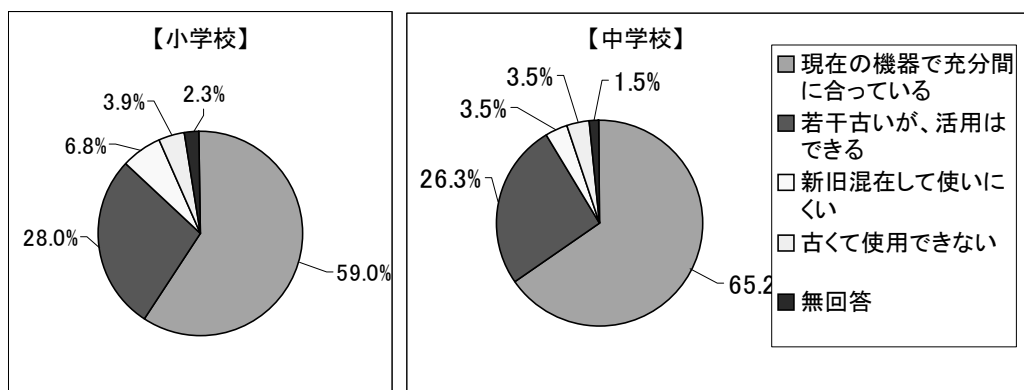
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
Windows95	5	0.8%	0.9%	2	0.5%	0.6%	7	0.7%	0.8%
Windows98	61	9.7%	10.9%	18	4.9%	5.3%	79	7.9%	8.8%
Windows98SE	17	2.7%	3.0%	12	3.3%	3.5%	29	2.9%	3.2%
WindowsMe	29	4.6%	5.2%	10	2.7%	2.9%	39	3.9%	4.3%
Windows2000	65	10.3%	11.6%	28	7.6%	8.2%	93	9.3%	10.3%
WindowsNT4.0	10	1.6%	1.8%	3	0.8%	0.9%	13	1.3%	1.4%
WindowsXP	414	65.5%	74.2%	280	76.1%	81.9%	694	69.4%	77.1%
WindowsVista	28	4.4%	5.0%	14	3.8%	4.1%	42	4.2%	4.7%
MAC	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
Unix/Linux	3	0.5%	0.5%	1	0.3%	0.3%	4	0.4%	0.4%
計	632	100.0%	113.3%	368	100.0%	107.6%	1,000	100.0%	111.1%



※ 「WindowsXP」が全体の 77.1%を占めており、学校における標準的な OS となっている。一方で「Windows95」、「Windows98」、「Windows98SE」、「WindowsMe」の古い OS も小・中学校全体で未だ 17.1%も使われている。新しいソフトウェアではこうした古い OS に対応できないものもあり、早急な更新が望まれる。

2-2. 現在設置されているコンピュータ教室の機器性能についてうかがいます。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
現在の機器で充分間に合っている	329	59.0%	223	65.2%	552	61.3%
若干古いが、活用はできる	156	28.0%	90	26.3%	246	27.3%
新旧混在して使いにくい	38	6.8%	12	3.5%	50	5.6%
古くて使用できない	22	3.9%	12	3.5%	34	3.8%
無回答	13	2.3%	5	1.5%	18	2.0%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

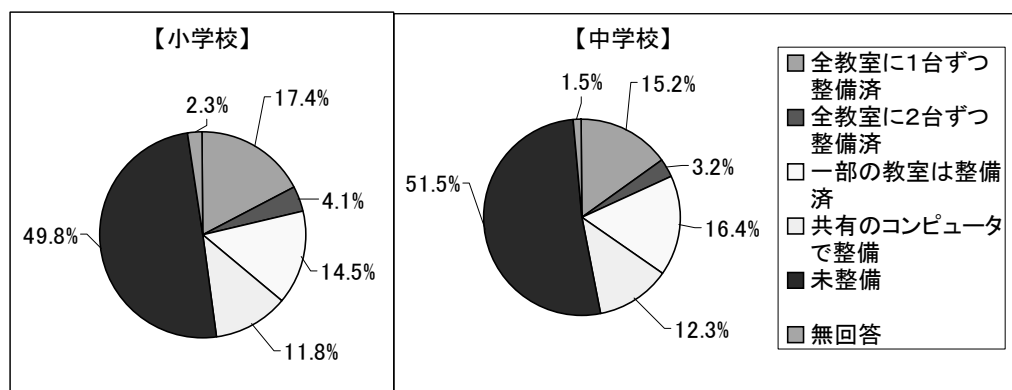


※88.6%の学校では、コンピュータの活用上大きな支障をきたしていない。

3. 普通教室・特別教室でのコンピュータの整備状況について

3-1. 普通教室へのコンピュータの整備状況についてうかがいます。

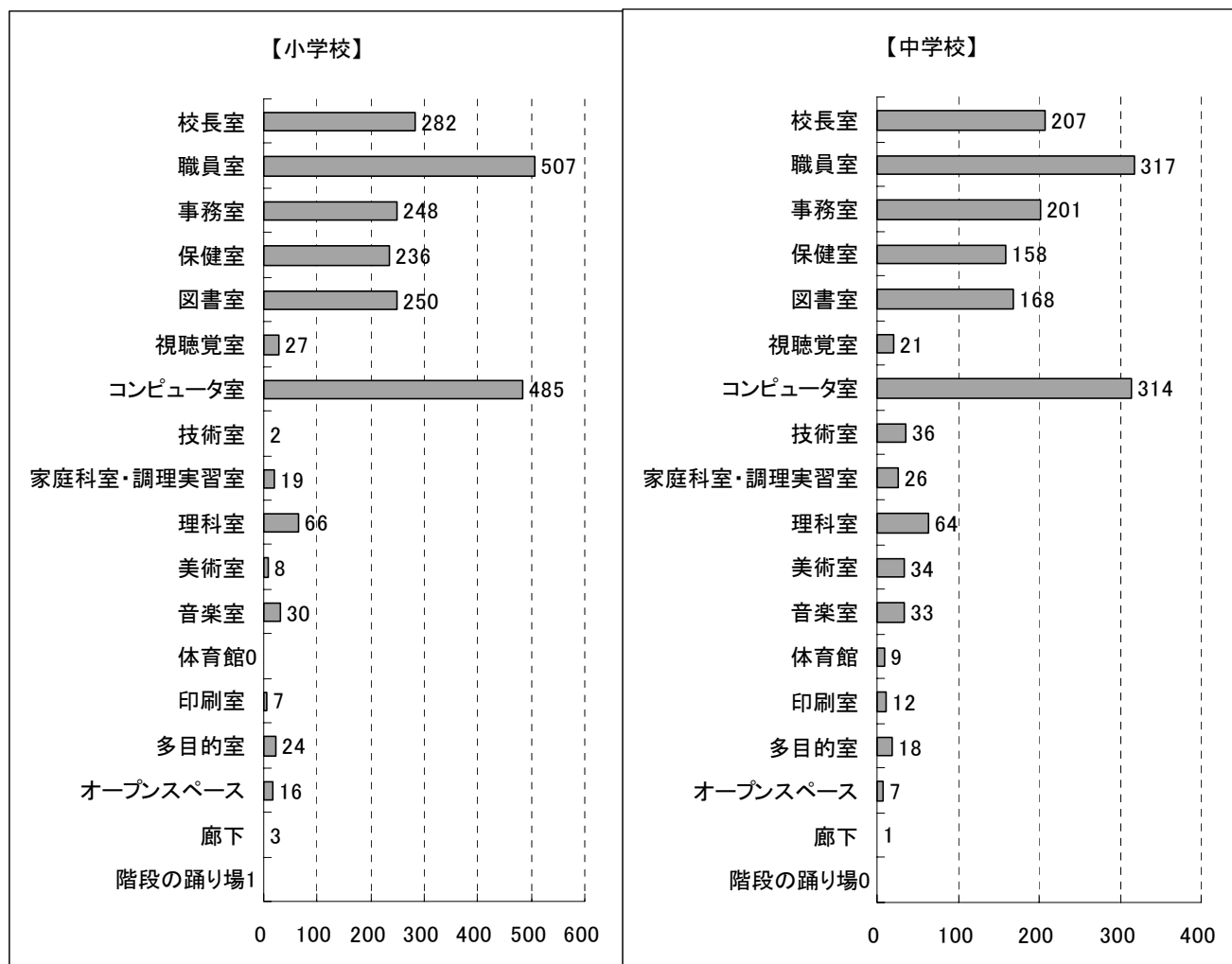
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
全教室に1台ずつ整備済	97	17.4%	52	15.2%	149	16.6%
全教室に2台ずつ整備済	23	4.1%	11	3.2%	34	3.8%
一部の教室は整備済	81	14.5%	56	16.4%	137	15.2%
共有のコンピュータで整備	66	11.8%	42	12.3%	108	12.0%
未整備	278	49.8%	176	51.5%	454	50.4%
無回答	13	2.3%	5	1.5%	18	2.0%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※前回調査比で、「全教室に整備済」は小・中学校全体で 19.5%→20.4%と微増に留まっている。代わりに「一部の教室は整備済み」と「共有のコンピュータで整備」が 20.8%→27.2%と増え、一方「未整備」は 59.2%→50.4%と減少しており、整備方法に腐心している様子がうかがえる。

３－２．特別教室へのコンピュータの整備状況は次のどれですか(複数回答可)

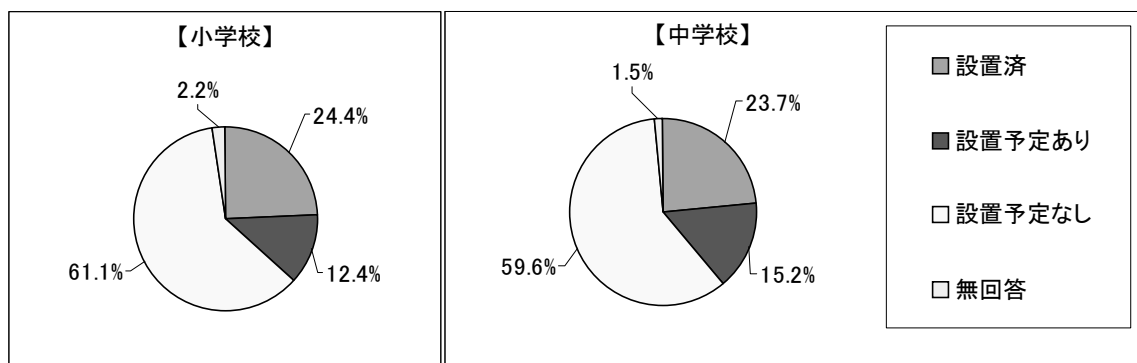
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
校長室	282	12.8%	50.5%	207	12.7%	60.5%	489	12.7%	54.3%
職員室	507	22.9%	90.9%	317	19.5%	92.7%	824	21.5%	91.6%
事務室	248	11.2%	44.4%	201	12.4%	58.8%	449	11.7%	49.9%
保健室	236	10.7%	42.3%	158	9.7%	46.2%	394	10.3%	43.8%
図書室	250	11.3%	44.8%	168	10.3%	49.1%	418	10.9%	46.4%
視聴覚室	27	1.2%	4.8%	21	1.3%	6.1%	48	1.3%	5.3%
コンピュータ室	485	21.9%	86.9%	314	19.3%	91.8%	799	20.8%	88.8%
技術室	2	0.1%	0.4%	36	2.2%	10.5%	38	1.0%	4.2%
家庭科室・調理実習室	19	0.9%	3.4%	26	1.6%	7.6%	45	1.2%	5.0%
理科室	66	3.0%	11.8%	64	3.9%	18.7%	130	3.4%	14.4%
美術室	8	0.4%	1.4%	34	2.1%	9.9%	42	1.1%	4.7%
音楽室	30	1.4%	5.4%	33	2.0%	9.6%	63	1.6%	7.0%
体育館	0	0.0%	0.0%	9	0.6%	2.6%	9	0.2%	1.0%
印刷室	7	0.3%	1.3%	12	0.7%	3.5%	19	0.5%	2.1%
多目的室	24	1.1%	4.3%	18	1.1%	5.3%	42	1.1%	4.7%
オープンスペース	16	0.7%	2.9%	7	0.4%	2.0%	23	0.6%	2.6%
廊下	3	0.1%	0.5%	1	0.1%	0.3%	4	0.1%	0.4%
階段の踊り場	1	0.0%	0.2%	0	0.0%	0.0%	1	0.0%	0.1%
計	2,211	100.0%	396.2%	1,626	100.0%	475.4%	3,837	100.0%	426.3%



※前回調査と大きな変化はないが、未だ校長室や事務室でさえ半数程度の整備率であり、連絡事項や事務処理がコンピュータ化されていない。

3-3. 教員用コンピュータ1台／1人の整備状況は次のどれですか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
設置済	136	24.4%	81	23.7%	217	24.1%
設置予定あり	69	12.4%	52	15.2%	121	13.4%
設置予定なし	341	61.1%	204	59.6%	545	60.6%
無回答	12	2.2%	5	1.5%	17	1.9%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

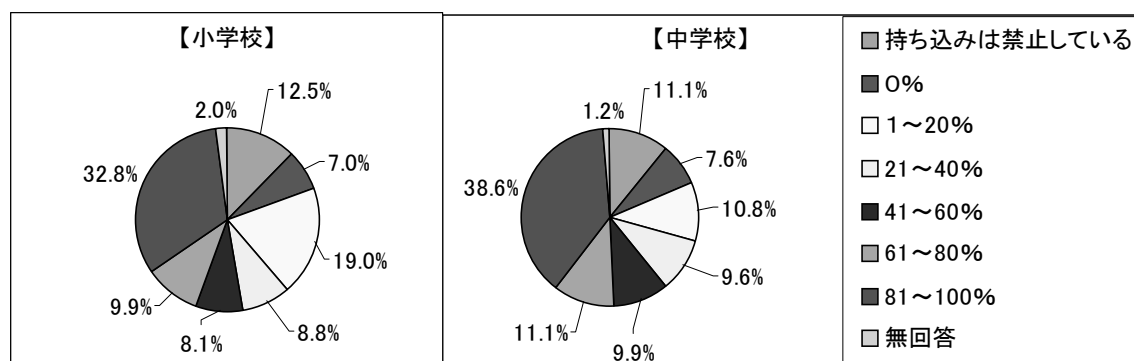


※ 前回調査比で、「整備済」が小・中学校合わせて(14.5%→24.1%)と多少の増加が見られ、一方で「整備予定なし」は(75.3%→60.6%)と減少している。本整備は1-1と並び、最も重要かつ逼迫した課題であるにもかかわらず、この程度の整備状況であることに強い危機感を覚える。

※

3-4. 教員のうち、私物コンピュータを持ち込んでいる割合はどのくらいですか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
持ち込みは禁止している	70	12.5%	38	11.1%	108	12.0%
0%	39	7.0%	26	7.6%	65	7.2%
1～20%	106	19.0%	37	10.8%	143	15.9%
21～40%	49	8.8%	33	9.6%	82	9.1%
41～60%	45	8.1%	34	9.9%	79	8.8%
61～80%	55	9.9%	38	11.1%	93	10.3%
81～100%	183	32.8%	132	38.6%	315	35.0%
無回答	11	2.0%	4	1.2%	15	1.7%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



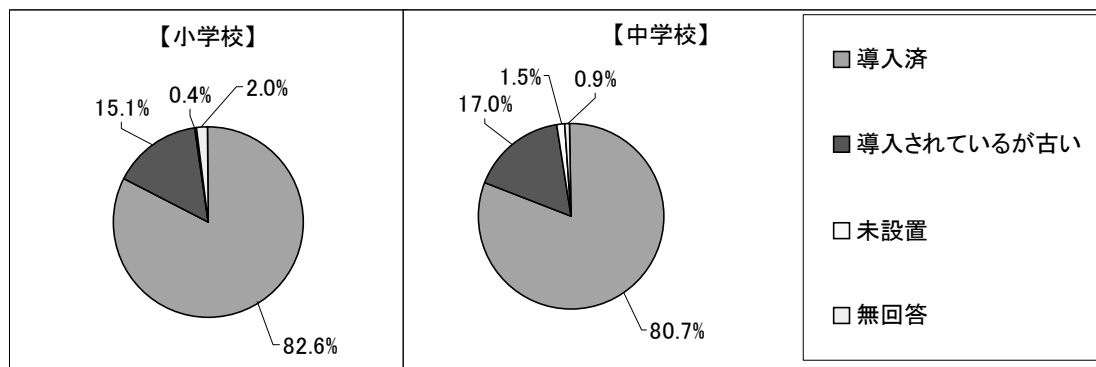
※私物コンピュータが持ち込まれていない学校は全体の19.2%であり、それ以外の79.1%の学校では持ち込まれている。この事実は3-3の整備の遅れに起因すると推測されるが、驚くべき実態であり相当な危機感を持つての整備が望まれる。

4. 周辺機器・装置について

4-1. カラープリンタ

4-1-1. カラープリンタの設置状況はどうか・

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
導入済	461	82.6%	276	80.7%	737	81.9%
導入されているが古い	84	15.1%	58	17.0%	142	15.8%
未設置	2	0.4%	5	1.5%	7	0.8%
無回答	11	2.0%	3	0.9%	14	1.6%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

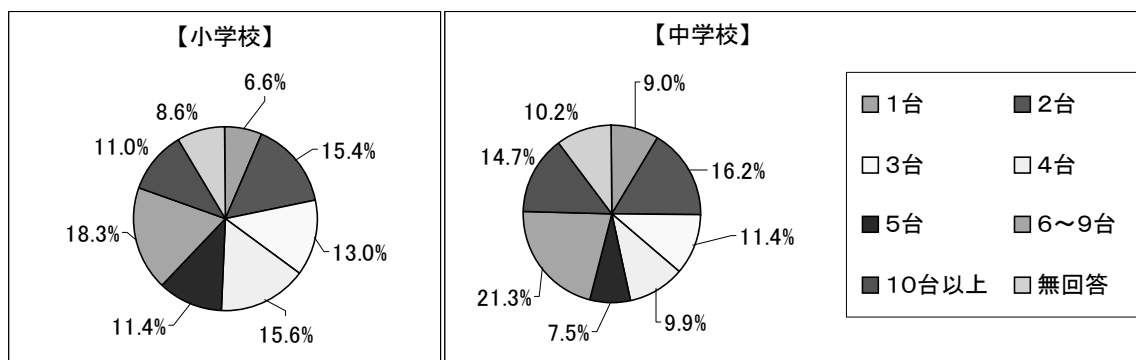


※カラープリンタについては81.9%と高い比率で学校へ行き渡っていることがわかる。

4-1-2. 4-1-1で「設置済」「設置されているが古い」と回答された方にうかがいます。

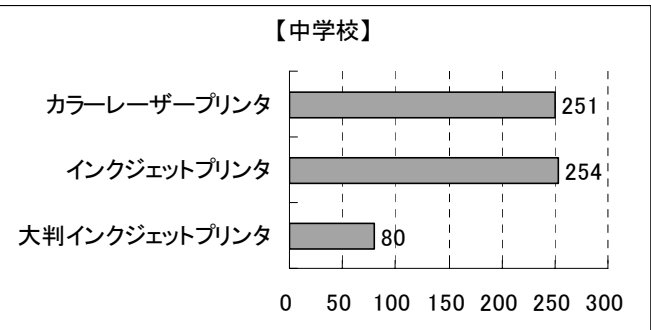
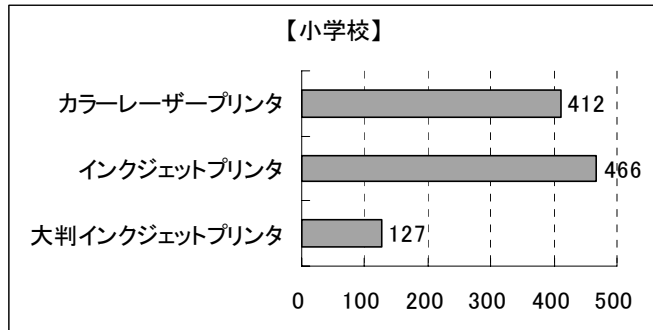
4-1-2-1. 全校で何台ですか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
1台	36	6.6%	30	9.0%	66	7.5%
2台	84	15.4%	54	16.2%	138	15.7%
3台	71	13.0%	38	11.4%	109	12.4%
4台	85	15.6%	33	9.9%	118	13.4%
5台	62	11.4%	25	7.5%	87	9.9%
6～9台	100	18.3%	71	21.3%	171	19.5%
10台以上	60	11.0%	49	14.7%	109	12.4%
無回答	47	8.6%	34	10.2%	81	9.2%
計	545	100.0%	334	100.0%	879	100.0%



4-1-2-2. プリンタのタイプは次のどれですか。(複数回答可)

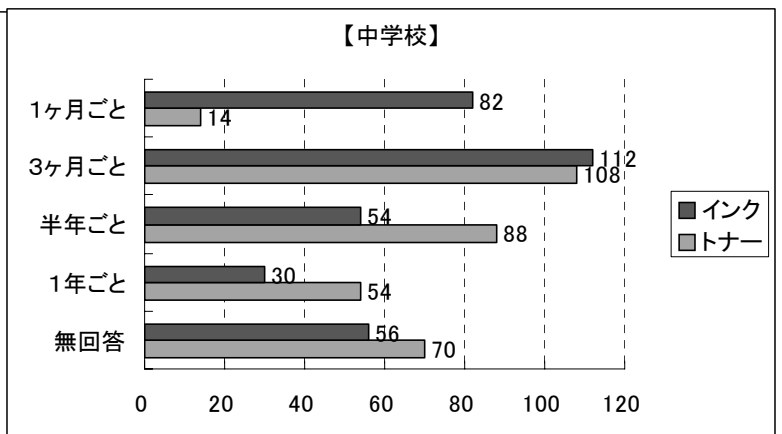
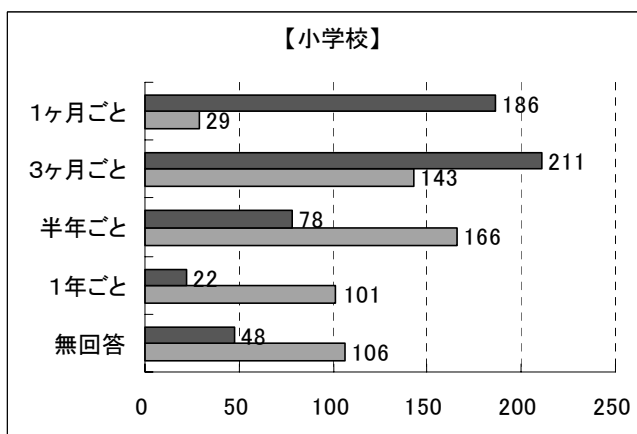
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
カラーレーザープリンタ	412	41.0%	75.6%	251	42.9%	75.1%	663	41.7%	75.4%
インクジェットプリンタ	466	46.4%	85.5%	254	43.4%	76.0%	720	45.3%	81.9%
大判インクジェットプリンタ	127	12.6%	23.3%	80	13.7%	24.0%	207	13.0%	23.5%
計	1,005	100.0%	184.4%	585	100.0%	175.1%	1,590	100.0%	180.9%



※小・中学校全体で前回調査比カラーレーザープリンタが(66.1%→75.4%)、インクジェットプリンタが(75.1%→81.9%)と高い設置率で伸びているが、大判インクジェットプリンタは(16.4%→23.5%)とまだまだ低い設置率である。今後の整備が望まれる。

4-1-2-3. カラープリンタのトナー／インクの交換頻度は次のどれですか。

	小学校				中学校				計			
	トナー		インク		トナー		インク		トナー		インク	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
1ヶ月ごと	29	2.2%	186	14.2%	14	1.1%	82	6.2%	43	4.9%	268	30.5%
3ヶ月ごと	143	10.9%	211	16.1%	108	8.2%	112	8.5%	251	28.6%	323	36.7%
半年ごと	166	12.6%	78	5.9%	88	6.7%	54	4.1%	254	28.9%	132	15.0%
1年ごと	101	7.7%	22	1.7%	54	4.1%	30	2.3%	155	17.6%	52	5.9%
無回答	106	8.1%	48	3.7%	70	5.3%	56	4.3%	176	20.0%	104	11.8%
計	545	41.5%	545	41.5%	334	25.4%	334	25.4%	879	100.0%	879	100.0%

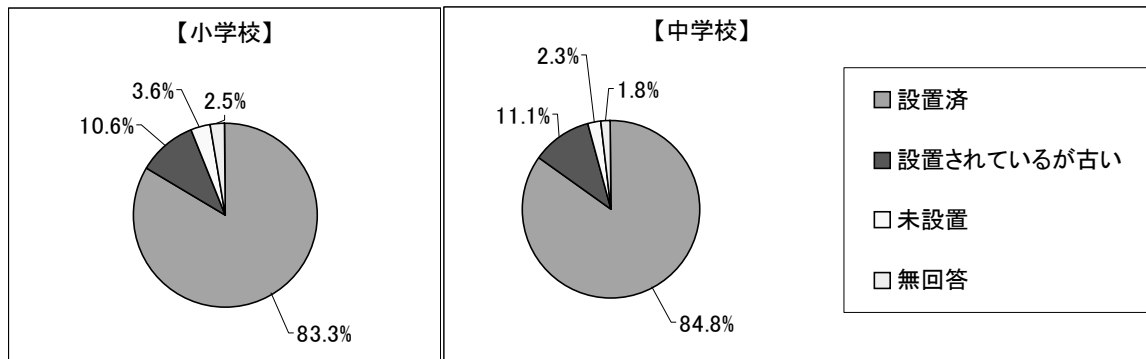


※小・中学校全体で、トナーを毎月交換する学校は4.9%、3ヶ月に1回交換する学校は28.6%でまだまだ活用度が低いことがうかがえる。

4-2. プロジェクト

4-2-1. プロジェクトについてうかがいます。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
設置済	465	83.3%	290	84.8%	755	83.9%
設置されているが古い	59	10.6%	38	11.1%	97	10.8%
未設置	20	3.6%	8	2.3%	28	3.1%
無回答	14	2.5%	6	1.8%	20	2.2%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

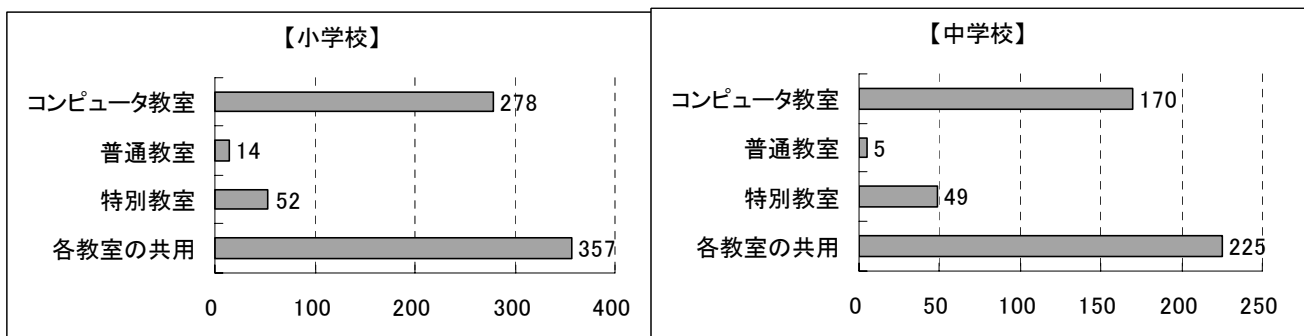


※前回調査比で、「未設置」が(6.3%→3.1%)と半減している。ほとんどの学校に設置されていることがうかがえる。

4-2-2. 4-2-1で「設置済」「設置されているが古い」と回答された方にうかがいます。

4-2-2-1. どの教室に設置されていますか。(複数回答可)

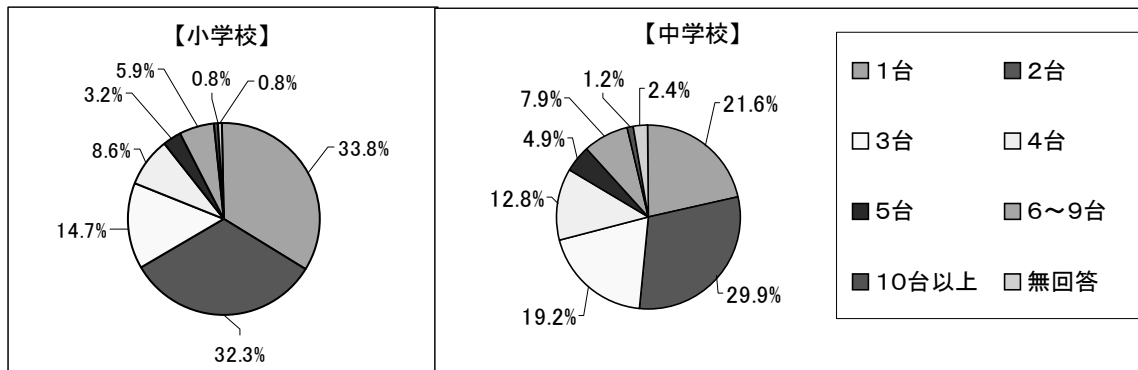
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
コンピュータ教室	278	39.7%	53.1%	170	37.9%	51.8%	448	39.0%	52.6%
普通教室	14	2.0%	2.7%	5	1.1%	1.5%	19	1.7%	2.2%
特別教室	52	7.4%	9.9%	49	10.9%	14.9%	101	8.8%	11.9%
各教室の共用	357	50.9%	68.1%	225	50.1%	68.6%	582	50.6%	68.3%
計	701	100.0%	133.8%	449	100.0%	136.9%	1,150	100.0%	135.0%



※「コンピュータ教室」と「各教室の共用」が高い回答比を示しており、特に「各教室の共用」は必要性の高まりを反映している。

4-2-2-2. 全校で何台ですか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
1台	177	33.8%	71	21.6%	248	29.1%
2台	169	32.3%	98	29.9%	267	31.3%
3台	77	14.7%	63	19.2%	140	16.4%
4台	45	8.6%	42	12.8%	87	10.2%
5台	17	3.2%	16	4.9%	33	3.9%
6～9台	31	5.9%	26	7.9%	57	6.7%
10台以上	4	0.8%	4	1.2%	8	0.9%
無回答	4	0.8%	8	2.4%	12	1.4%
計	524	100.0%	328	100.0%	852	100.0%



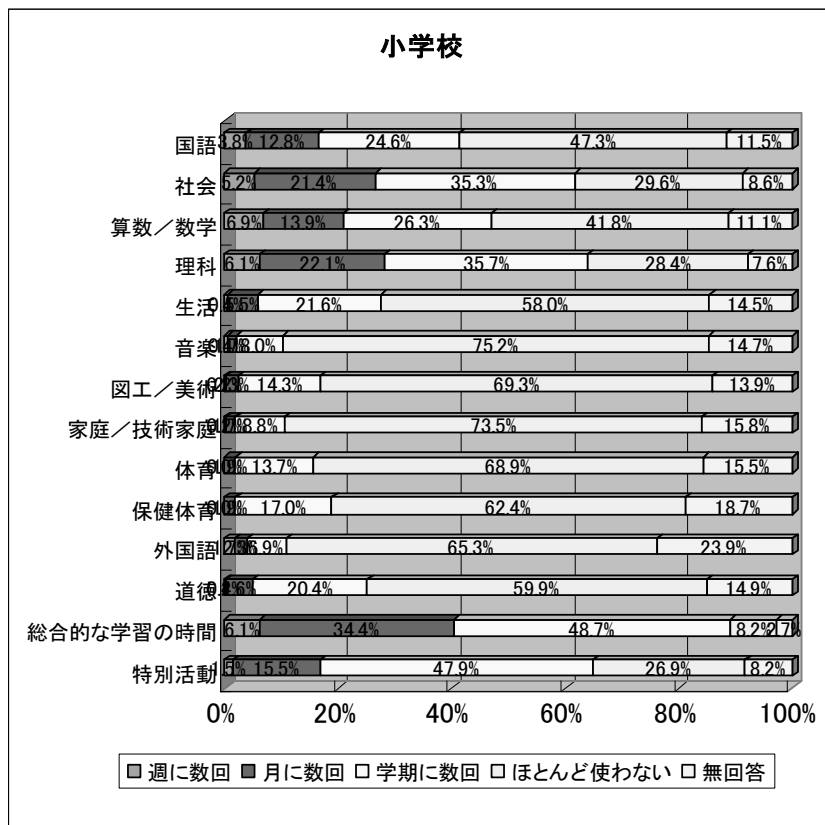
※ 3台以上の導入は前回調査比で(25.5%→38.1%)と若干増加しているが、学校での活用の高まりに対してまだまだ足りない状況が続いている。

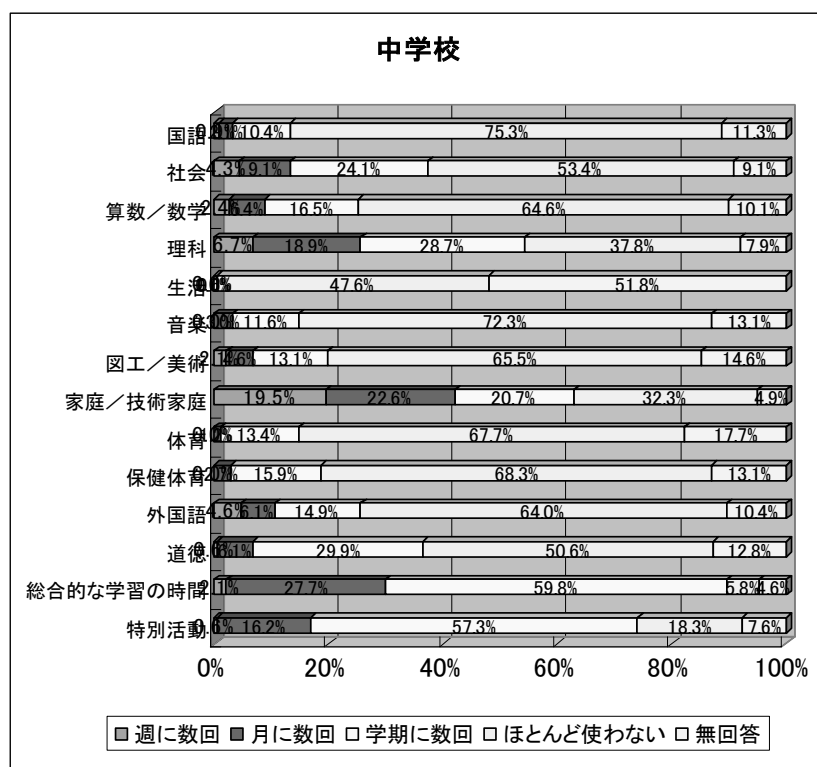
4-2-2-3. プロジェクタは何の教科でどれくらい活用していますか。

小学校	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	20	3.8%	67	12.8%	129	24.6%	248	47.3%	60	11.5%
社会	27	5.2%	112	21.4%	185	35.3%	155	29.6%	45	8.6%
算数／数学	36	6.9%	73	13.9%	138	26.3%	219	41.8%	58	11.1%
理科	32	6.1%	116	22.1%	187	35.7%	149	28.4%	40	7.6%
生活	2	0.4%	29	5.5%	113	21.6%	304	58.0%	76	14.5%
音楽	2	0.4%	9	1.7%	42	8.0%	394	75.2%	77	14.7%
図工／美術	1	0.2%	12	2.3%	75	14.3%	363	69.3%	73	13.9%
家庭／技術家	1	0.2%	9	1.7%	46	8.8%	385	73.5%	83	15.8%
体育	0	0.0%	10	1.9%	72	13.7%	361	68.9%	81	15.5%
保健体育	0	0.0%	10	1.9%	89	17.0%	327	62.4%	98	18.7%
外国語	9	1.7%	12	2.3%	36	6.9%	342	65.3%	125	23.9%
道徳	1	0.2%	24	4.6%	107	20.4%	314	59.9%	78	14.9%
総合的な学習	32	6.1%	180	34.4%	255	48.7%	43	8.2%	14	2.7%
特別活動	8	1.5%	81	15.5%	251	47.9%	141	26.9%	43	8.2%
計	171	2.3%	744	10.1%	1,725	23.5%	3,745	51.0%	951	13.0%

中学校	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	3	0.9%	7	2.1%	34	10.4%	247	75.3%	37	11.3%
社会	14	4.3%	30	9.1%	79	24.1%	175	53.4%	30	9.1%
算数／数学	8	2.4%	21	6.4%	54	16.5%	212	64.6%	33	10.1%
理科	22	6.7%	62	18.9%	94	28.7%	124	37.8%	26	7.9%
生活	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%	156	47.6%	170	51.8%
音楽	0	0.0%	10	3.0%	38	11.6%	237	72.3%	43	13.1%
図工／美術	7	2.1%	15	4.6%	43	13.1%	215	65.5%	48	14.6%
家庭／技術家庭	64	19.5%	74	22.6%	68	20.7%	106	32.3%	16	4.9%
体育	0	0.0%	4	1.2%	44	13.4%	222	67.7%	58	17.7%
保健体育	0	0.0%	9	2.7%	52	15.9%	224	68.3%	43	13.1%
外国語	15	4.6%	20	6.1%	49	14.9%	210	64.0%	34	10.4%
道徳	2	0.6%	20	6.1%	98	29.9%	166	50.6%	42	12.8%
総合的な学習の時間	7	2.1%	91	27.7%	196	59.8%	19	5.8%	15	4.6%
特別活動	2	0.6%	53	16.2%	188	57.3%	60	18.3%	25	7.6%
計	144	3.1%	416	9.1%	1,039	22.6%	2,373	51.7%	620	13.5%

計	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	23	2.7%	74	8.7%	163	19.1%	495	58.1%	97	11.4%
社会	41	4.8%	142	16.7%	264	31.0%	330	38.7%	75	8.8%
算数／数学	44	5.2%	94	11.0%	192	22.5%	431	50.6%	91	10.7%
理科	54	6.3%	178	20.9%	281	33.0%	273	32.0%	66	7.7%
生活	2	0.2%	29	3.4%	115	13.5%	460	54.0%	246	28.9%
音楽	2	0.2%	19	2.2%	80	9.4%	631	74.1%	120	14.1%
図工／美術	8	0.9%	27	3.2%	118	13.8%	578	67.8%	121	14.2%
家庭／技術家庭	65	7.6%	83	9.7%	114	13.4%	491	57.6%	99	11.6%
体育	0	0.0%	14	1.6%	116	13.6%	583	68.4%	139	16.3%
保健体育	0	0.0%	19	2.2%	141	16.5%	551	64.7%	141	16.5%
外国語	24	2.8%	32	3.8%	85	10.0%	552	64.8%	159	18.7%
道徳	3	0.4%	44	5.2%	205	24.1%	480	56.3%	120	14.1%
総合的な学習の時間	39	4.6%	271	31.8%	451	52.9%	62	7.3%	29	3.4%
特別活動	10	1.2%	134	15.7%	439	51.5%	201	23.6%	68	8.0%
計	315	2.6%	1,160	9.7%	2,764	23.2%	6,118	51.3%	1,571	13.2%

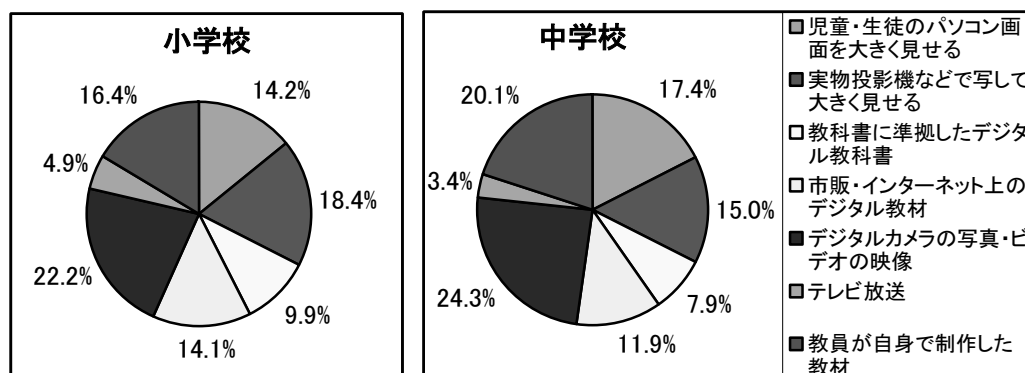




※ 小学校では理科、社会、総合的な学習の時間、中学校では理科、技術家庭、総合的な学習の時間の活用頻度が高い。

4-2-2-4. 授業でプロジェクトを使う場合、使いたい教材は何ですか。(複数回答可)

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
児童・生徒のパソコン画面を大きく見せる	275	14.2%	52.5%	182	17.4%	55.5%	457	15.3%	53.6%
教科書・ノート・教材などを実物投影機などで写して大きく見せる	356	18.4%	67.9%	157	15.0%	47.9%	513	17.2%	60.2%
教科書に準拠したデジタル教科書	191	9.9%	36.5%	82	7.9%	25.0%	273	9.2%	32.0%
市販・インターネット上のデジタル教材	273	14.1%	52.1%	124	11.9%	37.8%	397	13.3%	46.6%
デジタルカメラの写真・ビデオの映像	430	22.2%	82.1%	254	24.3%	77.4%	684	22.9%	80.3%
テレビ放送	94	4.9%	17.9%	35	3.4%	10.7%	129	4.3%	15.1%
教員が自身で制作した教材	318	16.4%	60.7%	210	20.1%	64.0%	528	17.7%	62.0%
計	1,937	100.0%	369.7%	1,044	100.0%	318.3%	2,981	100.0%	349.9%

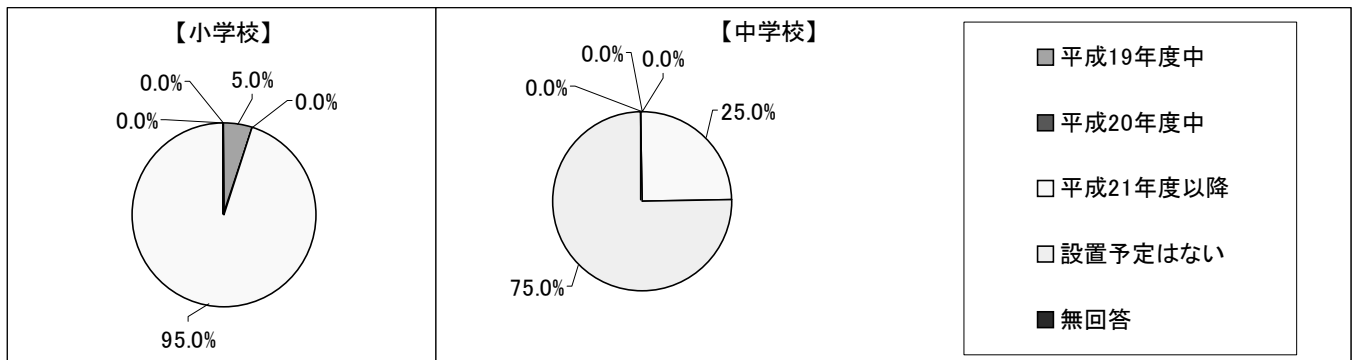


※ 「デジタルカメラの写真・ビデオの映像」が 80.3%と際立って高い比率を示しているが、各項目とも高い比率を示していることを見ると多様な活用がなされているといえる。また、登場して間もないデジタル教科書が 32.0%の比率を示していることに注目したい。

4-2-3. 4-2-1で「未設置」と回答された方にうかがいます。

4-2-3-1. 今後の設置予定はありますか。

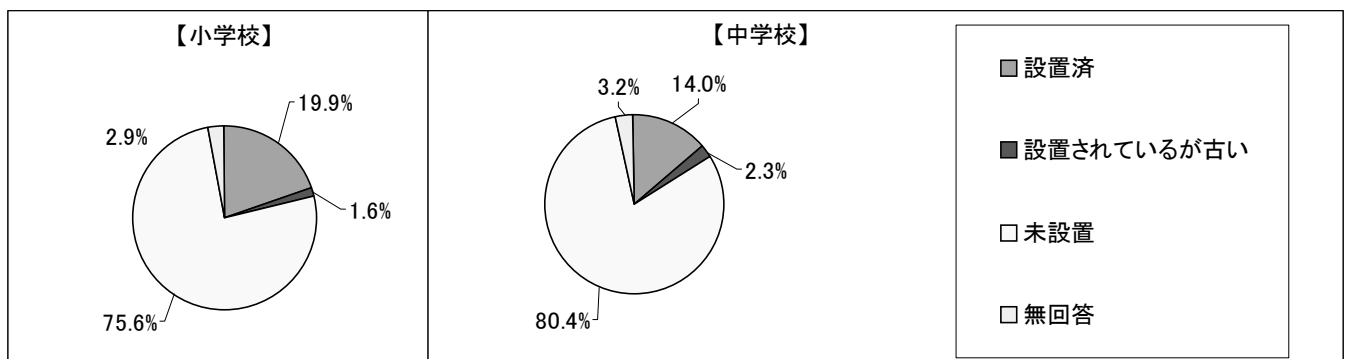
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
平成19年度中	1	5.0%	0	0.0%	1	3.6%
平成20年度中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
平成21年度以降	19	95.0%	2	25.0%	21	75.0%
設置予定はない	0	0.0%	6	75.0%	6	21.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	20	100.0%	8	100.0%	28	100.0%



4-3. 電子情報ボード

4-3-1. 電子情報ボードについてうかがいます。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
設置済	111	19.9%	48	14.0%	159	17.7%
設置されているが古い	9	1.6%	8	2.3%	17	1.9%
未設置	422	75.6%	275	80.4%	697	77.4%
無回答	16	2.9%	11	3.2%	27	3.0%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

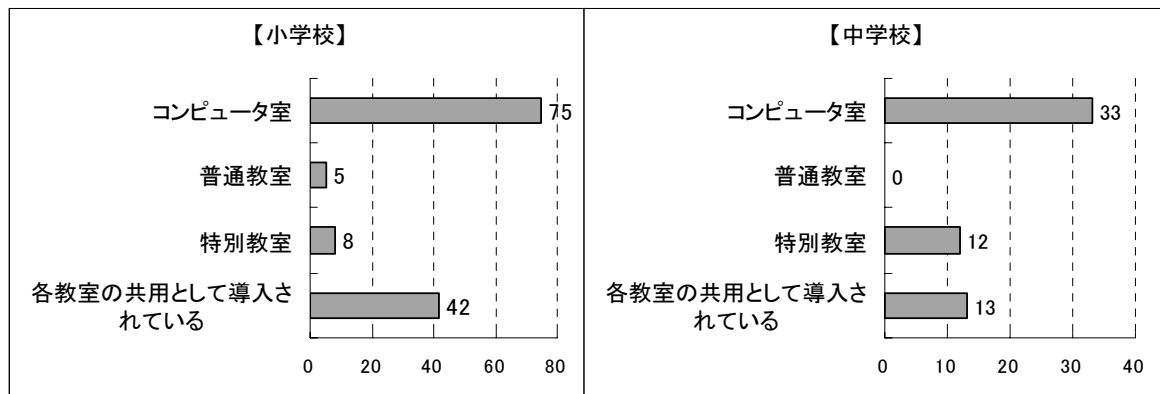


※前回調査比で、「未設置」が(80.0%→77.4%)と変わらず高い比率であり、まだまだ普及していない状況である。

4-3-2. 4-3-1で「設置済」「設置されているが古い」と回答された方にうかがいます。

4-3-2-1. どの教室に設置されていますか。(複数回答可)

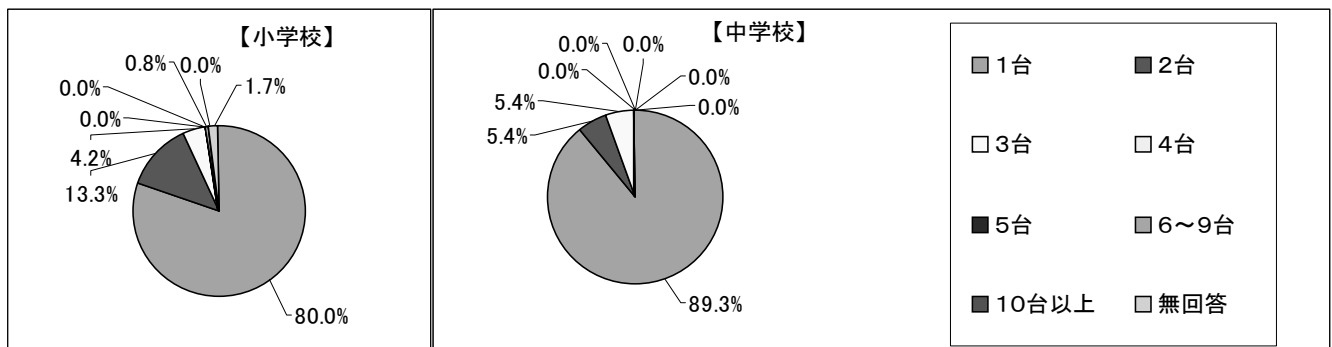
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
コンピュータ室	75	57.7%	62.5%	33	56.9%	58.9%	108	57.4%	61.4%
普通教室	5	3.8%	4.2%	0	0.0%	0.0%	5	2.7%	2.8%
特別教室	8	6.2%	6.7%	12	20.7%	21.4%	20	10.6%	11.4%
各教室の共用として導入されている	42	32.3%	35.0%	13	22.4%	23.2%	55	29.3%	31.3%
計	130	100.0%	108.3%	58	100.0%	103.6%	188	100.0%	106.8%



※コンピュータ室への導入以外で「各教室の共用として導入」が 31.3%と目立っており、各教室への導入が難しい中、整備に腐心している様子がうかがえる。

4-3-2-2. 全校で何台ですか。

	小学校(		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
1 台	96	80.0%	50	89.3%	146	83.0%
2 台	16	13.3%	3	5.4%	19	10.8%
3 台	5	4.2%	3	5.4%	8	4.5%
4 台	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 台	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6～9 台	1	0.8%	0	0.0%	1	0.6%
10 台以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	1.7%	0	0.0%	2	1.1%
計	120	100.0%	56	100.0%	176	100.0%



※全教室への普及が望まれるが、実態は低い整備率にとどまっている。

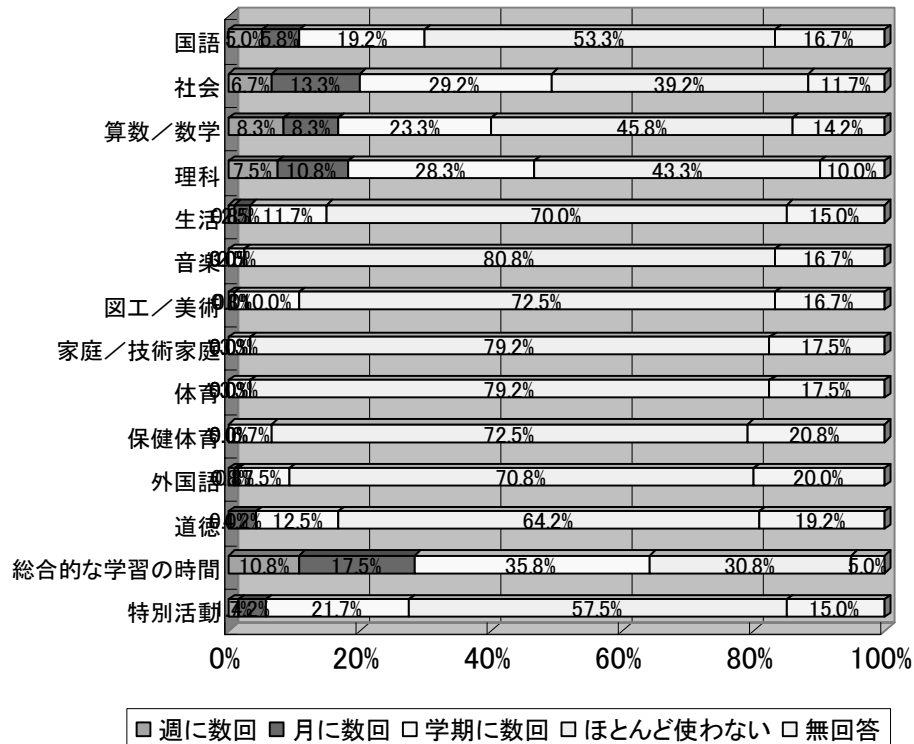
4-3-2-3. 電子情報ボードは何の教科にどれくらい活用していますか。

小学校	週に数回		週に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	6	5.0%	7	5.8%	23	19.2%	64	53.3%	20	16.7%
社会	8	6.7%	16	13.3%	35	29.2%	47	39.2%	14	11.7%
算数／数学	10	8.3%	10	8.3%	28	23.3%	55	45.8%	17	14.2%
理科	9	7.5%	13	10.8%	34	28.3%	52	43.3%	12	10.0%
生活	1	0.8%	3	2.5%	14	11.7%	84	70.0%	18	15.0%
音楽	0	0.0%	0	0.0%	3	2.5%	97	80.8%	20	16.7%
図工／美術	1	0.8%	0	0.0%	12	10.0%	87	72.5%	20	16.7%
家庭／技術家	0	0.0%	0	0.0%	4	3.3%	95	79.2%	21	17.5%
体育	0	0.0%	0	0.0%	4	3.3%	95	79.2%	21	17.5%
保健体育	0	0.0%	0	0.0%	8	6.7%	87	72.5%	25	20.8%
外国語	1	0.8%	1	0.8%	9	7.5%	85	70.8%	24	20.0%
道徳	0	0.0%	5	4.2%	15	12.5%	77	64.2%	23	19.2%
総合的な学習	13	10.8%	21	17.5%	43	35.8%	37	30.8%	6	5.0%
特別活動	2	1.7%	5	4.2%	26	21.7%	69	57.5%	18	15.0%
計	51	6.9%	81	11.0%	132	17.9%	213	28.9%	259	35.2%

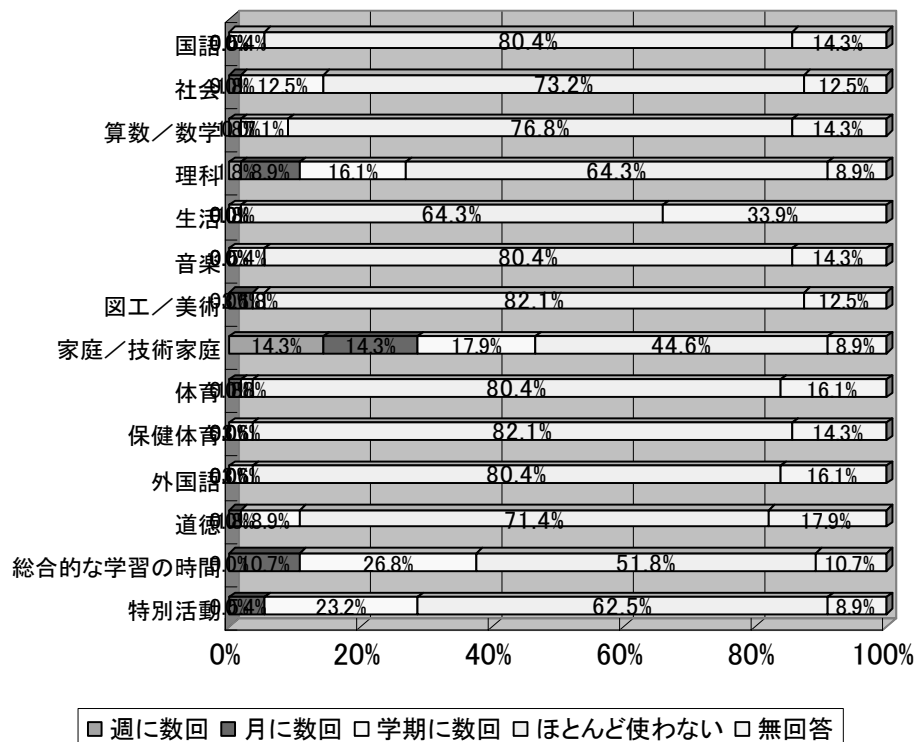
中学校	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	0	0.0%	0	0.0%	3	5.4%	45	80.4%	8	14.3%
社会	0	0.0%	1	1.8%	7	12.5%	41	73.2%	7	12.5%
算数／数学	1	1.8%	0	0.0%	4	7.1%	43	76.8%	8	14.3%
理科	1	1.8%	5	8.9%	9	16.1%	36	64.3%	5	8.9%
生活	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	36	64.3%	19	33.9%
音楽	0	0.0%	0	0.0%	3	5.4%	45	80.4%	8	14.3%
図工／美術	0	0.0%	2	3.6%	1	1.8%	46	82.1%	7	12.5%
家庭／技術家	8	14.3%	8	14.3%	10	17.9%	25	44.6%	5	8.9%
体育	0	0.0%	1	1.8%	1	1.8%	45	80.4%	9	16.1%
保健体育	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%	46	82.1%	8	14.3%
外国語	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%	45	80.4%	9	16.1%
道徳	0	0.0%	1	1.8%	5	8.9%	40	71.4%	10	17.9%
総合的な学習	0	0.0%	6	10.7%	15	26.8%	29	51.8%	6	10.7%
特別活動	0	0.0%	3	5.4%	13	23.2%	35	62.5%	5	8.9%
計	10	4.0%	27	10.7%	37	14.7%	64	25.4%	114	45.2%

計	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	6	3.4%	7	4.0%	26	14.8%	109	61.9%	28	15.9%
社会	8	4.5%	17	9.7%	42	23.9%	88	50.0%	21	11.9%
算数／数学	11	6.3%	10	5.7%	32	18.2%	98	55.7%	25	14.2%
理科	10	5.7%	18	10.2%	43	24.4%	88	50.0%	17	9.7%
生活	1	0.6%	3	1.7%	15	8.5%	120	68.2%	37	21.0%
音楽	0	0.0%	0	0.0%	6	3.4%	142	80.7%	28	15.9%
図工／美術	1	0.6%	2	1.1%	13	7.4%	133	75.6%	27	15.3%
家庭／技術家	8	4.5%	8	4.5%	14	8.0%	120	68.2%	26	14.8%
体育	0	0.0%	1	0.6%	5	2.8%	140	79.5%	30	17.0%
保健体育	0	0.0%	0	0.0%	10	5.7%	133	75.6%	33	18.8%
外国語	1	0.6%	1	0.6%	11	6.3%	130	73.9%	33	18.8%
道徳	0	0.0%	6	3.4%	20	11.4%	117	66.5%	33	18.8%
総合的な学習	13	7.4%	27	15.3%	58	33.0%	66	37.5%	12	6.8%
特別活動	2	1.1%	8	4.5%	39	22.2%	104	59.1%	23	13.1%
計	61	6.2%	108	10.9%	169	17.1%	277	28.0%	373	37.8%

小学校



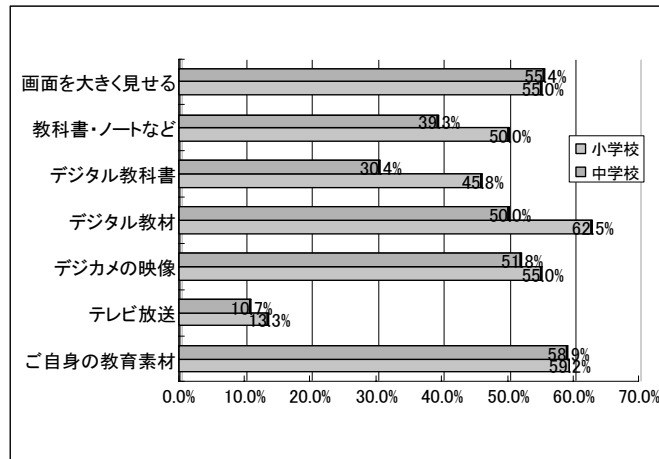
中学校



※小学校では理科、社会、総合的な学習の時間、中学校では理科、技術家庭、総合の活用頻度が高く、プロジェクトと同様の傾向を示している。

4-3-2-4. 授業で電子情報ボードを使う場合、使いたい教材は何ですか。(複数回答可)

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
児童・生徒のパソコン画面を大きく見せる	66	16.1%	55.0%	31	18.7%	55.4%	97	16.9%	55.1%
教科書・ノートなどをカメラ・実物投影機などで写して大きく	60	14.7%	50.0%	22	13.3%	39.3%	82	14.3%	46.6%
教科書に準拠したデジタル教科	55	13.4%	45.8%	17	10.2%	30.4%	72	12.5%	40.9%
ホームページに掲載されたデジタル教材	75	18.3%	62.5%	28	16.9%	50.0%	103	17.9%	58.5%
デジカメの写真・ビデオの映像	66	16.1%	55.0%	29	17.5%	51.8%	95	16.5%	54.0%
テレビ放送	16	3.9%	13.3%	6	3.6%	10.7%	22	3.8%	12.5%
ご自身で制作した教育素材	71	17.4%	59.2%	33	19.9%	58.9%	104	18.1%	59.1%
計	409	100.0%	340.8%	166	100.0%	296.4%	575	100.0%	326.7%

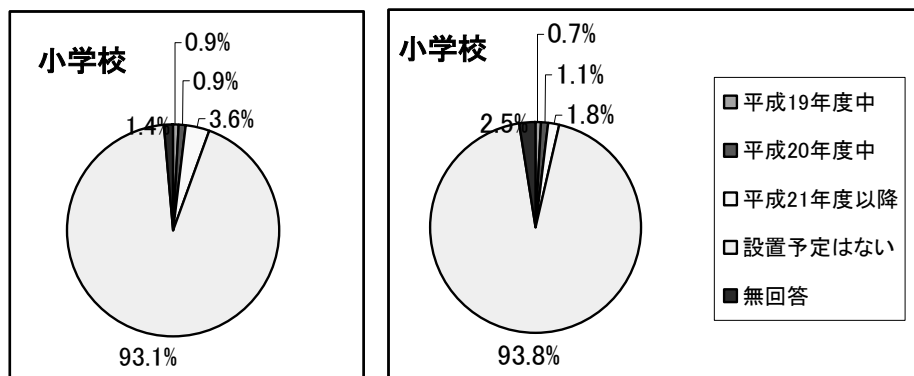


※回答比に注目すると回答者は平均で三つ以上を選択しており、活用の幅が広がりを見せている。

4-3-3. 4-3-1で「未設置」と回答された方にうかがいます。

4-3-3-1. 今後の設置予定はありますか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
平成19年度中	4	0.9%	2	0.7%	6	0.9%
平成20年度中	4	0.9%	3	1.1%	7	1.0%
平成21年度以降	15	3.6%	5	1.8%	20	2.9%
設置予定はない	393	93.1%	258	93.8%	651	93.4%
無回答	6	1.4%	7	2.5%	13	1.9%
計	422	100.0%	275	100.0%	697	100.0%

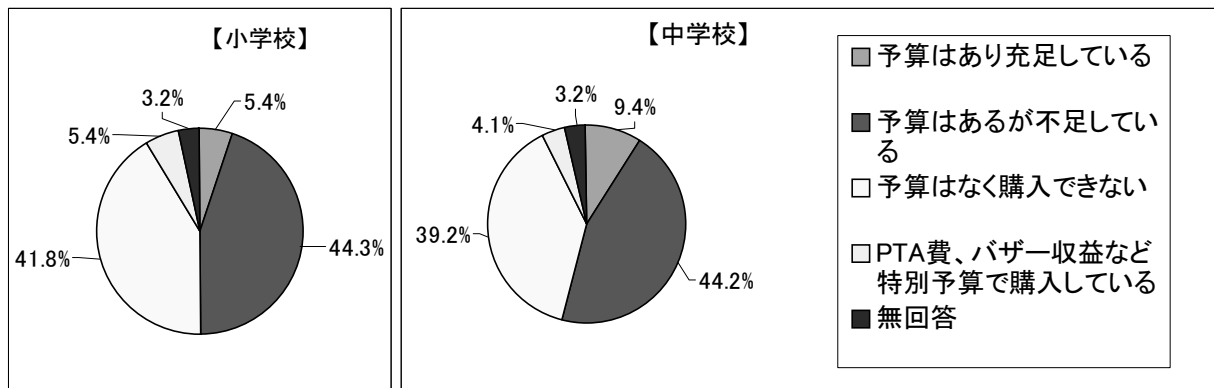


※「設置予定はない」が 93.4%と極めて高い比率である。現状では、電子情報ボードの効果・効用や必要性が認められているとは言えない。英国等の高い採用率を目の当たりにすると、今後の認知と啓発が求められる。

4-4. その他

4-4-1. 周辺機器を購入する予算についてうかがいます。

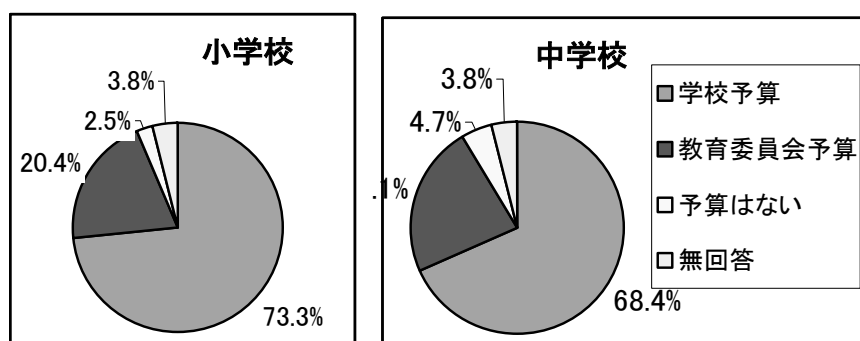
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
予算はあり充足している	30	5.4%	32	9.4%	62	6.9%
予算はあるが不足している	247	44.3%	151	44.2%	398	44.2%
予算はなく購入できない	233	41.8%	134	39.2%	367	40.8%
PTA 費、バザー収益など特別予算で購入している	30	5.4%	14	4.1%	44	4.9%
無回答	18	3.2%	11	3.2%	29	3.2%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※「予算はあるが不足している」「予算はなく購入できない」という回答の合計が、小学校で 86.1%、中学校で 83.4%と、小・中学校ともに 8 割を超えた。大半の学校が周辺機器を購入する予算が不足していることがうかがえる。

4-4-2. 周辺機器の消耗品の購入方法は次のどれですか。

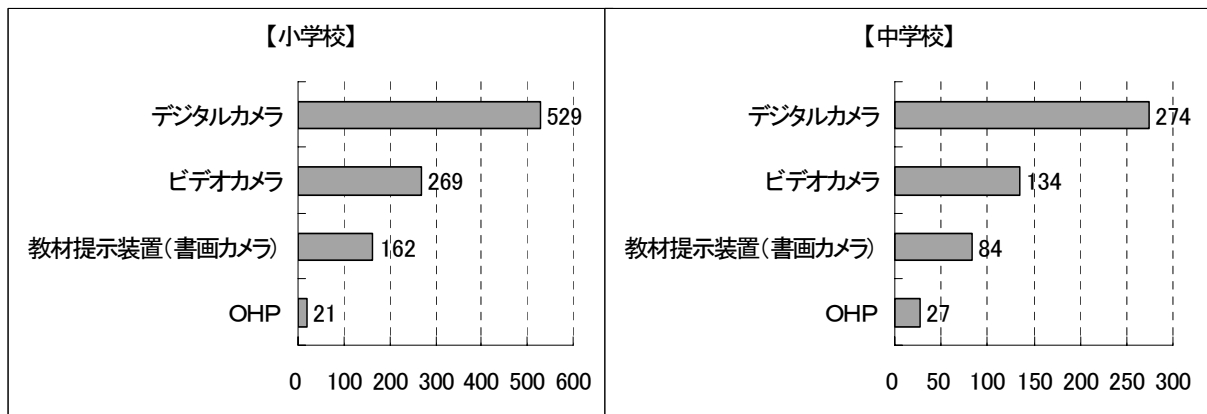
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
学校予算	409	73.3%	234	68.4%	643	71.4%
教育委員会予算	114	20.4%	79	23.1%	193	21.4%
予算はない	14	2.5%	16	4.7%	30	3.3%
無回答	21	3.8%	13	3.8%	34	3.8%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※ 消耗品については「学校予算」が 71.4%を占めている。

4-4-3. 普段の授業で良く使う機器はどれですか。(複数回答可)

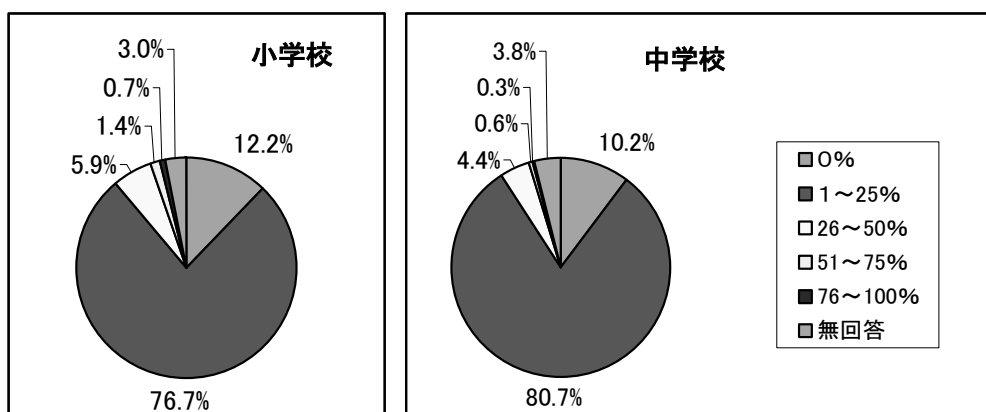
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
デジタルカメラ	529	53.9%	94.8%	274	52.8%	80.1%	803	53.5%	89.2%
ビデオカメラ	269	27.4%	48.2%	134	25.8%	39.2%	403	26.9%	44.8%
教材提示装置(書画カメラ)	162	16.5%	29.0%	84	16.2%	24.6%	246	16.4%	27.3%
OHP	21	2.1%	3.8%	27	5.2%	7.9%	48	3.2%	5.3%
計	981	100.0%	175.8%	519	100.0%	151.8%	1,500	100.0%	166.7%



※小・中学校全体で、「デジタルカメラ」は89.2%を占め、大変よく使われていることがうかがえる。ビデオカメラも44.8%と半数近くの小・中学校で使用が進んでいる。

4-4-4. コンピュータ教室以外でコンピュータを使った授業はどれくらい行ってますか。(授業時間比)

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
0%	68	12.2%	35	10.2%	103	11.4%
1～25%	428	76.7%	276	80.7%	704	78.2%
26～50%	33	5.9%	15	4.4%	48	5.3%
51～75%	8	1.4%	2	0.6%	10	1.1%
76～100%	4	0.7%	1	0.3%	5	0.6%
無回答	17	3.0%	13	3.8%	30	3.3%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

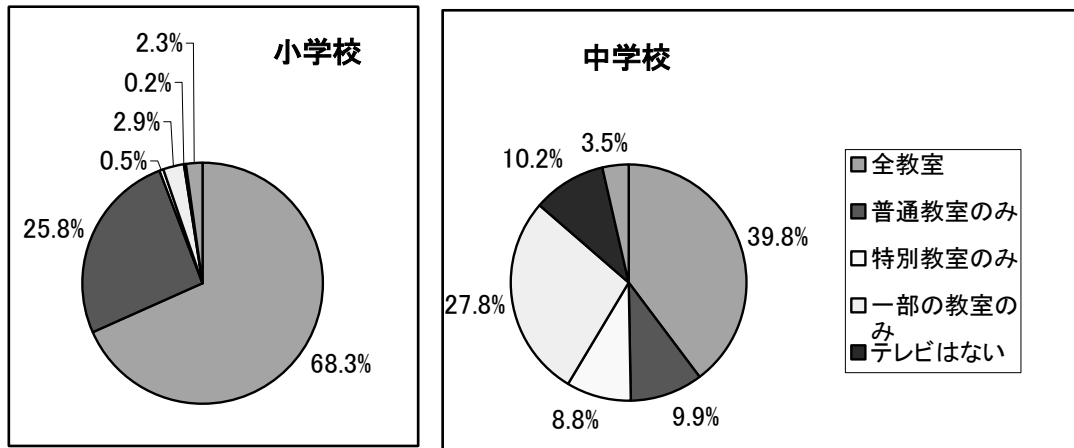


※85.3%の学校において、コンピュータ教室以外でもコンピュータを活用した授業が行われている。これに対して、プロジェクタや電子情報ボードの普通教室への設置は少なく、一層の整備が望まれる。

4-5. テレビ

4-5-1. 教室におけるテレビの設置状況をお聞かせください。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
全教室	381	68.3%	136	39.8%	517	57.4%
普通教室のみ	144	25.8%	34	9.9%	178	19.8%
特別教室のみ	3	0.5%	30	8.8%	33	3.7%
一部の教室のみ	16	2.9%	95	27.8%	111	12.3%
テレビはない	1	0.2%	35	10.2%	36	4.0%
無回答	13	2.3%	12	3.5%	25	2.8%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※小学校では「全教室」「普通教室」への設置が94.1%を占めるのに対し、中学校では49.7%に留まっている。

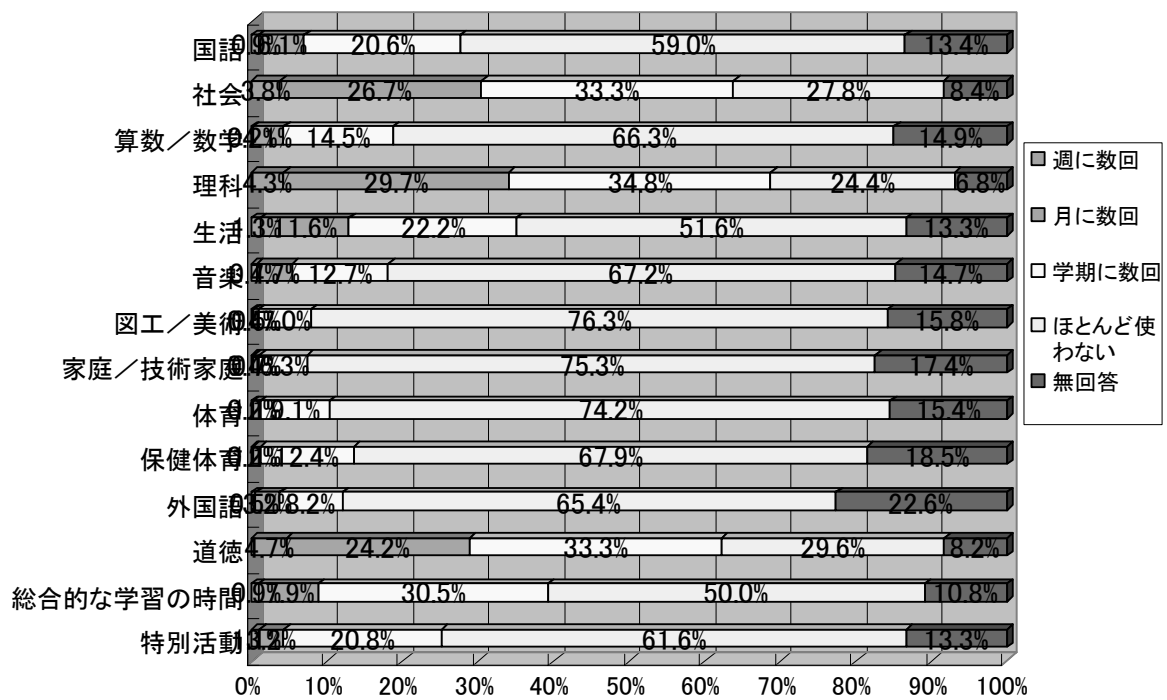
4-5-2. 授業でテレビは何の教科にどれくらい活用していますか。

小学校	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	5	0.9%	34	6.1%	115	20.6%	329	59.0%	75	13.4%
社会	21	3.8%	149	26.7%	186	33.3%	155	27.8%	47	8.4%
算数／数学	1	0.2%	23	4.1%	81	14.5%	370	66.3%	83	14.9%
理科	24	4.3%	166	29.7%	194	34.8%	136	24.4%	38	6.8%
生活	7	1.3%	65	11.6%	124	22.2%	288	51.6%	74	13.3%
音楽	4	0.7%	26	4.7%	71	12.7%	375	67.2%	82	14.7%
図工／美術	2	0.4%	3	0.5%	39	7.0%	426	76.3%	88	15.8%
家庭／技術家庭	2	0.4%	4	0.7%	35	6.3%	420	75.3%	97	17.4%
体育	1	0.2%	6	1.1%	51	9.1%	414	74.2%	86	15.4%
保健体育	1	0.2%	6	1.1%	69	12.4%	379	67.9%	103	18.5%
外国語	3	0.5%	18	3.2%	46	8.2%	365	65.4%	126	22.6%
道徳	26	4.7%	135	24.2%	186	33.3%	165	29.6%	46	8.2%
総合的な学習の時間	5	0.9%	44	7.9%	170	30.5%	279	50.0%	60	10.8%
特別活動	6	1.1%	18	3.2%	116	20.8%	344	61.6%	74	13.3%
計	108	2.6%	697	16.6%	805	19.2%	1,502	35.8%	1,079	25.7%

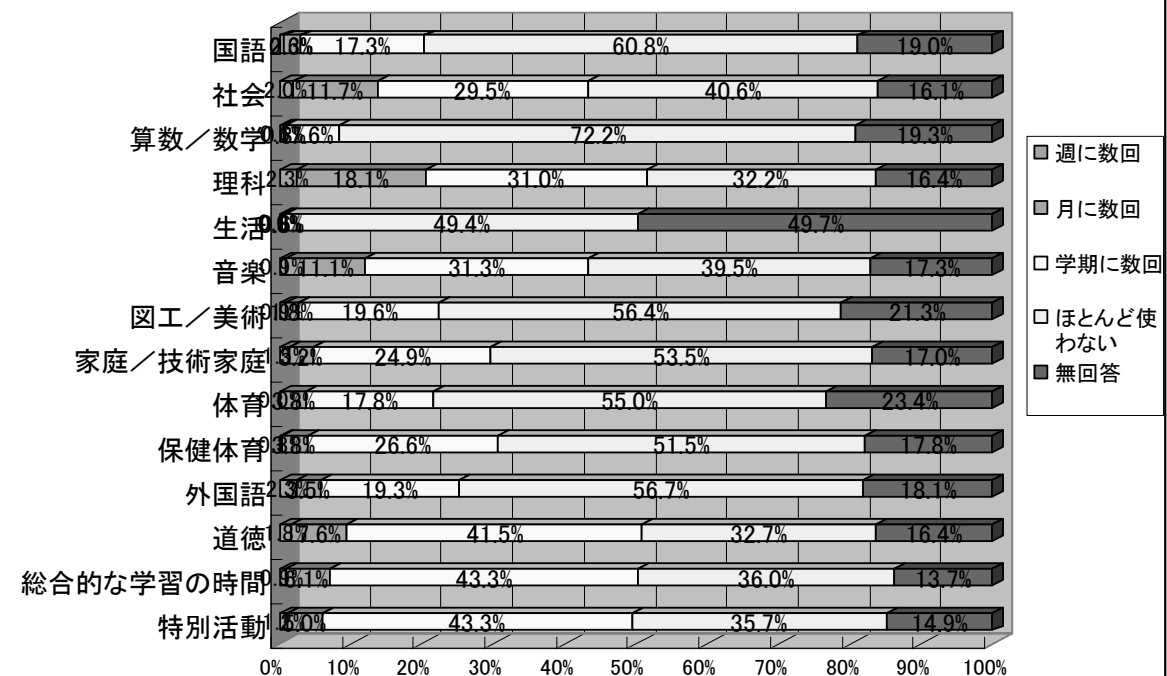
中学校	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	2	0.6%	8	2.3%	59	17.3%	208	60.8%	65	19.0%
社会	7	2.0%	40	11.7%	101	29.5%	139	40.6%	55	16.1%
算数／数学	2	0.6%	1	0.3%	26	7.6%	247	72.2%	66	19.3%
理科	8	2.3%	62	18.1%	106	31.0%	110	32.2%	56	16.4%
生活	0	0.0%	1	0.3%	2	0.6%	169	49.4%	170	49.7%
音楽	3	0.9%	38	11.1%	107	31.3%	135	39.5%	59	17.3%
図工／美術	3	0.9%	6	1.8%	67	19.6%	193	56.4%	73	21.3%
家庭／技術家庭	5	1.5%	11	3.2%	85	24.9%	183	53.5%	58	17.0%
体育	0	0.0%	13	3.8%	61	17.8%	188	55.0%	80	23.4%
保健体育	1	0.3%	13	3.8%	91	26.6%	176	51.5%	61	17.8%
外国語	8	2.3%	12	3.5%	66	19.3%	194	56.7%	62	18.1%
道徳	6	1.8%	26	7.6%	142	41.5%	112	32.7%	56	16.4%
総合的な学習の時間	3	0.9%	21	6.1%	148	43.3%	123	36.0%	47	13.7%
特別活動	4	1.2%	17	5.0%	148	43.3%	122	35.7%	51	14.9%
計	52	2.4%	269	12.3%	321	14.7%	590	26.9%	959	43.8%

計	週に数回		月に数回		学期に数回		ほとんど使わない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	7	0.8%	42	4.7%	174	19.3%	537	59.7%	140	15.6%
社会	28	3.1%	189	21.0%	287	31.9%	294	32.7%	102	11.3%
算数／数学	3	0.3%	24	2.7%	107	11.9%	617	68.6%	149	16.6%
理科	32	3.6%	228	25.3%	300	33.3%	246	27.3%	94	10.4%
生活	7	0.8%	66	7.3%	126	14.0%	457	50.8%	244	27.1%
音楽	7	0.8%	64	7.1%	178	19.8%	510	56.7%	141	15.7%
図工／美術	5	0.6%	9	1.0%	106	11.8%	619	68.8%	161	17.9%
家庭／技術家庭	7	0.8%	15	1.7%	120	13.3%	603	67.0%	155	17.2%
体育	1	0.1%	19	2.1%	112	12.4%	602	66.9%	166	18.4%
保健体育	2	0.2%	19	2.1%	160	17.8%	555	61.7%	164	18.2%
外国語	11	1.2%	30	3.3%	112	12.4%	559	62.1%	188	20.9%
道徳	32	3.6%	161	17.9%	328	36.4%	277	30.8%	102	11.3%
総合的な学習の時間	8	0.9%	65	7.2%	318	35.3%	402	44.7%	107	11.9%
特別活動	10	1.1%	35	3.9%	264	29.3%	466	51.8%	125	13.9%
計	160	2.5%	966	15.1%	1,126	17.6%	2,092	32.8%	2,038	31.9%

小学校



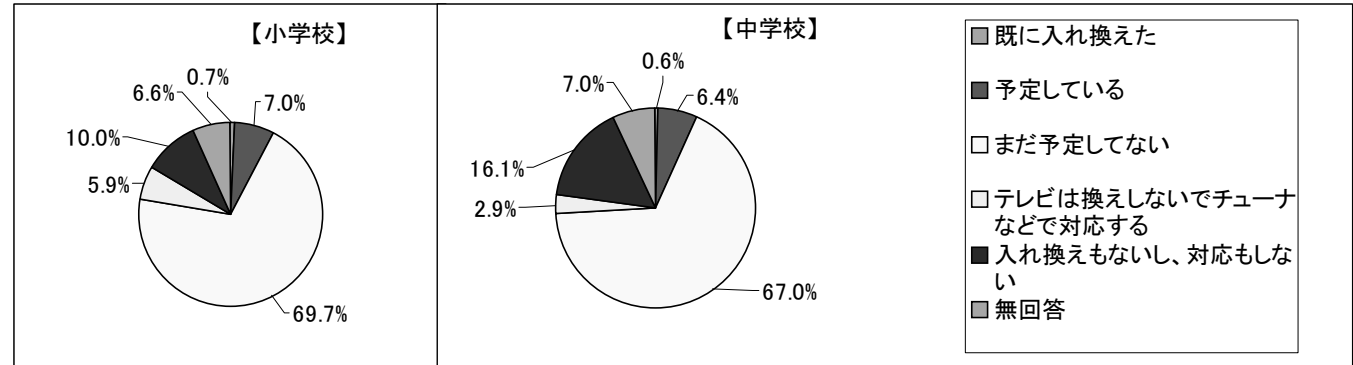
中学校



小学校では理科、社会、道徳、中学校では理科、社会、音楽の活用度が高い。

4-5-3. 2011年（平成23年）のアナログ放送終了までに、地上デジタルテレビと入れ換える予定はありますか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
既に入れ換えた	4	0.7%	2	0.6%	6	0.7%
予定している	39	7.0%	22	6.4%	61	6.8%
まだ予定していない	389	69.7%	229	67.0%	618	68.7%
テレビは換えしないでチューナなどで対応する	33	5.9%	10	2.9%	43	4.8%
入れ換えもないし、対応もしない	56	10.0%	55	16.1%	111	12.3%
無回答	37	6.6%	24	7.0%	61	6.8%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

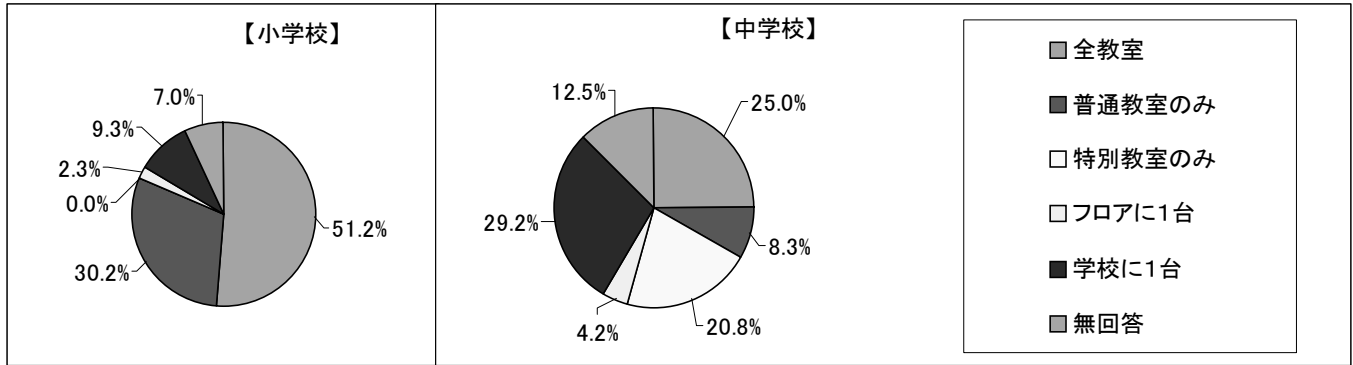


※「まだ予定していない」学校が 68.7%を占め、今後の方針が定まっていないところが多い。地上デジタル放送への切り換えが迫っているため、対応が急がれる。

4-5-4. 4-5-3で「既に入れ換えた」「予定している」と回答された方にうかがいます。

4-5-4-1. その概要についてお答えください。

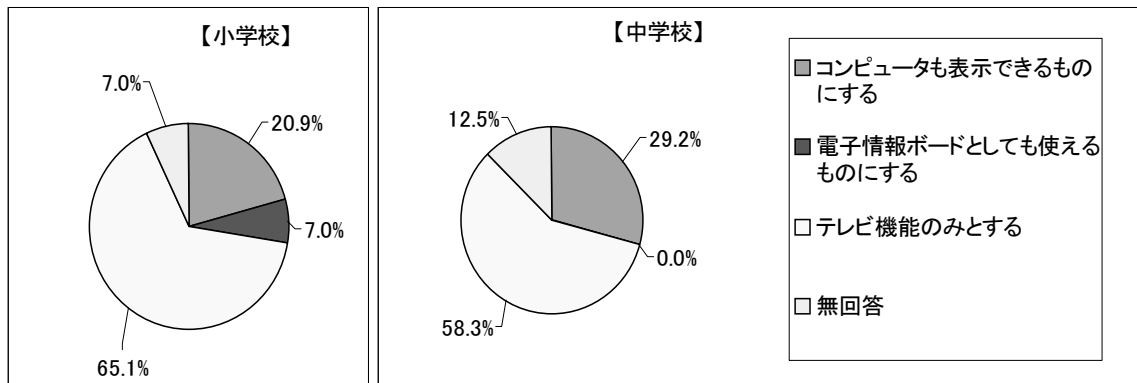
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
全教室	22	51.2%	6	25.0%	28	41.8%
普通教室のみ	13	30.2%	2	8.3%	15	22.4%
特別教室のみ	0	0.0%	5	20.8%	5	7.5%
フロアに1台	1	2.3%	1	4.2%	2	3.0%
学校に1台	4	9.3%	7	29.2%	11	16.4%
無回答	3	7.0%	3	12.5%	6	9.0%
計	43	100.0%	24	100.0%	67	100.0%



※4-5-1で設問した既存のテレビの設置状況と比較すると、地上デジタルテレビは「全教室」に設置される割合が下がり（57.4%→41.8%）、小学校では「普通教室のみ」、中学校では「特別教室のみ」「学校に1台」が多くなる。

4－5－4－2．どのような機能がついていますか。（もしくは予定されていますか）

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
コンピュータも表示できるものにする	9	20.9%	7	29.2%	16	23.9%
電子情報ボードとしても使えるものにする	3	7.0%	0	0.0%	3	4.5%
テレビ機能のみとする	28	65.1%	14	58.3%	42	62.7%
無回答	3	7.0%	3	12.5%	6	9.0%
計	43	100.0%	24	100.0%	67	100.0%

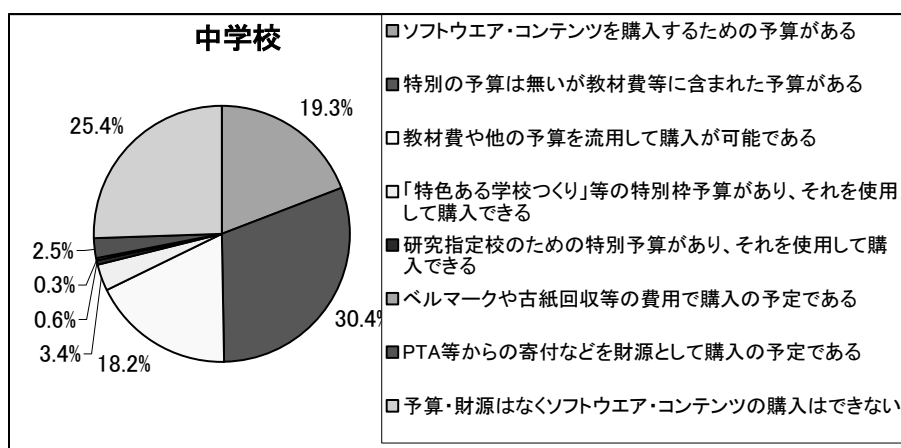
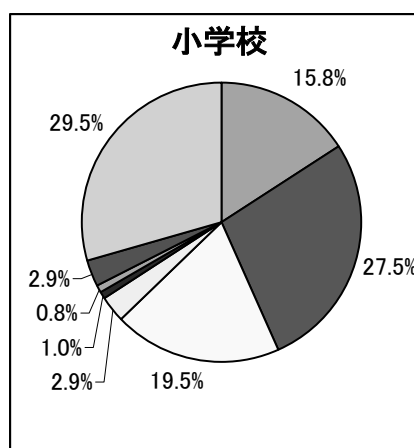


※ コンピュータの整備と合わせて考えれば「コンピュータも表示できるものにする」は必須と考えるが、実際には23.9%と低く留まっており、コンピュータ整備とテレビ整備の連携が課題といえる。

学校 2. ソフトウェア

2-1. 貴校では学習用のソフトウェア・コンテンツを購入する予算がありますか？今年度の場合でお答え下さい。（複数回答可）

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
ソフトウェア・コンテンツを購入するための予算がある	93	15.8%	16.7%	69	19.3%	20.2%	162	17.1%	18.0%
特別の予算は無いが教材費等に含まれた予算がある	162	27.5%	29.0%	109	30.4%	31.9%	271	28.6%	30.1%
教材費や他の予算を流用して購入が可能である	115	19.5%	20.6%	65	18.2%	19.0%	180	19.0%	20.0%
「特色ある学校づくり」等の特別枠予算があり、それを使用している	17	2.9%	3.0%	12	3.4%	3.5%	29	3.1%	3.2%
研究指定校のための特別予算があり、それを使用している	6	1.0%	1.1%	2	0.6%	0.6%	8	0.8%	0.9%
ベルマークや古紙回収等の費用で購入の予定である	5	0.8%	0.9%	1	0.3%	0.3%	6	0.6%	0.7%
PTA等からの寄付などを財源として購入の予定である	17	2.9%	3.0%	9	2.5%	2.6%	26	2.7%	2.9%
予算・財源はなくソフトウェア・コンテンツの購入はできない	174	29.5%	31.2%	91	25.4%	26.6%	265	28.0%	29.4%
計	589	100.0%	105.6%	358	100.0%	104.7%	947	100.0%	105.2%

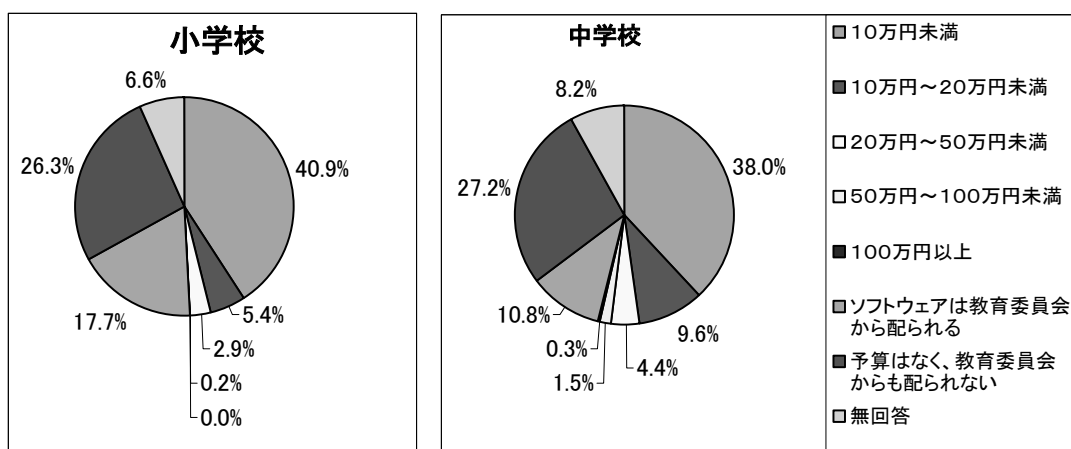


※ 小学校で 16.78%、中学校で 20.2%の学校が「ソフトウェア・コンテンツを購入するための予算がある」としている一方、小学校で 31.2%、中学校で 26.2%が「予算・財源はなくソフトウェア・コンテンツの購入はできない」としている。多くの学校では教材費や他の予算を利用するなどして、ソフトウェア・コンテンツの購入を行っている。

2-2. 貴校の本年度の学習用ソフトウェアの購入予算は総額でいくらですか。

	小学校		中学校		計		加重平均(万円)	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	小学校	中学校
10万円未満	228	40.9%	130	38.0%	358	39.8%	1,140	650
10万円～20万円未満	30	5.4%	33	9.6%	63	7.0%	450	495
20万円～50万円未満	16	2.9%	15	4.4%	31	3.4%	560	525
50万円～100万円未満	1	0.2%	5	1.5%	6	0.7%	75	375
100万円以上	0	0.0%	1	0.3%	1	0.1%	0	100
ソフトウェアは教育委員会から配られる	99	17.7%	37	10.8%	136	15.1%	—	—
予算はなく、教育委員会からも配られない	147	26.3%	93	27.2%	240	26.7%	0	0
無回答	37	6.6%	28	8.2%	65	7.2%	—	—
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%	2,225	2,145
							5.27	7.74

(注) 加重平均は、「10万円未満」は5万円、「10万円～20万円未満」は15万円、「20万円～50万円未満」は35万円、「50万円～100万円未満」は75万円、「100万円以上」は100万円、「予算はなく教育委員会からも配られない」は0円として計算した。

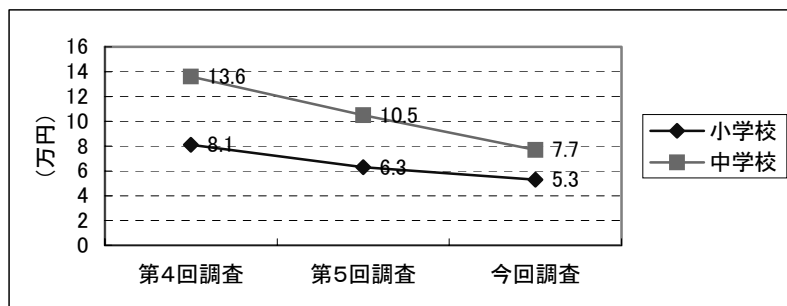


※小学校で72.6%、中学校で74.8%が学習用ソフトウェアの購入予算が0ないしは20万円未満であると答えている。

前回調査比で小学校が(70.9%→72.6%)、中学校で(64.2%→74.8%)とそれぞれ増加している。さらに加重平均では1校あたりの購入金額は、前回調査比で小学校で6.3万円→5.3万円、中学校で10.5万円→7.7万円と大きく減少している。この金額では児童・生徒の学習活動にコンピュータを活用する上で支障があるのではないかな。

なお、この項目は過去2回の調査でも全く同じ設問を行っている。その変化は下記の通りである

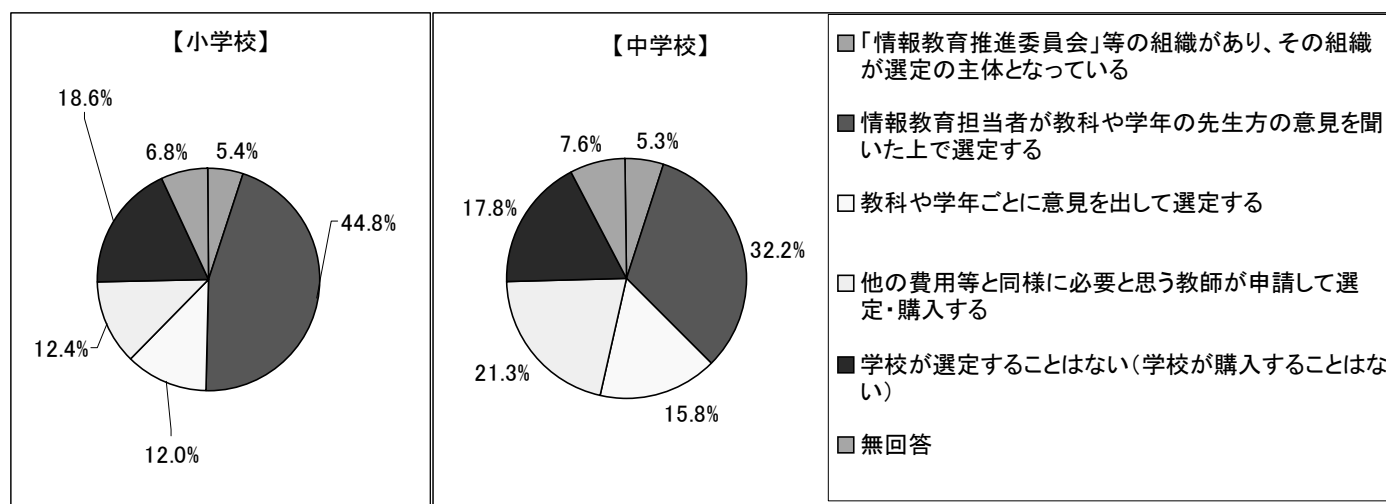
	小学校	中学校
第4回調査(平成15年)	8.1万円	13.6万円
第5回調査(平成17年)	6.3	10.5
今回調査(平成19年)	5.3	7.7



学校における学習用ソフトウェアの購入予算は調査の都度下がり続けている。

2-3. 貴校が購入する学習用ソフトウェア・コンテンツの選定はどのように行っていますか。

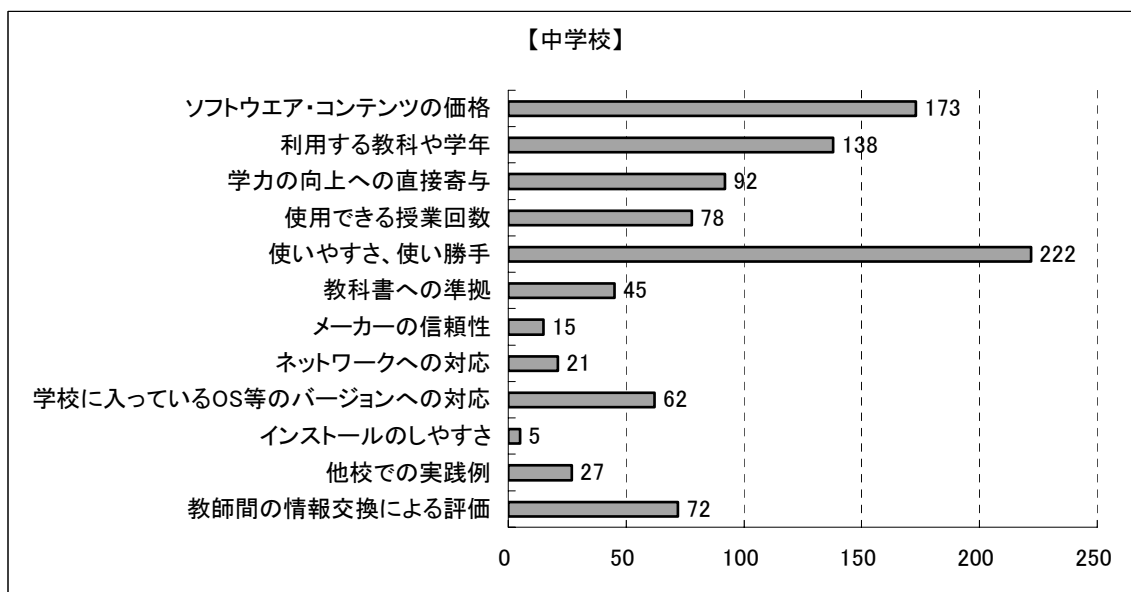
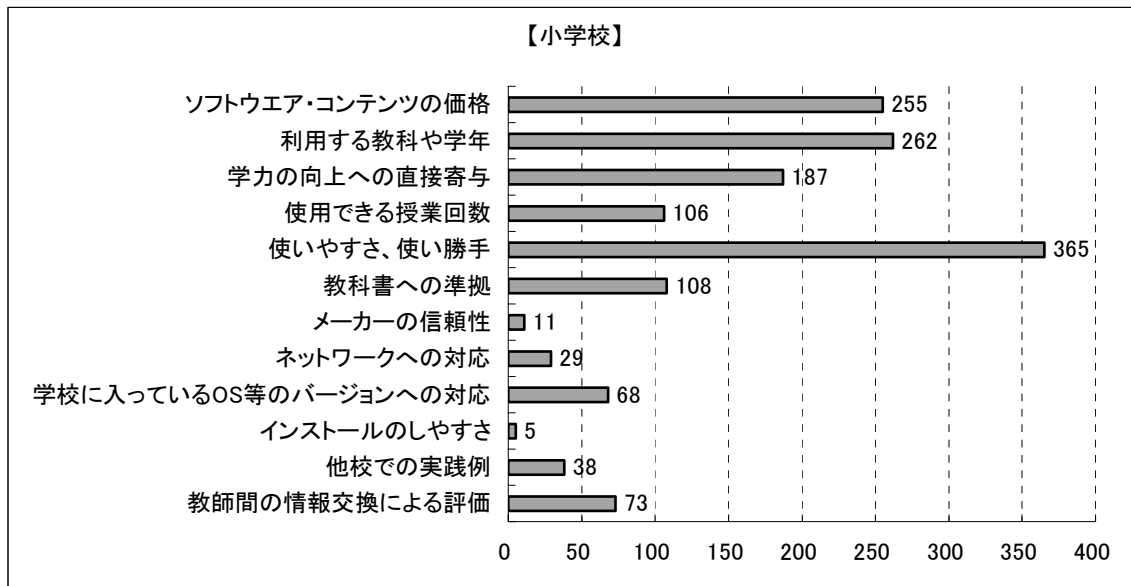
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
「情報教育推進委員会」等の組織があり、その組織が選定の主体となっている	30	5.4%	18	5.3%	48	5.3%
情報教育担当者が教科や学年の先生方の意見を聞いた上で選定する	250	44.8%	110	32.2%	360	40.0%
教科や学年ごとに意見を出して選定する	67	12.0%	54	15.8%	121	13.4%
他の費用等と同様に必要と思う教師が申請して選定・購入する	69	12.4%	73	21.3%	142	15.8%
学校が選定することはない（学校が購入することはない）	104	18.6%	61	17.8%	165	18.3%
無回答	38	6.8%	26	7.6%	64	7.1%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※小学校で 44.8%、中学校で 32.2%が「情報教育担当者が教科や学年の先生方の意見を聞いた上で選定する」としている。さらに「教科や学年ごとに意見を出して選定する」が小学校で 12.0%、中学校で 15.8%あり、情報教育担当者が選定の中軸となっていると見られる。

2-4. 貴校が学習用ソフトウェア・コンテンツを選定・購入する時により重視することはないですか。上位3つを選択してください。

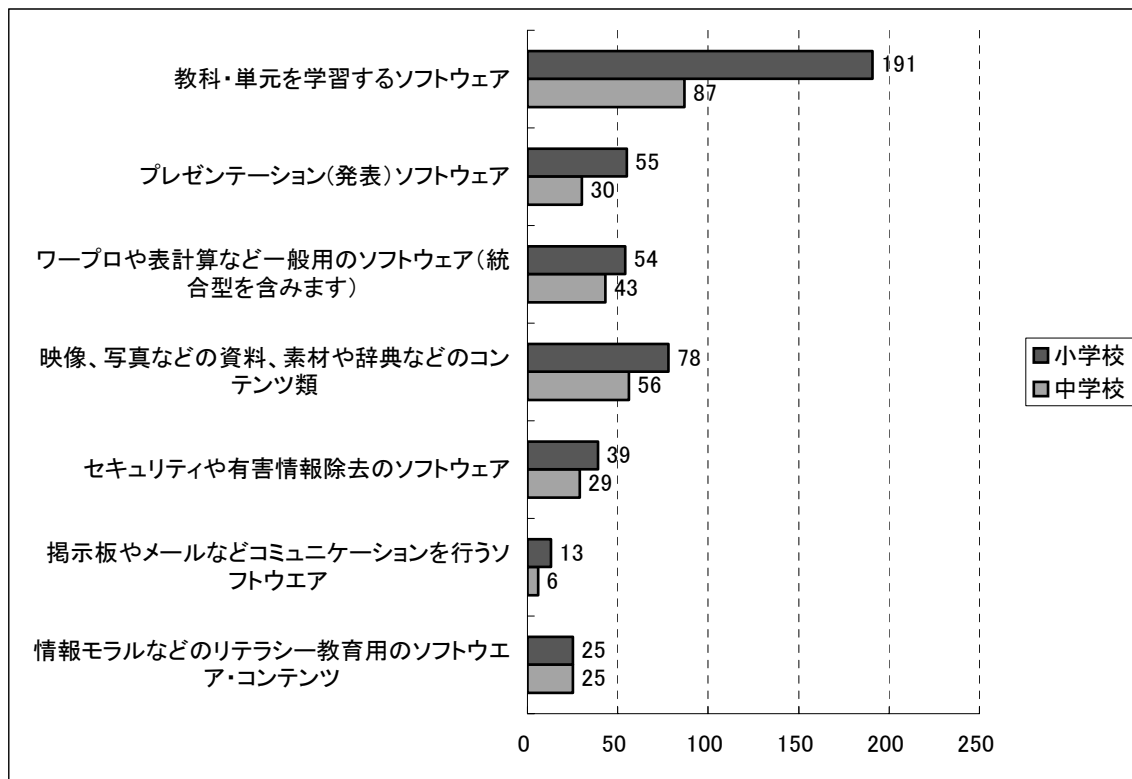
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
ソフトウェア・コンテンツの価格	255	16.9%	45.7%	173	18.2%	50.6%	428	17.4%	47.6%
利用する教科や学年	262	17.4%	47.0%	138	14.5%	40.4%	400	16.3%	44.4%
学力の向上への直接寄与	187	12.4%	33.5%	92	9.7%	26.9%	279	11.4%	31.0%
使用できる授業回数	106	7.0%	19.0%	78	8.2%	22.8%	184	7.5%	20.4%
使いやすさ、使い勝手	365	24.2%	65.4%	222	23.4%	64.9%	587	23.9%	65.2%
教科書への準拠	108	7.2%	19.4%	45	4.7%	13.2%	153	6.2%	17.0%
メーカーの信頼性	11	0.7%	2.0%	15	1.6%	4.4%	26	1.1%	2.9%
ネットワークへの対応	29	1.9%	5.2%	21	2.2%	6.1%	50	2.0%	5.6%
学校に入っているOS等のバージョンへの対応	68	4.5%	12.2%	62	6.5%	18.1%	130	5.3%	14.4%
インストールのしやすさ	5	0.3%	0.9%	5	0.5%	1.5%	10	0.4%	1.1%
他校での実践例	38	2.5%	6.8%	27	2.8%	7.9%	65	2.6%	7.2%
教師間の情報交換による評価	73	4.8%	13.1%	72	7.6%	21.1%	145	5.9%	16.1%
計	1,507	100.0%	270.1%	950	100.0%	277.8%	2,457	100.0%	273.0%



※ 小・中学校とも「使いやすさ、使い勝手」を最も重視しており、「ソフトウェア・コンテンツの価格」「利用する教科や学年」がそれに続いている。一方「他校での実践例」や「教師間の情報交換による評価」は重視されておらず、もっと積極的に情報交流をする必要があるのではないかと。

2-5. 貴校は本年度どのようなソフトウェア・コンテンツを購入する予定ですか。(複数回答可)

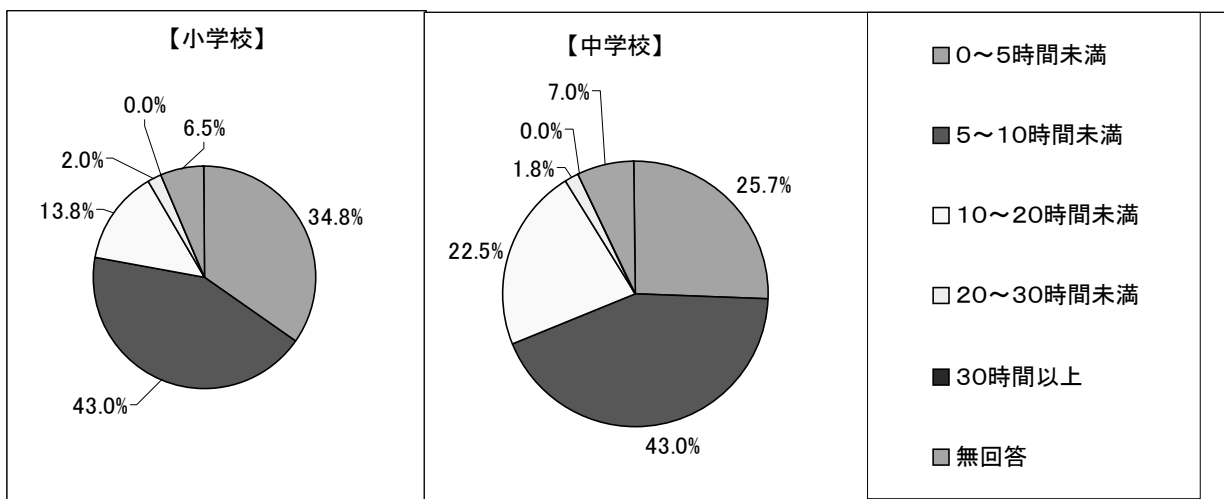
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
教科・単元を学習するソフトウェア	191	42.0%	34.2%	87	31.5%	25.4%	278	38.0%	30.9%
プレゼンテーション(発表)ソフトウェア	55	12.1%	9.9%	30	10.9%	8.8%	85	11.6%	9.4%
ワープロや表計算など一般用のソフトウェア(統合型を含みます)	54	11.9%	9.7%	43	15.6%	12.6%	97	13.3%	10.8%
映像、写真などの資料、素材や辞典などのコンテンツ類	78	17.1%	14.0%	56	20.3%	16.4%	134	18.3%	14.9%
セキュリティや有害情報除去のソフトウェア	39	8.6%	7.0%	29	10.5%	8.5%	68	9.3%	7.6%
掲示板やメールなどコミュニケーションを行うソフトウェア	13	2.9%	2.3%	6	2.2%	1.8%	19	2.6%	2.1%
情報モラルなどのリテラシー教育用のソフトウェア・コンテンツ	25	5.5%	4.5%	25	9.1%	7.3%	50	6.8%	5.6%
計	455	100.0%	81.5%	276	100.0%	80.7%	731	100.0%	81.2%



※ 小・中学校とも「教科・単元を学習するソフトウェア」の購入予定が多い。次いで「映像、写真などの資料、素材や辞典などのコンテンツ類」である。日々の授業で直接利用できるソフトウェア・コンテンツを購入しようとしている。当初の「一斉導入」の時に教科ソフトやコンテンツの整備が不十分なために、追加での購入希望が多いと見られる。

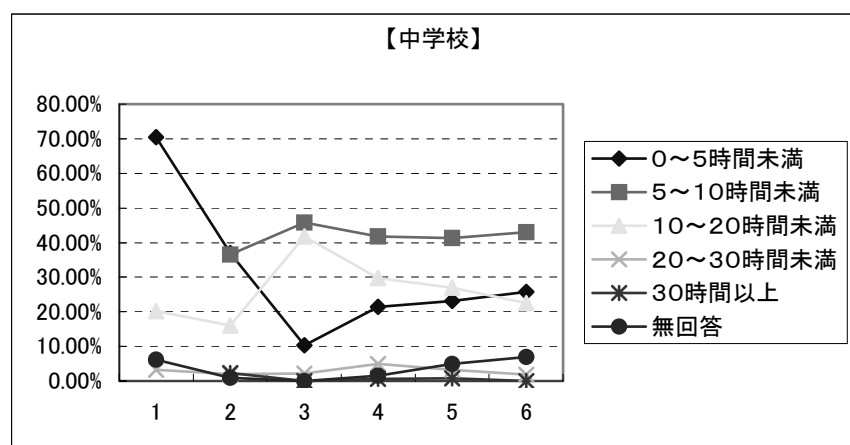
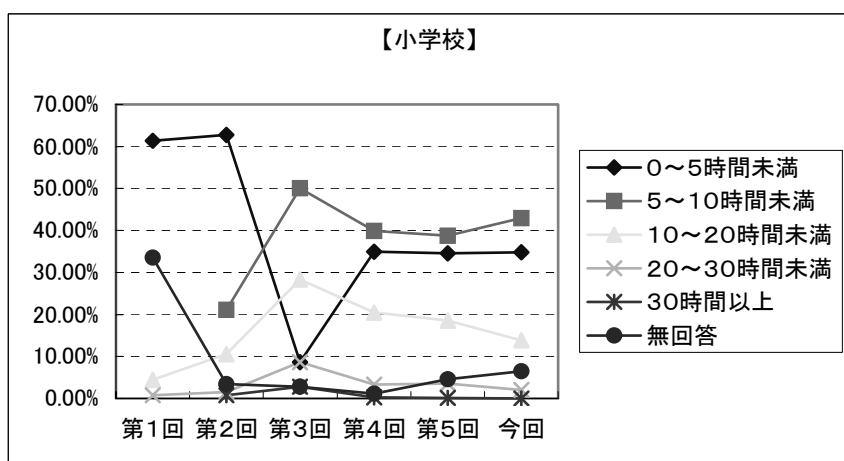
※ 2-6. 貴校のコンピュータ教室は週何時間使われていますか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
0～5時間未満	194	34.8%	88	25.7%	282	31.3%
5～10時間未満	240	43.0%	147	43.0%	387	43.0%
10～20時間未満	77	13.8%	77	22.5%	154	17.1%
20～30時間未満	11	2.0%	6	1.8%	17	1.9%
30時間以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	36	6.5%	24	7.0%	60	6.7%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



(注) JAPET では過去のアンケート調査（第1回～第6回＝今回）で同一の質問をしてきた、その推移は下記のとおりである。

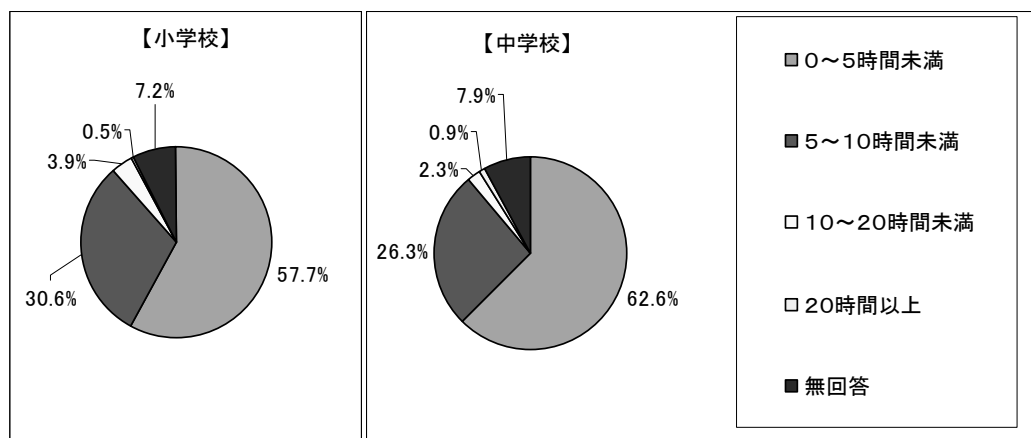
小学校						
	H8	H12	H13	H15	H17	H19
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	今回
0～5時間未満	61.4%	62.8%	8.7%	35.0%	34.5%	34.8%
5～10 時間未満		21.1%	50.0%	39.9%	38.8%	43.0%
10～20 時間未満	4.4%	10.5%	28.3%	20.4%	18.6%	13.8%
20～30 時間未満	0.7%	1.5%	8.7%	3.3%	3.5%	2.0%
30 時間以上		0.7%	2.8%	0.2%	0.1%	0.0%
無回答	33.6%	3.4%	2.8%	1.2%	4.6%	6.5%
中学校						
	H8	H12	H13	H15	H17	H19
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	今回
0～5時間未満	70.4%	37.0%	10.4%	21.4%	23.1%	25.7%
5～10 時間未満		36.6%	45.8%	41.8%	41.3%	43.0%
10～20 時間未満	20.2%	16.1%	41.7%	29.7%	26.9%	22.5%
20～30 時間未満	3.2%	2.0%	2.1%	5.0%	3.3%	1.8%
30 時間以上		2.3%	0.0%	0.6%	0.7%	0.0%
無回答	6.1%	1.0%	0.0%	1.5%	5.0%	7.0%



※「週0～10 時間未満」が前回調査比で小学校（73.3%→77.8%）、中学校（64.4%→68.7%）と増加している。コンピュータ教室の利用時間は全体として減少している。

2-7. 貴校の普通教室に設置されたコンピュータは週にどのくらい授業で使用されていますか。(全普通教室の平均でお答えください)

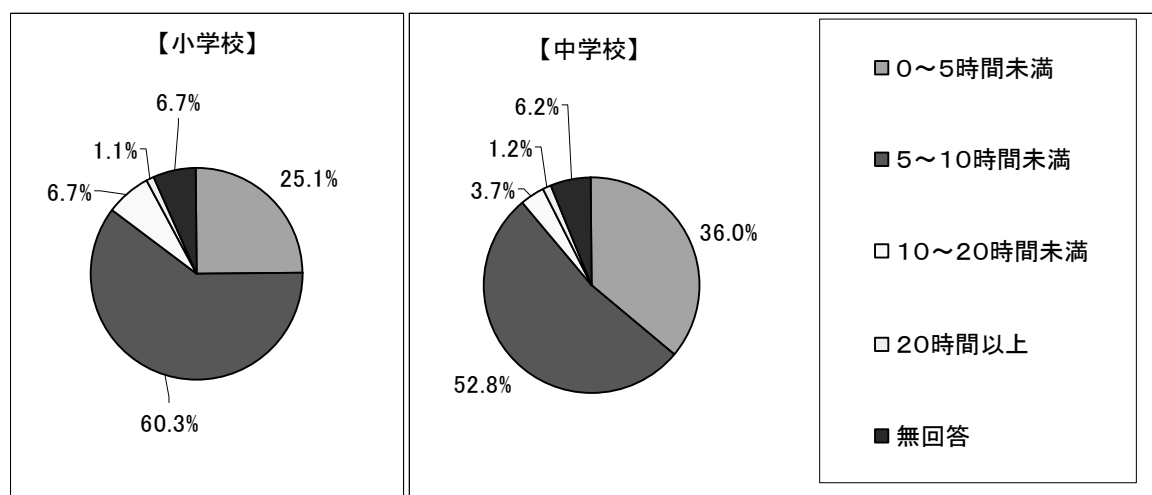
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
0～5時間未満	322	57.7%	214	62.6%	536	59.6%
5～10時間未満	171	30.6%	90	26.3%	261	29.0%
10～20時間未満	22	3.9%	8	2.3%	30	3.3%
20時間以上	3	0.5%	3	0.9%	6	0.7%
無回答	40	7.2%	27	7.9%	67	7.4%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



○ハードウェア編Q1-3-1で、「全教室に1台ずつ整備済み」、「全教室に2台ずつ整備済み」、「一部の教室は整備済み」、「共有のコンピュータで整備」に回答した学校を抽出して再集計。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
0～5時間未満	67	25.1%	58	36.0%	125	29.2%
5～10時間未満	161	60.3%	85	52.8%	246	57.5%
10～20時間未満	18	6.7%	6	3.7%	24	5.6%
20時間以上	3	1.1%	2	1.2%	5	1.2%
無回答	18	6.7%	10	6.2%	28	6.5%
計	267	100.0%	161	100.0%	428	100.0%

※「普通教室に整備済み」の方が利用時間は多くなっている。



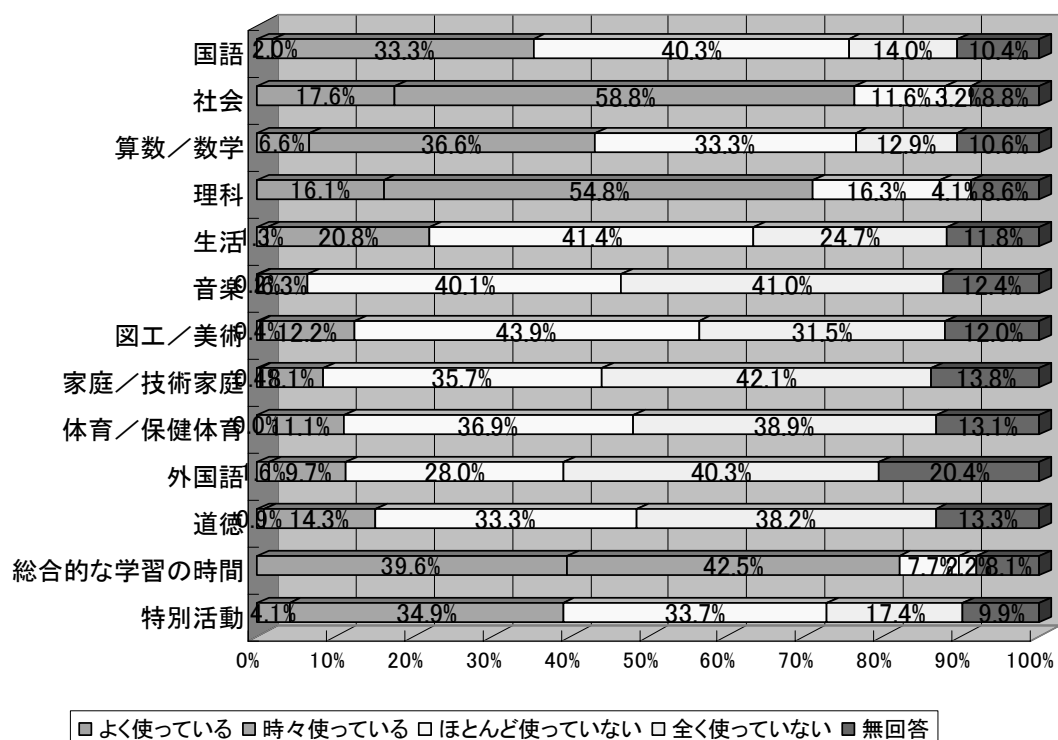
2-8. 貴校ではどの強化の授業にコンピュータや情報機器を」活用していますか。

小学校	よく使っている		時々使っている		ほとんど使っ		全く使っていない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	11	2.0%	186	33.3%	225	40.3%	78	14.0%	58	10.4%
社会	98	17.6%	328	58.8%	65	11.6%	18	3.2%	49	8.8%
算数／数学	37	6.6%	204	36.6%	186	33.3%	72	12.9%	59	10.6%
理科	90	16.1%	306	54.8%	91	16.3%	23	4.1%	48	8.6%
生活	7	1.3%	116	20.8%	231	41.4%	138	24.7%	66	11.8%
音楽	1	0.2%	35	6.3%	224	40.1%	229	41.0%	69	12.4%
図工／美術	2	0.4%	68	12.2%	245	43.9%	176	31.5%	67	12.0%
家庭／技術家庭	2	0.4%	45	8.1%	199	35.7%	235	42.1%	77	13.8%
体育／保健体育	0	0.0%	62	11.1%	206	36.9%	217	38.9%	73	13.1%
外国語	9	1.6%	54	9.7%	156	28.0%	225	40.3%	114	20.4%
道徳	5	0.9%	80	14.3%	186	33.3%	213	38.2%	74	13.3%
総合的な学習の時間	221	39.6%	237	42.5%	43	7.7%	12	2.2%	45	8.1%
特別活動	23	4.1%	195	34.9%	188	33.7%	97	17.4%	55	9.9%
計	506	7.0%	1,916	26.4%	2,245	30.9%	1,733	23.9%	854	11.8%

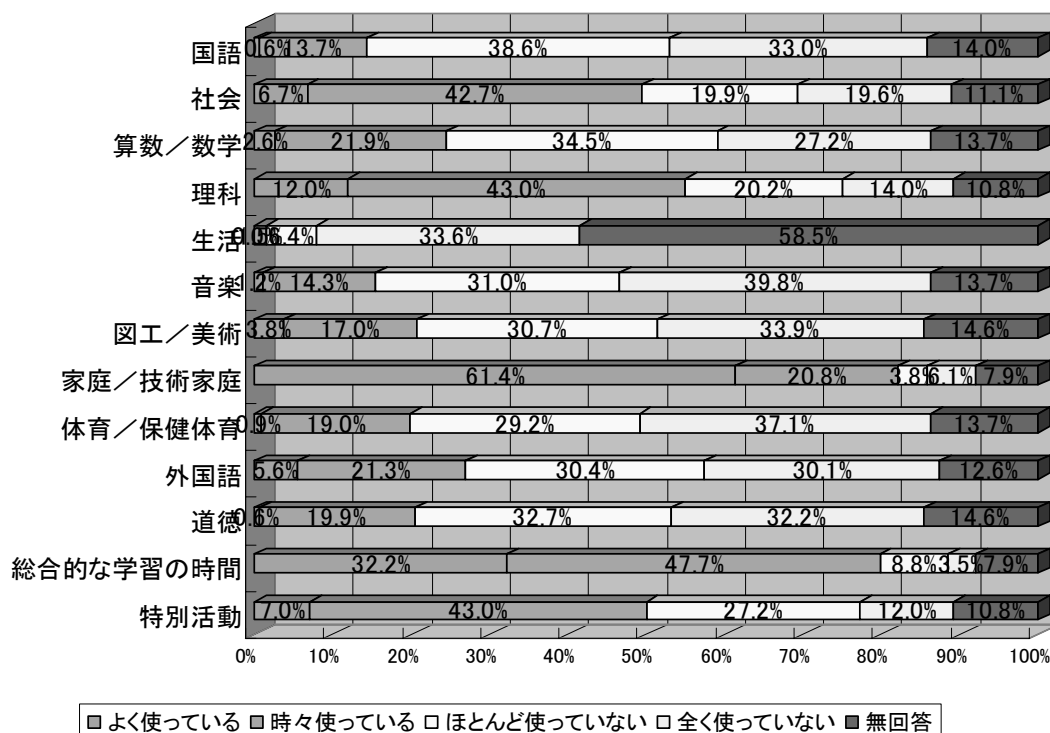
中学校	よく使っている		時々使っている		ほとんど使っ		全く使っていない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	2	0.6%	47	13.7%	132	38.6%	113	33.0%	48	14.0%
社会	23	6.7%	146	42.7%	68	19.9%	67	19.6%	38	11.1%
算数／数学	9	2.6%	75	21.9%	118	34.5%	93	27.2%	47	13.7%
理科	41	12.0%	147	43.0%	69	20.2%	48	14.0%	37	10.8%
生活	0	0.0%	5	1.5%	22	6.4%	115	33.6%	200	58.5%
音楽	4	1.2%	49	14.3%	106	31.0%	136	39.8%	47	13.7%
図工／美術	13	3.8%	58	17.0%	105	30.7%	116	33.9%	50	14.6%
家庭／技術家庭	210	61.4%	71	20.8%	13	3.8%	21	6.1%	27	7.9%
体育／保健体育	3	0.9%	65	19.0%	100	29.2%	127	37.1%	47	13.7%
外国語	19	5.6%	73	21.3%	104	30.4%	103	30.1%	43	12.6%
道徳	2	0.6%	68	19.9%	112	32.7%	110	32.2%	50	14.6%
総合的な学習の時間	110	32.2%	163	47.7%	30	8.8%	12	3.5%	27	7.9%
特別活動	24	7.0%	147	43.0%	93	27.2%	41	12.0%	37	10.8%
計	460	7.0%	1,114	17.0%	1,574	24.1%	2,688	41.1%	698	10.7%

計	よく使っている		時々使っている		ほとんど使っ		全く使っていない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
国語	13	1.4%	233	25.9%	357	39.7%	191	21.2%	106	11.8%
社会	121	13.4%	474	52.7%	133	14.8%	85	9.4%	87	9.7%
算数／数学	46	5.1%	279	31.0%	304	33.8%	165	18.3%	106	11.8%
理科	131	14.6%	453	50.3%	160	17.8%	71	7.9%	85	9.4%
生活	7	0.8%	121	13.4%	253	28.1%	253	28.1%	266	29.6%
音楽	5	0.6%	84	9.3%	330	36.7%	365	40.6%	116	12.9%
図工／美術	15	1.7%	126	14.0%	350	38.9%	292	32.4%	117	13.0%
家庭／技術家庭	212	23.6%	116	12.9%	212	23.6%	256	28.4%	104	11.6%
体育／保健体育	3	0.3%	127	14.1%	306	34.0%	344	38.2%	120	13.3%
外国語	28	3.1%	127	14.1%	260	28.9%	328	36.4%	157	17.4%
道徳	7	0.8%	148	16.4%	298	33.1%	323	35.9%	124	13.8%
総合的な学習の時間	331	36.8%	400	44.4%	73	8.1%	24	2.7%	72	8.0%
特別活動	47	5.2%	342	38.0%	281	31.2%	138	15.3%	92	10.2%
計	966	5.8%	3,030	18.3%	3,996	24.1%	7,026	42.4%	1,552	9.4%

小学校



中学校



※小学校では総合的な学習の時間、社会、理科での活用が多くなっている。中学校では技術、総合的な学習の時間での活用が目立っている。小学校社会では「よく使っている」「時々使っている」を合わせて76.4%に対して、中学校社会では同49.4%と大きな差がある。

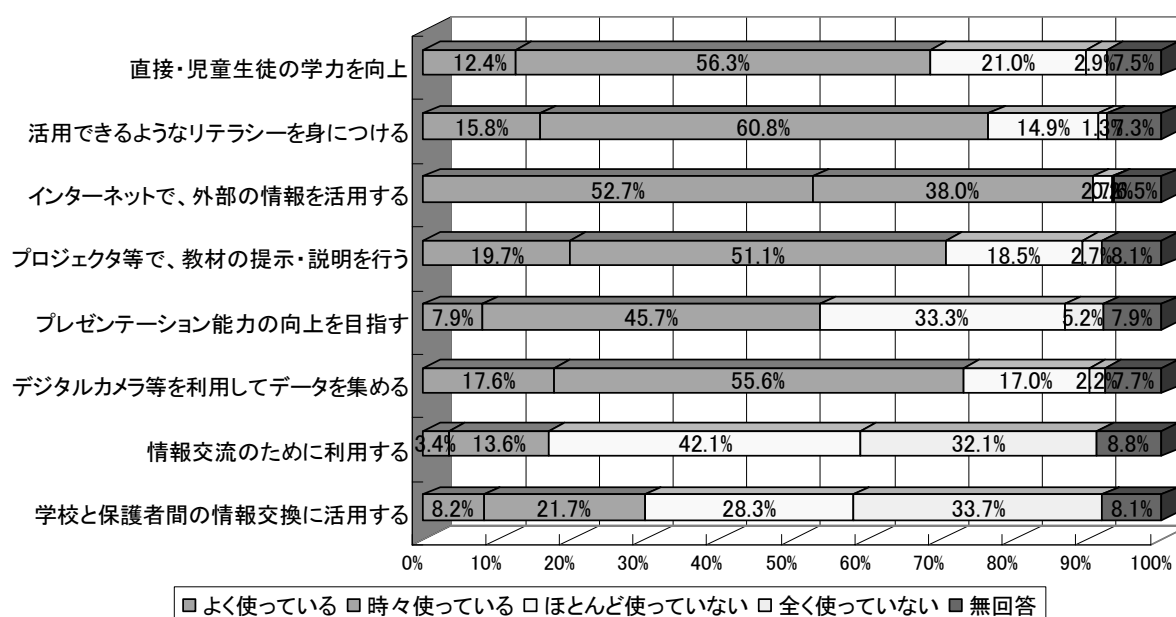
2-9. 貴校では教育の情報化が進む中で、情報機器をどのように活用していますか。

小学校	よく使っている		時々使っている		ほとんど使っていない		全く使っていない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
直接・児童生徒の学力を向上するために利用する	69	12.4%	314	56.3%	117	21.0%	16	2.9%	42	7.5%
情報機器の操作を理解し、活用できるようなリテラシーを身につける	88	15.8%	339	60.8%	83	14.9%	7	1.3%	41	7.3%
インターネットを通じて、外部の情報を活用する	294	52.7%	212	38.0%	15	2.7%	1	0.2%	36	6.5%
プロジェクタや大型ディスプレイ等を活用して、教材の提示・説明を行う	110	19.7%	285	51.1%	103	18.5%	15	2.7%	45	8.1%
児童・生徒の発表（プレゼンテーション）能力の向上を目指す	44	7.9%	255	45.7%	186	33.3%	29	5.2%	44	7.9%
デジタルカメラ等を利用して、児童・生徒が自らデータを集め活用する	98	17.6%	310	55.6%	95	17.0%	12	2.2%	43	7.7%
児童間・生徒間・学校間の情報交流のために利用する	19	3.4%	76	13.6%	235	42.1%	179	32.1%	49	8.8%
学校と保護者間の情報交換に活用する	46	8.2%	121	21.7%	158	28.3%	188	33.7%	45	8.1%
計	768	17.2%	1,912	42.8%	992	22.2%	447	10.0%	345	7.7%

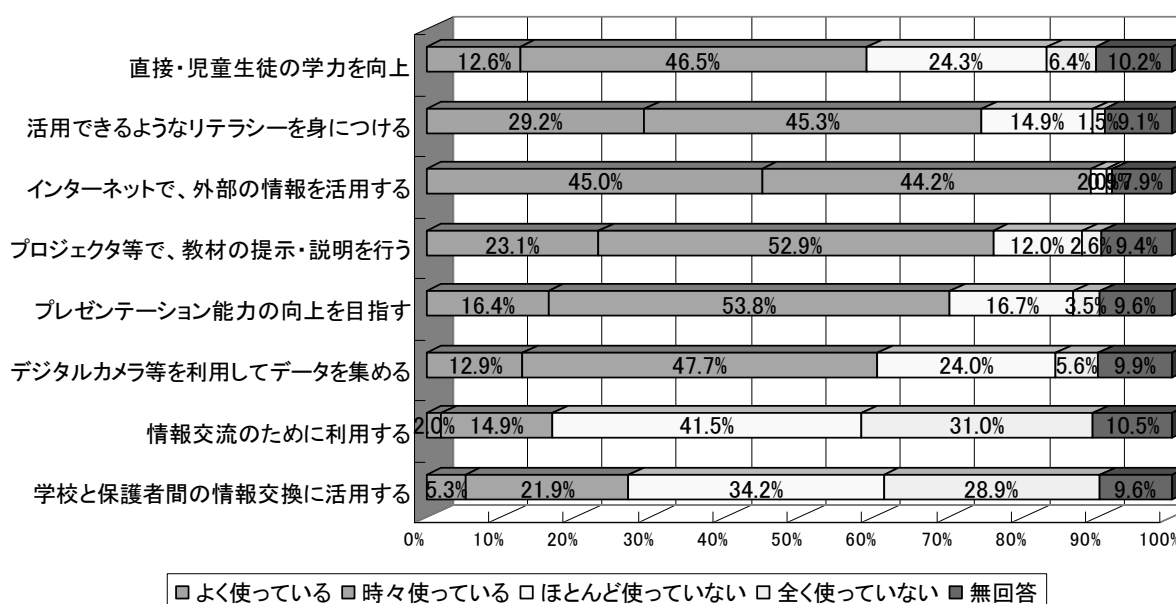
中学校	よく使っている		時々使っている		ほとんど使っていない		全く使っていない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
直接・児童生徒の学力を向上するために利用する	43	12.6%	159	46.5%	83	24.3%	22	6.4%	35	10.2%
情報機器の操作を理解し、活用できるようなリテラシーを身につける	100	29.2%	155	45.3%	51	14.9%	5	1.5%	31	9.1%
インターネットを通じて、外部の情報を活用する	154	45.0%	151	44.2%	7	2.0%	3	0.9%	27	7.9%
プロジェクタや大型ディスプレイ等を活用して、教材の提示・説明を行う	79	23.1%	181	52.9%	41	12.0%	9	2.6%	32	9.4%
児童・生徒の発表（プレゼンテーション）能力の向上を目指す	56	16.4%	184	53.8%	57	16.7%	12	3.5%	33	9.6%
デジタルカメラ等を利用して、児童・生徒が自らデータを集め活用する	44	12.9%	163	47.7%	82	24.0%	19	5.6%	34	9.9%
児童間・生徒間・学校間の情報交流のために利用する	7	2.0%	51	14.9%	142	41.5%	106	31.0%	36	10.5%
学校と保護者間の情報交換に活用する	18	5.3%	75	21.9%	117	34.2%	99	28.9%	33	9.6%
計	501	18.3%	1,119	40.9%	580	21.2%	275	10.1%	261	9.5%

計	よく使っている		時々使っている		ほとんど使っていない		全く使っていない		無回答	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
直接・児童生徒の学力を向上するために利用する	112	12.4%	473	52.6%	200	22.2%	38	4.2%	77	8.6%
情報機器の操作を理解し、活用できるようなリテラシーを身につける	188	20.9%	494	54.9%	134	14.9%	12	1.3%	72	8.0%
インターネットを通じて、外部の情報を活用する	448	49.8%	363	40.3%	22	2.4%	4	0.4%	63	7.0%
プロジェクタや大型ディスプレイ等を活用して、教材の提示・説明を行う	189	21.0%	466	51.8%	144	16.0%	24	2.7%	77	8.6%
児童・生徒の発表（プレゼンテーション）能力の向上を目指す	100	11.1%	439	48.8%	243	27.0%	41	4.6%	77	8.6%
デジタルカメラ等を利用して、児童・生徒が自らデータを集め活用する	142	15.8%	473	52.6%	177	19.7%	31	3.4%	77	8.6%
児童間・生徒間・学校間の情報交流のために利用する	26	2.9%	127	14.1%	377	41.9%	285	31.7%	85	9.4%
学校と保護者間の情報交換に活用する	64	7.1%	196	21.8%	275	30.6%	287	31.9%	78	8.7%
計	1,269	17.6%	3,031	42.1%	1,572	21.8%	722	10.0%	606	8.4%

小学校



中学校

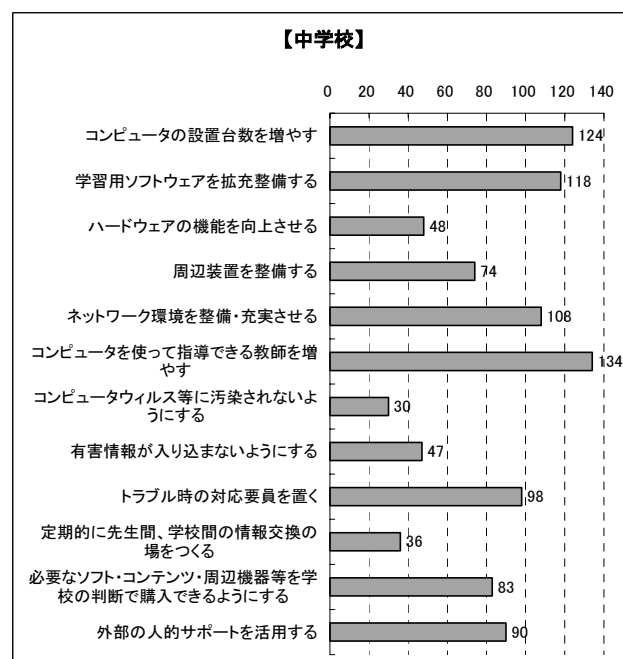
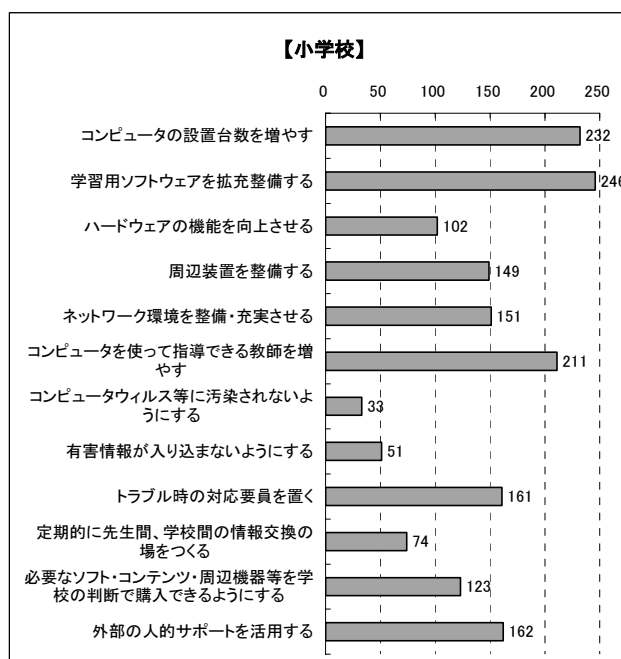


※小・中学校とも「インターネットを通じて、外部の情報を活用する」が最も多く、「プロジェクトや大型ディスプレイ等を活用して、教材の提示・説明を行う」「情報機器の操作を理解し、活用できるようリテラシーを身につける」も多くなっている。一方「学校と保護者間の情報交換に活用する」「児童間・生徒間・学校間の情報交流のために利用する」はこれを行うための環境が未だ整備が進んでいないために低くなっている。（ネットワーク３－３－７参照）

2-10. 貴校でコンピュータ活用をより活性化するために必要なことは何でしょうか。

より必要と思われるものを3つ選択してください。

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
コンピュータの設置台数を増やす	232	13.7%	41.6%	124	12.5%	36.3%	356	13.3%	39.6%
学習用ソフトウェアを拡充整備する	246	14.5%	44.1%	118	11.9%	34.5%	364	13.6%	40.4%
ハードウェアの機能を向上させる	102	6.0%	18.3%	48	4.8%	14.0%	150	5.6%	16.7%
周辺装置を整備する	149	8.8%	26.7%	74	7.5%	21.6%	223	8.3%	24.8%
ネットワーク環境を整備・充実させる	151	8.9%	27.1%	108	10.9%	31.6%	259	9.6%	28.8%
コンピュータを使って指導できる教師を増やす	211	12.4%	37.8%	134	13.5%	39.2%	345	12.8%	38.3%
コンピュータウイルス等に汚染されないようにする	33	1.9%	5.9%	30	3.0%	8.8%	63	2.3%	7.0%
有害情報が入り込まないようにする	51	3.0%	9.1%	47	4.7%	13.7%	98	3.6%	10.9%
トラブル時の対応要員を置く	161	9.5%	28.9%	98	9.9%	28.7%	259	9.6%	28.8%
定期的に先生間、学校間の情報交換の場をつくる	74	4.4%	13.3%	36	3.6%	10.5%	110	4.1%	12.2%
必要なソフト・コンテンツ・周辺機器等を学校の判断で購入できるようにする	123	7.3%	22.0%	83	8.4%	24.3%	206	7.7%	22.9%
外部の人的サポートを活用する	162	9.6%	29.0%	90	9.1%	26.3%	252	9.4%	28.0%
計	1,695	100.0%	303.8%	990	100.0%	289.5%	2,685	100.0%	298.3%

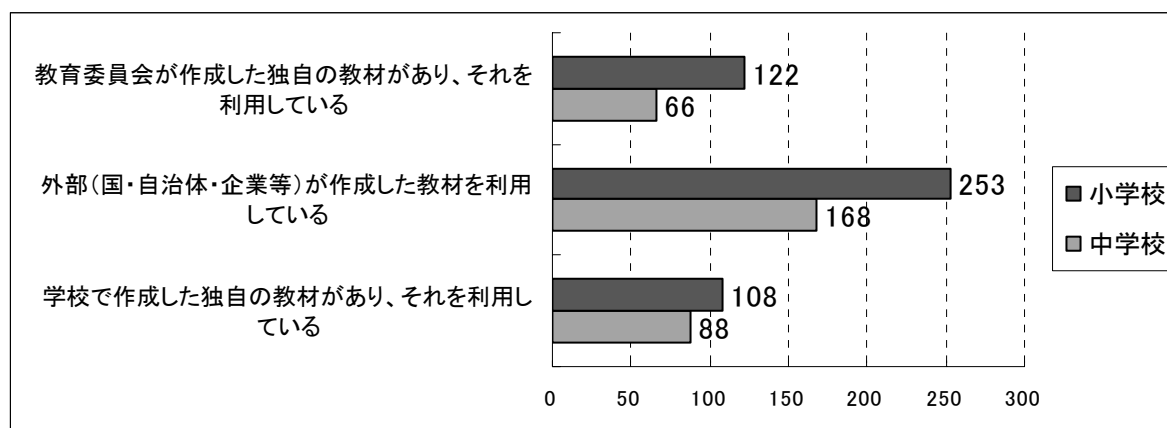


※小・中学校とも「学習用ソフトウェアを拡充整備する」「コンピュータの設置台数を増やす」「コンピュータを使って指導できる教師を増やす」が上位を占めている。小学校では「学習用ソフトウェアを拡充整備する」が最も多いが、中学校では「コンピュータを使って指導できる教師を増やす」が最も多い。

2-11. IT機器を利用するに当たっては「情報モラル」への理解と認識が必要です。

貴校ではどのような情報モラル教育を行なっていますか。（ここでは、授業の中で教師から児童・生徒に対しての教育をいいます）（複数回答可）

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
教育委員会が作成した独自の教材があり、それを利用している	122	25.3%	21.9%	66	20.5%	19.3%	188	23.4%	20.9%
外部（国・自治体・企業等）が作成した教材を利用している	253	52.4%	45.3%	168	52.2%	49.1%	421	52.3%	46.8%
学校で作成した独自の教材があり、それを利用している	108	22.4%	19.4%	88	27.3%	25.7%	196	24.3%	21.8%
計	483	100.0%	86.6%	322	100.0%	94.2%	805	100.0%	89.4%



※「外部（国・自治体・企業等）が作成した教材を利用している」が46.8%となっている。

2-12. 貴校では、授業でコンピュータを使って指導できる教員は何人中何人ですか

【小学校】実数（N. A. 52除く）

人 中	～10%	～30%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	～99%	100%
10人以下	1	3	14	5	6	12	10		60
11人～20人		18	23	9	21	20	29	12	70
21人～30人		16	22	10	14	18	8	11	31
31人～40人		10	2	8	6	5	6	4	12
41人～50人		1	2	1		1	1	1	2
51人～70人		1							
71人以上									
計	1	49	63	33	47	56	54	28	175
%別分布	0.2%	9.7%	12.5%	6.5%	9.3%	11.1%	10.7%	5.5%	34.6%

【小学校】構成比

人 中	～10%	～30%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	～99%	100%
10人以下	0.9%	2.7%	12.6%	4.5%	5.4%	10.8%	9.0%		54.1%
11人～20人		8.9%	11.4%	4.5%	10.4%	9.9%	14.4%	5.9%	34.7%
21人～30人		12.3%	16.9%	7.7%	10.8%	13.8%	6.2%	8.5%	23.8%
31人～40人		18.9%	3.8%	15.1%	11.3%	9.4%	11.3%	7.5%	22.6%
41人～50人		11.1%	22.2%	11.1%		11.1%	11.1%	11.1%	22.2%
51人～70人		100.0%							
71人以上									
平 均	0.2%	9.7%	12.5%	6.5%	9.3%	11.1%	10.7%	5.5%	34.6%

【中学校】実数(N. A. 44除く)

人 中	～10%	～30%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	～99%	100%
10人以下		4	11	4		5	1		11
11人～20人	1	25	26	9	7	12	11	5	22
21人～30人	4	28	21	8	3	9	9	4	9
31人～40人	1	12	14	2	2	3	2	3	5
41人～50人		2	1	2					
51人～70人									
71人以上									
計	6	71	73	25	12	29	23	12	47
%別分布	2.0%	23.8%	24.5%	8.4%	4.0%	9.7%	7.7%	4.0%	15.8%

【中学校】構成比

人 中	～10%	～30%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	～99%	100%
10人以下		11.1%	30.6%	11.1%		13.9%	2.8%		30.6%
11人～20人	0.8%	21.2%	22.0%	7.6%	5.9%	10.2%	9.3%	4.2%	18.6%
21人～30人	4.2%	29.5%	22.1%	8.4%	3.2%	9.5%	9.5%	4.2%	9.5%
31人～40人	2.3%	27.3%	31.8%	4.5%	4.5%	6.8%	4.5%	6.8%	11.4%
41人～50人		40.0%	20.0%	40.0%					
51人～70人									
71人以上									
平 均	0.7%	8.8%	9.1%	3.1%	1.5%	3.6%	2.9%	1.5%	5.8%

【全 体】実数

人 中	～10%	～30%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	～99%	100%
10人以下	1	7	25	9	6	17	11	0	71
11人～20人	1	43	49	18	28	32	40	17	92
21人～30人	4	44	43	18	17	27	17	15	40
31人～40人	1	22	16	10	8	8	8	7	17
41人～50人		3	3	3		1	1	1	2
51人～70人		1							
71人以上									
計	7	120	136	58	59	85	77	40	222
%別分布	0.9%	14.9%	16.9%	7.2%	7.3%	10.6%	9.6%	5.0%	27.6%

【全 体】構成比

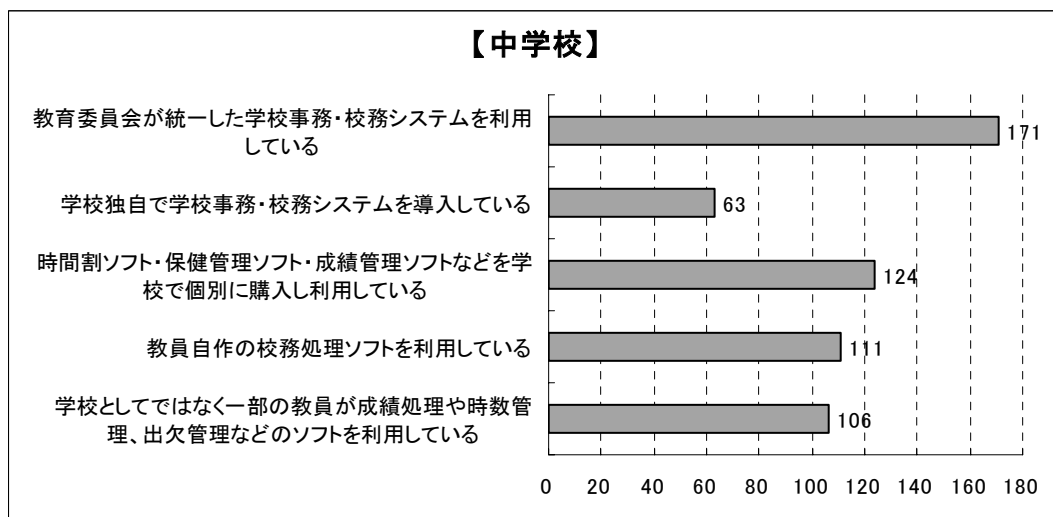
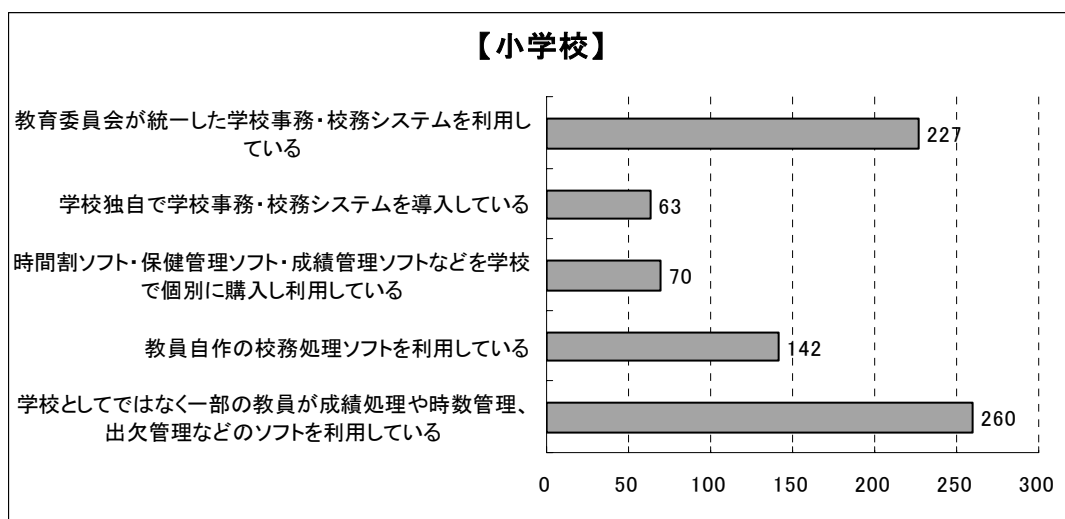
人 中	～10%	～30%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	～99%	100%
10人以下	0.7%	4.8%	17.0%	6.1%	4.1%	11.6%	7.5%	0.0%	48.3%
11人～20人	0.3%	13.4%	15.3%	5.6%	8.8%	10.0%	12.5%	5.3%	28.8%
21人～30人	1.8%	19.6%	19.1%	8.0%	7.6%	12.0%	7.6%	6.7%	17.8%
31人～40人	1.0%	15.2%	11.0%	6.9%	5.5%	5.5%	5.5%	4.8%	11.7%
41人～50人		7.9%	7.9%	7.9%		2.6%	2.6%	2.6%	5.3%
51人～70人		100.0%							
71人以上									
平 均	0.9%	14.9%	16.9%	7.2%	7.3%	10.6%	9.6%	5.0%	27.6%

※「授業でコンピュータを使って指導できる教員」の割合が50%に満たない学校は、小学校では22.4%、中学校では18.6%となっている。一方、「授業でコンピュータを使って指導できる教員」の割合が80%を超えている学校は、小学校では50.8%であるのに対して、中学校では10.2%となっている。

2-13. 学校事務・システムについて

2-13-1. 学校事務・校務システムの導入状況についてうかがいます。（複数回答可）

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
教育委員会が統一した学校事務・校務システムを利用している	227	29.8%	40.7%	171	29.7%	50.0%	398	29.8%	44.2%
学校独自で学校事務・校務システムを導入している	63	8.3%	11.3%	63	11.0%	18.4%	126	9.4%	14.0%
時間割ソフト・保健管理ソフト・成績管理ソフトなどを学校で個別に購入し利用している	70	9.2%	12.5%	124	21.6%	36.3%	194	14.5%	21.6%
教員自作の校務処理ソフトを利用している	142	18.6%	25.4%	111	19.3%	32.5%	253	18.9%	28.1%
学校としてではなく一部の教員が成績処理や時数管理、出欠管理などのソフトを利用している	260	34.1%	46.6%	106	18.4%	31.0%	366	27.4%	40.7%
計	762	100.0%	136.6%	575	100.0%	168.1%	1,337	100.0%	148.6%



※「教育委員会が統一した学校事務・校務システムを利用している」が小学校で 40.7%、中学校で 50.0%であるが、一方小学校の 46.6%、中学校の 31.0%は「学校としてではなく一部の教員が成績処理や時数管理、出欠管理などのソフトを利用している」となっている。未だに統一した校務処理が普及していないのが現状であろう。

2-13-2. 学校では、次に示す校務をどのように処理していますか。学校で統一されていない場合、先生（ご回答の先生）はどのようにされていますか。A～Fの欄から選択してください。

A：教育委員会の校務処理システムを利用する

B：市販のソフトウェアを利用する

C：教員の自作のソフトウェアを利用する

D：フリーのソフトウェアを利用する

E：ワープロや表計算ソフトを利用する

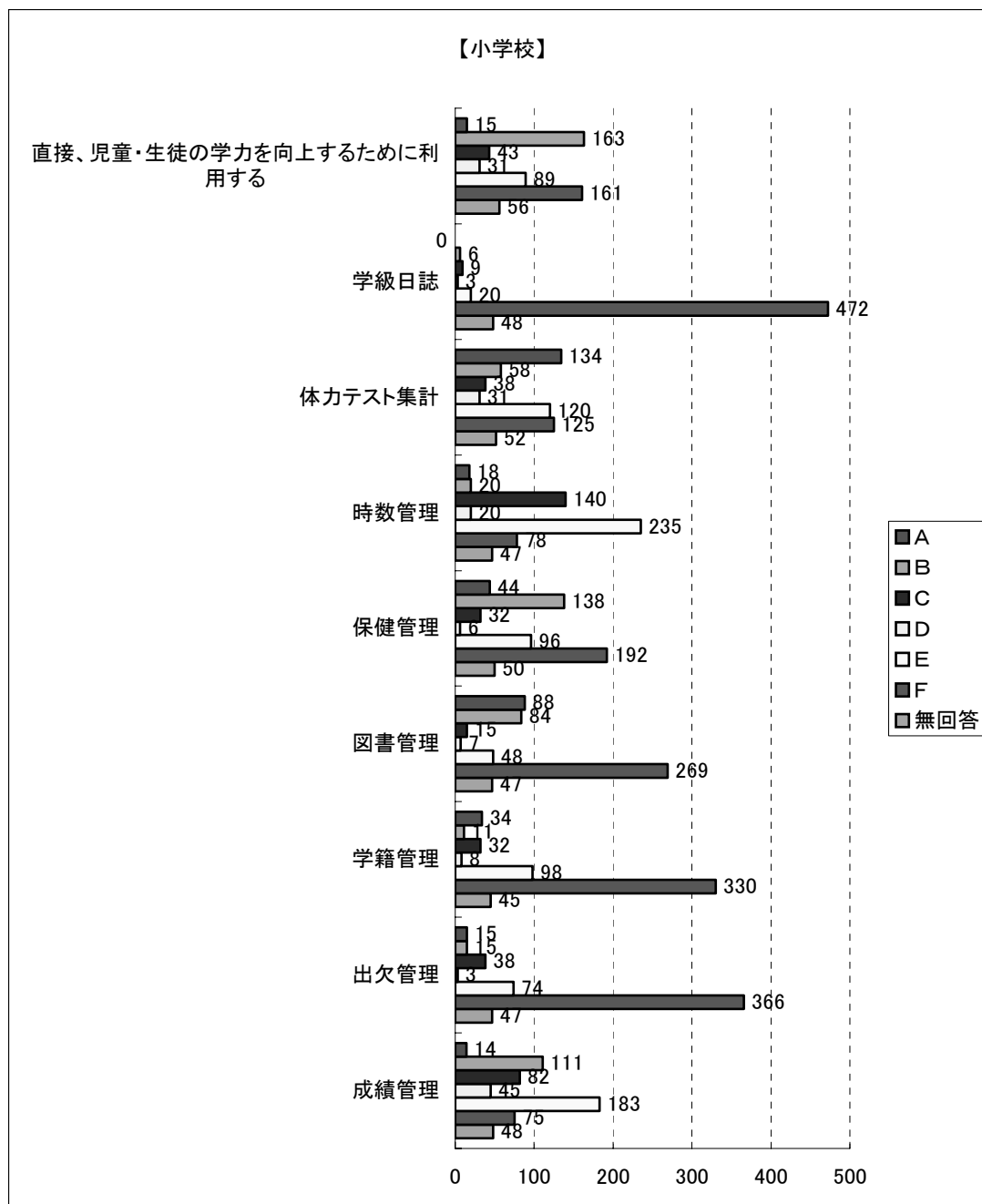
F：コンピュータの利用はしていない

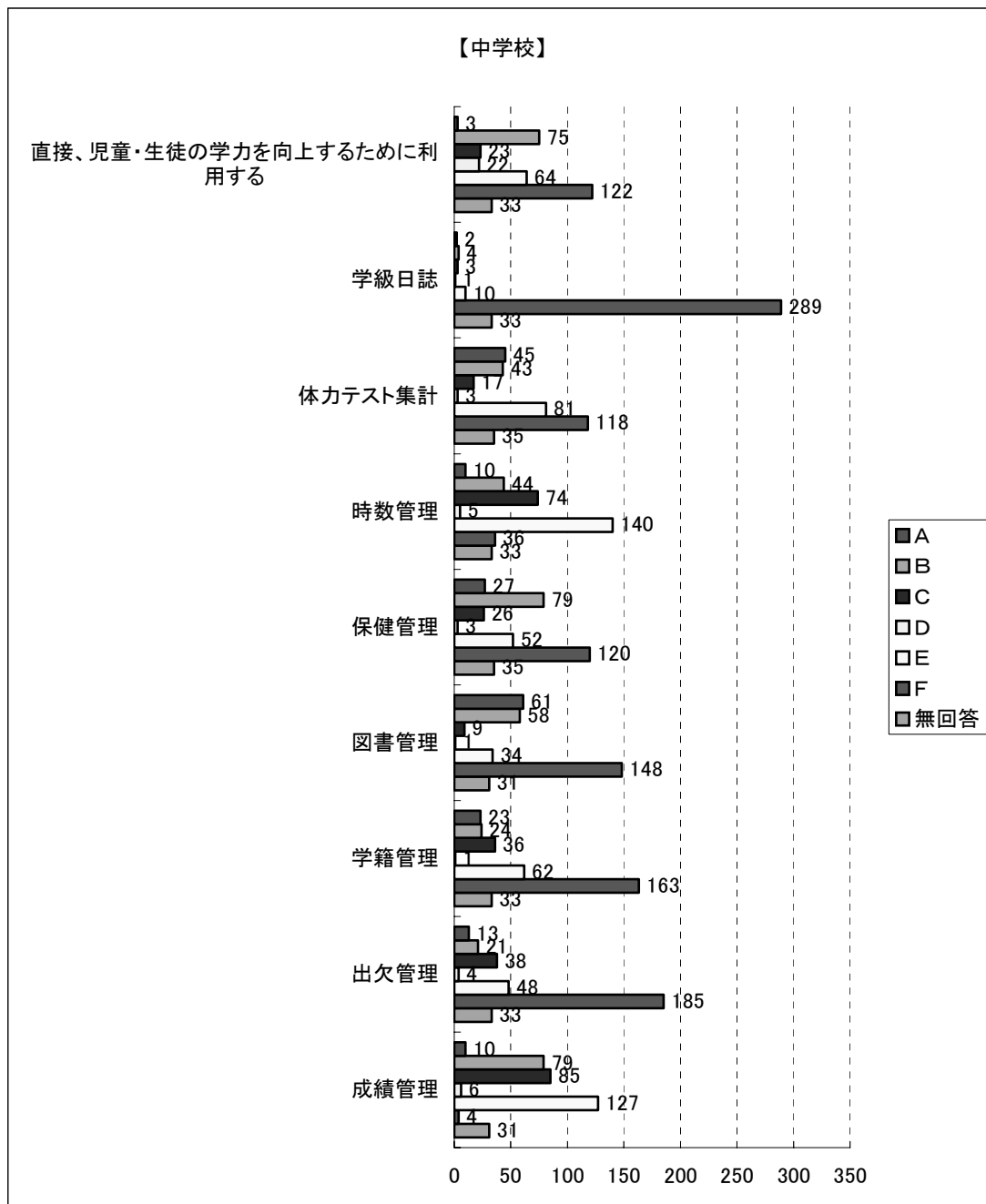
小学校		A	B	C	D	E	F	無回答
成績管理	実数	14	111	82	45	183	75	48
	構成比	2.5%	19.9%	14.7%	8.1%	32.8%	13.4%	8.6%
出欠管理	実数	15	15	38	3	74	366	47
	構成比	2.7%	2.7%	6.8%	0.5%	13.3%	65.6%	8.4%
学籍管理	実数	34	11	32	8	98	330	45
	構成比	6.1%	2.0%	5.7%	1.4%	17.6%	59.1%	8.1%
図書管理	実数	88	84	15	7	48	269	47
	構成比	15.8%	15.1%	2.7%	1.3%	8.6%	48.2%	8.4%
保健管理	実数	44	138	32	6	96	192	50
	構成比	7.9%	24.7%	5.7%	1.1%	17.2%	34.4%	9.0%
時数管理	実数	18	20	140	20	235	78	47
	構成比	3.2%	3.6%	25.1%	3.6%	42.1%	14.0%	8.4%
体力テスト集計	実数	134	58	38	31	120	125	52
	構成比	24.0%	10.4%	6.8%	5.6%	21.5%	22.4%	9.3%
学級日誌	実数	0	6	9	3	20	472	48
	構成比	0.0%	1.1%	1.6%	0.5%	3.6%	84.6%	8.6%
直接、児童・生徒の学力を向上するために利用する	実数	15	163	43	31	89	161	56
	構成比	2.7%	29.2%	7.7%	5.6%	15.9%	28.9%	10.0%

中学校		A	B	C	D	E	F	無回答
成績管理	実数	10	79	85	6	127	4	31
	構成比	2.9%	23.1%	24.9%	1.8%	37.1%	1.2%	9.1%
出欠管理	実数	13	21	38	4	48	185	33
	構成比	3.8%	6.1%	11.1%	1.2%	14.0%	54.1%	9.6%
学籍管理	実数	23	24	36	1	62	163	33
	構成比	6.7%	7.0%	10.5%	0.3%	18.1%	47.7%	9.6%
図書管理	実数	61	58	9	1	34	148	31
	構成比	17.8%	17.0%	2.6%	0.3%	9.9%	43.3%	9.1%
保健管理	実数	27	79	26	3	52	120	35
	構成比	7.9%	23.1%	7.6%	0.9%	15.2%	35.1%	10.2%
時数管理	実数	10	44	74	5	140	36	33
	構成比	2.9%	12.9%	21.6%	1.5%	40.9%	10.5%	9.6%
体力テスト集計	実数	45	43	17	3	81	118	35
	構成比	13.2%	12.6%	5.0%	0.9%	23.7%	34.5%	10.2%
学級日誌	実数	2	4	3	1	10	289	33
	構成比	0.6%	1.2%	0.9%	0.3%	2.9%	84.5%	9.6%
直接、児童・生徒の学力を向上するために利用する	実数	3	75	23	22	64	122	33
	構成比	0.9%	21.9%	6.7%	6.4%	18.7%	35.7%	9.6%

計		A	B	C	D	E	F	無回答
成績管理	実数	24	190	167	51	310	79	79
	構成比	2.7%	21.1%	18.6%	5.7%	34.4%	8.8%	8.8%
出欠管理	実数	28	36	76	7	122	551	80
	構成比	3.1%	4.0%	8.4%	0.8%	13.6%	61.2%	8.9%
学籍管理	実数	57	35	68	9	160	493	78

	構成比	6.3%	3.9%	7.6%	1.0%	17.8%	54.8%	8.7%
図書管理	実数	149	142	24	8	82	417	78
	構成比	16.6%	15.8%	2.7%	0.9%	9.1%	46.3%	8.7%
保健管理	実数	71	217	58	9	148	312	85
	構成比	7.9%	24.1%	6.4%	1.0%	16.4%	34.7%	9.4%
時数管理	実数	28	64	214	25	375	114	80
	構成比	3.1%	7.1%	23.8%	2.8%	41.7%	12.7%	8.9%
体力テスト集計	実数	179	101	55	34	201	243	87
	構成比	19.9%	11.2%	6.1%	3.8%	22.3%	27.0%	9.7%
学級日誌	実数	2	10	12	4	30	761	81
	構成比	0.2%	1.1%	1.3%	0.4%	3.3%	84.6%	9.0%
直接、児童・生徒の学力を向上するために利用する	実数	18	238	66	53	153	283	89
	構成比	2.0%	26.4%	7.3%	5.9%	17.0%	31.4%	9.9%





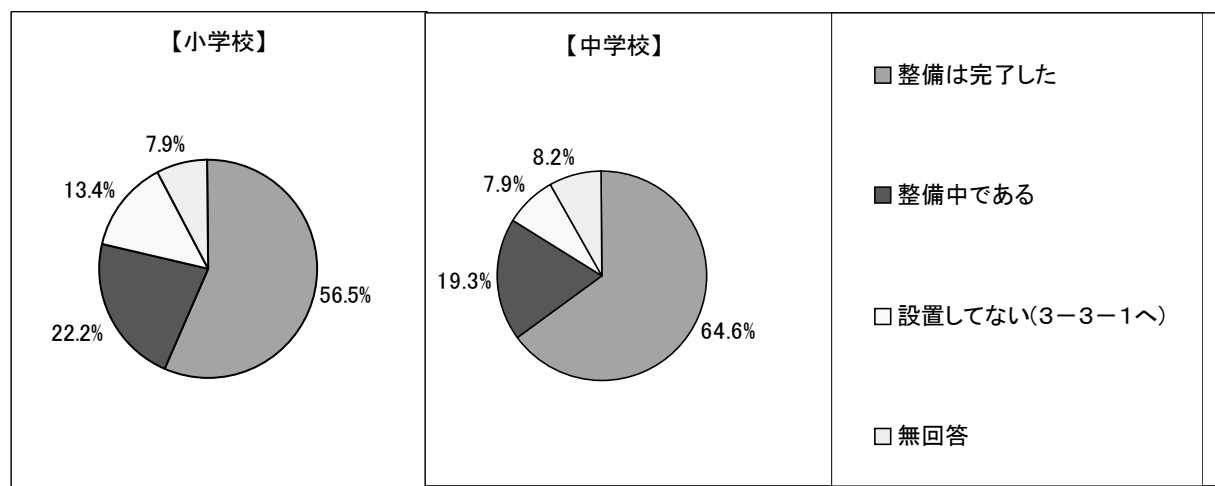
※「教育委員会の校務処理システムを利用する」が多いのは小・中学校とも「図書管理」と「体力テスト集計」である。「市販のソフトウェアを利用する」が多いのは小・中学校とも「学力を向上するために利用する」と「保健管理」である。「教員の自作のソフトウェアを利用する」が多いのは小・中学校とも「時数管理」と「成績管理」である。これは表計算ソフト等を利用したものであろう。

学校 3. ネットワーク

3-1. 校内 LAN の整備状況について

3-1-1. 校内 LAN の整備についてうかがいます。

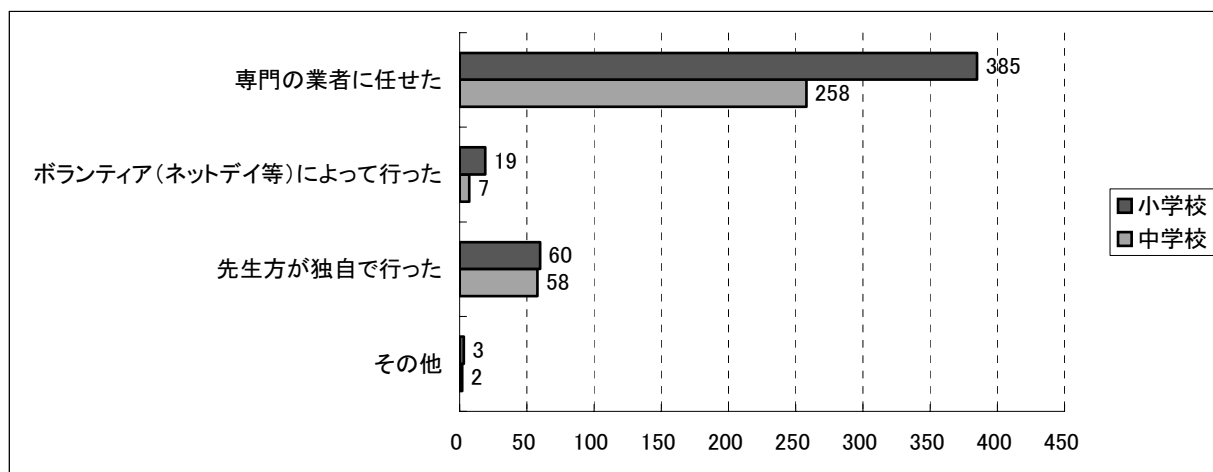
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
整備は完了した	315	56.5%	221	64.6%	536	59.6%
整備中である	124	22.2%	66	19.3%	190	21.1%
設置してない(3-3-1へ)	75	13.4%	27	7.9%	102	11.3%
無回答	44	7.9%	28	8.2%	72	8.0%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※「整備は完了した」と「整備中である」を合わせると全体で 80.7%となり、前回調査（81.9%）に比べても整備が進んでいない。「整備は完了した」だけを見ると、（54.6%→59.6%）となっており完了学校数は増えている一方で、「設置していない」「無回答」が、小・中学校ともあわせて 19.3%もあり、100%に向けての障害となっている。

3-1-2. 校内 LAN 工事は、どのように実施したかがいます。（複数回答可）

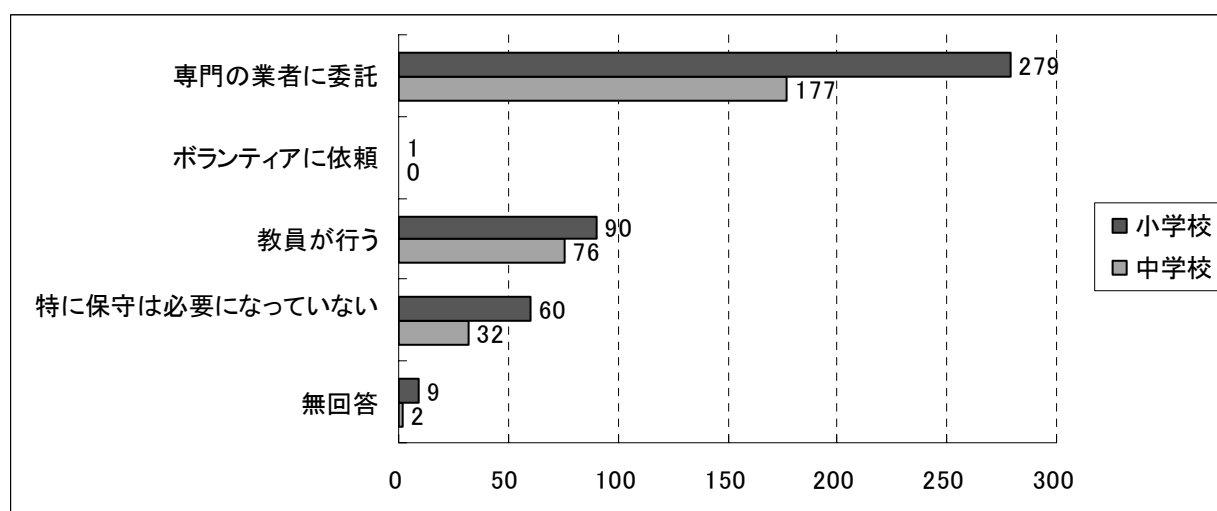
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
専門の業者に任せた	385	82.4%	87.7%	258	79.4%	89.9%	643	81.2%	88.6%
ボランティア（ネットデイ等）によって行った	19	4.1%	4.3%	7	2.2%	2.4%	26	3.3%	3.6%
先生方が独自で行った	60	12.8%	13.7%	58	17.8%	20.2%	118	14.9%	16.3%
その他	3	0.6%	0.7%	2	0.6%	0.7%	5	0.6%	0.7%
計	467	100.0%	106.4%	325	100.0%	113.2%	792	100.0%	109.1%



※「専門の業者に任せた」が全体で 88.6%と圧倒的に多くなっている一方、「先生方が独自で行った」ケースも中学校では回答比で 20.2%もあり、「ボランティア（ネットデイ）によって行なった」ところも少なからずある。今後のネットワークのセキュリティを考えると専門業者への委託が望まれる。

3-1-3. 校内 LAN の保守は、どのように行っているかがいます。

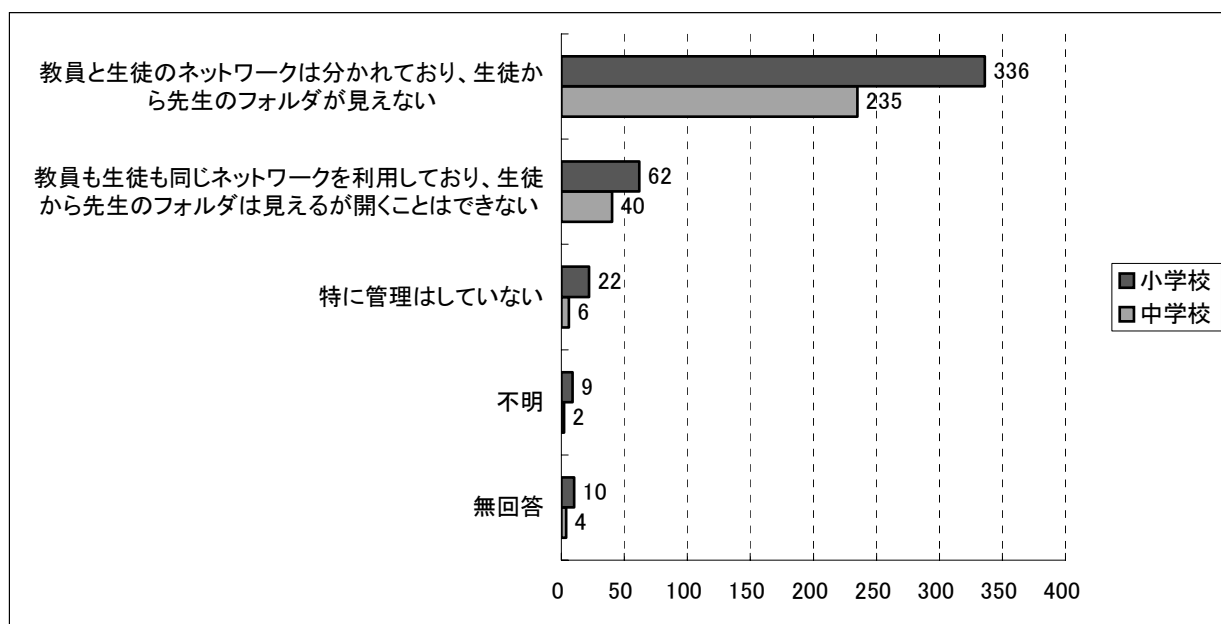
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
専門の業者に委託	279	63.6%	177	61.7%	456	62.8%
ボランティアに依頼	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
教員が行う	90	20.5%	76	26.5%	166	22.9%
特に保守は必要になっていない	60	13.7%	32	11.1%	92	12.7%
無回答	9	2.1%	2	0.7%	11	1.5%
計	439	100.0%	287	100.0%	726	100.0%



※「専門の業者に委託している」が全体で 62.8%を占めているが、22.9%は教員が行っており、教員の負担につながっていると思われる。また、「特に保守は必要になっていない」が小学校で 13.7%、中学校で 12.7%ある。

3-1-4. 校内 LAN のセキュリティについてうかがいます。

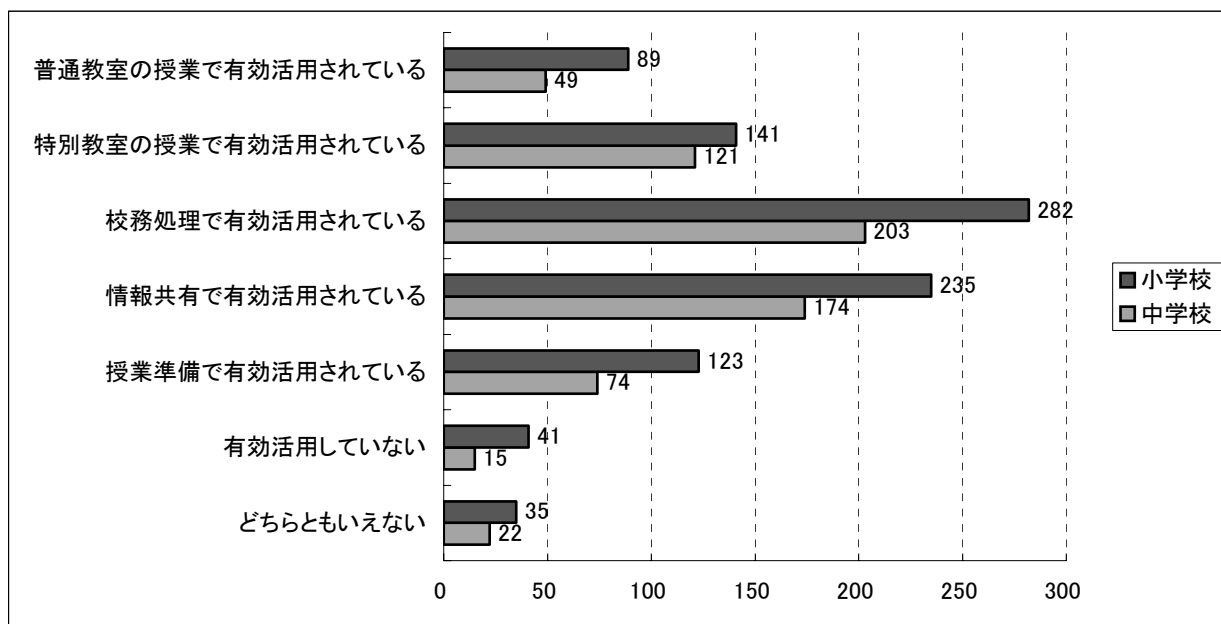
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
教員と生徒のネットワークは分かれており、生徒から先生のフォルダが見えない	336	76.5%	235	81.9%	571	78.7%
教員も生徒も同じネットワークを利用しており、生徒から先生のフォルダは見えるが開くことはできない	62	14.1%	40	13.9%	102	14.0%
特に管理はしていない	22	5.0%	6	2.1%	28	3.9%
不明	9	2.1%	2	0.7%	11	1.5%
無回答	10	2.3%	4	1.4%	14	1.9%
計	439	100.0%	287	100.0%	726	100.0%



※「教員と生徒のネットワークは分かれており、生徒から先生のフォルダが見えない」「教員も生徒も同じネットワークを利用しており、生徒から先生のフォルダは見えるが開くことはできない」を合わせて全体で 92.7%とセキュリティ対応がなされているが、「特に管理はしていない」が全体で 3.9%と少なからず残っている。より一層のセキュリティ管理が望まれる。

3-1-5. 校内 LAN の活用についてうかがいます。授業や校務処理で有効に活用されていますか。

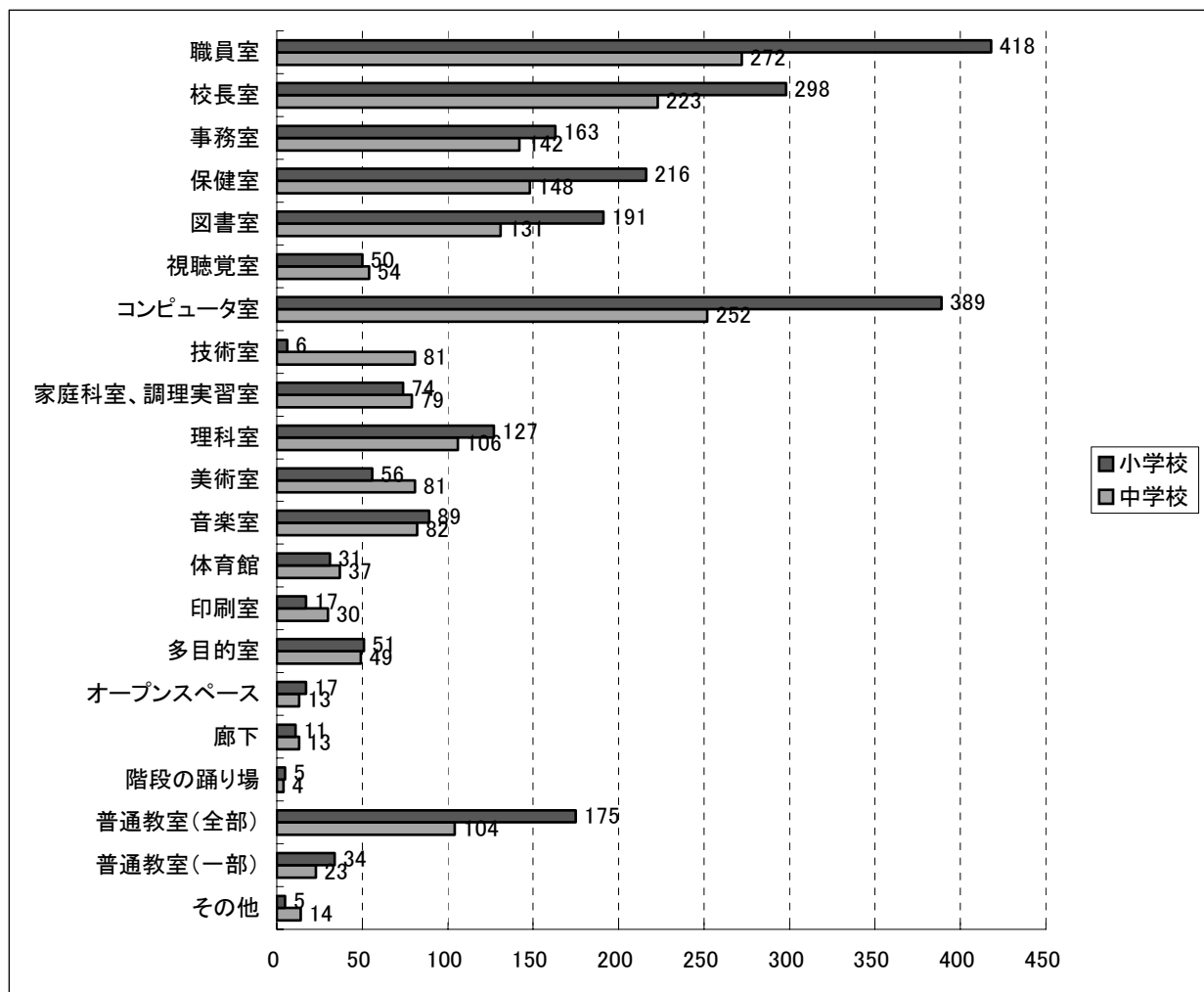
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
普通教室の授業で有効活用されている	89	9.4%	20.3%	49	7.4%	17.1%	138	8.6%	19.0%
特別教室の授業で有効活用されている	141	14.9%	32.1%	121	18.4%	42.2%	262	16.3%	36.1%
校務処理で有効活用されている	282	29.8%	64.2%	203	30.9%	70.7%	485	30.2%	66.8%
情報共有で有効活用されている	235	24.8%	53.5%	174	26.4%	60.6%	409	25.5%	56.3%
授業準備で有効活用されている	123	13.0%	28.0%	74	11.2%	25.8%	197	12.3%	27.1%
有効活用していない	41	4.3%	9.3%	15	2.3%	5.2%	56	3.5%	7.7%
どちらともいえない	35	3.7%	8.0%	22	3.3%	7.7%	57	3.6%	7.9%
計	946	100.0%	215.5%	658	100.0%	229.3%	1,604	100.0%	220.9%



※「校務処理で有効活用されている」が全体で 66.8%と高い割合を示し、「情報共有で活用されている」が 56.3%と続いている。一方で「普通教室の授業で有効活用されている」は全体で 19.0%である。校内 LAN は校務・教務で活用しているが授業での活用が低い結果となった。

3-1-6. 校内 LAN が接続され、活用されている場所をうかがいます。(複数回答可)

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
職員室	418	95.2%	272	94.8%	690	95.0%
校長室	298	67.9%	223	77.7%	521	71.8%
事務室	163	37.1%	142	49.5%	305	42.0%
保健室	216	49.2%	148	51.6%	364	50.1%
図書室	191	43.5%	131	45.6%	322	44.4%
視聴覚室	50	11.4%	54	18.8%	104	14.3%
コンピュータ室	389	88.6%	252	87.8%	641	88.3%
技術室	6	1.4%	81	28.2%	87	12.0%
家庭科室、調理実習室	74	16.9%	79	27.5%	153	21.1%
理科室	127	28.9%	106	36.9%	233	32.1%
美術室	56	12.8%	81	28.2%	137	18.9%
音楽室	89	20.3%	82	28.6%	171	23.6%
体育館	31	7.1%	37	12.9%	68	9.4%
印刷室	17	3.9%	30	10.5%	47	6.5%
多目的室	51	11.6%	49	17.1%	100	13.8%
オープンスペース	17	3.9%	13	4.5%	30	4.1%
廊下	11	2.5%	13	4.5%	24	3.3%
階段の踊り場	5	1.1%	4	1.4%	9	1.2%
普通教室（全部）	175	39.9%	104	36.2%	279	38.4%
普通教室（一部）	34	7.7%	23	8.0%	57	7.9%
その他	5	1.1%	14	4.9%	19	2.6%

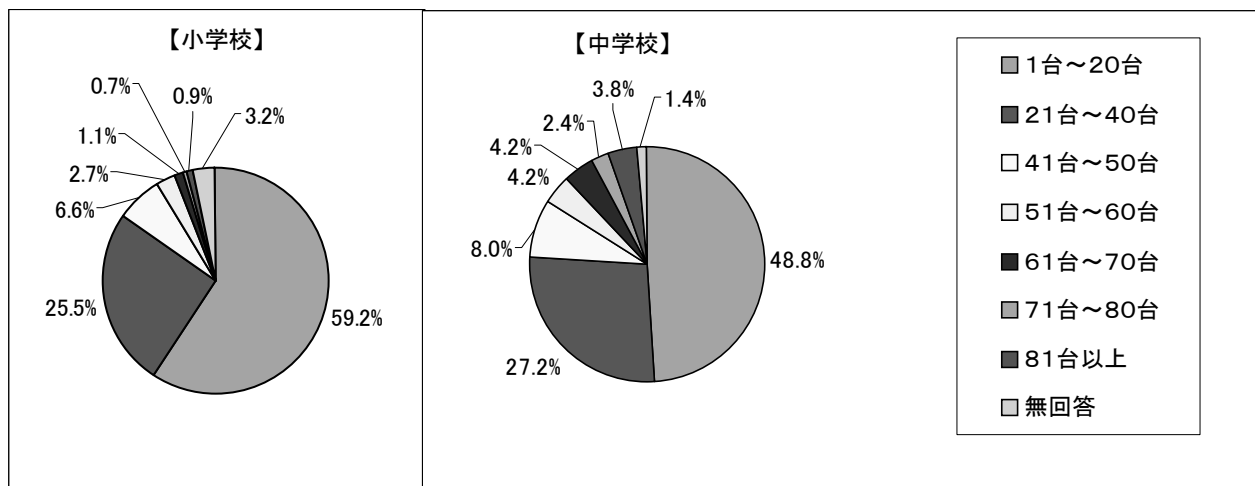


※「職員室」は全体で 95.0%とほぼ整備されているものの、「普通教室（全部）」は 38.4%、「普通教室（一部）」は 7.9%と低い結果であった。文部科学省調査の校内LAN整備率（56.2%）と比較しても低い結果となっている。ICT活用促進のためにも早急な整備が望まれる。

3-1-7. 校内LANに接続されているコンピュータについてうかがいます。

3-1-7-1. 校内LANには何台のコンピュータが接続されていますか。（コンピュータ室の台数を除く）

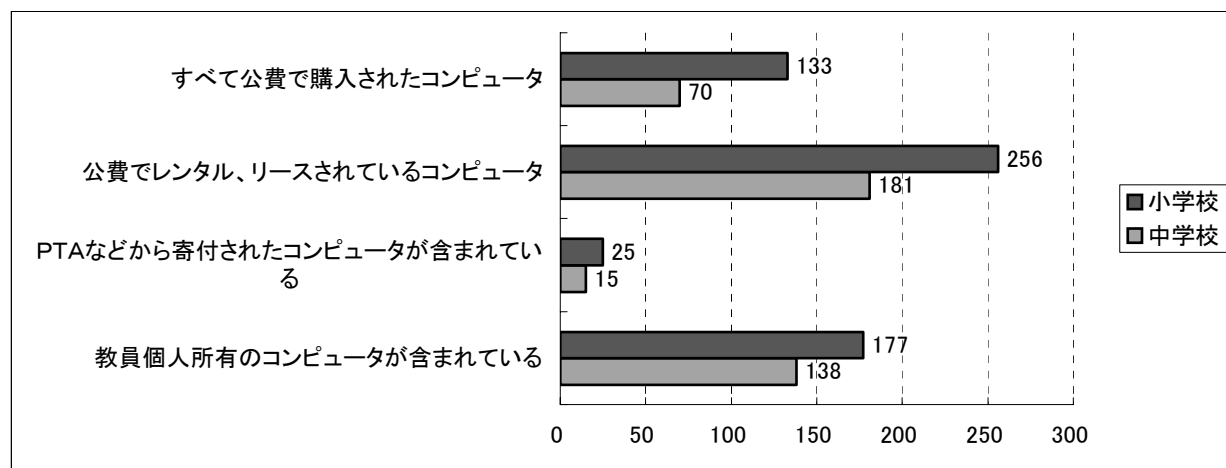
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
1台～20台	260	59.2%	140	48.8%	400	55.1%
21台～40台	112	25.5%	78	27.2%	190	26.2%
41台～50台	29	6.6%	23	8.0%	52	7.2%
51台～60台	12	2.7%	12	4.2%	24	3.3%
61台～70台	5	1.1%	12	4.2%	17	2.3%
71台～80台	3	0.7%	7	2.4%	10	1.4%
81台以上	4	0.9%	11	3.8%	15	2.1%
無回答	14	3.2%	4	1.4%	18	2.5%
計	439	100.0%	287	100.0%	726	100.0%



※校内LANに接続されているコンピュータは「1台～20台」が最も多く小学校で59.2%、中学校で55.1%となった。今後教員一人1台の整備が増えると更に接続する台数が増えていくと考えられる。

3-1-7-2. 校内LANに接続されているコンピュータの購入形態についてうかがいます。(複数回答可)

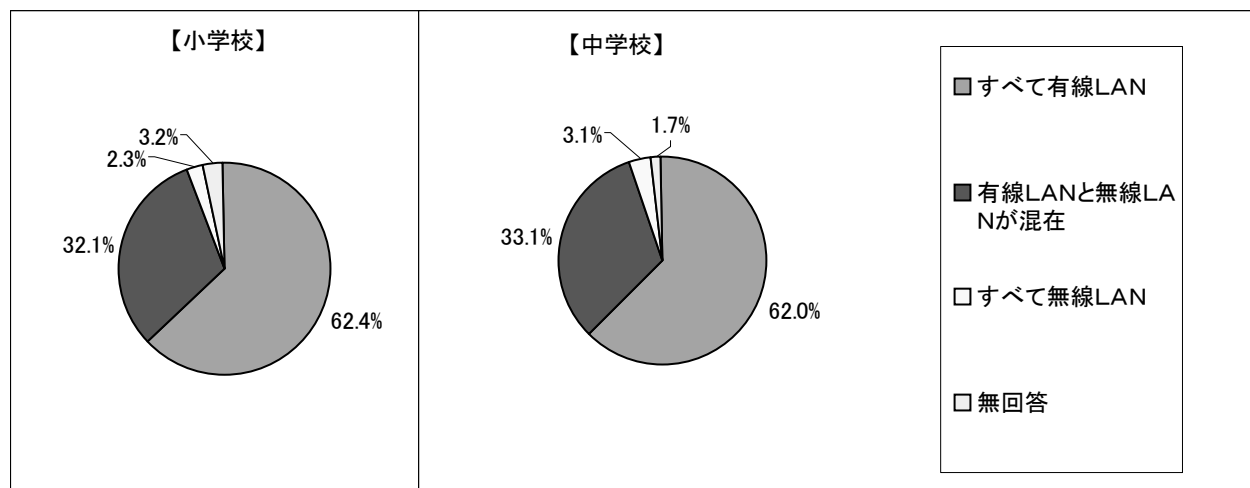
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
すべて公費で購入されたコンピュータ	133	22.5%	30.3%	70	17.3%	24.4%	203	20.4%	28.0%
公費でレンタル、リースされているコンピュータ	256	43.3%	58.3%	181	44.8%	63.1%	437	43.9%	60.2%
PTAなどから寄付されたコンピュータが含まれている	25	4.2%	5.7%	15	3.7%	5.2%	40	4.0%	5.5%
教員個人所有のコンピュータが含まれている	177	29.9%	40.3%	138	34.2%	48.1%	315	31.7%	43.4%
計	591	100.0%	134.6%	404	100.0%	140.8%	995	100.0%	137.1%



※「教員個人所有のコンピュータが含まれている」が全体で43.4%となっている。個人所有のコンピュータ使用による情報漏洩が社会的な問題になっており、特にLANへの接続は情報セキュリティに関して大きな問題がある。教員一人1台のコンピュータ整備を早急に推進し、運用規定、罰則規定の整備が望まれる。

3-1-8. 有線LANと無線LANの設置についてうかがいます。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
すべて有線LAN	274	62.4%	178	62.0%	452	62.3%
有線LANと無線LANが混在	141	32.1%	95	33.1%	236	32.5%
すべて無線LAN	10	2.3%	9	3.1%	19	0.0%
無回答	14	3.2%	5	1.7%	19	2.6%
計	439	100.0%	287	100.0%	726	100.0%

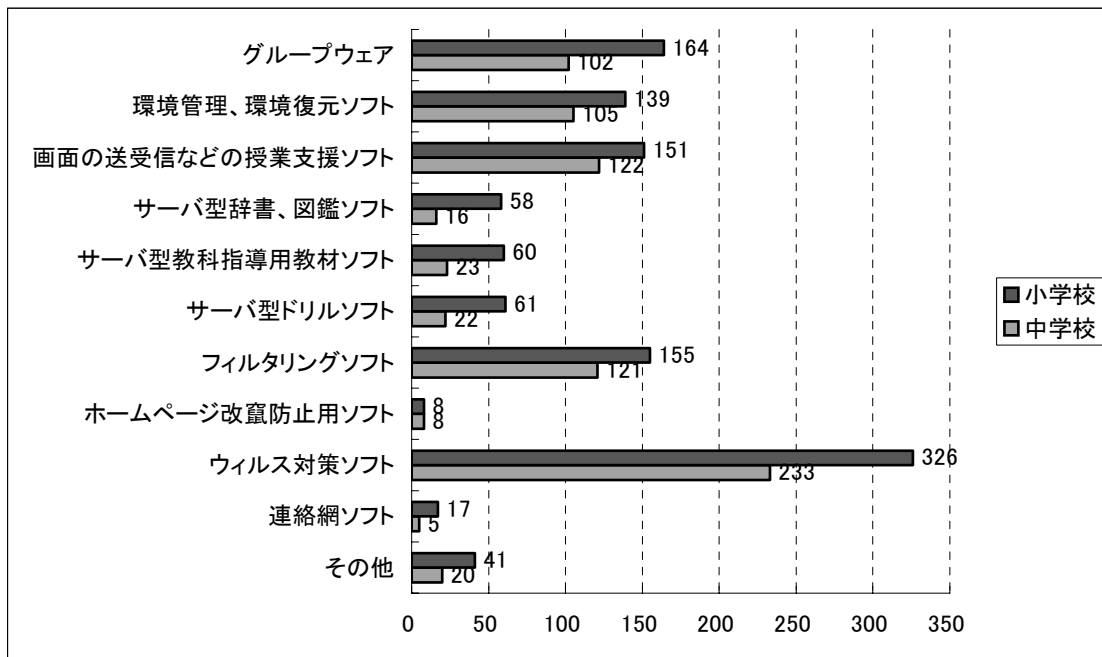


※「有線LANと無線LANが混在している」ケースが全体で 32.5%となっている。校内LAN整備場所が職員室が多いことを考えると、職員室内で無線LAN接続しているケースが多いと予想される。

3-2. 校内LAN関連で導入されているソフトウェアについてうかがいます。

以下のソフトで導入されているものをお選びください。(複数回答可)

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
グループウェア	164	13.9%	37.4%	102	13.1%	35.5%	266	13.6%	36.6%
環境管理、環境復元ソフト	139	11.8%	31.7%	105	13.5%	36.6%	244	12.5%	33.6%
画面の送受信などの授業支援ソフト	151	12.8%	34.4%	122	15.7%	42.5%	273	13.9%	37.6%
サーバ型辞書、図鑑ソフト	58	4.9%	13.2%	16	2.1%	5.6%	74	3.8%	10.2%
サーバ型教科指導用教材ソフト	60	5.1%	13.7%	23	3.0%	8.0%	83	4.2%	11.4%
サーバ型ドリルソフト	61	5.2%	13.9%	22	2.8%	7.7%	83	4.2%	11.4%
フィルタリングソフト	155	13.1%	35.3%	121	15.6%	42.2%	276	14.1%	38.0%
ホームページ改竄防止用ソフト	8	0.7%	1.8%	8	1.0%	2.8%	16	0.8%	2.2%
ウィルス対策ソフト	326	27.6%	74.3%	233	30.0%	81.2%	559	28.6%	77.0%
連絡網ソフト	17	1.4%	3.9%	5	0.6%	1.7%	22	1.1%	3.0%
その他	41	3.5%	9.3%	20	2.6%	7.0%	61	3.1%	8.4%
計	1,180	100.0%	268.8%	777	100.0%	270.7%	1,957	100.0%	269.6%

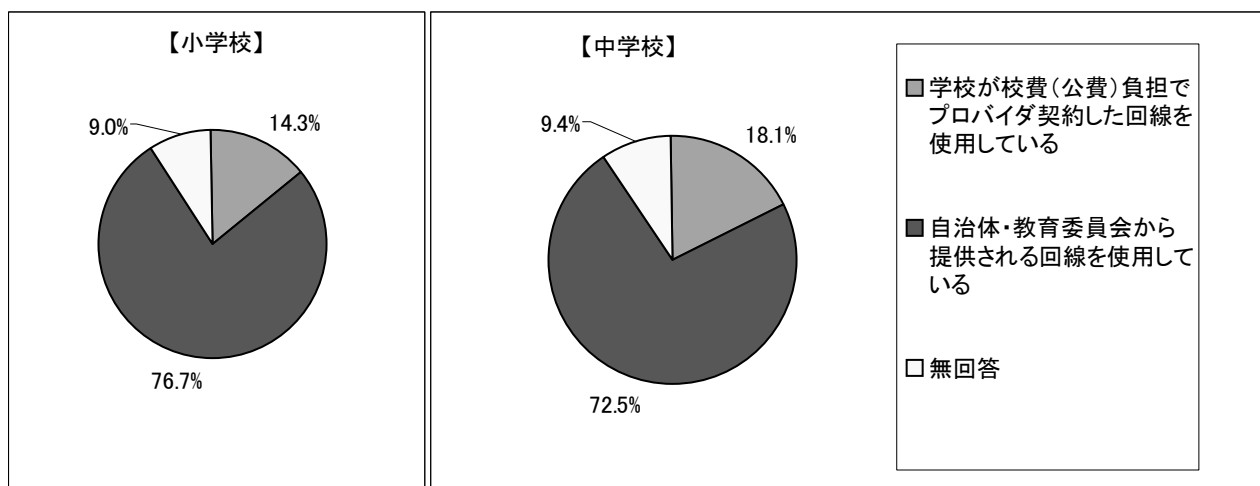


※「グループウェア」や「環境管理、環境復元ソフト」「授業支援ソフト」「フィルタリングソフト」等が他のソフトウェアに比べて高く、教科指導より運用管理面で必要なソフトウェアの比重が高くなっている。普通教室や特別教室の授業で生かされる教科指導用ソフトウェアの導入が望まれる。また「ウィルス対策ソフト」が全体で 77.0%整備されているが、セキュリティの重要性から言えば 100%整備が必要である。

3-3. インターネットへの接続について

3-3-1. インターネット接続の回線についてうかがいます。

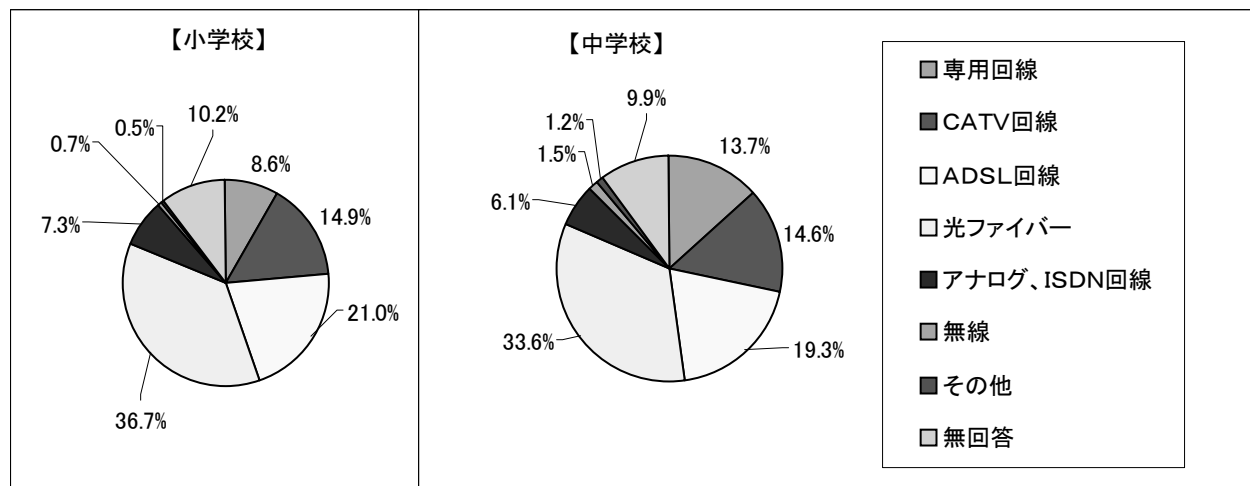
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
学校が校費（公費）負担でプロバイダ契約した回線を使用している	80	14.3%	62	18.1%	142	15.8%
自治体・教育委員会から提供される回線を使用している	428	76.7%	248	72.5%	676	75.1%
無回答	50	9.0%	32	9.4%	82	9.1%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※「自治体・教育委員会から提供される回線を使用している」が全体で 75.1%を占め、地域イントラネットの活用を意識したネットワーク構築が進んでいると思われる。

3-3-2. 主に使用している回線についてうかがいます。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
専用回線	48	8.6%	47	13.7%	95	10.6%
CATV回線	83	14.9%	50	14.6%	133	14.8%
ADSL回線	117	21.0%	66	19.3%	183	20.3%
光ファイバー	205	36.7%	115	33.6%	320	35.6%
アナログ、ISDN回線	41	7.3%	21	6.1%	62	6.9%
無線	4	0.7%	5	1.5%	9	1.0%
その他	3	0.5%	4	1.2%	7	0.8%
無回答	57	10.2%	34	9.9%	91	10.1%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

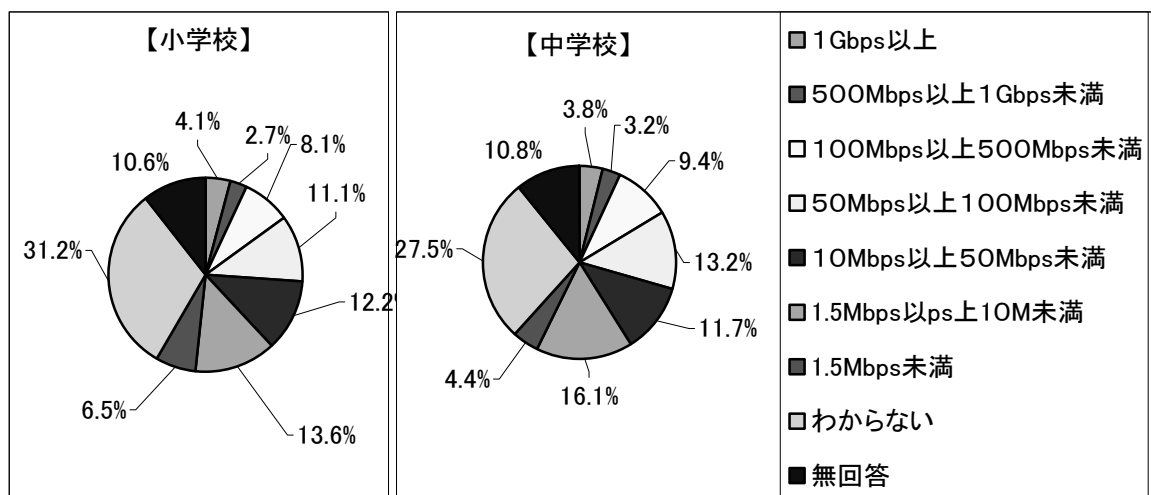


※比率の高い順位で「光ファイバー」（前年比 26.1%→35.6%）、「ADSL回線」（同 33.6%→20.3%）、「CATV回線」（同 15.7%→14.8%）、「専用回線」（同 89.9%→10.6%）が続いており、ブロードバンド化が進んでいる。しかし、未だ「アナログ、ISDN回線」が6.9%残っており、より一層の高速化の整備が望まれる。

3-3-3. 回線速度について

3-3-3-1. 現在使用している回線速度についてうかがいます。

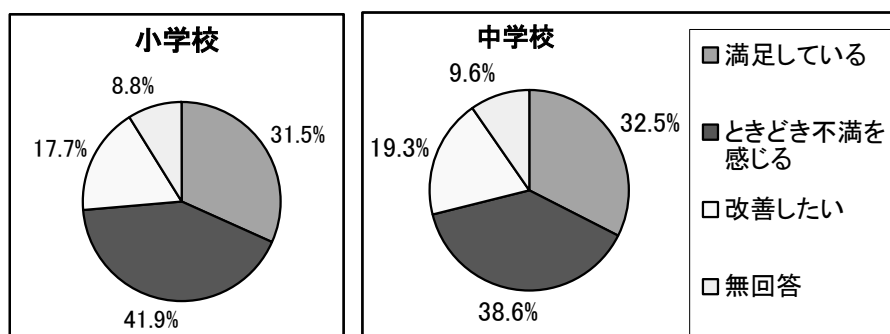
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
1 Gbps 以上	23	4.1%	13	3.8%	36	4.0%
500Mbps 以上 1 Gbps 未満	15	2.7%	11	3.2%	26	2.9%
100Mbps 以上 500Mbps 未満	45	8.1%	32	9.4%	77	8.6%
50Mbps 以上 100Mbps 未満	62	11.1%	45	13.2%	107	11.9%
10Mbps 以上 50Mbps 未満	68	12.2%	40	11.7%	108	12.0%
1.5Mbps 以上 10Mbps 未満	76	13.6%	55	16.1%	131	14.6%
1.5Mbps 未満	36	6.5%	15	4.4%	51	5.7%
わからない	174	31.2%	94	27.5%	268	29.8%
無回答	59	10.6%	37	10.8%	96	10.7%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※ブロードバンド化が進んできてはいるものの、「1.5Mbps 以上 10M 未満」が全体で 14.6%、「1.5Mbps 未満」が 5.7% あり、高速インターネット接続 100%の目標には至っていない。また情報担当者で、「わからない」が全体で 29.8% もあることは問題である。

3-3-3-2. 現在使用している回線速度の満足度についてうかがいます。

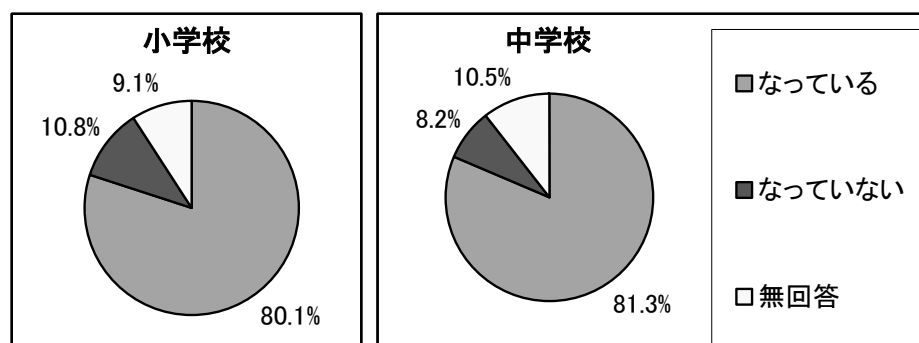
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
満足している	176	31.5%	111	32.5%	287	31.9%
ときどき不満を感じる	234	41.9%	132	38.6%	366	40.7%
改善したい	99	17.7%	66	19.3%	165	18.3%
無回答	49	8.8%	33	9.6%	82	9.1%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



全体の 31.9%が現在の回線速度に満足している。しかしながら、「ときどき不満を感じる」「改善したい」を合わせると 59.0%になり、今後接続するコンピュータ台数が増え、インターネット上の動画コンテンツ等容量の大きな教材を使用する機会が増すと、不満や改善が必要なケースが増えると予想される。

3-3-4. 校内 LAN からインターネット接続できるようになっていますか。

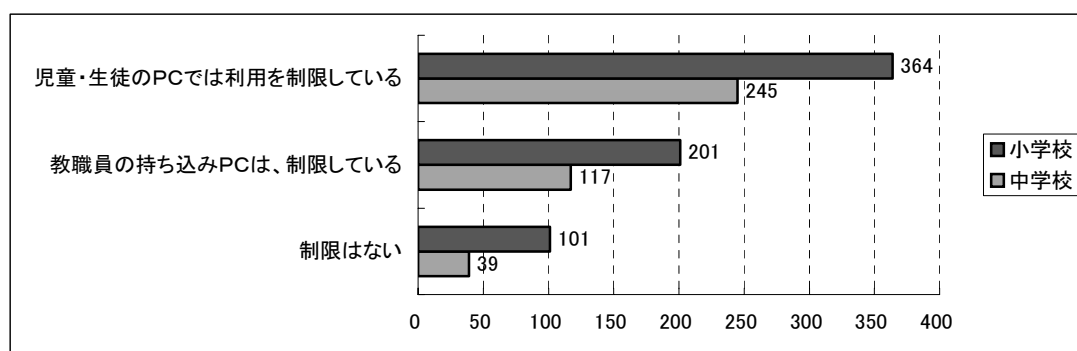
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
なっている	447	80.1%	278	81.3%	725	80.6%
なっていない	60	10.8%	28	8.2%	88	9.8%
無回答	51	9.1%	36	10.5%	87	9.7%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※校内LANからインターネット接続可能な学校が全体で 80.6%となっており、インターネットの活用が一般化してきている。しかしインターネット接続ができない学校も全体で 9.8%あり改善が望まれる。

3-3-5. インターネットへの接続制限についてうかがいます。(複数回答可)

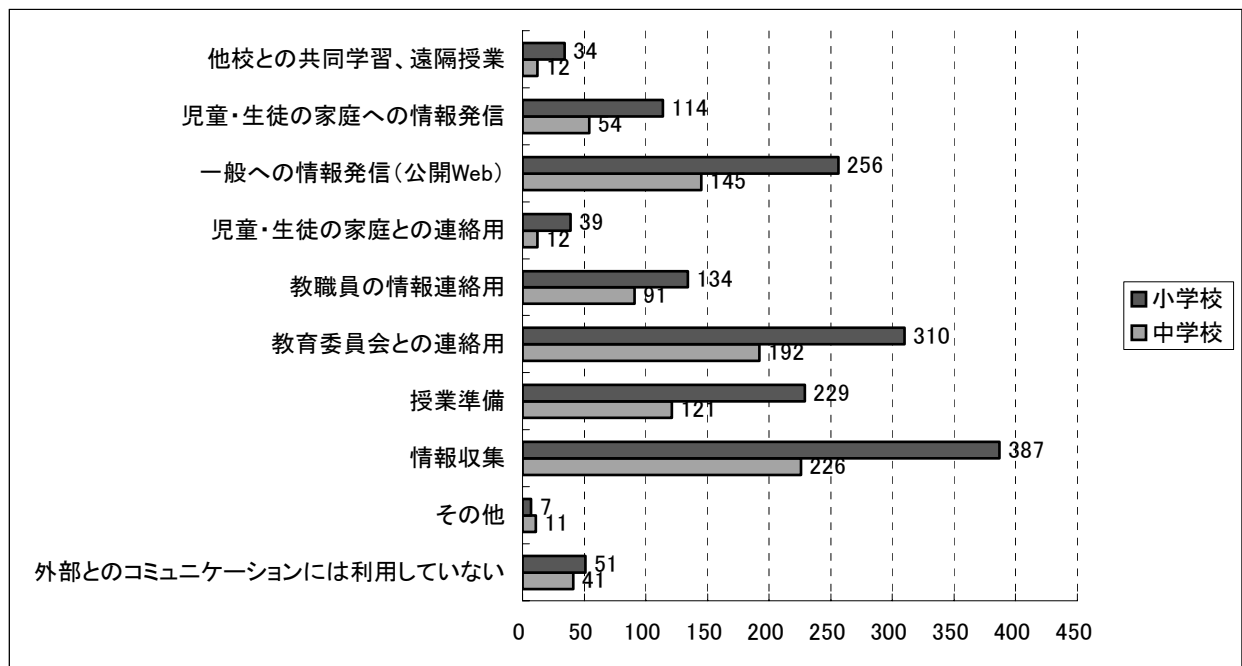
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
児童・生徒のPCでは利用を制限している	364	54.7%	65.2%	245	61.1%	71.6%	609	57.1%	67.7%
教職員の持ち込みPCは、制限している	201	30.2%	36.0%	117	29.2%	34.2%	318	29.8%	35.3%
制限はない	101	15.2%	18.1%	39	9.7%	11.4%	140	13.1%	15.6%
計	666	100.0%	119.4%	401	100.0%	117.3%	1,067	100.0%	118.6%



※「教職員の持ち込みPCを制限している」が 35.3%と低い割合である。個人コンピュータによる情報漏洩が社会的な問題になっており、セキュリティに関する対策が重要である。教員一人1台のコンピュータ整備を早急に推進し、運用規定、罰則規定の整備が望まれる。

3-3-6. インターネットを外部とのコミュニケーションに活用している場合、どのような目的で利用しているかがいます。(複数回答可)

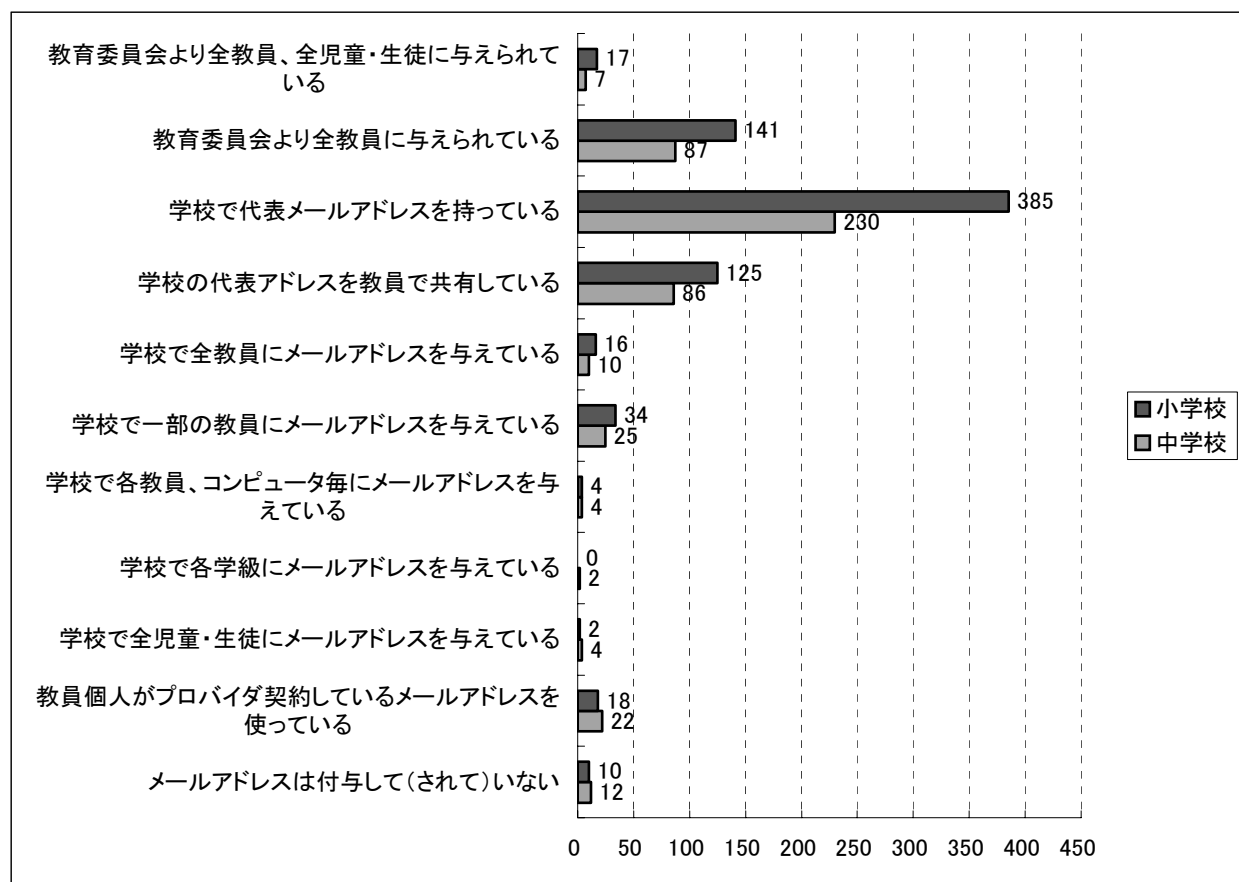
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
他校との共同学習、遠隔授業	34	2.2%	6.1%	12	1.3%	3.5%	46	1.9%	5.1%
児童・生徒の家庭への情報発信	114	7.3%	20.4%	54	6.0%	15.8%	168	6.8%	18.7%
一般への情報発信 (公開Web)	256	16.4%	45.9%	145	16.0%	42.4%	401	16.3%	44.6%
児童・生徒の家庭との連絡用	39	2.5%	7.0%	12	1.3%	3.5%	51	2.1%	5.7%
教職員の情報連絡用	134	8.6%	24.0%	91	10.1%	26.6%	225	9.1%	25.0%
教育委員会との連絡用	310	19.9%	55.6%	192	21.2%	56.1%	502	20.4%	55.8%
授業準備	229	14.7%	41.0%	121	13.4%	35.4%	350	14.2%	38.9%
情報収集	387	24.8%	69.4%	226	25.0%	66.1%	613	24.9%	68.1%
その他	7	0.4%	1.3%	11	1.2%	3.2%	18	0.7%	2.0%
外部とのコミュニケーションには利用していない	51	3.3%	9.1%	41	4.5%	12.0%	92	3.7%	10.2%



※インターネットを使用した外部からの「情報収集」が全体で68.1%、「授業準備」が38.9%、「一般への情報発信(公開Web)」が44.6%、「教育委員会との情報連絡用」が55.8%、「家庭への情報発信」や「家庭との連絡」の割合は低く、今後こうした地域との連携が課題となっている。

3-3-7. メールアドレスの付与についてうかがいます。(複数回答可)

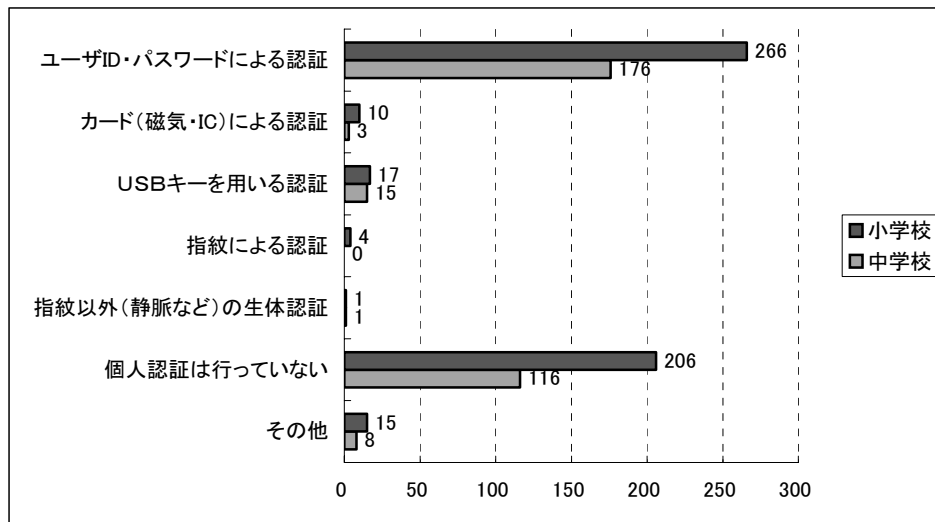
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
教育委員会より全教員、全児童・生徒に与えられている	17	2.3%	3.0%	7	1.4%	2.0%	24	1.9%	2.7%
教育委員会より全教員に与えられている	141	18.8%	25.3%	87	17.8%	25.4%	228	18.4%	25.3%
学校で代表メールアドレスを持っている	385	51.2%	69.0%	230	47.0%	67.3%	615	49.6%	68.3%
学校の代表アドレスを教員で共有している	125	16.6%	22.4%	86	17.6%	25.1%	211	17.0%	23.4%
学校で全教員にメールアドレスを与えている	16	2.1%	2.9%	10	2.0%	2.9%	26	2.1%	2.9%
学校で一部の教員にメールアドレスを与えている	34	4.5%	6.1%	25	5.1%	7.3%	59	4.8%	6.6%
学校で各教員、コンピュータ毎にメールアドレスを与えている	4	0.5%	0.7%	4	0.8%	1.2%	8	0.6%	0.9%
学校で各学級にメールアドレスを与えている	0	0.0%	0.0%	2	0.4%	0.6%	2	0.2%	0.2%
学校で全児童・生徒にメールアドレスを与えている	2	0.3%	0.4%	4	0.8%	1.2%	6	0.5%	0.7%
教員個人がプロバイダ契約しているメールアドレスを使っている	18	2.4%	3.2%	22	4.5%	6.4%	40	3.2%	4.4%
メールアドレスは付与して(されて)いない	10	1.3%	1.8%	12	2.5%	3.5%	22	1.8%	2.4%



※「教育委員会より全教員に与えられている」は前回調査比（24.4%→25.3%）と依然として低い割合である。ネットワーク活用に関しては一般企業・省庁、役所からは大きく遅れている実態がある。これは教員一人1台のコンピュータ整備と合わせて早急な整備が求められる。

3-3-8. 校内 LAN 使用時の個人認証の方法についてうかがいます。（複数回答可）

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
ユーザID・パスワードによる認証	266	51.3%	47.7%	176	55.2%	51.5%	442	52.7%	49.1%
カード（磁気・IC）による認証	10	1.9%	1.8%	3	0.9%	0.9%	13	1.6%	1.4%
USBキーを用いる認証	17	3.3%	3.0%	15	4.7%	4.4%	32	3.8%	3.6%
指紋による認証	4	0.8%	0.7%	0	0.0%	0.0%	4	0.5%	0.4%
指紋以外（静脈など）の生体認証	1	0.2%	0.2%	1	0.3%	0.3%	2	0.2%	0.2%
個人認証は行っていない	206	39.7%	36.9%	116	36.4%	33.9%	322	38.4%	35.8%
その他	15	2.9%	2.7%	8	2.5%	2.3%	23	2.7%	2.6%
計	519	100.0%	93.0%	319	100.0%	93.3%	838	100.0%	93.1%

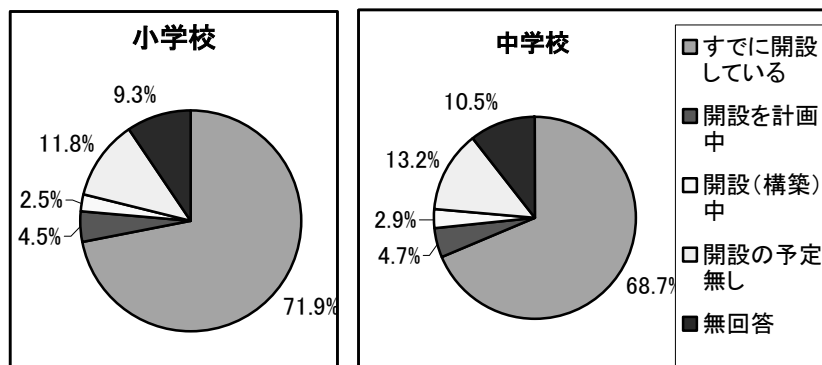


※「個人認証は行っていない」が 35.8%と高い割合を示している。児童・生徒の個人情報保護の重要性から早急の対策が必要である。また、USBキーによる認証が出てきていることも注目される。

3-4. ホームページの開設について

3-4-1. 学校のホームページを開設していますか。

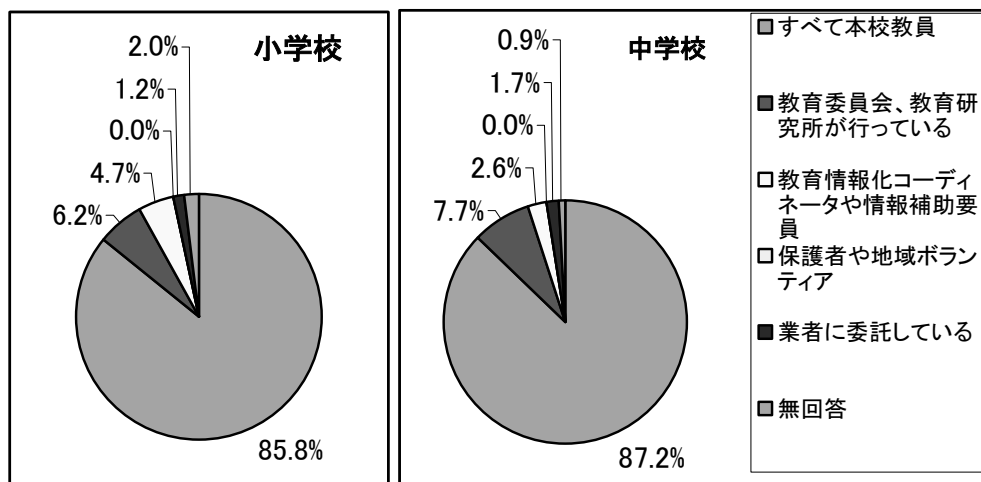
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
すでに開設している	401	71.9%	235	68.7%	636	70.7%
開設を計画中	25	4.5%	16	4.7%	41	4.6%
開設(構築)中	14	2.5%	10	2.9%	24	2.7%
開設の予定なし	66	11.8%	45	13.2%	111	12.3%
無回答	52	9.3%	36	10.5%	88	9.8%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※学校ホームページによる情報発信の活用が期待されている中、「すでに開設している」が前回調査比(64.9%→70.7%)と増えている。未だ「開設の予定なし」が小学校で11.8%、中学校で13.2%も存在する。

3-4-2. ホームページの運営はどなたが行っていますか

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
すべて本校教員で行っている	344	85.8%	205	87.2%	549	86.3%
教育委員会、教育研究所が行っている	25	6.2%	18	7.7%	43	6.8%
教育情報化コーディネータや情報補助要員が行っている	19	4.7%	6	2.6%	25	3.9%
保護者や地域ボランティアの協力を得ている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
業者に委託している	5	1.2%	4	1.7%	9	1.4%
無回答	8	2.0%	2	0.9%	10	1.6%
計	401	100.0%	235	100.0%	636	100.0%

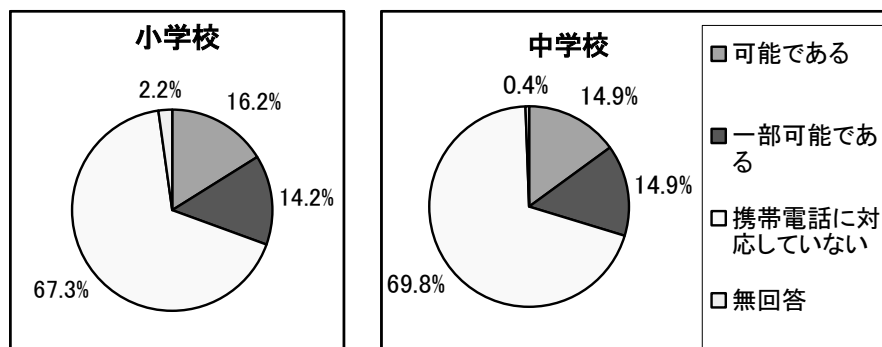


※ 「すべて本校教員で行っている」が 86.3%と各学校にホームページ運営が任されている。教職員の負担が増していると予想される。教育委員会を含めた組織的な運営・維持管理の仕組み作りや人的支援が必要であると思われる。

※

3-4-3. 開設されているホームページは携帯電話での閲覧が可能かどうかがあります。

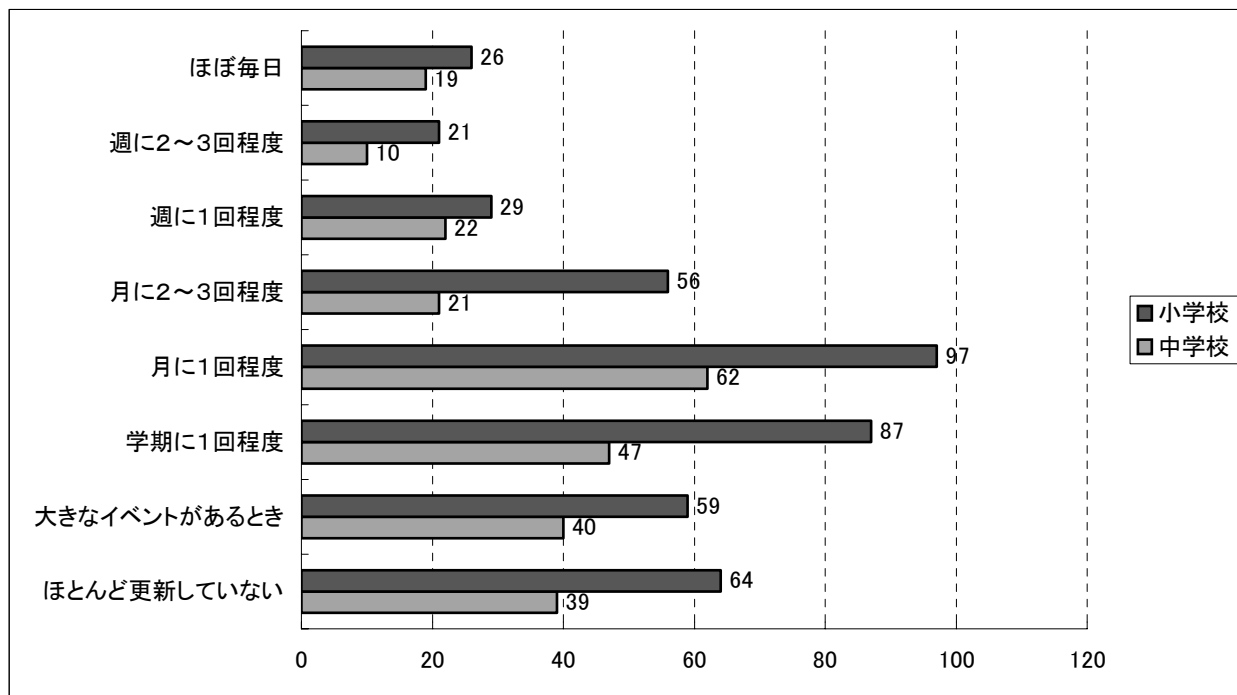
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
可能である	65	16.2%	35	14.9%	100	15.7%
一部可能である	57	14.2%	35	14.9%	92	14.5%
携帯電話に対応していない	270	67.3%	164	69.8%	434	68.2%
無回答	9	2.2%	1	0.4%	10	1.6%
計	401	100.0%	235	100.0%	636	100.0%



※ 「可能である」が前回調査比（9.5%→15.7%）と増えているが、「携帯電話に対応していない」が未だ 68.2%となっている。携帯電話が一般化していることを考慮すると早期の対応が望まれる。

3-4-4. ホームページの更新頻度はどれくらいですか。(複数回答可)

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
ほぼ毎日	26	5.9%	6.5%	19	7.3%	8.1%	45	6.4%	7.1%
週に2～3回程度	21	4.8%	5.2%	10	3.8%	4.3%	31	4.4%	4.9%
週に1回程度	29	6.6%	7.2%	22	8.5%	9.4%	51	7.3%	8.0%
月に2～3回程度	56	12.8%	14.0%	21	8.1%	8.9%	77	11.0%	12.1%
月に1回程度	97	22.1%	24.2%	62	23.8%	26.4%	159	22.7%	25.0%
学期に1回程度	87	19.8%	21.7%	47	18.1%	20.0%	134	19.2%	21.1%
大きなイベントがあるとき	59	13.4%	14.7%	40	15.4%	17.0%	99	14.2%	15.6%
ほとんど更新していない	64	14.6%	16.0%	39	15.0%	16.6%	103	14.7%	16.2%
計	439	100.0%	109.5%	260	100.0%	110.6%	699	100.0%	109.9%

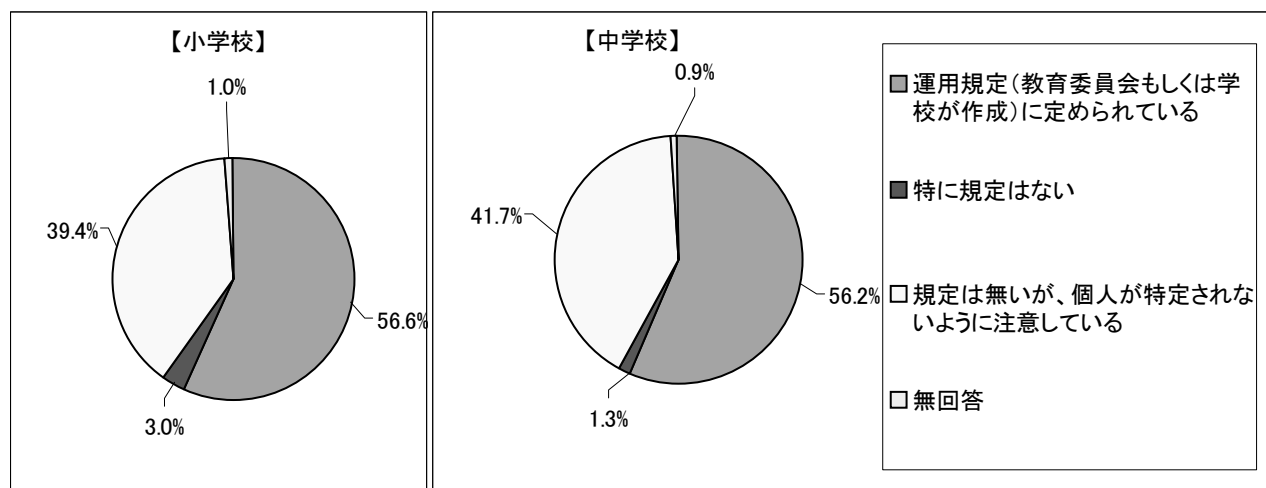


※ホームページの更新頻度は、「月に1回程度」が25.0%、「月に2～3回程度」が12.1%となっている。

「大きなイベントがあるとき」と「ほとんど更新していない」が合わせて31.8%もあり、格差が大きくなっている。更新頻度を上げるための仕組み作りが必要である。

3-4-5. ホームページに児童・生徒の写真や作品などを公開する場合の規定についてうかがいます。

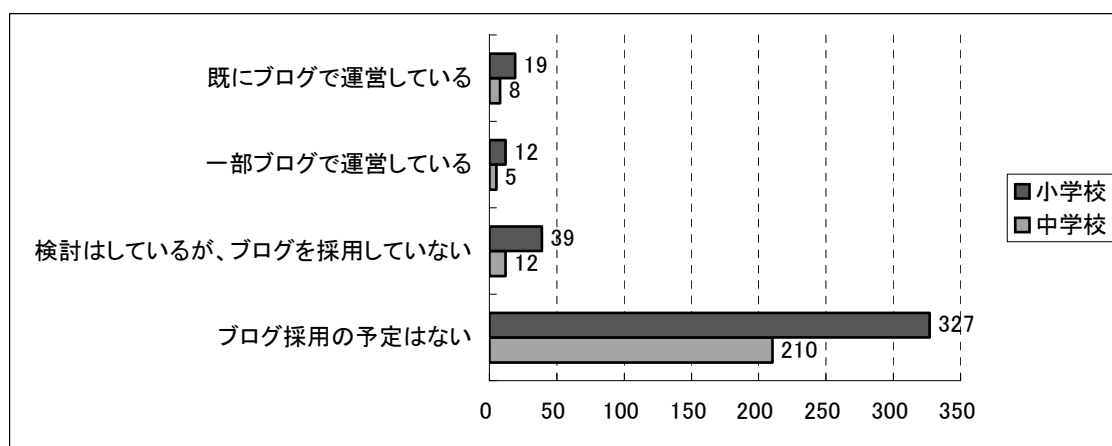
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
運用規定（教育委員会もしくは学校が作成）に定められている	227	56.6%	132	56.2%	359	56.4%
特に規定はない	12	3.0%	3	1.3%	15	2.4%
規定は無いが、個人が特定されないように注意している	158	39.4%	98	41.7%	256	40.3%
無回答	4	1.0%	2	0.9%	6	0.9%
計	401	100.0%	235	100.0%	636	100.0%



※ 児童・生徒個人が特定されないような配慮は進んできているが、運用規定がない学校が全体で 42.7%もある。運用規定や内容のチェックや承認等を考慮した仕組み作りが必要であると思われる。

3-4-6. ブログ (Weblog、ウェブログ) の活用を検討されているかどうか (複数回答可)

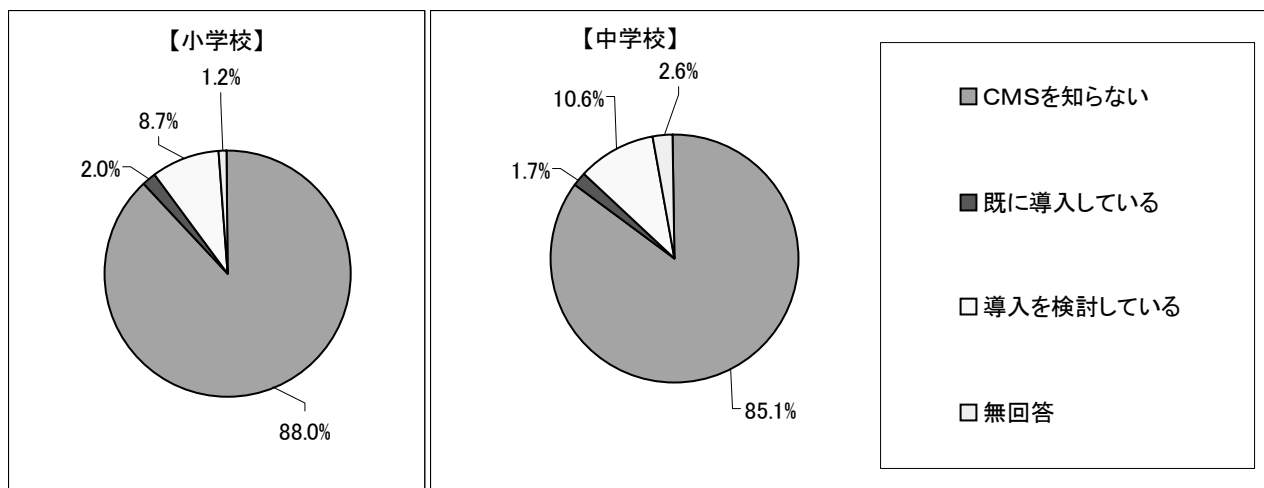
	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
既にブログで運営している	19	4.8%	4.7%	8	3.4%	3.4%	27	4.3%	4.2%
一部ブログで運営している	12	3.0%	3.0%	5	2.1%	2.1%	17	2.7%	2.7%
検討はしているが、ブログを採用していない	39	9.8%	9.7%	12	5.1%	5.1%	51	8.1%	8.0%
ブログ採用の予定はない	327	82.4%	81.5%	210	89.4%	89.4%	537	85.0%	84.4%
計	397	100.0%	99.0%	235	100.0%	100.0%	632	100.0%	99.4%



※ホームページの更新が簡単なブログを採用している学校は少なく、多くが「ブログ採用の予定はない」という結果となった。

3-4-7. CMS (コンテンツ・マネジメント・システム) の導入について (複数回答可)

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
CMS を知らない	353	88.0%	200	85.1%	553	86.9%
既に導入している	8	2.0%	4	1.7%	12	1.9%
導入を検討している	35	8.7%	25	10.6%	60	9.4%
無回答	5	1.2%	6	2.6%	11	1.7%
計	401	100.0%	235	100.0%	636	100.0%



※「CMSを知らない」が 86.9%という結果となった。ホームページの更新頻度を上げる仕組みとして有効的な手段であるCMSやブログが活用されていない現状が浮き彫りとなった。教育委員会のホームページ運用に関する予算措置と平行して対策が求められる。

学校 4. 保守・サポート

4-1. 教育用コンピュータのトラブルについて

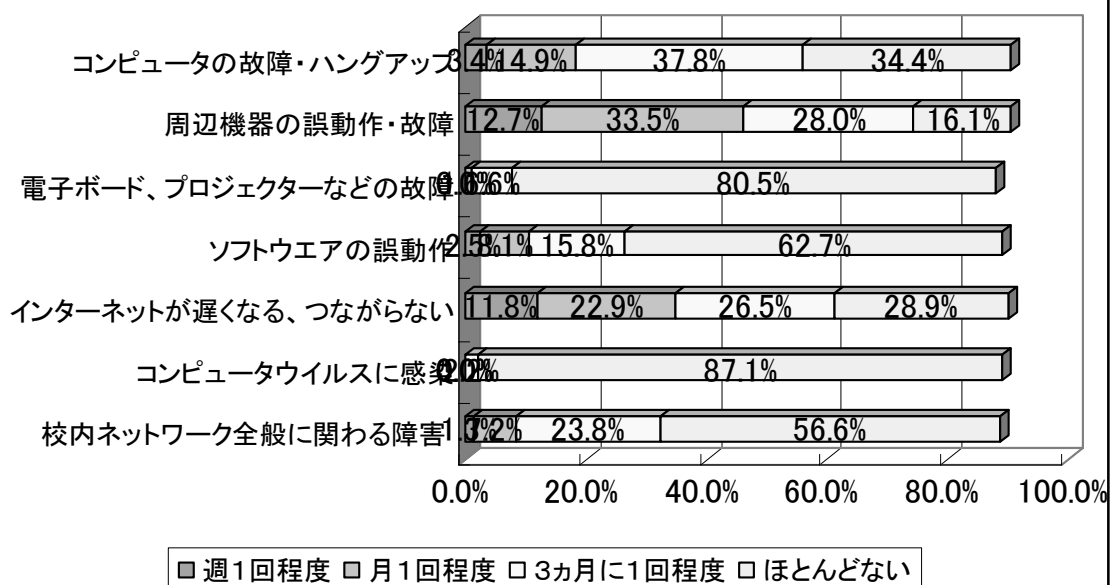
4-1-1. 教育用コンピュータについてどのようなトラブルが発生していますか。

小学校	週1回程度		月1回程度		3ヵ月に1回程度		ほとんどない		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
コンピュータの故障・ハングアップ	19	3.4%	83	14.9%	211	37.8%	192	34.4%	53
周辺機器の誤動作・故障（プリンタの故障、紙詰まりなど）	71	12.7%	187	33.5%	156	28.0%	90	16.1%	54
電子情報ボード、プロジェクターなどの故障	0	0.0%	6	1.1%	37	6.6%	449	80.5%	66
ソフトウェアの誤動作	14	2.5%	45	8.1%	88	15.8%	350	62.7%	61
インターネットが遅くなる、つながらない	66	11.8%	128	22.9%	148	26.5%	161	28.9%	55
コンピュータウイルスに感染	0	0.0%	0	0.0%	12	2.2%	486	87.1%	60
校内ネットワーク全般に関わる障害	7	1.3%	40	7.2%	133	23.8%	316	56.6%	62

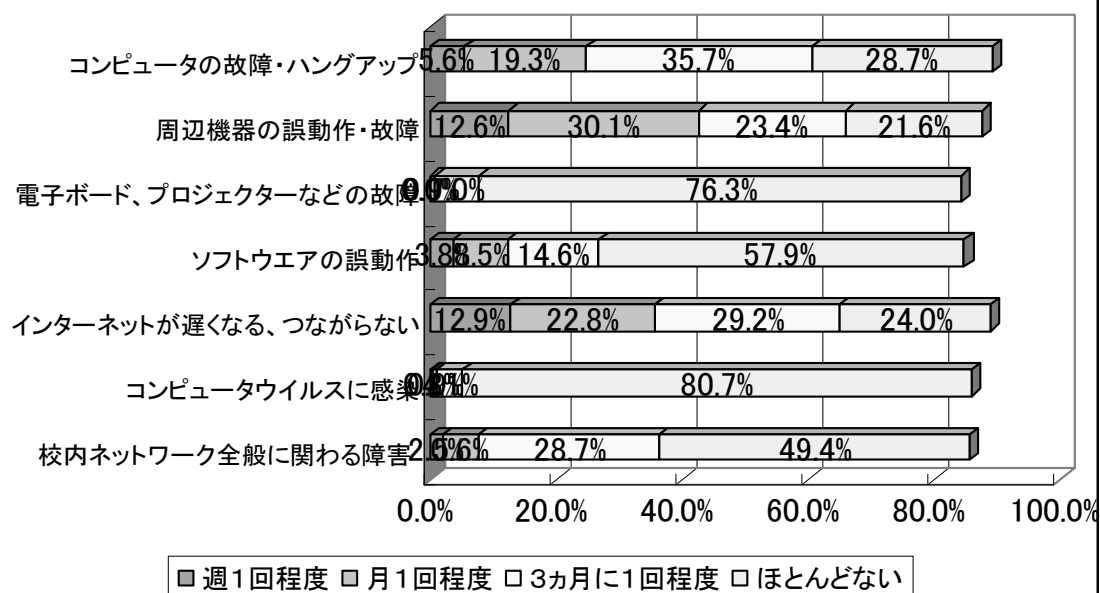
中学校	週1回程度		月1回程度		3ヵ月に1回程度		ほとんどない		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
コンピュータの故障・ハングアップ	19	5.6%	66	19.3%	122	35.7%	98	28.7%	37
周辺機器の誤動作・故障（プリンタの故障、紙詰まりなど）	43	12.6%	103	30.1%	80	23.4%	74	21.6%	42
電子情報ボード、プロジェクターなどの故障	0	0.0%	3	0.9%	24	7.0%	261	76.3%	54
ソフトウェアの誤動作	13	3.8%	29	8.5%	50	14.6%	198	57.9%	52
インターネットが遅くなる、つながらない	44	12.9%	78	22.8%	100	29.2%	82	24.0%	38
コンピュータウイルスに感染	1	0.3%	3	0.9%	14	4.1%	276	80.7%	48
校内ネットワーク全般に関わる障害	7	2.0%	19	5.6%	98	28.7%	169	49.4%	49

全 体	週1回程度		月1回程度		3ヵ月に1回程度		ほとんどない		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
コンピュータの故障・ハングアップ	38	4.2%	149	16.6%	333	37.0%	290	32.2%	90
周辺機器の誤動作・故障（プリンタの故障、紙詰まりなど）	114	12.7%	290	32.2%	236	26.2%	164	18.2%	96
電子情報ボード、プロジェクターなどの故障	0	0.0%	9	1.0%	61	6.8%	710	78.9%	120
ソフトウェアの誤動作	27	3.0%	74	8.2%	138	15.3%	548	60.9%	113
インターネットが遅くなる、つながらない	110	12.2%	206	22.9%	248	27.6%	243	27.0%	93
コンピュータウイルスに感染	1	0.1%	3	0.3%	26	2.9%	762	84.7%	108
校内ネットワーク全般に関わる障害	14	1.6%	59	6.6%	231	25.7%	485	53.9%	111

小学校



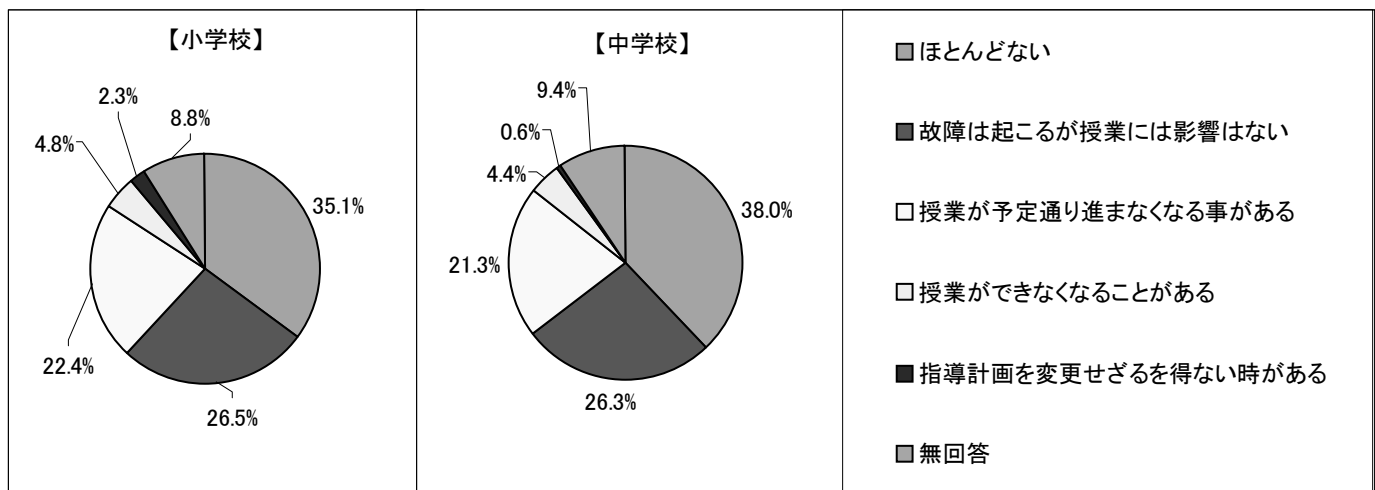
中学校



※小・中学校ともにほぼ同様の傾向を示し、故障・トラブルの発生が全体的に少ない。前回調査で「週1回程度」「月1回程度」の短期間に発生するトラブルは減っている。「コンピュータの故障・ハングアップ」は減ってきており、「週1回程度」が(21.1%→4.2%)、「3カ月に1回程度」が(13.9%→37.0%)となっている。

4-1-2. システムのトラブルにより、授業に影響が出ることがありますか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
ほとんどない	196	35.1%	130	38.0%	326	36.2%
故障は起こるが授業には影響はない	148	26.5%	90	26.3%	238	26.4%
授業が予定通り進まなくなる事がある	125	22.4%	73	21.3%	198	22.0%
授業ができなくなることがある	27	4.8%	15	4.4%	42	4.7%
指導計画を変更せざるを得ない時がある	13	2.3%	2	0.6%	15	1.7%
無回答	49	8.8%	32	9.4%	81	9.0%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

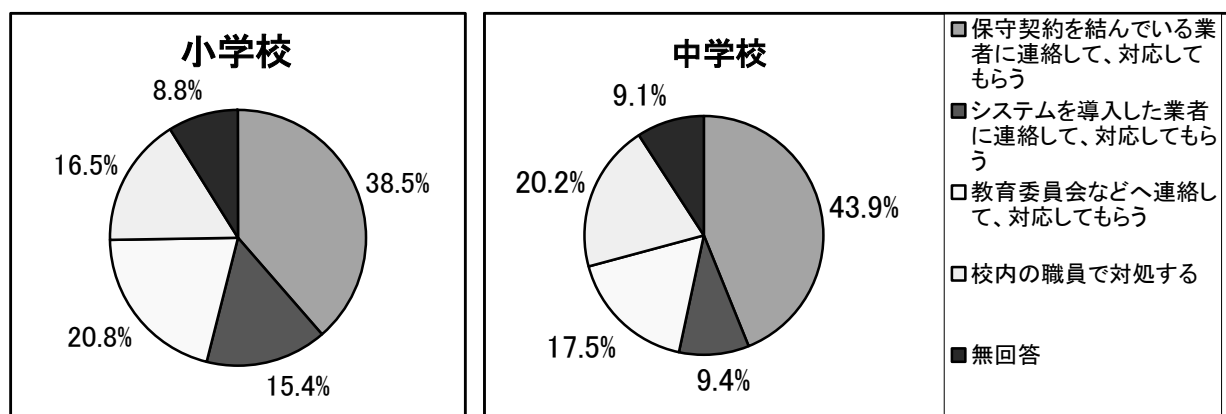


※「授業が予定通り進まなくなることがある」22.0%、「授業ができなくなることがある」4.7%、「指導計画を変更せざるを得ない時がある」1.7%など、授業に影響が出るほどのトラブルの発生が28.4%もあった。

「ほとんどない」36.2%、「故障は起こるが授業には影響はない」26.4%など、授業に影響がないとする回答の合計値は前回から下がっており(67.2%→62.6%)、授業への影響が出ることが多くなっている傾向が分かる。保守契約を結ぶなどトラブルの予防措置や専門家の配置など障害を未然に防ぐ対策を検討する必要がある。

4-1-3. システムのトラブルが発生したとき、どのように対処しますか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
保守契約を結んでいる業者に連絡して、対応してもらう	215	38.5%	150	43.9%	365	40.6%
システムを導入した業者に連絡して、対応してもらう	86	15.4%	32	9.4%	118	13.1%
教育委員会などへ連絡して、対応する	116	20.8%	60	17.5%	176	19.6%
校内の職員で対処する	92	16.5%	69	20.2%	161	17.9%
無回答	49	8.8%	31	9.1%	80	8.9%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

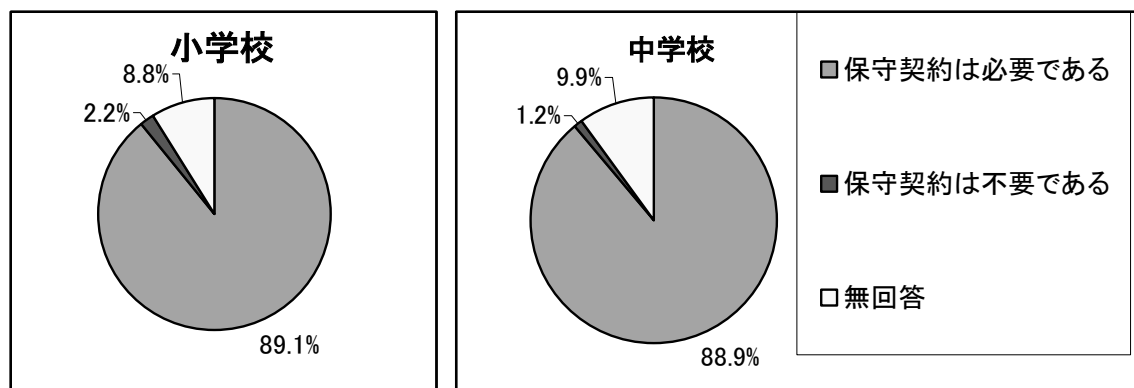


※ 「保守契約を結んでいる業者に連絡して、対応してもらう」が 40.6%だが、「校内の職員で対処する」が 17.9%もあることから、職員への負担がかかっていることが考えられる。

4-2. 教育用コンピュータの保守契約について

4-2-1. 教育用コンピュータの保守契約の必要性についてうかがいます。

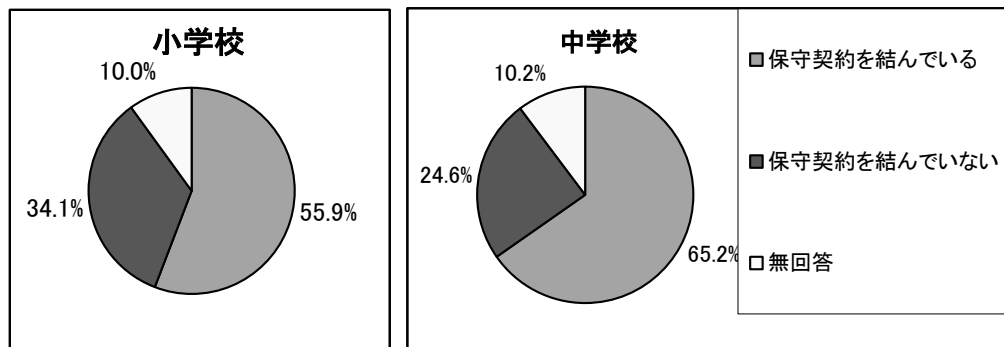
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
保守契約は必要である	497	89.1%	304	88.9%	801	89.0%
保守契約は不要である	12	2.2%	4	1.2%	16	1.8%
無回答	49	8.8%	34	9.9%	83	9.2%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※「保守契約は必要である」が小学校 89.1%、中学校 88.9%と高い比率を示した。同様の質問について教育委員会の回答も 86.7%であり、教育現場・教育委員会共通の意見として大多数が保守契約が必要とされている。

4-2-2. 教育用コンピュータの保守契約をしていますか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
保守契約を結んでいる	312	55.9%	223	65.2%	535	59.4%
保守契約を結んでいない	190	34.1%	84	24.6%	274	30.4%
無回答	56	10.0%	35	10.2%	91	10.1%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



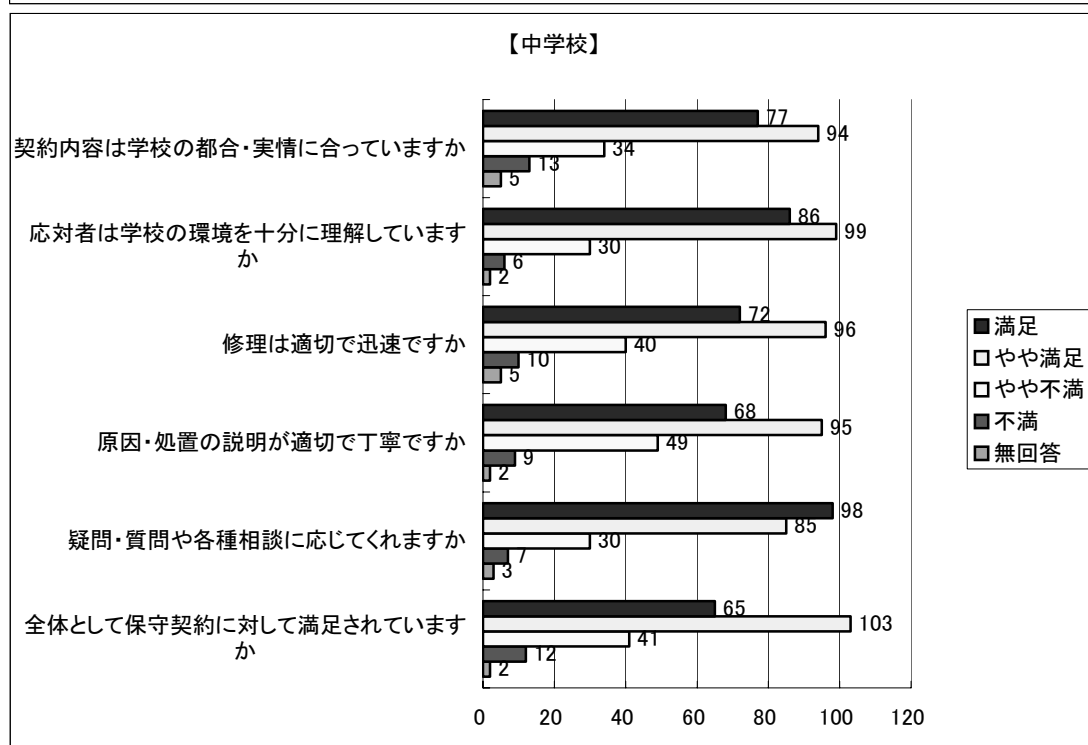
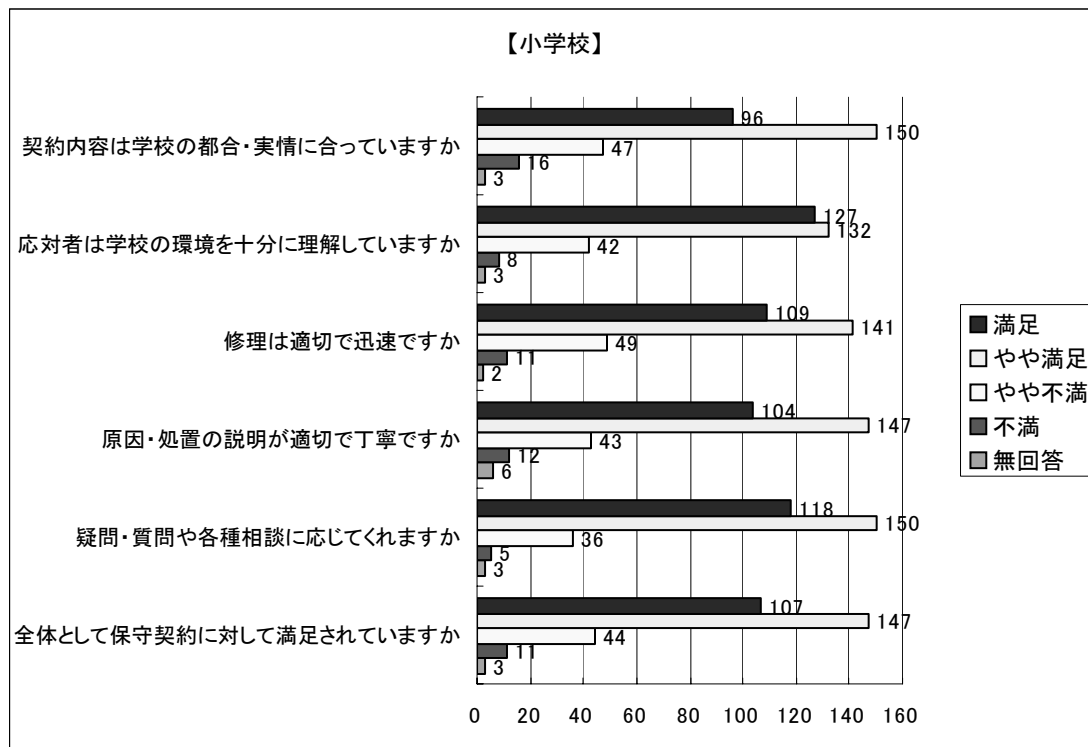
※ 前回調査比で小・中学校ともに保守契約の締結率が微増（小学校 54.4%→55.9%、中学校 58.6%→65.2%）しているものの、保守契約に対する教育現場・教育委員会の要望（「保守契約が必要である」小・中学校合計 89.0%、教育委員会 86.7%）に対して実態は、前回調査時と同様大きな乖離がある。

4-2-3. 4-2-2で「保守契約を結んでいる」と回答した方に保守の対応についてうかがいます。

小学校	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
契約内容は学校の都合・実情に合っていますか	96	30.8%	150	48.1%	47	15.1%	16	5.1%	3
応対者は学校の環境を十分に理解していますか	127	40.7%	132	42.3%	42	13.5%	8	2.6%	3
修理は適切で迅速ですか	109	34.9%	141	45.2%	49	15.7%	11	3.5%	2
原因・処置の説明が適切で丁寧ですか	104	33.3%	147	47.1%	43	13.8%	12	3.8%	6
疑問・質問や各種相談に応じてくれますか	118	37.8%	150	48.1%	36	11.5%	5	1.6%	3
全体として保守契約に対して満足されていますか	107	34.3%	147	47.1%	44	14.1%	11	3.5%	3

中学校	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
契約内容は学校の都合・実情に合っていますか	65	29.1%	103	46.2%	41	18.4%	12	5.4%	2
応対者は学校の環境を十分に理解していますか	98	43.9%	85	38.1%	30	13.5%	7	3.1%	3
修理は適切で迅速ですか	68	30.5%	95	42.6%	49	22.0%	9	4.0%	2
原因・処置の説明が適切で丁寧ですか	72	32.3%	96	43.0%	40	17.9%	10	4.5%	5
疑問・質問や各種相談に応じてくれますか	86	38.6%	99	44.4%	30	13.5%	6	2.7%	2
全体として保守契約に対して満足されていますか	77	34.5%	94	42.2%	34	15.2%	13	5.8%	5

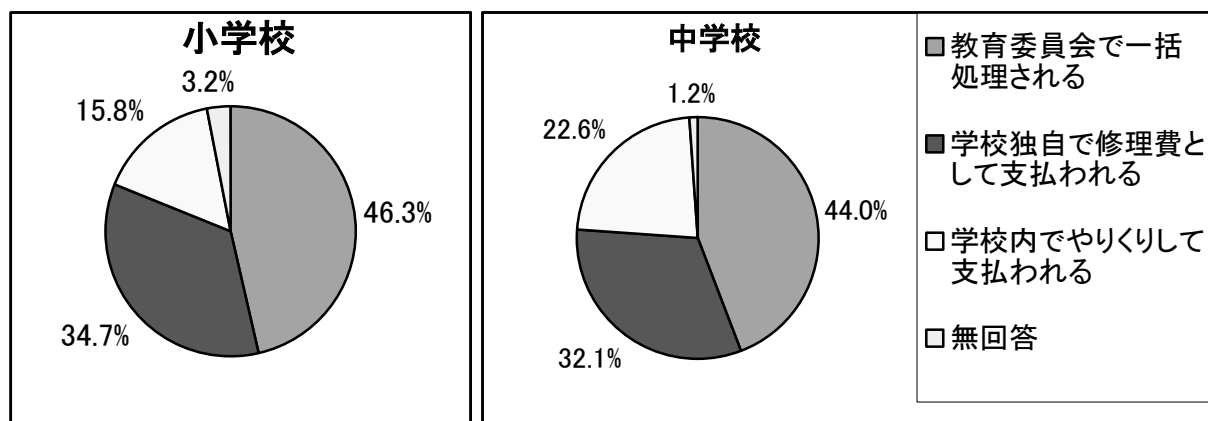
計	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
契約内容は学校の都合・実情に合っていますか	161	30.1%	253	47.3%	88	16.4%	28	5.2%	5
応対者は学校の環境を十分に理解していますか	225	42.1%	217	40.6%	72	13.5%	15	2.8%	6
修理は適切で迅速ですか	177	33.1%	236	44.1%	98	18.3%	20	3.7%	4
原因・処置の説明が適切で丁寧ですか	176	32.9%	243	45.4%	83	15.5%	22	4.1%	11
疑問・質問や各種相談に応じてくれますか	204	38.1%	249	46.5%	66	12.3%	11	2.1%	5
全体として保守契約に対して満足されていますか	184	34.4%	241	45.0%	78	14.6%	24	4.5%	8



※「満足」35.1%、「やや満足」44.8%との回答であり、満足度が高いことを示している。

4-2-4. 4-2-2で「保守契約を結んでいない」と回答した方にうかがいます。

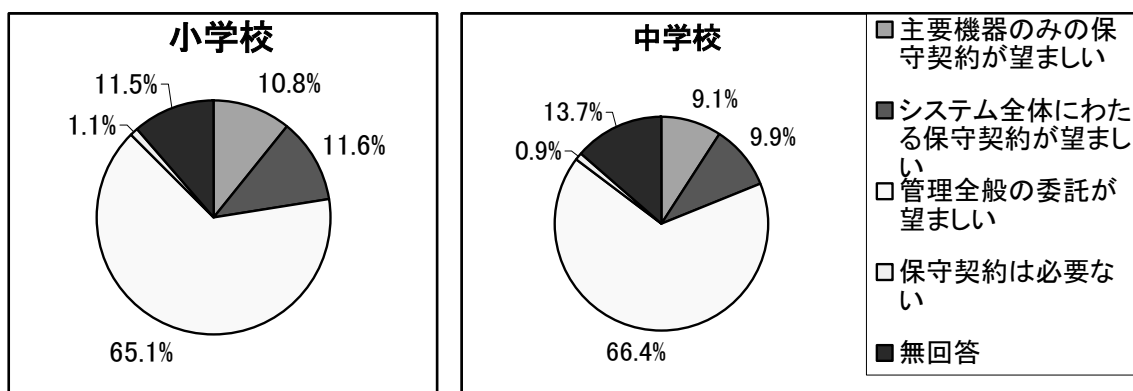
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
教育委員会で一括処理される	88	46.3%	37	44.0%	125	45.6%
学校独自で修理費として支払われる	66	34.7%	27	32.1%	93	33.9%
学校内でやりくりして支払われる	30	15.8%	19	22.6%	49	17.9%
無回答	6	3.2%	1	1.2%	7	2.6%
計	190	100.0%	84	100.0%	274	100.0%



※ 「学校独自で修理費として支払われる」33.9%、「学校内でやりくりして支払われる」17.9%との回答であり、合計すると51.8%にもなるため、保守契約を結んでいない場合は学校への負担が大きいことがわかる。

4-2-5. システムが複雑化する傾向の中、今後どのような保守契約が必要ですか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
ネットワーク、ファイルサーバなどの主要機器のみの保守契約が望ましい	60	10.8%	31	9.1%	91	10.1%
ヘルプデスクなどの質問対応を含めたシステム全体にわたる保守契約が望ましい	65	11.6%	34	9.9%	99	11.0%
ヘルプデスク、ネットワーク維持管理、セキュリティ対策なども網羅した管理全般の委託が望ましい	363	65.1%	227	66.4%	590	65.6%
保守契約は必要ない	6	1.1%	3	0.9%	9	1.0%
無回答	64	11.5%	47	13.7%	111	12.3%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

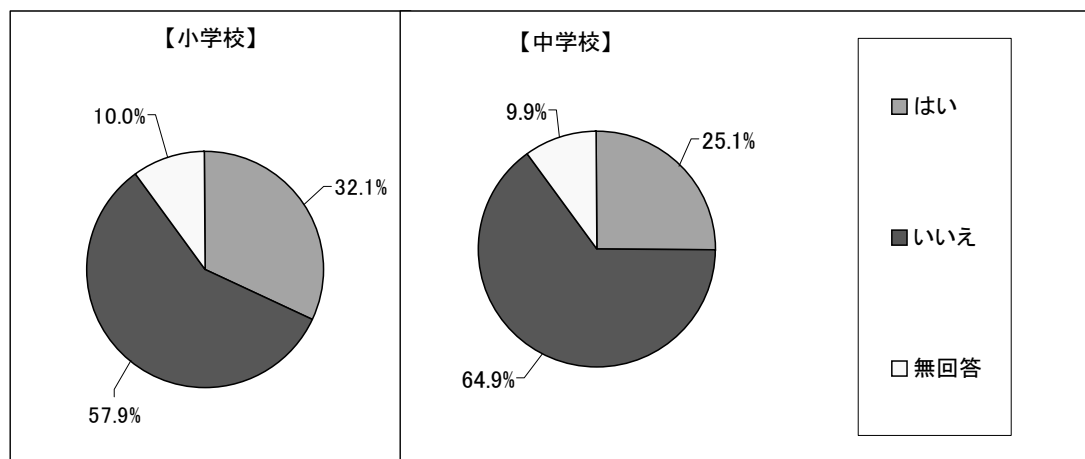


※「ヘルプデスク、ネットワーク維持管理、セキュリティ対策なども網羅した管理全般の委託が望ましい」が65.6%と高い値を示していることから、広い範囲の内容の保守が望まれている。

4-3. 教育情報化に対する、外部人材の活用について

4-3-1. 学校に、教育情報化を支援する外部の人材を受け入れたことがありますか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
はい	179	32.1%	86	25.1%	265	29.4%
いいえ	323	57.9%	222	64.9%	545	60.6%
無回答	56	10.0%	34	9.9%	90	10.0%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%

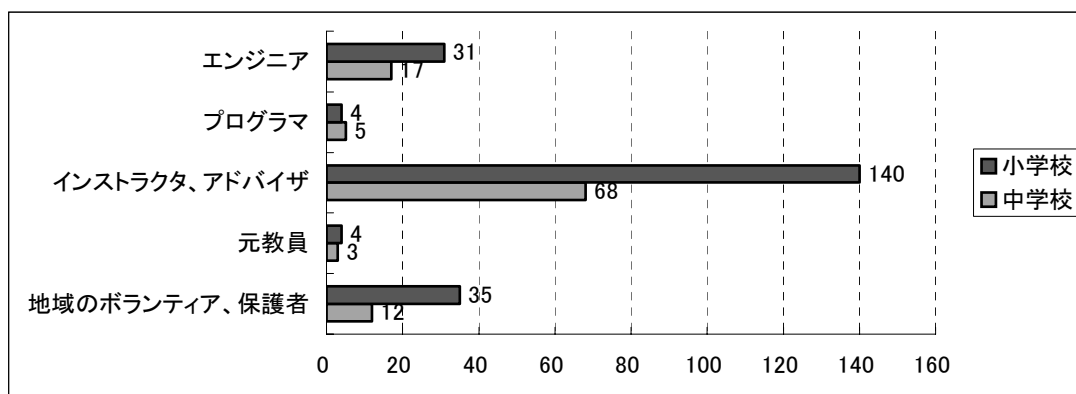


※ 60.6%が外部人材を受け入れておらず、小学校（57.9%）より中学校（64.9%）の方がその傾向が強い。

4-3-2. 4-3-1で「はい」と回答した方にうかがいます。

どのような人材ですか。（複数回答可）

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
エンジニア	31	14.5%	17.3%	17	16.2%	19.8%	48	15.0%	18.1%
プログラマ	4	1.9%	2.2%	5	4.8%	5.8%	9	2.8%	3.4%
インストラクタ、アドバイザー	140	65.4%	78.2%	68	64.8%	79.1%	208	65.2%	78.5%
元教員	4	1.9%	2.2%	3	2.9%	3.5%	7	2.2%	2.6%
地域のボランティア、保護者	35	16.4%	19.6%	12	11.4%	14.0%	47	14.7%	17.7%
計	214	100.0%	119.6%	105	100.0%	122.1%	319	100.0%	120.4%

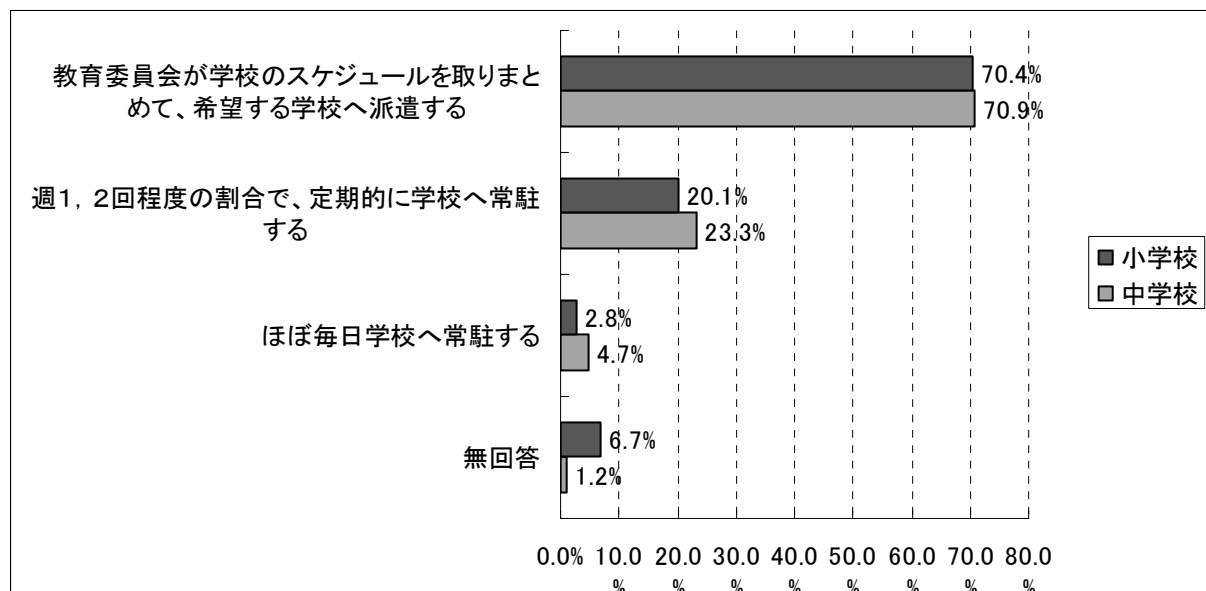


※小・中学校ともに「インストラクタ、アドバイザー」が最も多い。中学校は「エンジニア」や「プログラマ」が小学校よりも若干多く、より技術的な支援が必要とされている傾向がある。また、中学校よりも小学校の方が「地域のボランティア、保護者」を受け入れていることがわかる。

4-3-3. 4-3-1で「はい」と回答した方にうかがいます。

どのような派遣形態でしたか。

	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
教育委員会が学校のスケジュールを取りまとめて、希望する学校へ派遣する	126	70.4%	61	70.9%	187	70.6%
週1, 2回程度の割合で、定期的に学校へ常駐する	36	20.1%	20	23.3%	56	21.1%
ほぼ毎日学校へ常駐する	5	2.8%	4	4.7%	9	3.4%
無回答	12	6.7%	1	1.2%	13	4.9%
計	179	100.0%	86	100.0%	265	100.0%

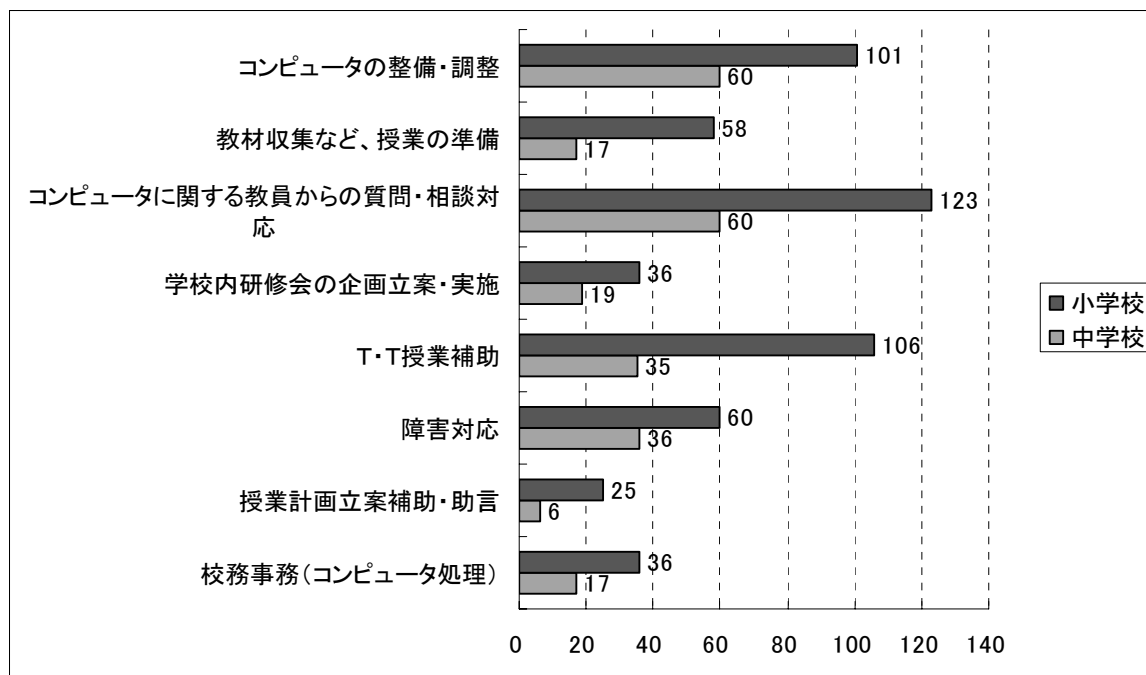


※「週1, 2回程度の割合で、定期的に学校へ常駐する」「ほぼ毎日学校へ常駐する」は前回調査から微増しているが (21.2%→24.5%)、十分な頻度とはいえず、訪問回数を増やすことが必要であると考えられる。

4-3-4. 4-3-1で「はい」と回答した方にうかがいます。

どのような仕事を任せましたか。(複数回答可)

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
コンピュータの整備・調整	101	18.5%	56.4%	60	24.0%	69.8%	161	20.3%	60.8%
教材収集など、授業の準備	58	10.6%	32.4%	17	6.8%	19.8%	75	9.4%	28.3%
コンピュータに関する教員からの質問・相談対応	123	22.6%	68.7%	60	24.0%	69.8%	183	23.0%	69.1%
学校内研修会の企画立案・実施	36	6.6%	20.1%	19	7.6%	22.1%	55	6.9%	20.8%
T・T授業補助	106	19.4%	59.2%	35	14.0%	40.7%	141	17.7%	53.2%
障害対応	60	11.0%	33.5%	36	14.4%	41.9%	96	12.1%	36.2%
授業計画立案補助・助言	25	4.6%	14.0%	6	2.4%	7.0%	31	3.9%	11.7%
校務事務 (コンピュータ処理)	36	6.6%	20.1%	17	6.8%	19.8%	53	6.7%	20.0%
計	545	100.0%	304.5%	250	100.0%	290.7%	795	100.0%	300.0%



※「コンピュータに関する教員からの質問・相談」「コンピュータの整備・調整」「T・T授業補助」の比率が高い。中学校では「コンピュータの整備・調整」、

「障害対応」の割合が小学校より多く、環境の整備がより求められているのに対し、小学校では「教材収集など、授業の準備」、「T・T授業補助」、「授業計画立案補助・助言」の要望の割合が中学校より多く、授業中の支援がより要望されている。

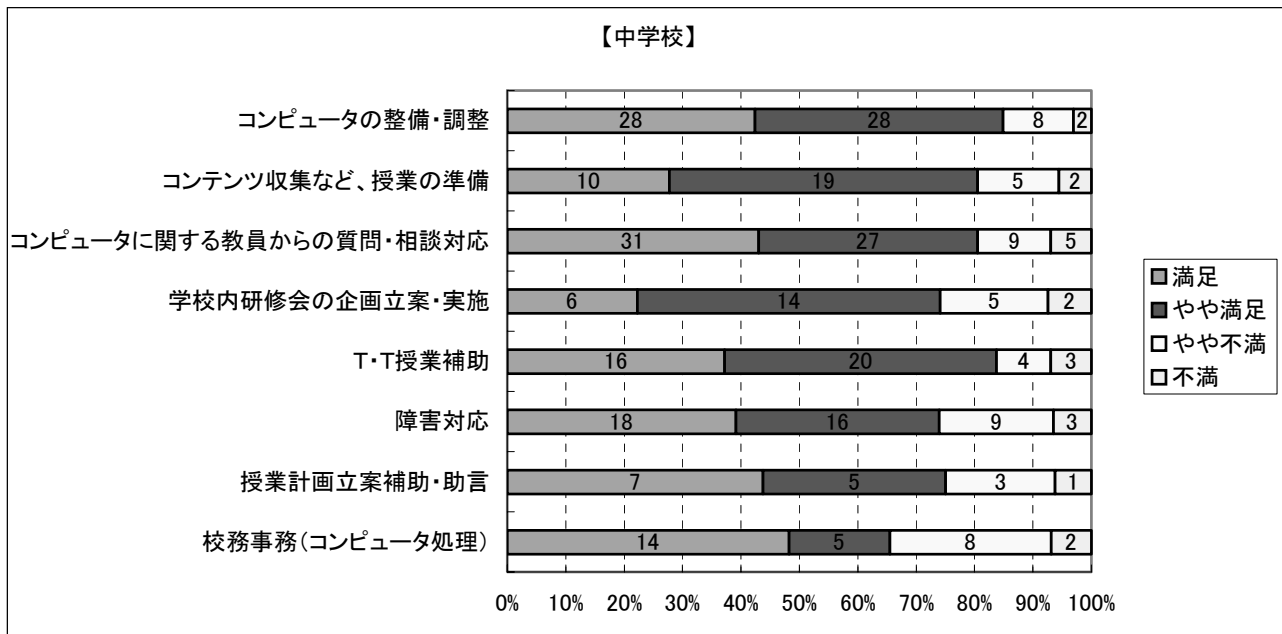
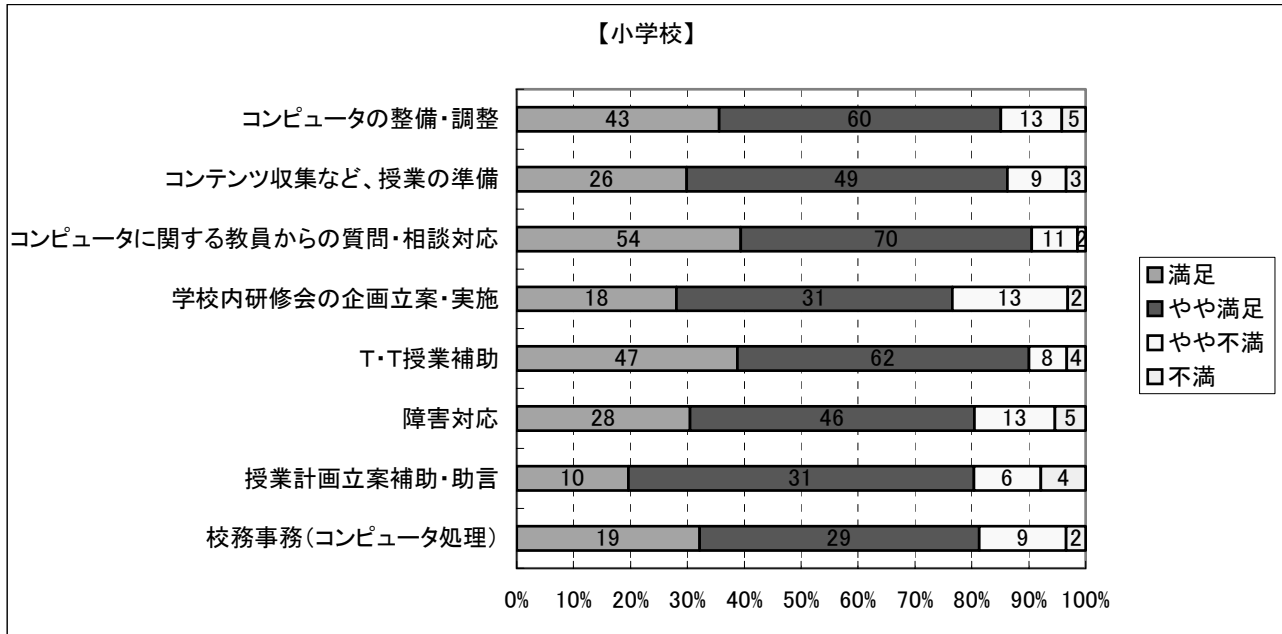
4-3-5. 4-3-1で「はい」と回答した方にうかがいます。

その仕事の満足度はいかがですか。

小学校	満足		やや満足		やや不満		不満		やってない		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
コンピュータの整備・調整	43	24.0%	60	33.5%	13	7.3%	5	2.8%	41	22.9%	17
コンテンツ収集など、授業の準備	26	14.5%	49	27.4%	9	5.0%	3	1.7%	65	36.3%	27
コンピュータに関する教員からの質問・相談対応	54	30.2%	70	39.1%	11	6.1%	2	1.1%	30	16.8%	12
学校内研修会の企画立案・実施	18	10.1%	31	17.3%	13	7.3%	2	1.1%	88	49.2%	27
T・T授業補助	47	26.3%	62	34.6%	8	4.5%	4	2.2%	42	23.5%	16
障害対応	28	15.6%	46	25.7%	13	7.3%	5	2.8%	61	34.1%	26
授業計画立案補助・助言	10	5.6%	31	17.3%	6	3.4%	4	2.2%	99	55.3%	29
校務事務(コンピュータ処理)	19	10.6%	29	16.2%	9	5.0%	2	1.1%	92	51.4%	28
計	245	17.1%	378	26.4%	82	5.7%	27	1.9%	518	36.2%	182

中学校	満足		やや満足		やや不満		不満		やってない		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
コンピュータの整備・調整	28	32.6%	28	32.6%	8	9.3%	2	2.3%	16	18.6%	4
コンテンツ収集など、授業の準備	10	11.6%	19	22.1%	5	5.8%	2	2.3%	43	50.0%	7
コンピュータに関する教員からの質問・相談対応	31	36.0%	27	31.4%	9	10.5%	5	5.8%	13	15.1%	1
学校内研修会の企画立案・実施	6	7.0%	14	16.3%	5	5.8%	2	2.3%	52	60.5%	7
T・T授業補助	16	18.6%	20	23.3%	4	4.7%	3	3.5%	35	40.7%	8
障害対応	18	20.9%	16	18.6%	9	10.5%	3	3.5%	33	38.4%	7
授業計画立案補助・助言	7	8.1%	5	5.8%	3	3.5%	1	1.2%	61	70.9%	9
校務事務(コンピュータ処理)	14	16.3%	5	5.8%	8	9.3%	2	2.3%	50	58.1%	7
計	130	18.9%	134	19.5%	51	7.4%	20	2.9%	303	44.0%	50

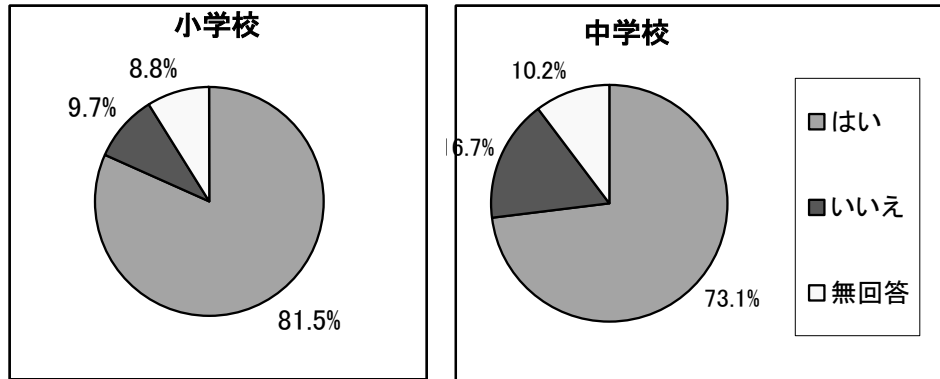
全 体	満足		やや満足		やや不満		不満		やってない		無回答
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	
コンピュータの整備・調整	71	26.8%	88	33.2%	21	7.9%	7	2.6%	57	21.5%	21
コンテンツ収集など、授業の準備	36	13.6%	68	25.7%	14	5.3%	5	1.9%	108	40.8%	34
コンピュータに関する教員からの質問・相談対応	85	32.1%	97	36.6%	20	7.5%	7	2.6%	43	16.2%	13
学校内研修会の企画立案・実施	24	9.1%	45	17.0%	18	6.8%	4	1.5%	140	52.8%	34
T・T授業補助	63	23.8%	82	30.9%	12	4.5%	7	2.6%	77	29.1%	24
障害対応	46	17.4%	62	23.4%	22	8.3%	8	3.0%	94	35.5%	33
授業計画立案補助・助言	17	6.4%	36	13.6%	9	3.4%	5	1.9%	160	60.4%	38
校務事務（コンピュータ処理）	33	12.5%	34	12.8%	17	6.4%	4	1.5%	142	53.6%	35
計	375	17.7%	512	24.2%	133	6.3%	47	2.2%	821	38.7%	232



※小・中学校ともに同様の傾向がみられ、「満足」、「やや満足」の割合が多く（合計 81.8%）、満足度が高いことが分かる。外部人材の受け入れは 29.4%（4－3－1）に留まっているが、受け入れた場合の満足度が高いことから、受け入れられている割合の高い「インストラクタ、アドバイザー」（78.5% 4－3－2）の積極的な活用を促進する必要がある。

4-3-6. 教育情報化に対し、外部から人材の支援を必要と感じますか。

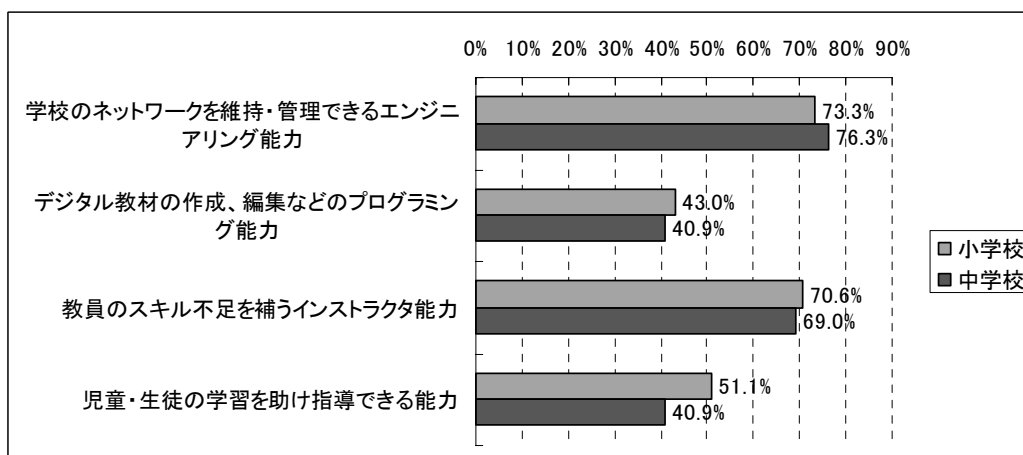
	小学校		中学校		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率
はい	455	81.5%	250	73.1%	705	78.3%
いいえ	54	9.7%	57	16.7%	111	12.3%
無回答	49	8.8%	35	10.2%	84	9.3%
計	558	100.0%	342	100.0%	900	100.0%



※小・中学校ともに要望が非常に高い(78.3%)。また、中学校(73.1%)より小学校(81.5%)の方がより必要としている傾向がわかる。教育委員会への同様の質問では要望が67.0%と学校より低く、学校の方がより切実であることが分かる。

4-3-7. 教育情報化を支援する外部人材にどのような能力を期待しますか。(複数回答可)

	小学校			中学校			計		
	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比	実数	構成比	回答比
学校のネットワークを維持・管理できるエンジニアリング能力	409	30.8%	73.3%	261	33.6%	76.3%	670	31.8%	74.4%
デジタル教材の作成、編集などのプログラミング能力	240	18.1%	43.0%	140	18.0%	40.9%	380	18.1%	42.2%
教員のスキル不足を補うインストラクタ能力	394	29.7%	70.6%	236	30.4%	69.0%	630	29.9%	70.0%
児童・生徒の学習を助け指導できる能力	285	21.5%	51.1%	140	18.0%	40.9%	425	20.2%	47.2%
計	1,328	100.0%	238.0%	777	100.0%	227.2%	2,105	100.0%	233.9%



※小・中学校の全項目において高い数値を示しているが、「学校のネットワークを維持・管理できるエンジニアリング能力」がいちばん多く、次いで「教員のスキル不足を補うインストラクタ能力」が期待されている。「児童・生徒の学習を助け指導できる能力」では小学校が51.1%、中学校が40.9%で、小学校の方が期待度が高い傾向がみられる。

調査部会（第3プロジェクト）メンバー

リーダー	池田 勝昭	シーエス販売(株)
委員	青木 聡	日本文教出版(株)
"	有谷 仁志	スズキ教育ソフト(株)
"	井上 義裕	日本電気(株)
"	岩脇 崇	パイオニアソリューションズ(株)
"	遠藤 正	(株) 学習研究社
"	岡田 啓二	シャープシステムプロダクト(株)
"	加藤 健文	(有) パソコンスタジオ世田谷
"	久山 康弘	S k y (株)
"	小関 秀夫	エデュックス
"	下村 康司	(株) 東大英数理教室
"	高井尚一郎	(株) 内田洋行
"	武 雅春	(株) 内田洋行
"	田辺 弘樹	(株) 学習研究社
"	塚原 潤也	(株) JMCエデュケーションズ
"	月永 元	(株) 新学社
"	林 牧人	東京システムハウス(株)
"	馬場 昌雄	(株) ベネッセコーポレーション
"	廣瀬 嘉之	エプソン販売(株)
"	宮内 孝之	(株) JMCエデュケーションズ
"	森屋 晴夫	日本教育情報機器(株)
事務局	小林 賢二	(社) 日本教育工学振興会

※委員：50音順

第6回教育用コンピュータ等に関するアンケート調査

平成20年3月31日発行

発行 社団法人 日本教育工学振興会 (JAPET)

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13

三会堂ビル2F

電話 03-5575-5365

FAX 03-5575-5366

URL <http://www.japet.or.jp/>

印刷 株式会社カントー

禁無断転載

©2008 社団法人 日本教育工学振興会